

国分寺市市民意向調査報告書

国 分 寺 市

平成 27 年8月

目 次

調査概要	1
I 国分寺市の住み良さについて（問1～5）	4
II 市の財政・行政運営について（問6～8）	25
III 市民生活・市民参加などについて（問9～16）	32
IV 福祉保健について（問17～18-②）	54
V 都市整備・開発について（問19～21）	61
VI 環境について（問22～23）	64
VII 教育・文化について（問24～26）	69
VIII 少子化対策について（問27-①～27-②）	74
IX 自由記入による回答	86

調査概要

1. 調査目的

「国分寺市人口ビジョン」及び「(仮称)国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定にあたり、人口減少等の課題に対応しながら、よりよい市政運営に向けたビジョンや戦略をつくるために、調査・検討を進めていく中で、広く市民の意見を収集し、策定の基礎資料にするとともに市政運営のための貴重な情報として活用するため実施する。また「(仮称)国分寺市総合ビジョン」策定を視野に、これまでの長期総合計画策定時に実施してきた市民意向調査との継続性も考慮して実施する。

2. 調査対象地域

国分寺市全域

3. 調査対象者

国分寺市在住の満18歳以上の男女

4. 標本数

3,000人

5. 調査方法・抽出方法

郵送配布・郵送回収による調査票におけるアンケート方式。住民基本台帳による無作為抽出(町丁別に抽出)

6. 調査実施期間

平成27年6月3日(水)～12日(金)

ただし、6月17日(水)到着分までを有効票とした。

7. 調査票質問項目

- I 国分寺市の住み良さ
- II 市の財政・行政運営
- III 市民生活・市民参加
- IV 福祉保健
- V 都市整備・開発
- VI 環境
- VII 教育・文化
- VIII 少子化対策
- IX 回答者の属性

8. 回収結果

- (1)標本数 3,000人
 (2)有効回収数・有効回収率 1,200人 (40.0%)

9. 回答者の属性

※前回=平成23年「国分寺市市民意向調査」

項目		回答数	比率 (%)	前回比率 (%)	今回 - 前回
性別	1. 男	483	40.3	43.5	-3.3
	2. 女	703	58.6	55.9	2.7
	3. 無回答	14	1.2	0.6	0.6
	合計	1,200	100.0	100.0	0.0
年齢	1. 10・20歳代	102	8.5	10.1	-1.6
	2. 30歳代	155	12.9	16.9	-4.0
	3. 40歳代	198	16.5	18.2	-1.7
	4. 50歳代	204	17.0	15.8	1.2
	5. 60歳代	229	19.1	17.4	1.7
	6. 70歳以上	301	25.1	20.9	4.2
	7. 無回答	11	0.9	0.7	0.2
	合計	1,200	100.0	100.0	0.0
各選択肢(年代)の中央値による加重平均		-	52.9歳	50.8歳	2.2歳
未既婚	1. 既婚	943	78.6	-	-
	2. 未婚	230	19.2	-	-
	3. 無回答	27	2.3	-	-
	合計	1,200	100.0	-	-
日中生活地域	1. 国分寺市内	701	58.4	53.1	5.3
	2. 都内の他の市町村	215	17.9	20.0	-2.1
	3. 東京都23区	221	18.4	21.2	-2.8
	4. 東京都以外	35	2.9	4.7	-1.8
	5. 無回答	28	2.3	0.9	1.4
合計	1,200	100.0	100.0	0.0	
世帯構成	1. 単身	161	13.4	13.2	0.2
	2. 夫婦のみ	338	28.2	27.8	0.4
	3. 二世帯世帯(親と子どもなど)	574	47.8	49.3	-1.5
	4. 三世帯世帯(親と子どもと孫など)	56	4.7	4.8	-0.1
	5. その他	54	4.5	4.2	0.3
	6. 無回答	17	1.4	0.7	0.7
合計	1,200	100.0	100.0	0.0	
子どもの人数・年代	1. [未成年]乳幼児	124	11.9	-	-
	2. [未成年]小学生	124	11.9	-	-
	3. [未成年]中学生	86	8.3	-	-
	4. [未成年・中学校卒業済み]高校在学	89	8.6	-	-
	5. [未成年・中学校卒業済み]大学・専門学校在学	93	9.0	-	-
	6. [未成年・中学校卒業済み]就業	24	2.3	-	-
	7. [未成年・中学校卒業済み]その他	8	0.8	-	-
	8. 成年	414	39.8	-	-
	9. 無回答	294	28.3	-	-
	合計	1,256	120.9	-	-
回答者数	1,039	100.0	-	-	
(回答者当たり子どもの合計人数)	1. 1人	267	25.7	-	-
	2. 2人	339	32.6	-	-
	3. 3人	102	9.8	-	-
	4. 4人以上	37	3.6	-	-
	5. 無回答	294	28.3	-	-
合計	1,039	100.0	-	-	
住居形態	1. 持ち家(戸建)	694	57.8	72.4	-1.1
	2. 持ち家(分譲マンション)	161	13.4	-	-
	3. 借家(賃貸マンション, アパート, 公営住宅, 社宅など)	299	24.9	25.7	-0.8
	4. その他	12	1.0	0.9	0.1
	5. 無回答	34	2.8	0.9	1.9
合計	1,200	100.0	100.0	0.0	
居住地区	1. 第一中学校区	281	23.4	24.4	-1.0
	2. 第二中学校区	260	21.7	21.5	0.2
	3. 第三中学校区	220	18.3	18.6	-0.3
	4. 第四中学校区	214	17.8	19.0	-1.2
	5. 第五中学校区	192	16.0	15.1	0.9
	6. 無回答	33	2.8	1.5	1.3
合計	1,200	100.0	100.0	0.0	

10. 本報告書の見方

- 複数回答の設問では、回答割合合計は100%を上回る。
- 複数の選択肢を合計あるいはその差を使った分析を行っている箇所では、小数点第二位を四捨五入した数値同士として扱っているため、数表の数値と文章記述内の数値に不整合があることがある。

例. 文章記述「満足」11.1%+「やや満足」22.2%の合計 33.3%

満足 11.1%が小数点第二位まで表記では11.05%であり、やや満足 22.2%が22.15%であるような場合、数表では合計33.2%と表記、文章では33.3%としている。

文章記述では、四捨五入した結果の、表記上の数値同士の合計を優先して表記する。

- 複数回答の場合の数表の表記要領は以下のとおりである。

すべての回答の合計数。この設問では一人いくつでも回答できるため、回答者数1,200を上回る。
 $658+508+806+441+48+11=2,472$

問11. 犯罪への対策などの市民生活の安全についてお伺いします。次の中からあなたのお考えに近いものを選んでください(複数回答)

回答した人の人数

	回答者数	合計	1. 市が率先して防犯対策を行っていく	2. 市民一人ひとりが自衛する	3. 地域の人たちが協力して、地域の安全を守っていく	4. 防犯対策は、警察が行うべき	5. その他	6. 無回答
全体	1,200 (100.0)	2,472 (206.0)	658 (54.8)	508 (42.3)	806 (67.2)	441 (36.8)	48 (4.0)	11 (0.9)
性別	1. 男	483 (100.0)	251 (52.6)	181 (37.5)	308 (63.8)	161 (33.3)	19 (3.9)	1 (0.2)
	2. 女	703 (100.0)	396 (56.3)	320 (45.5)	489 (69.6)	275 (39.1)	28 (4.0)	9 (1.3)
	3. 無回答	14 (100.0)	31 (221.4)	8 (57.1)	7 (50.0)	9 (64.3)	5 (35.7)	1 (7.1)

注: ()内は数字の数を100とした割合

()内は回答者数に対する全回答の割合
 $(2,472 \div 1,200 \times 100 = 206.0)$
 平均すると一人2つ以上選択したことになる。

()内は回答者数に対する当該回答の割合
 $(658 \div 1,200 \times 100 = 54.8)$

- 自由回答は原文のまま掲載しているが、特定の個人名が含まれているものや誹謗中傷に属するもの等は掲載していない。
- 前回調査とは、平成23年「国分寺市市民意向調査」を指す。それ以前については、平成18年・平成11年・平成7年・平成2年に実施された「国分寺市市民意向調査」を指す。

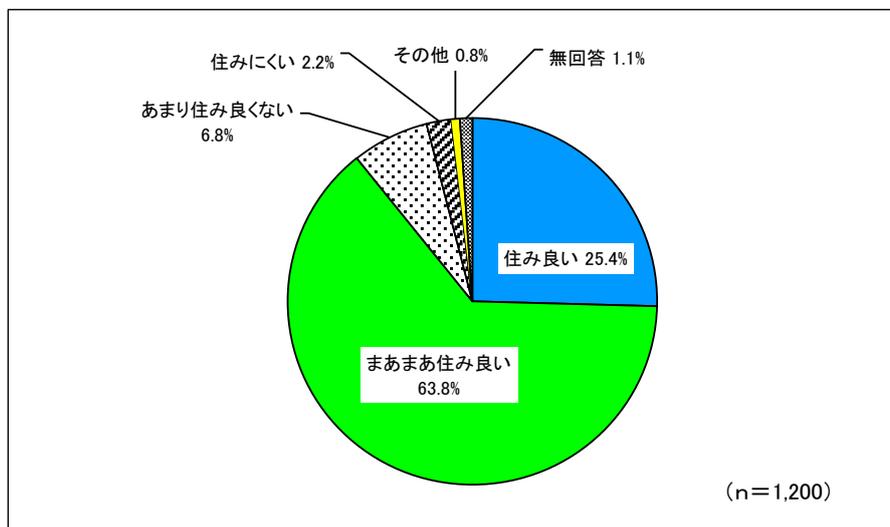
Ⅰ 国分寺市の住み良さについて(問1～5)

問1 あなたは、国分寺市を住み良いと感じていますか。

【ポイント】 89.2%が「住み良い」もしくは「まあまあ住み良い」と感じている

【全体的な回答の傾向】

国分寺市を「住み良い」もしくは「まあまあ住み良い」と回答した人の合計の割合は89.2%であり、前回調査の88.7%に比べ0.5%増加している。ただし「住み良い」に限ると、その割合は前回調査の30.8%より5.4%減少している。



【年代別にみた「住み良さ」】

年代別の回答傾向をみると、「住み良い」とする回答者の割合は最も高いのは10・20歳代であり、次いで70歳以上が高い。また50歳代が最も低くなっており、これに次いで30歳代が低い。しかし、「住み良い」と「まあまあ住み良い」の割合の合計では、年代別の差はほとんどみられない。

		合計	1. 住み良い	2. まあまあ住み良い	3. あまり住み良くない	4. 住みにくい	5. その他	6. 無回答
全体		1,200 (100.0)	305 (25.4)	766 (63.8)	81 (6.8)	26 (2.2)	9 (0.8)	13 (1.1)
F2 年代	1. 10・20歳代	102 (100.0)	36 (35.3)	53 (52.0)	6 (5.9)	5 (4.9)	2 (2.0)	0 (-)
	2. 30歳代	155 (100.0)	34 (21.9)	106 (68.4)	8 (5.2)	7 (4.5)	0 (-)	0 (-)
	3. 40歳代	198 (100.0)	50 (25.3)	127 (64.1)	13 (6.6)	7 (3.5)	1 (0.5)	0 (-)
	4. 50歳代	204 (100.0)	38 (18.6)	147 (72.1)	16 (7.8)	3 (1.5)	0 (-)	0 (-)
	5. 60歳代	229 (100.0)	47 (20.5)	161 (70.3)	15 (6.6)	1 (0.4)	2 (0.9)	3 (1.3)
	6. 70歳以上	301 (100.0)	95 (31.6)	168 (55.8)	22 (7.3)	3 (1.0)	4 (1.3)	9 (3.0)
	7. 無回答	11 (100.0)	5 (45.5)	4 (36.4)	1 (9.1)	0 (-)	0 (-)	1 (9.1)

注：()内はサンプル数を100とした割合

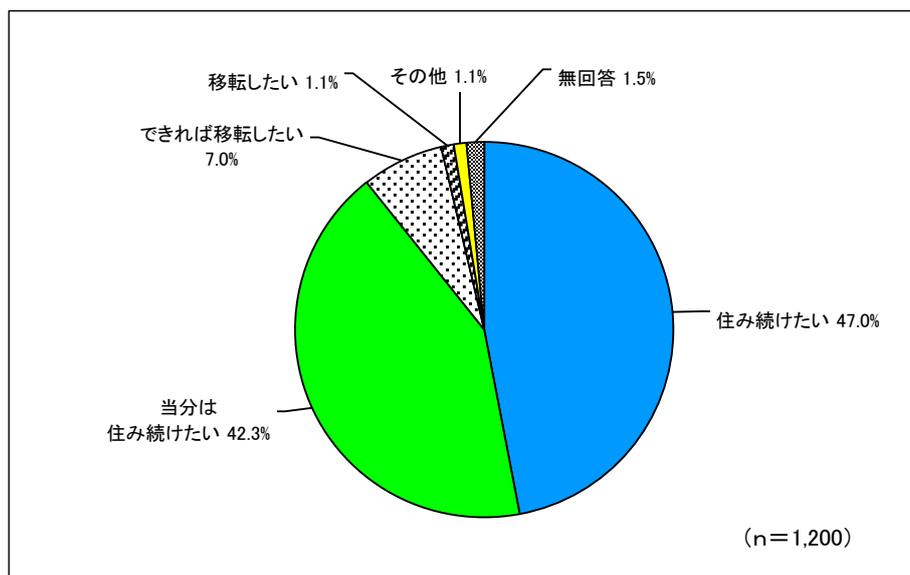
問2 あなたは、これからも国分寺市に住み続けたいと思いますか。

【ポイント】 89.3%の市民に定住意向

【全体的な回答の傾向】

「住み続けたい」または「当分は住み続けたい」と回答した人の割合は、全体の89.3%で、前回調査の86.4%に比べ2.9%上昇している。

特に「住み続けたい」の割合は、前回に続いて過去最高を更新している。



【年代別にみた「今後の居留意向】

年代別の回答傾向をみると、「住み続けたい」とする回答者の割合は若い年代ほど低く、年代が上がるほど高くなっている。「当分は住み続けたい」を含めてみると、年代による差は多少緩やかになるものの、傾向は変わらない。逆に「移転したい」及び「できれば移転したい」は若い年代で割合が高い。

	合計	1. 住み続けたい	2. 当分は住み続けたい	3. できれば移転したい	4. 移転したい	5. その他	6. 無回答
全体	1,200 (100.0)	564 (47.0)	508 (42.3)	84 (7.0)	13 (1.1)	13 (1.1)	18 (1.5)
F2 年代	1. 10・20歳代	102 (100.0)	24 (23.5)	54 (52.9)	19 (18.6)	2 (2.0)	2 (1.0)
	2. 30歳代	155 (100.0)	48 (31.0)	88 (56.8)	12 (7.7)	3 (1.9)	3 (0.6)
	3. 40歳代	198 (100.0)	75 (37.9)	102 (51.5)	13 (6.6)	3 (1.5)	3 (1.0)
	4. 50歳代	204 (100.0)	85 (41.7)	99 (48.5)	16 (7.8)	2 (1.0)	1 (0.5)
	5. 60歳代	229 (100.0)	122 (53.3)	93 (40.6)	11 (4.8)	1 (0.4)	0 (-)
	6. 70歳以上	301 (100.0)	203 (67.4)	70 (23.3)	13 (4.3)	2 (0.7)	3 (1.0)
	7. 無回答	11 (100.0)	7 (63.6)	2 (18.2)	0 (-)	0 (-)	1 (9.1)

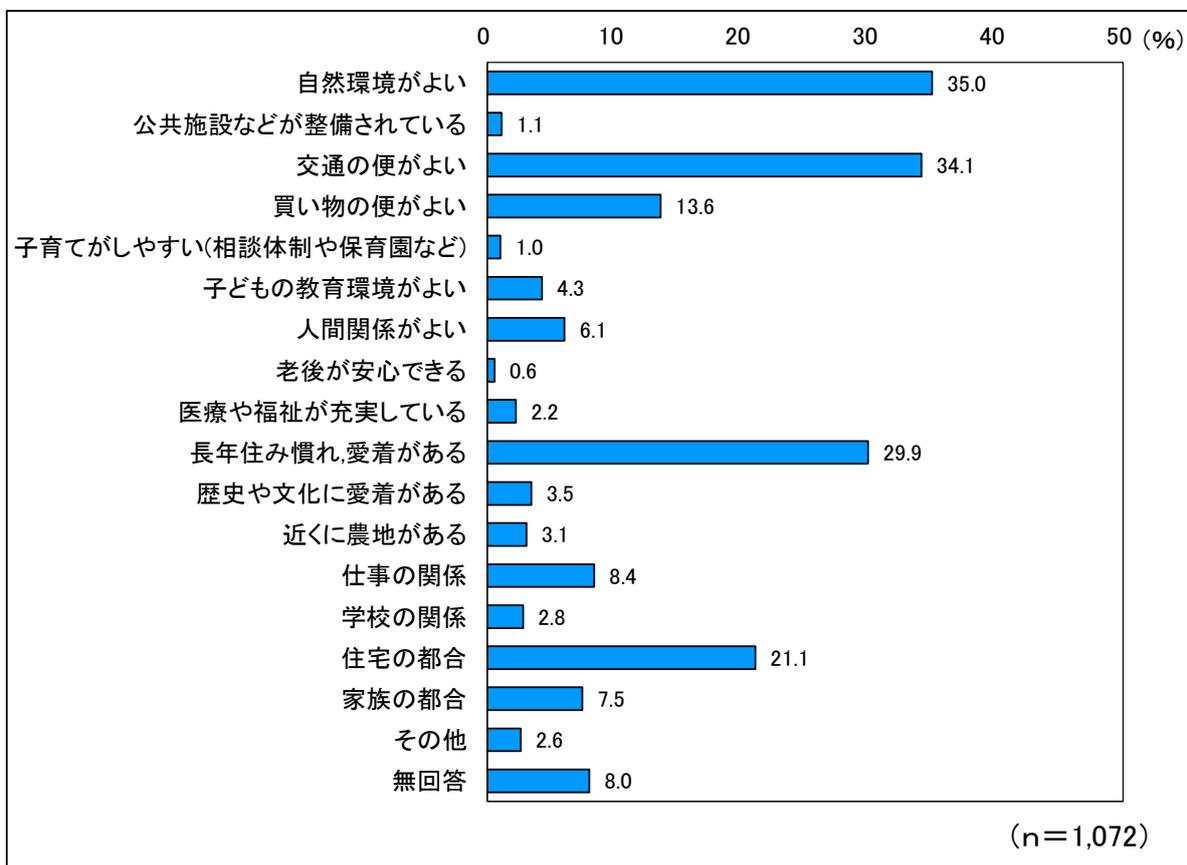
注：()内はサンプル数を100とした割合

問2-1 《問2で「1 住み続けたい」,「2 当分は住み続けたい」とお答えの方に伺います。》
 あなたが住み続けたいと思うおもな理由は何ですか。次の中から2つ選んでください。(複数回答)

【ポイント】 「自然環境がよい」「交通の便がよい」「長年住み慣れ, 愛着がある」
 が住み続けたい理由

【全体的な回答の傾向】

問2において、「住み続けたい」、「当分は住み続けたい」と回答した人に、住み続けたいと思う理由を聞いた。17の項目のうち最も割合が多かったのは「自然環境がよい」35.0%であった。次いで「交通の便がよい」34.1%、「長年住み慣れ, 愛着がある」29.9%、「住宅の都合」21.1%と続いており、この順位は前回調査とほとんど変化がみられなかった。



複数回答のため回答割合合計は100%を上回る

● 前回調査における「住み続けたい理由」の上位5項目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
項目	自然環境がよい	交通の便がよい	長年住み慣れ, 愛着がある	住宅の都合	買い物の便がよい

【性別にみた「住み続けたい理由」】

住み続けたい理由の割合を性別にみると、「交通の便がよい」「仕事の関係」では男性が女性よりも多く、5.0%、5.5%ずつそれぞれ多かった。男女合計の住み続けたい理由の第1位は「自然環境がよい」だが、男性に関しては「自然環境がよい」を上回って「交通の便がよい」が最も多かった。

	回答者数	合計	1. 自然環境がよい	2. 公共施設などが整備されている	3. 交通の便がよい	4. 買い物の便がよい	5. 子育てがしやすい(相談体制や保育園など)	6. 子どもの教育環境がよい	7. 人間関係がよい	8. 老後が安心できる		
全体	1,072 (100.0)	1,982 (184.9)	375 (35.0)	12 (1.1)	366 (34.1)	146 (13.6)	11 (1.0)	46 (4.3)	65 (6.1)	6 (0.6)		
性別	1. 男	438 (100.0)	821 (187.4)	155 (35.4)	8 (1.8)	162 (37.0)	50 (11.4)	3 (0.7)	12 (2.7)	23 (5.3)	4 (0.9)	
	2. 女	622 (100.0)	1,140 (183.3)	215 (34.6)	4 (0.6)	199 (32.0)	94 (15.1)	8 (1.3)	34 (5.5)	42 (6.8)	2 (0.3)	
	3. 無回答	12 (100.0)	21 (175.0)	5 (41.7)	0 (-)	5 (41.7)	2 (16.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	
			9. 医療や福祉が充実している	10. 長年住み慣れ、愛着がある	11. 歴史や文化に愛着がある	12. 近くに農地がある	13. 仕事の関係	14. 学校の関係	15. 住宅の都合	16. 家族の都合	17. その他	18. 無回答
全体	24 (2.2)	321 (29.9)	37 (3.5)	33 (3.1)	90 (8.4)	30 (2.8)	226 (21.1)	80 (7.5)	28 (2.6)	86 (8.0)		
性別	1. 男	14 (3.2)	136 (31.1)	16 (3.7)	9 (2.1)	51 (11.6)	10 (2.3)	90 (20.5)	33 (7.5)	13 (3.0)	32 (7.3)	
	2. 女	10 (1.6)	180 (28.9)	21 (3.4)	24 (3.9)	38 (6.1)	20 (3.2)	135 (21.7)	47 (7.6)	15 (2.4)	52 (8.4)	
	3. 無回答	0 (-)	5 (41.7)	0 (-)	0 (-)	1 (8.3)	0 (-)	1 (8.3)	0 (-)	0 (-)	2 (16.7)	

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
 複数回答であるために合計は回答者数を上回る
 ()内は回答者数を100とした割合

【学区別にみた「住み続けたい理由」】

住み続けたい理由として多くあげられている回答について、学区別にみてばらつきがあったものは以下のとおりであった。「自然環境がよい」は第四・第五中学校区で割合が高く、第二中学校区で低かった。「交通の便がよい」は第二中学校区で高く、第五・第三中学校区で低かった。「長年住み慣れ、愛着がある」は、第四中学校区で低く、第五中学校区で高かった。

一方、全体でみた時に選択されている割合はやや低い「買い物の便がよい」についても、第二中学校区では回答割合が高く、第四・第五中学校区では割合が低く、ばらつきがみられた。

	回答者数	合計	1. 自然環境がよい	2. 公共施設などが整備されている	3. 交通の便がよい	4. 買い物の便がよい	5. 子育てがしやすい(相談体制や保育園など)	6. 子どもの教育環境がよい	7. 人間関係がよい	8. 老後が安心できる		
全体	1,072 (100.0)	1,982 (184.9)	375 (35.0)	12 (1.1)	366 (34.1)	146 (13.6)	11 (1.0)	46 (4.3)	65 (6.1)	6 (0.6)		
F8 学区	1. 第一中学校区	254 (100.0)	475 (187.0)	89 (35.0)	2 (0.8)	95 (37.4)	28 (11.0)	2 (0.8)	9 (3.5)	18 (7.1)	3 (1.2)	
	2. 第二中学校区	233 (100.0)	429 (184.1)	41 (17.6)	1 (0.4)	125 (53.6)	63 (27.0)	4 (1.7)	1 (0.4)	6 (2.6)	0 (-)	
	3. 第三中学校区	189 (100.0)	347 (183.6)	64 (33.9)	7 (3.7)	41 (21.7)	20 (10.6)	2 (1.1)	16 (8.5)	13 (6.9)	0 (-)	
	4. 第四中学校区	193 (100.0)	360 (186.5)	88 (45.6)	1 (0.5)	73 (37.8)	14 (7.3)	1 (0.5)	6 (3.1)	12 (6.2)	1 (0.5)	
	5. 第五中学校区	174 (100.0)	319 (183.3)	81 (46.6)	1 (0.6)	22 (12.6)	16 (9.2)	2 (1.1)	12 (6.9)	14 (8.0)	2 (1.1)	
	6. 無回答	29 (100.0)	52 (179.3)	12 (41.4)	0 (-)	10 (34.5)	5 (17.2)	0 (-)	2 (6.9)	2 (6.9)	0 (-)	
			9. 医療や福祉が充実している	10. 長年住み慣れ、愛着がある	11. 歴史や文化に愛着がある	12. 近くに農地がある	13. 仕事の関係	14. 学校の関係	15. 住宅の都合	16. 家族の都合	17. その他	18. 無回答
全体	24 (2.2)	321 (29.9)	37 (3.5)	33 (3.1)	90 (8.4)	30 (2.8)	226 (21.1)	80 (7.5)	28 (2.6)	86 (8.0)		
F8 学区	1. 第一中学校区	7 (2.8)	83 (32.7)	11 (4.3)	12 (4.7)	15 (5.9)	6 (2.4)	57 (22.4)	12 (4.7)	8 (3.1)	18 (7.1)	
	2. 第二中学校区	5 (2.1)	66 (28.3)	4 (1.7)	1 (0.4)	21 (9.0)	4 (1.7)	40 (17.2)	22 (9.4)	5 (2.1)	20 (8.6)	
	3. 第三中学校区	2 (1.1)	58 (30.7)	4 (2.1)	8 (4.2)	21 (11.1)	8 (4.2)	49 (25.9)	13 (6.9)	6 (3.2)	15 (7.9)	
	4. 第四中学校区	6 (3.1)	45 (23.3)	11 (5.7)	3 (1.6)	17 (8.8)	4 (2.1)	41 (21.2)	13 (6.7)	8 (4.1)	16 (8.3)	
	5. 第五中学校区	3 (1.7)	62 (35.6)	6 (3.4)	8 (4.6)	12 (6.9)	7 (4.0)	37 (21.3)	18 (10.3)	1 (0.6)	15 (8.6)	
	6. 無回答	1 (3.4)	7 (24.1)	1 (3.4)	1 (3.4)	4 (13.8)	1 (3.4)	2 (6.9)	2 (6.9)	0 (-)	2 (6.9)	

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
 複数回答であるために合計は回答者数を上回る
 () 内は回答者数を100とした割合

【問1の「住み良さ」回答別にみた「住み続けたい理由】

住み良いとする回答者は、住み続けたい理由として「自然環境がよい」をあげる割合が特に多くみられた。「自然環境がよい」は、これ以外の理由との差が大きいと同時に、「まあまあ住み良い」とする回答者グループでの回答割合とも大きな差があった。

まあまあ住み良いとする回答者では、「交通の便がよい」「長年住み慣れ、愛着がある」「自然環境がよい」の順に割合が高かった。「まあまあ住み良い」のグループでは、「住み良い」グループよりも「住宅の都合」の割合が多い傾向がみられた。

		回答者数	合計	1. 自然環境がよい	2. 公共施設などが整備されている	3. 交通の便がよい	4. 買い物の便がよい	5. 子育てがしやすい(相談体制や保育園など)	6. 子どもの教育環境がよい	7. 人間関係がよい	8. 老後が安心できる
全体		1,072 (100.0)	1,982 (184.9)	375 (35.0)	12 (1.1)	366 (34.1)	146 (13.6)	11 (1.0)	46 (4.3)	65 (6.1)	6 (0.6)
問1 国分寺市の住み良さ	1. 住み良い	297 (100.0)	552 (185.9)	151 (50.8)	6 (2.0)	105 (35.4)	35 (11.8)	5 (1.7)	15 (5.1)	21 (7.1)	4 (1.3)
	2. まあまあ住み良い	724 (100.0)	1,338 (184.8)	213 (29.4)	6 (0.8)	255 (35.2)	109 (15.1)	6 (0.8)	31 (4.3)	42 (5.8)	1 (0.1)
	3. あまり住み良くない	36 (100.0)	63 (175.0)	7 (19.4)	0 (-)	3 (8.3)	2 (5.6)	0 (-)	0 (-)	2 (5.6)	1 (2.8)
	4. 住みにくい	5 (100.0)	10 (200.0)	1 (20.0)	0 (-)	2 (40.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. その他	3 (100.0)	6 (200.0)	0 (-)	0 (-)	1 (33.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	6. 無回答	7 (100.0)	13 (185.7)	3 (42.9)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
		9. 医療や福祉が充実している	10. 長年住み慣れ、愛着がある	11. 歴史や文化に愛着がある	12. 近くに農地がある	13. 仕事の関係	14. 学校の関係	15. 住宅の都合	16. 家族の都合	17. その他	18. 無回答
全体		24 (2.2)	321 (29.9)	37 (3.5)	33 (3.1)	90 (8.4)	30 (2.8)	226 (21.1)	80 (7.5)	28 (2.6)	86 (8.0)
問1 国分寺市の住み良さ	1. 住み良い	10 (3.4)	89 (30.0)	9 (3.0)	9 (3.0)	15 (5.1)	6 (2.0)	29 (9.8)	11 (3.7)	4 (1.3)	28 (9.4)
	2. まあまあ住み良い	13 (1.8)	215 (29.7)	27 (3.7)	21 (2.9)	69 (9.5)	21 (2.9)	177 (24.4)	54 (7.5)	20 (2.8)	58 (8.0)
	3. あまり住み良くない	0 (-)	10 (27.8)	1 (2.8)	2 (5.6)	2 (5.6)	3 (8.3)	17 (47.2)	10 (27.8)	3 (8.3)	0 (-)
	4. 住みにくい	0 (-)	2 (40.0)	0 (-)	0 (-)	3 (60.0)	0 (-)	0 (-)	2 (40.0)	0 (-)	0 (-)
	5. その他	1 (33.3)	1 (33.3)	0 (-)	0 (-)	1 (33.3)	0 (-)	0 (-)	2 (66.7)	0 (-)	0 (-)
	6. 無回答	0 (-)	4 (57.1)	0 (-)	1 (14.3)	0 (-)	0 (-)	3 (42.9)	1 (14.3)	1 (14.3)	0 (-)

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計

複数回答であるために合計は回答者数を上回る

()内は回答者数を100とした割合

【問2 今後の居住意向別にみた「住み続けたい」理由】

住み続けたいとする回答者は、住み続けたい理由として「自然環境がよい」をあげる人の割合が特に多く、「当分は住み続けたい」とする回答者は、「交通の便がよい」「自然環境がよい」「住宅の都合」の順に割合が高かった。この傾向は「当分は住み続けたい」の第3位「住宅の都合」を除けば、前述の「住み良さ」別の傾向と同様であった。

		回答者数	合計	1. 自然環境 がよい	2. 公共施設 などが整 備されて いる	3. 交通の便 がよい	4. 買い物の 便がよい	5. 子育てが しやすい (相談体 制や保育 園など)	6. 子どもの 教育環境 がよい	7. 人間関係 がよい	8. 老後が安 心できる	
全 体		1,072 (100.0)	1,982 (184.9)	375 (35.0)	12 (1.1)	366 (34.1)	146 (13.6)	11 (1.0)	46 (4.3)	65 (6.1)	6 (0.6)	
問2 今後の 居住意 向	1. 住み続けたい	564 (100.0)	1,053 (186.7)	235 (41.7)	4 (0.7)	184 (32.6)	65 (11.5)	5 (0.9)	23 (4.1)	42 (7.4)	5 (0.9)	
	2. 当分は住み続けたい	508 (100.0)	929 (182.9)	140 (27.6)	8 (1.6)	182 (35.8)	81 (15.9)	6 (1.2)	23 (4.5)	23 (4.5)	1 (0.2)	
	3. できれば移転したい	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	4. 移転したい	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. その他	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	6. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
		9. 医療や福 祉が充実 している	10. 長年住み 慣れ、愛 着がある	11. 歴史や文 化に愛着 がある	12. 近くに農 地がある	13. 仕事の関 係	14. 学校の関 係	15. 住宅の都 合	16. 家族の都 合	17. その他	18. 無回答	
全 体		24 (2.2)	321 (29.9)	37 (3.5)	33 (3.1)	90 (8.4)	30 (2.8)	226 (21.1)	80 (7.5)	28 (2.6)	86 (8.0)	
問2 今後の 居住意 向	1. 住み続けたい	12 (2.1)	219 (38.8)	22 (3.9)	15 (2.7)	25 (4.4)	10 (1.8)	99 (17.6)	27 (4.8)	15 (2.7)	46 (8.2)	
	2. 当分は住み続けたい	12 (2.4)	102 (20.1)	15 (3.0)	18 (3.5)	65 (12.8)	20 (3.9)	127 (25.0)	53 (10.4)	13 (2.6)	40 (7.9)	
	3. できれば移転したい	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	
	4. 移転したい	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	
	5. その他	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	
	6. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	

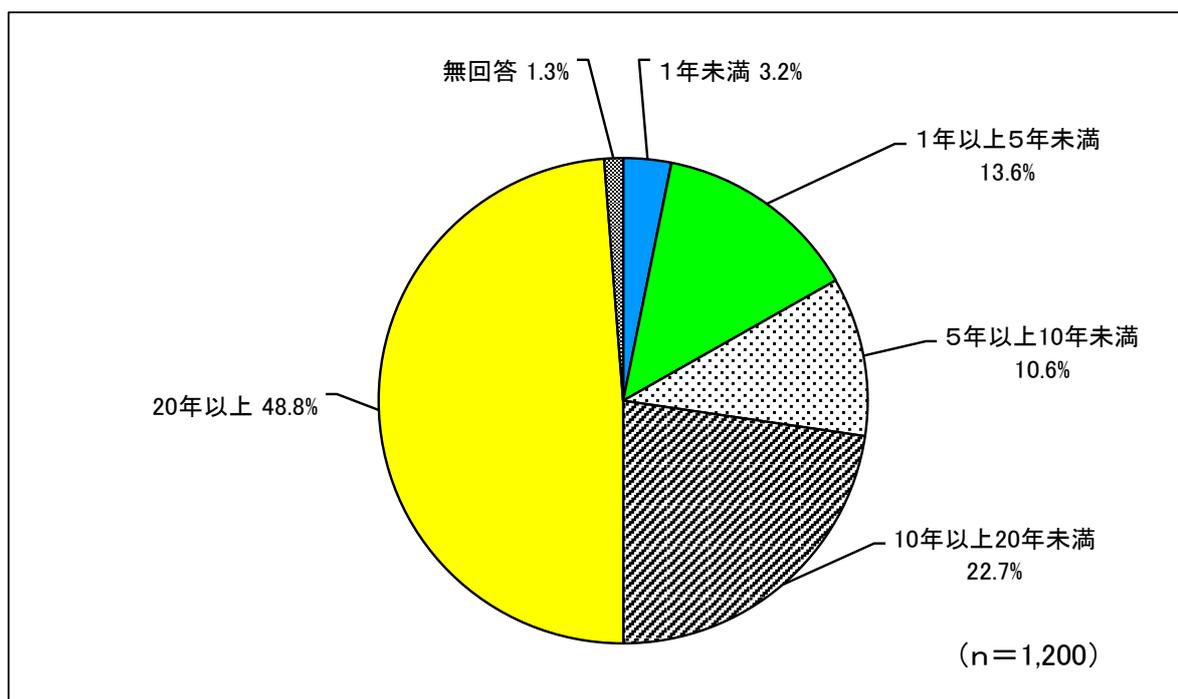
回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
複数回答であるために合計は回答者数を上回る
()内は回答者数を100とした割合

問3 あなたは、国分寺市に住んで何年になりますか。

【ポイント】 48.8%が「20年以上」、71.5%が「10年以上」居住している

【全体的な回答の傾向】

国分寺市居住歴が「20年以上」の回答者の割合が48.8%、「10年以上20年未満」も合計すると71.5%が国分寺市に10年以上居住している。これは前回調査の割合をいずれも上回っており、長期居住者はあまり流動していないことが推測される。



● 前回調査における国分寺市居住歴

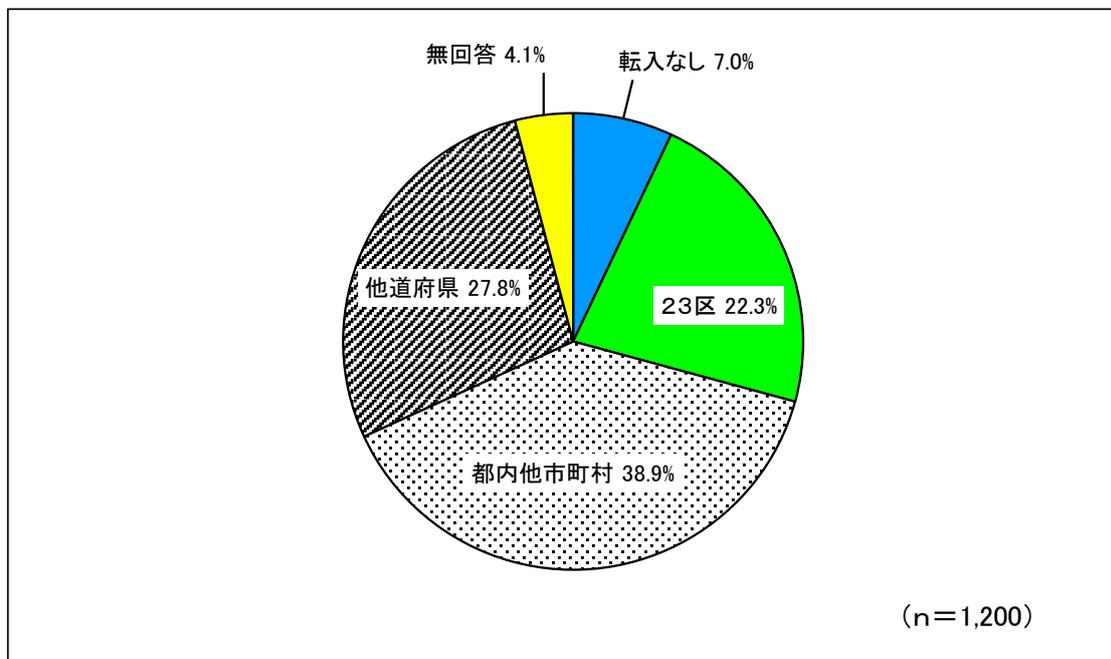
項目	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	無回答
回答割合	4.6%	12.4%	13.8%	23.2%	45.4%	0.6%

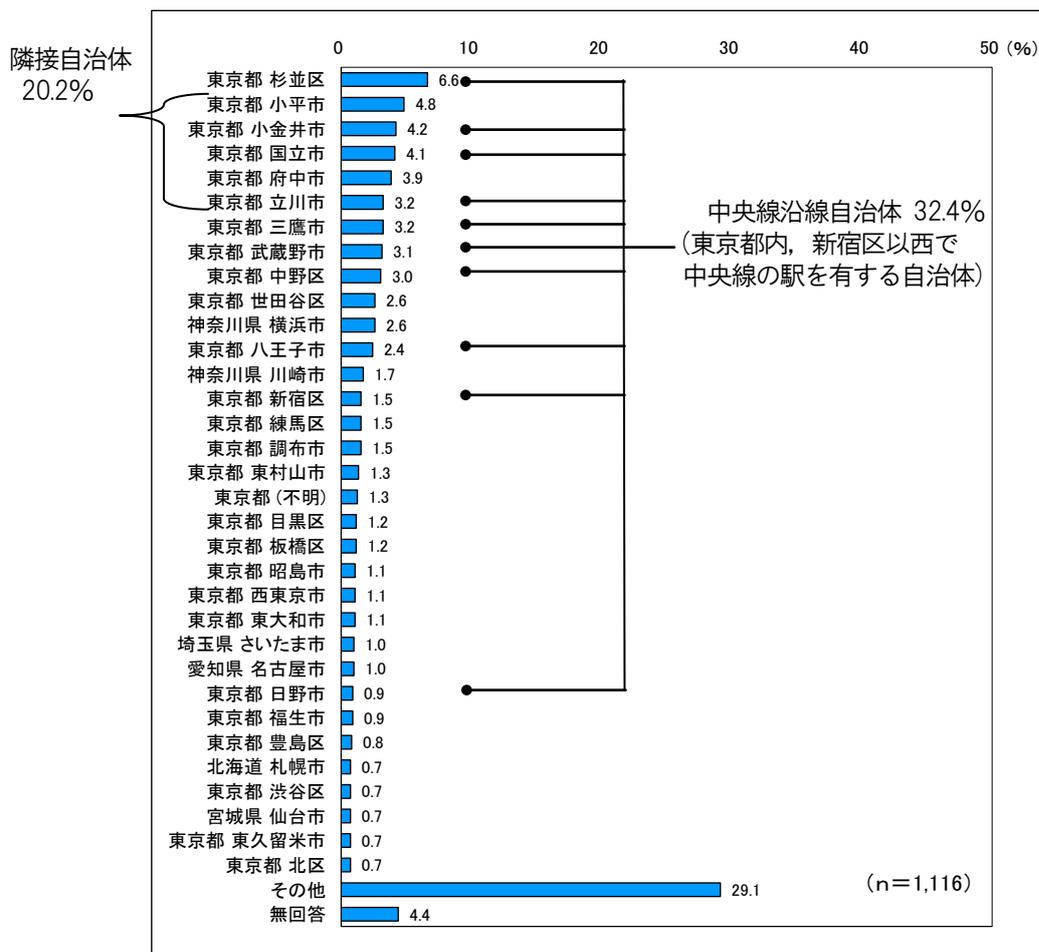
問3-1 国分寺市に住む直前はどちらにお住まいでしたか。

【ポイント】 61.2%が都内（23区及び都内他市町村）からの転入，
27.8%が他道府県からの転入。転入経験者のうち，隣接自治体からが20.2%，
中央線沿線自治体からが32.4%にのぼる

【全体的な回答の傾向】

都内23区及び都内他市町村を合わせると61.2%が都内から転入してきており，他道府県からの転入27.8%の倍以上にのぼった。さらに，都内のうち，国分寺市に隣接する自治体からの転入が全体の20.2%，中央線沿線の自治体（ここでは新宿区以西の中央線の駅を有する東京都の自治体とする）が32.4%にのぼった。





【問3 国分寺市居住歴別にみた「転入前の居住地」】

1年未満の居住者グループにおいてのみ、最も割合が多いのは他道府県からの転入であるが、このグループを除けば都内他市町村からの転入の割合が最も多く、特に「1年以上5年未満」と「10年以上20年未満」の回答者でこの傾向が強い。「20年以上」の居住歴になると、23区・都内他市町村・他道府県の割合の差は小さい。

		合 計	1. 転入なし	2. 2 3 区	3. 都内他市 町村	4. 他道府県	5. 無回答
全 体		1,200 (100.0)	84 (7.0)	267 (22.3)	467 (38.9)	333 (27.8)	49 (4.1)
問 3 国 分 寺 市 居 住 歴	1. 1年未満	38 (100.0)	0 (-)	9 (23.7)	11 (28.9)	17 (44.7)	1 (2.6)
	2. 1年以上5年未満	163 (100.0)	2 (1.2)	25 (15.3)	77 (47.2)	56 (34.4)	3 (1.8)
	3. 5年以上10年未満	127 (100.0)	0 (-)	27 (21.3)	53 (41.7)	47 (37.0)	0 (-)
	4. 10年以上20年未満	272 (100.0)	5 (1.8)	56 (20.6)	132 (48.5)	75 (27.6)	4 (1.5)
	5. 20年以上	585 (100.0)	76 (13.0)	150 (25.6)	192 (32.8)	135 (23.1)	32 (5.5)
	6. 無回答	15 (100.0)	1 (6.7)	0 (-)	2 (13.3)	3 (20.0)	9 (60.0)

注：()内はサンプル数を100とした割合

【世帯構成別にみた「転入前の居住地」】

全体で最も多い「都内他市町村」の割合が二世帯世帯では特に多い。三世帯世帯では他道府県からの転入のほうが多くみられた。

		合 計	1. 転入なし	2. 2 3 区	3. 都内他市 町村	4. 他道府県	5. 無回答
全 体		1,200 (100.0)	84 (7.0)	267 (22.3)	467 (38.9)	333 (27.8)	49 (4.1)
F 5 世 帯 構 成	1. 単身	161 (100.0)	8 (5.0)	36 (22.4)	61 (37.9)	48 (29.8)	8 (5.0)
	2. 夫婦のみ	338 (100.0)	17 (5.0)	90 (26.6)	130 (38.5)	86 (25.4)	15 (4.4)
	3. 二世帯世帯(親と子どもなど)	574 (100.0)	46 (8.0)	116 (20.2)	237 (41.3)	159 (27.7)	16 (2.8)
	4. 三世帯世帯(親と子どもと孫など)	56 (100.0)	6 (10.7)	9 (16.1)	15 (26.8)	22 (39.3)	4 (7.1)
	5. その他	54 (100.0)	7 (13.0)	14 (25.9)	17 (31.5)	14 (25.9)	2 (3.7)
	6. 無回答	17 (100.0)	0 (-)	2 (11.8)	7 (41.2)	4 (23.5)	4 (23.5)

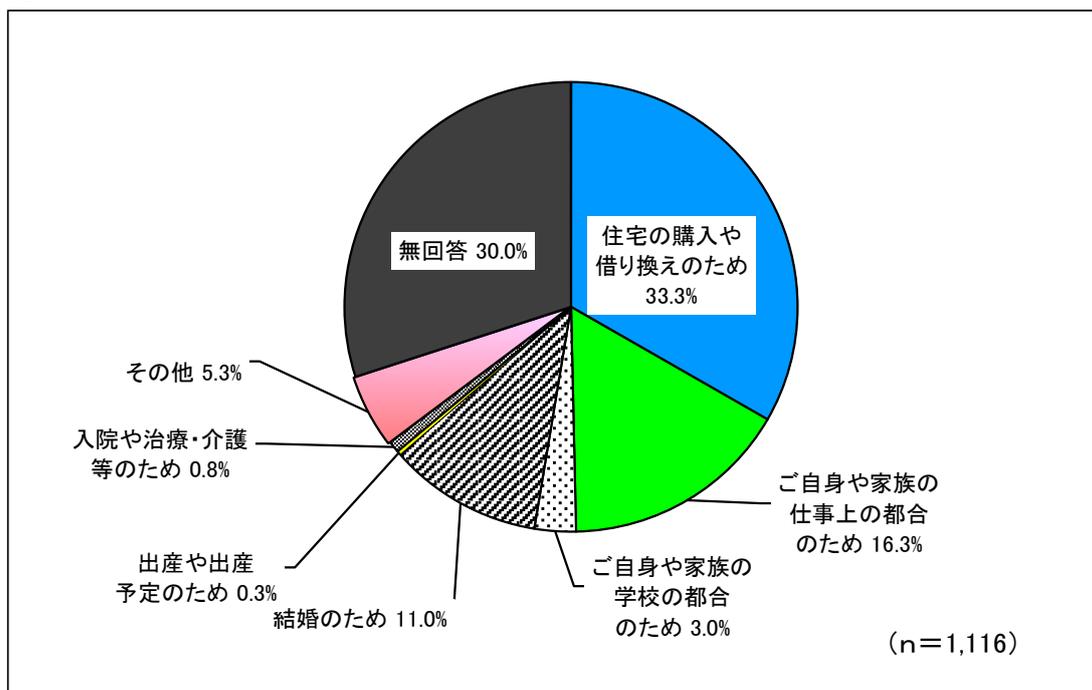
注：()内はサンプル数を100とした割合

問3-2 《問3-1で「国分寺市で出生，他の市区町村に住んだことがない」に○をつけた方以外の方に伺います。》国分寺市に転入してきた理由は何ですか。

【ポイント】 転入者のうち、「住宅の購入や借り換えのため」が33.3%，
 「ご自身や家族の仕事上の都合のため」16.3%，
 「ご自身や家族の学校の都合のため」3.0%，「結婚のため」11.0%

【全体的な回答の傾向】

転入経験のある回答者に，転入してきた理由を尋ねたところ，「住宅の購入や借り換えのため」の割合が33.3%で最も多く，次いで「ご自身や家族の仕事上の都合(就職・転勤・転職・退職など)のため」が16.3%であり，「ご自身や家族の学校の都合(進学・入学・転校)のため」の3.0%と合わせると19.3%であった。「結婚のため」11.0%は「出産や出産予定のため」0.3%と合計すると11.3%であった。



【性別にみた「国分寺市への転入理由」】

国分寺市への転入理由を性別にみると「結婚(事実婚を含む)のため」の割合は女性のほうが男性より6.2%多かった。

		合計	1. 住宅の購入や借り換えのため	2. ご自身や家族の仕事上の都合(就職・転勤・転職・退職など)のため	3. ご自身や家族の学校の都合(進学・入学・転校など)のため	4. 結婚(事実婚を含む)のため	5. 出産や出産予定のため	6. 入院や治療・介護等のため	7. その他	8. 無回答
全体		1,116 (100.0)	372 (33.3)	182 (16.3)	33 (3.0)	123 (11.0)	3 (0.3)	9 (0.8)	59 (5.3)	335 (30.0)
F1 性別	1. 男	437 (100.0)	153 (35.0)	81 (18.5)	13 (3.0)	32 (7.3)	1 (0.2)	4 (0.9)	22 (5.0)	131 (30.0)
	2. 女	665 (100.0)	215 (32.3)	99 (14.9)	19 (2.9)	90 (13.5)	2 (0.3)	5 (0.8)	36 (5.4)	199 (29.9)
	3. 無回答	14 (100.0)	4 (28.6)	2 (14.3)	1 (7.1)	1 (7.1)	0 (-)	0 (-)	1 (7.1)	5 (35.7)

注:()内はサンプル数を100とした割合

【問2 今後の居留意向別にみた「国分寺市への転入理由」】

今後の居留意向別に国分寺市への転入理由をみると、住み続けたい意向が強い回答者ほど、「住宅の購入や借り換えのため」での転入が多い傾向がみられた。逆に住み続けたい意向が弱いほど「ご自身や家族の仕事上の都合(就職・転勤・転職・退職など)のため」での転入が多い傾向がみられた(ただしいずれもサンプルの少ない「移転したい」は除いた)。

		合計	1. 住宅の購入や借り換えのため	2. ご自身や家族の仕事上の都合(就職・転勤・転職・退職など)のため	3. ご自身や家族の学校の都合(進学・入学・転校など)のため	4. 結婚(事実婚を含む)のため	5. 出産や出産予定のため	6. 入院や治療・介護等のため	7. その他	8. 無回答
全体		1,116 (100.0)	372 (33.3)	182 (16.3)	33 (3.0)	123 (11.0)	3 (0.3)	9 (0.8)	59 (5.3)	335 (30.0)
問2 今後の居留意向	1. 住み続けたい	506 (100.0)	179 (35.4)	80 (15.8)	8 (1.6)	56 (11.1)	1 (0.2)	3 (0.6)	29 (5.7)	150 (29.6)
	2. 当分は住み続けたい	488 (100.0)	160 (32.8)	80 (16.4)	19 (3.9)	58 (11.9)	1 (0.2)	4 (0.8)	25 (5.1)	141 (28.9)
	3. できれば移転したい	81 (100.0)	23 (28.4)	20 (24.7)	2 (2.5)	6 (7.4)	1 (1.2)	0 (-)	3 (3.7)	26 (32.1)
	4. 移転したい	11 (100.0)	2 (18.2)	1 (9.1)	2 (18.2)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	6 (54.5)
	5. その他	13 (100.0)	2 (15.4)	1 (7.7)	2 (15.4)	1 (7.7)	0 (-)	1 (7.7)	1 (7.7)	5 (38.5)
	6. 無回答	17 (100.0)	6 (35.3)	0 (-)	0 (-)	2 (11.8)	0 (-)	1 (5.9)	1 (5.9)	7 (41.2)

注:()内はサンプル数を100とした割合

【問3 国分寺市居住歴別にみた「国分寺市への転入理由」】

おおよそ、居住歴が長くなるほど「住宅の購入や借り換えのため」の割合が高い傾向がある。「ご自身や家族の仕事上の都合(就職・転勤・転職・退職など)のため」による転入の割合は「10年未満」では居住歴の長短による差はほとんどみられない。

		合 計	1. 住宅の購 入や借り 換えのため	2. ご自身や 家族の仕 事上の都 合(就 職・転 勤・転 職・退職 など)の ため	3. ご自身や 家族の学 校の都合 (進学・ 入学・転 校など) のため	4. 結婚(事 実婚を含 む)のため	5. 出産や出 産予定の ため	6. 入院や治 療・介護 等のため	7. その他	8. 無回答
全 体		1,116 (100.0)	372 (33.3)	182 (16.3)	33 (3.0)	123 (11.0)	3 (0.3)	9 (0.8)	59 (5.3)	335 (30.0)
問 3 国 分 寺 市 居 住 歴	1. 1年未満	38 (100.0)	4 (10.5)	7 (18.4)	1 (2.6)	5 (13.2)	0 (-)	1 (2.6)	5 (13.2)	15 (39.5)
	2. 1年以上5年未満	161 (100.0)	40 (24.8)	34 (21.1)	8 (5.0)	21 (13.0)	0 (-)	2 (1.2)	6 (3.7)	50 (31.1)
	3. 5年以上10年未満	127 (100.0)	38 (29.9)	25 (19.7)	5 (3.9)	9 (7.1)	3 (2.4)	2 (1.6)	4 (3.1)	41 (32.3)
	4. 10年以上20年未満	267 (100.0)	104 (39.0)	41 (15.4)	8 (3.0)	25 (9.4)	0 (-)	1 (0.4)	14 (5.2)	74 (27.7)
	5. 20年以上	509 (100.0)	186 (36.5)	72 (14.1)	10 (2.0)	63 (12.4)	0 (-)	3 (0.6)	30 (5.9)	145 (28.5)
	6. 無回答	14 (100.0)	0 (-)	3 (21.4)	1 (7.1)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	10 (71.4)

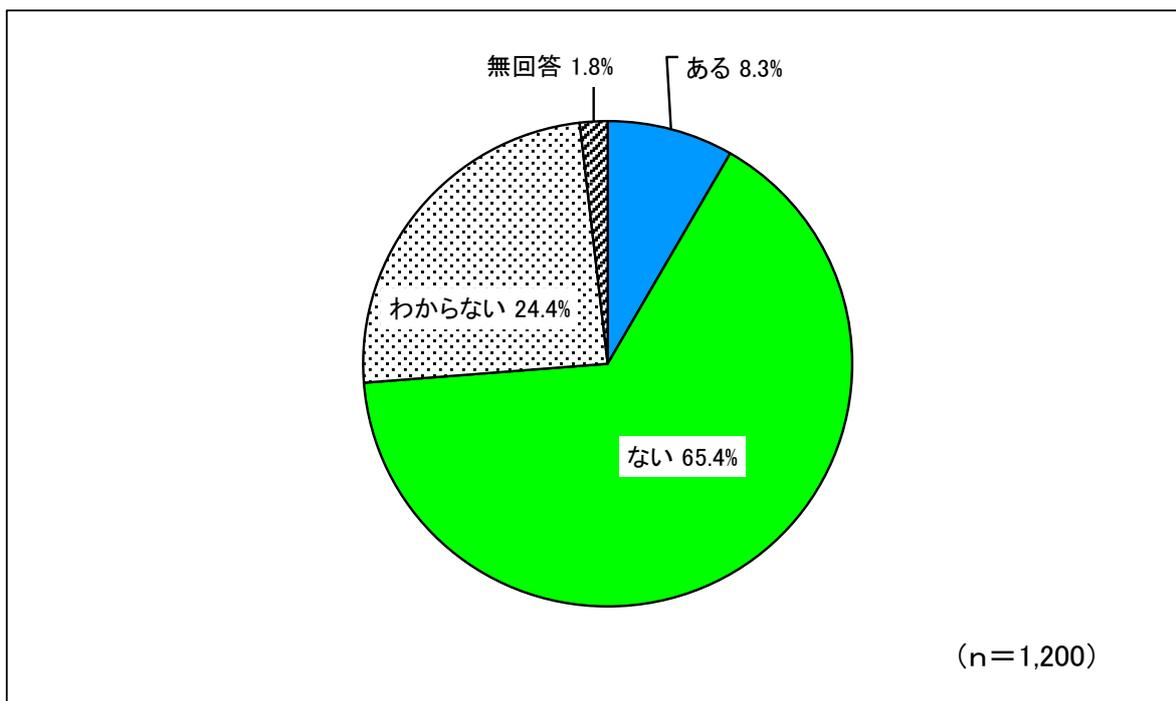
注:()内はサンプル数を100とした割合

問4 国分寺市から5年以内に転出する可能性や予定がありますか。

【ポイント】 65.4%が5年以内の転出の可能性・予定なし

【全体的な回答の傾向】

今後5年以内の転出の可能性・予定を尋ねたところ、可能性・予定は「ない」がの割合が65.4%を占め、「ある」は8.3%に留まった。



【問2-1 「住み続けたい理由」別にみた転出する可能性や予定】

住み続けたい理由として多くの回答者が選択した理由のみに限ってみると、「交通の便がよい」という理由をあげた回答者の転出の可能性・予定が「ない」は65.8%であり、「自然環境がよい」「長年住み慣れ、愛着がある」「住宅の都合」の回答者の「ない」に比べて割合が低い。

		合 計	1. ある	2. ない	3. わからない	4. 無回答
全 体		1,200 (100.0)	100 (8.3)	785 (65.4)	293 (24.4)	22 (1.8)
問 2 ・ 1 住 み 続 け た い 理 由	1. 自然環境がよい	375 (100.0)	22 (5.9)	281 (74.9)	66 (17.6)	6 (1.6)
	2. 公共施設などが整備されている	12 (100.0)	2 (16.7)	7 (58.3)	3 (25.0)	0 (-)
	3. 交通の便がよい	366 (100.0)	22 (6.0)	241 (65.8)	94 (25.7)	9 (2.5)
	4. 買い物の便がよい	146 (100.0)	6 (4.1)	96 (65.8)	42 (28.8)	2 (1.4)
	5. 子育てがしやすい(相談体制や保育園など)	11 (100.0)	2 (18.2)	6 (54.5)	3 (27.3)	0 (-)
	6. 子どもの教育環境がよい	46 (100.0)	2 (4.3)	34 (73.9)	10 (21.7)	0 (-)
	7. 人間関係がよい	65 (100.0)	4 (6.2)	51 (78.5)	9 (13.8)	1 (1.5)
	8. 老後が安心できる	6 (100.0)	1 (16.7)	5 (83.3)	0 (-)	0 (-)
	9. 医療や福祉が充実している	24 (100.0)	1 (4.2)	16 (66.7)	7 (29.2)	0 (-)
	10. 長年住み慣れ、愛着がある	321 (100.0)	15 (4.7)	256 (79.8)	45 (14.0)	5 (1.6)
	11. 歴史や文化に愛着がある	37 (100.0)	1 (2.7)	27 (73.0)	9 (24.3)	0 (-)
	12. 近くに農地がある	33 (100.0)	4 (12.1)	21 (63.6)	7 (21.2)	1 (3.0)
	13. 仕事の関係	90 (100.0)	7 (7.8)	47 (52.2)	36 (40.0)	0 (-)
	14. 学校の関係	30 (100.0)	2 (6.7)	19 (63.3)	9 (30.0)	0 (-)
	15. 住宅の都合	226 (100.0)	8 (3.5)	171 (75.7)	46 (20.4)	1 (0.4)
	16. 家族の都合	80 (100.0)	8 (10.0)	46 (57.5)	26 (32.5)	0 (-)
	17. その他	28 (100.0)	3 (10.7)	20 (71.4)	4 (14.3)	1 (3.6)
	18. 無回答	86 (100.0)	9 (10.5)	57 (66.3)	17 (19.8)	3 (3.5)

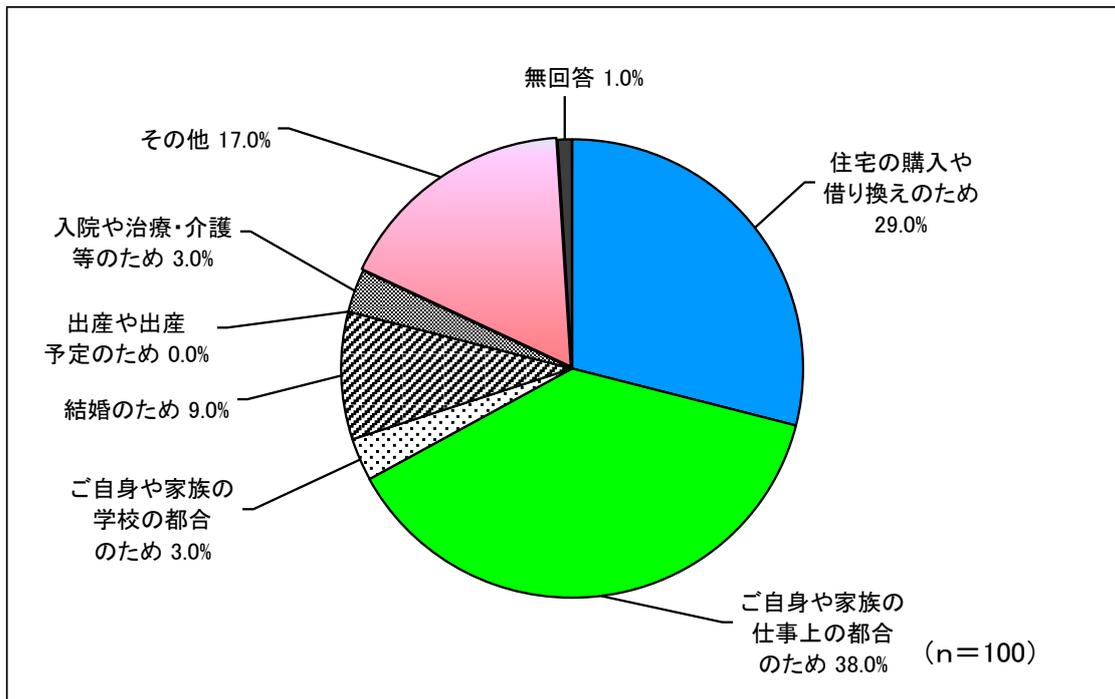
注:()内はサンプル数を100とした割合

問4-1 《問4で「1 ある」とお答えの方に伺います。》転出するとしたらどのような理由によりますか。おもな理由を1つ選んでください。

【ポイント】 「住宅の購入や借り換えのため」が29.0%で転入者の理由とほぼ同割合
 「ご自身や家族の仕事上の都合のため」38.0%、「ご自身や家族の学校の都合のため」3.0%の合計が41.0%で、転入者の理由のほぼ倍

【全体的な回答の傾向】

今後5年以内の転出の可能性・予定があったとした回答者に、転出する場合の理由を尋ねたところ、「ご自身や家族の仕事上の都合(就職・転勤・転職・退職など)のため」38.0%が最も多く、次いで「住宅の購入や借り換えのため」29.0%、「結婚のため」9.0%であった。これらの転出時の理由を、問3-2の転入してきた時の理由(p.15)と比較すると、「住宅の購入や借り換えのため」の割合は、転入・転出ともほぼ同程度の割合であった。一方、「ご自身や家族の仕事上の都合のため」「ご自身や家族の学校の都合(進学・入学・転校)のため」の割合は、転入理由では約2割であったが、転出理由では約4割とほぼ倍にのぼっている。



【性別にみた「転出する場合の転出理由】】

転出する場合の理由を性別にみると、「ご自身や家族の仕事上の都合のため」の割合では男性が女性を18.4%上回り、「結婚(事実婚を含む)のため」の割合では女性が男性を7.8%上回った。

		合 計	1. 住宅の購入や借り換えのため	2. ご自身や家族の仕事上の都合(就職・転勤・転職・退職など)のため	3. ご自身や家族の学校の都合(進学・入学・転校など)のため	4. 結婚(事実婚を含む)のため	5. 出産や出産予定のため	6. 入院や治療・介護等のため	7. その他	8. 無回答
全 体		100 (100.0)	29 (29.0)	38 (38.0)	3 (3.0)	9 (9.0)	0 (-)	3 (3.0)	17 (17.0)	1 (1.0)
F 1 性 別	1. 男	43 (100.0)	13 (30.2)	21 (48.8)	1 (2.3)	2 (4.7)	0 (-)	2 (4.7)	4 (9.3)	0 (-)
	2. 女	56 (100.0)	16 (28.6)	17 (30.4)	2 (3.6)	7 (12.5)	0 (-)	1 (1.8)	13 (23.2)	0 (-)
	3. 無回答	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0)

注:()内はサンプル数を100とした割合

【問1の「住み良さ」回答別にみた「転出する場合の転出理由】】

「住み良い」「まあまあ住み良い」とする回答者は、転出するとすれば「ご自身や家族の仕事上の都合のため」の割合が多く(「住み良い」で43.5%、「まあまあ住み良い」で41.4%)、次いで「住宅購入や借り換えのため」(「住み良い」で21.7%、「まあまあ住み良い」で27.6%)となっている。

一方、「あまり住み良くない」「住みにくい」とする回答者は、サンプル数は少ないものの、逆に「住宅購入や借り換えのため」の割合(「あまり住み良くない」40.0%、「住みにくい」44.4%)のほうが、「ご自身や家族の仕事上の都合のため」の割合(「あまり住み良くない」30.0%、「住みにくい」11.1%)を上回っている。

		合 計	1. 住宅の購入や借り換えのため	2. ご自身や家族の仕事上の都合(就職・転勤・転職・退職など)のため	3. ご自身や家族の学校の都合(進学・入学・転校など)のため	4. 結婚(事実婚を含む)のため	5. 出産や出産予定のため	6. 入院や治療・介護等のため	7. その他	8. 無回答
全 体		100 (100.0)	29 (29.0)	38 (38.0)	3 (3.0)	9 (9.0)	0 (-)	3 (3.0)	17 (17.0)	1 (1.0)
問 1 国 分 寺 市 の 住 み 良 さ	1. 住み良い	23 (100.0)	5 (21.7)	10 (43.5)	2 (8.7)	2 (8.7)	0 (-)	1 (4.3)	3 (13.0)	0 (-)
	2. まあまあ住み良い	58 (100.0)	16 (27.6)	24 (41.4)	1 (1.7)	6 (10.3)	0 (-)	1 (1.7)	9 (15.5)	1 (1.7)
	3. あまり住み良くない	10 (100.0)	4 (40.0)	3 (30.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (10.0)	2 (20.0)	0 (-)
	4. 住みにくい	9 (100.0)	4 (44.4)	1 (11.1)	0 (-)	1 (11.1)	0 (-)	0 (-)	3 (33.3)	0 (-)
	5. その他	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	6. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合

【問2の「居留意向」回答別にみた「転出する場合の転出理由」】

「住み続けたい」とする回答者は、転出するとすれば「ご自身や家族の仕事上の都合のため」の割合が多く、次いで「住宅購入や借り換えのため」となっている。一方、「当分は住み続けたい」とする回答者は、逆に「住宅購入や借り換えのため」のほうが、「ご自身や家族の仕事上の都合のため」の割合を上回っている。

	合 計	1. 住宅の購 入や借り 換えのた め	2. ご自身や 家族の仕 事上の都 合(就 職・転 勤・転 職・退職 など)の ため	3. ご自身や 家族の学 校の都合 (進学・ 入学・転 校など) のため	4. 結婚(事 実婚を含 む)のた め	5. 出産や出 産予定の ため	6. 入院や治 療・介護 等のため	7. その他	8. 無回答	
全 体	100 (100.0)	29 (29.0)	38 (38.0)	3 (3.0)	9 (9.0)	0 (-)	3 (3.0)	17 (17.0)	1 (1.0)	
問 2 今 後 の 居 住 意 向	1. 住み続けたい	16 (100.0)	2 (12.5)	8 (50.0)	1 (6.3)	1 (6.3)	0 (-)	2 (12.5)	2 (12.5)	0 (-)
	2. 当分は住み続けたい	51 (100.0)	19 (37.3)	17 (33.3)	2 (3.9)	4 (7.8)	0 (-)	1 (2.0)	7 (13.7)	1 (2.0)
	3. できれば移転したい	21 (100.0)	5 (23.8)	10 (47.6)	0 (-)	2 (9.5)	0 (-)	0 (-)	4 (19.0)	0 (-)
	4. 移転したい	7 (100.0)	1 (14.3)	1 (14.3)	0 (-)	2 (28.6)	0 (-)	0 (-)	3 (42.9)	0 (-)
	5. その他	3 (100.0)	2 (66.7)	1 (33.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	6. 無回答	2 (100.0)	0 (-)	1 (50.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合

問5 あなたの住んでいる地域（身近な生活範囲）についてどのように感じていますか。

【ポイント】 最も満足度が高いのは「自然や緑の豊かさ」75.7%

不満度が高いのは「歩行者、自転車のための安全性」46.3%

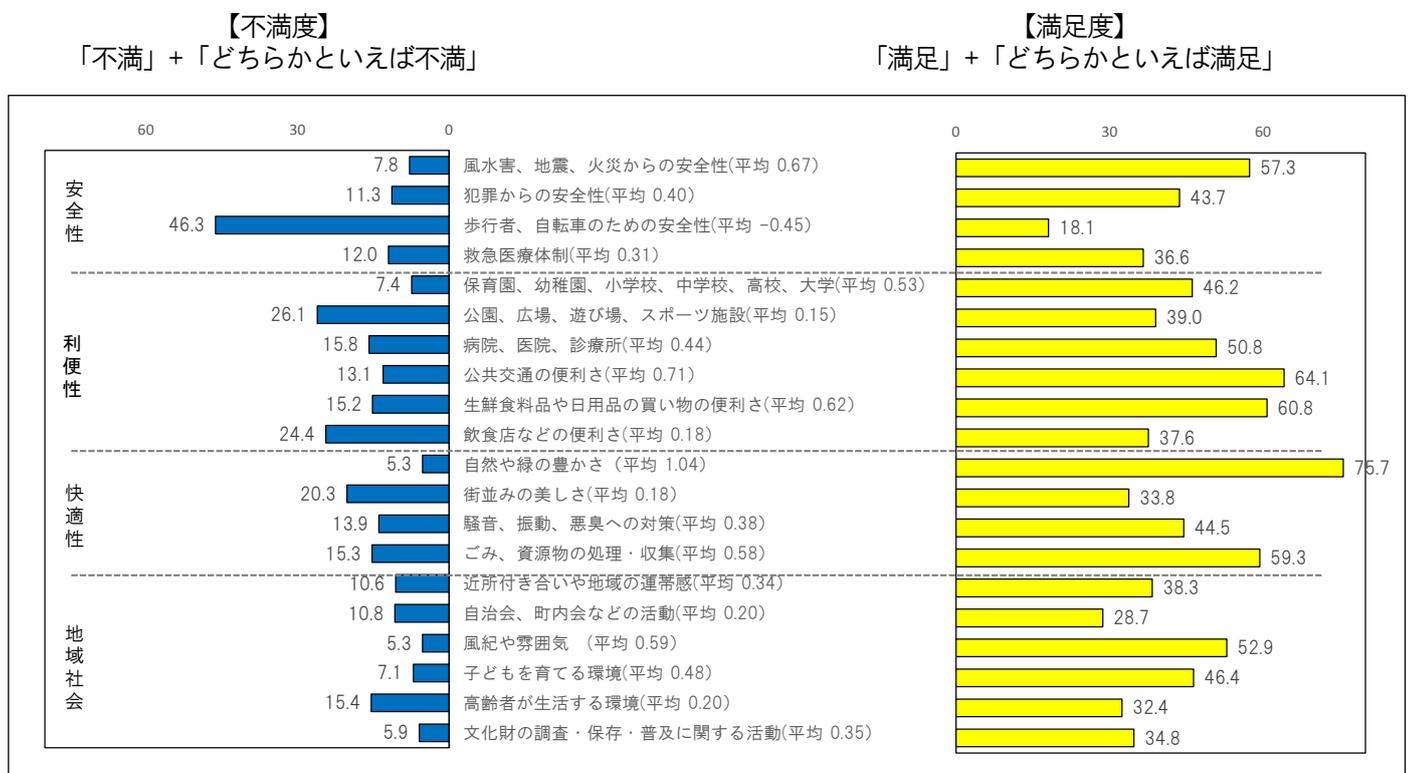
【全体的な回答の傾向】

身近な生活範囲の、特に安全性、利便性、快適性、地域社会に関わる 20 項目をあげ、それぞれについて「満足」から「不満足」までの5段階で回答してもらった。

「満足」と「どちらかといえば満足」を合計したくらしの満足度が高かったのは、「自然や緑の豊かさ」(75.7%)で、次いで「公共交通の便利さ」(64.1%)、「生鮮食料品や日用品の買い物の便利さ」(60.8%)、「ごみ、資源物の処理・収集」(59.3%)であった。

「不満」と「どちらかといえば不満」を合計したくらしの不満度は「歩行者、自転車のための安全性」(46.3%)が他を大きく上回って高かった。

また、「満足」=2点、「どちらかといえば満足」1点、「どちらかといえば不満」-1点、「不満」-2点で配点し、項目ごとに平均したところ、最も平均点が高かったのは「自然や緑の豊かさ」の1.04であり、次いで「公共交通の便利さ」0.71、「風水害、地震、火災からの安全性」の0.67であった。



【性別にみた「身近な生活範囲への満足度」】

身近な生活範囲への満足度を性別にみると、女性と比較して男性の満足度（「満足」「どちらかといえば満足」の合計）が高かったのは「風水害、地震、火災からの安全性」「犯罪からの安全性」「公園、広場、遊び場、スポーツ施設」「文化財の調査・保存・普及に関する活動」「保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学」「子どもを育てる環境」などであった。女性のほうが高かったのは「ごみ、資源物の処理・収集」等であり、相対的に男性のほうが満足度が高く、特に安全性や利便性の分野において満足度が高かった。

不満度（「不満」「どちらかといえば不満」の合計）についての男女差は、満足度と比較すると小さかったが、女性のほうが分野を問わず不満度が高い傾向にあった。

		満足+どちらかといえば満足			不満+どちらかといえば不満		
		男性	女性	男性-女性	男性	女性	男性-女性
安全性	1 風水害、地震、火災からの安全性	62.5	53.6	8.9	6.6	8.7	-2.1
	2 犯罪からの安全性	48.2	40.5	7.7	11.0	11.8	-0.8
	3 歩行者、自転車のための安全性	20.7	16.1	4.6	45.3	47.4	-2.0
	4 救急医療体制	38.7	35.1	3.6	12.0	11.9	0.1
利便性	5 保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学	49.7	44.0	5.7	6.8	7.8	-1.0
	6 公園、広場、遊び場、スポーツ施設	43.1	36.1	6.9	26.3	26.0	0.3
	7 病院、医院、診療所	51.6	50.1	1.5	16.6	15.5	1.1
	8 公共交通の便利さ	65.6	63.2	2.5	12.2	13.8	-1.6
	9 生鮮食料品や日用品の買い物の便利さ	62.9	58.7	4.2	13.0	16.9	-3.9
	10 飲食店などの便利さ	36.6	38.3	-1.6	23.4	25.3	-1.9
快適性	11 自然や緑の豊かさ	77.0	75.0	2.1	5.2	5.3	-0.1
	12 街並みの美しさ	34.2	33.7	0.4	20.1	20.5	-0.4
	13 騒音、振動、悪臭への対策	43.5	45.2	-1.8	16.4	11.9	4.4
	14 ごみ、資源物の処理・収集	56.1	61.6	-5.5	16.4	14.5	1.8
地域社会	15 近所付き合いや地域の連帯感	37.9	39.1	-1.2	9.3	11.4	-2.1
	16 自治会、町内会などの活動	28.6	29.0	-0.4	9.1	11.8	-2.7
	17 風紀や雰囲気	51.8	53.9	-2.2	4.1	5.8	-1.7
	18 子どもを育てる環境	49.9	44.4	5.5	6.0	8.0	-2.0
	19 高齢者が生活する環境	35.2	30.3	4.9	13.5	16.6	-3.2
	20 文化財の調査・保存・普及に関する活動	38.5	32.3	6.2	7.5	4.8	2.6

● 性別にみた満足度（満足+どちらかといえば満足 の割合合計 降順上位5項目）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	自然や緑の豊かさ	公共交通の便利さ	生鮮食料品や日用品の買い物の便利さ	風水害、地震、火災からの安全性	ごみ、資源物の処理・収集
女性	自然や緑の豊かさ	公共交通の便利さ	ごみ、資源物の処理・収集	生鮮食料品や日用品の買い物の便利さ	風紀や雰囲気

● 性別にみた不満足の程度（不満+どちらかといえば不満 の割合合計 降順上位5項目）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	歩行者、自転車のための安全性	公園、広場、遊び場、スポーツ施設	飲食店などの便利さ	街並みの美しさ	病院、医院、診療所
女性	歩行者、自転車のための安全性	公園、広場、遊び場、スポーツ施設	飲食店などの便利さ	街並みの美しさ	生鮮食料品や日用品の買い物の便利さ

II 市の財政・行政運営について(問6~8)

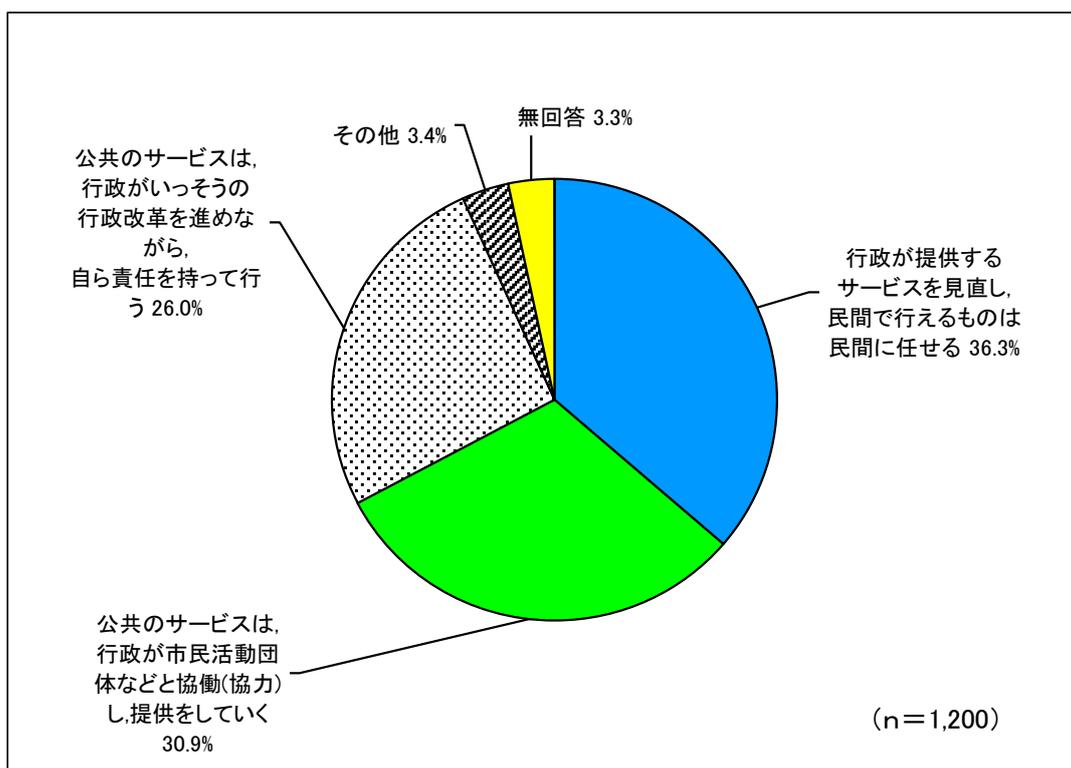
問6 市民が市に対して提供を希望するサービスが多様化する中で、行政の運営、サービスの提供の仕方について次のような考え方があります。次の中からあなたのお考えに近いものを1つ選んでください。

【ポイント】 行政サービスの提供は「行政が提供するサービスを見直し、民間で行えるものは民間に任せる」36.3%、「公共のサービスは行政が市民活動団体などと協働(協力)し、提供をしていく」30.9%、合計67.2%

【全体的な回答の傾向】

行政運営や行政が提供するサービスの仕方について回答してもらったところ、最も多いのは「行政が提供するサービスを見直し、民間で行えるものは民間に任せる」の36.3%であり、次いで「公共のサービスは行政が市民活動団体などと協働(協力)し、提供をしていく」30.9%、「公共のサービスは、行政がいつその行政改革を進めながら、自ら責任を持って行う」26.0%の順であり、1位と2位を合計すると、公共サービスの提供に関して、民間企業や市民活動団体との協働に期待したいとする意見が67.2%を占めた。

1位と2位の順位は前々回・前回と同様の傾向だったが、1位の「行政が提供するサービスを見直し、民間で行えるものは民間に任せる」の割合は、前回の45.6%と比較すると9.3%減少、2位の「公共のサービスは行政が市民活動団体などと協働(協力)し、提供をしていく」のは前回の25.6%と比較して5.3%増加している。



【性別にみた「行政の運営，サービスの提供の仕方についての考え方」】

性別の回答傾向をみると、「公共のサービスは行政が市民活動団体などと協働（協力）し，提供をしていく」は女性のほうが男性より 6.2 ポイント高くなっている。

		合 計	1. 行政が提供 する サービス を見直し、 民間で行 えるもの は民間に 任せる	2. 公共の サービス は、行政 が市民活 動団体な どと協働 （協力） し、提供 をしてい く	3. 公共の サービス は、行政 がいつそ うの行政 改革を進 めなが ら、自ら 責任を持 って行 う	4. その他	5. 無回答
全 体		1,200 (100.0)	436 (36.3)	371 (30.9)	312 (26.0)	41 (3.4)	40 (3.3)
F 1 性 別	1. 男	483 (100.0)	184 (38.1)	130 (26.9)	139 (28.8)	16 (3.3)	14 (2.9)
	2. 女	703 (100.0)	249 (35.4)	233 (33.1)	171 (24.3)	25 (3.6)	25 (3.6)
	3. 無回答	14 (100.0)	3 (21.4)	8 (57.1)	2 (14.3)	0 (-)	1 (7.1)

【年代別にみた「行政の運営，サービスの提供の仕方についての考え方」】

40 歳代～60 歳代では「行政が提供するサービスを見直し，民間で行えるものは民間に任せる」の割合が高く，70 歳以上では「公共のサービスは，行政がいつその行政改革を進めながら，自ら責任を持って行う」の割合が高い。

		合 計	1. 行政が提供 する サービス を見直し、 民間で行 えるもの は民間に 任せる	2. 公共の サービス は、行政 が市民活 動団体な どと協働 （協力） し、提供 をしてい く	3. 公共の サービス は、行政 がいつそ うの行政 改革を進 めなが ら、自ら 責任を持 って行 う	4. その他	5. 無回答
全 体		1,200 (100.0)	436 (36.3)	371 (30.9)	312 (26.0)	41 (3.4)	40 (3.3)
F 2 年 代	1. 10・20歳代	102 (100.0)	35 (34.3)	43 (42.2)	17 (16.7)	2 (2.0)	5 (4.9)
	2. 30歳代	155 (100.0)	60 (38.7)	56 (36.1)	26 (16.8)	9 (5.8)	4 (2.6)
	3. 40歳代	198 (100.0)	92 (46.5)	48 (24.2)	41 (20.7)	12 (6.1)	5 (2.5)
	4. 50歳代	204 (100.0)	87 (42.6)	58 (28.4)	51 (25.0)	3 (1.5)	5 (2.5)
	5. 60歳代	229 (100.0)	76 (33.2)	72 (31.4)	67 (29.3)	9 (3.9)	5 (2.2)
	6. 70歳以上	301 (100.0)	83 (27.6)	88 (29.2)	109 (36.2)	6 (2.0)	15 (5.0)
	7. 無回答	11 (100.0)	3 (27.3)	6 (54.5)	1 (9.1)	0 (-)	1 (9.1)

注：()内はサンプル数を100とした割合

【問2-1 「住みたい理由」別にみた「行政の運営、サービスの提供の仕方についての考え方」】

住みたい理由として多くの回答者が選択した理由のみに限ってみると、「自然環境がよい」を理由にあげた回答者においては、「行政が提供するサービスを見直し、民間で行えるものは民間に任せる」の割合は43.7%であり、「交通の便がよい」「長年住み慣れ、愛着がある」「住宅の都合」をあげた回答者と比較して割合が高い。

	合 計	1. 行政が提 供する サービス を見直 し、民間 で行える ものは民 間に任せ る	2. 公共の サービス は、行政 が市民活 動団体な どと協働 (協力) し、提供 をしてい く	3. 公共の サービス は、行政 がいっそ うの行政 改革を進 めなが ら、自ら 責任を持 って行 う	4. その他	5. 無回答	
全 体	1,200 (100.0)	436 (36.3)	371 (30.9)	312 (26.0)	41 (3.4)	40 (3.3)	
問 2 ・ 1 住 み 続 け たい 理 由	1. 自然環境がよい	375 (100.0)	164 (43.7)	103 (27.5)	92 (24.5)	7 (1.9)	9 (2.4)
	2. 公共施設などが整備されている	12 (100.0)	3 (25.0)	6 (50.0)	3 (25.0)	0 (-)	0 (-)
	3. 交通の便がよい	366 (100.0)	134 (36.6)	117 (32.0)	100 (27.3)	7 (1.9)	8 (2.2)
	4. 買い物の便がよい	146 (100.0)	50 (34.2)	52 (35.6)	34 (23.3)	5 (3.4)	5 (3.4)
	5. 子育てがしやすい(相談体制や保育園など)	11 (100.0)	2 (18.2)	6 (54.5)	2 (18.2)	0 (-)	1 (9.1)
	6. 子どもの教育環境がよい	46 (100.0)	23 (50.0)	13 (28.3)	5 (10.9)	3 (6.5)	2 (4.3)
	7. 人間関係がよい	65 (100.0)	23 (35.4)	25 (38.5)	12 (18.5)	2 (3.1)	3 (4.6)
	8. 老後が安心できる	6 (100.0)	1 (16.7)	3 (50.0)	2 (33.3)	0 (-)	0 (-)
	9. 医療や福祉が充実している	24 (100.0)	6 (25.0)	9 (37.5)	8 (33.3)	0 (-)	1 (4.2)
	10. 長年住み慣れ、愛着がある	321 (100.0)	95 (29.6)	102 (31.8)	107 (33.3)	9 (2.8)	8 (2.5)
	11. 歴史や文化に愛着がある	37 (100.0)	12 (32.4)	15 (40.5)	6 (16.2)	0 (-)	4 (10.8)
	12. 近くに農地がある	33 (100.0)	13 (39.4)	10 (30.3)	9 (27.3)	1 (3.0)	0 (-)
	13. 仕事の関係	90 (100.0)	34 (37.8)	28 (31.1)	21 (23.3)	5 (5.6)	2 (2.2)
	14. 学校の関係	30 (100.0)	12 (40.0)	11 (36.7)	6 (20.0)	1 (3.3)	0 (-)
	15. 住宅の都合	226 (100.0)	80 (35.4)	66 (29.2)	65 (28.8)	8 (3.5)	7 (3.1)
	16. 家族の都合	80 (100.0)	24 (30.0)	26 (32.5)	28 (35.0)	1 (1.3)	1 (1.3)
	17. その他	28 (100.0)	8 (28.6)	5 (17.9)	10 (35.7)	4 (14.3)	1 (3.6)
	18. 無回答	86 (100.0)	28 (32.6)	38 (44.2)	14 (16.3)	3 (3.5)	3 (3.5)

問7 国分寺市の財政は厳しい状況にあり、収入を増やすための努力や、経費削減のため業務の見直しを進めています。あなたは、こうした行政改革の取組の中で、特にどのような分野に力を入れるべきとお考えですか。次の中から2つ選んでください。(複数回答)

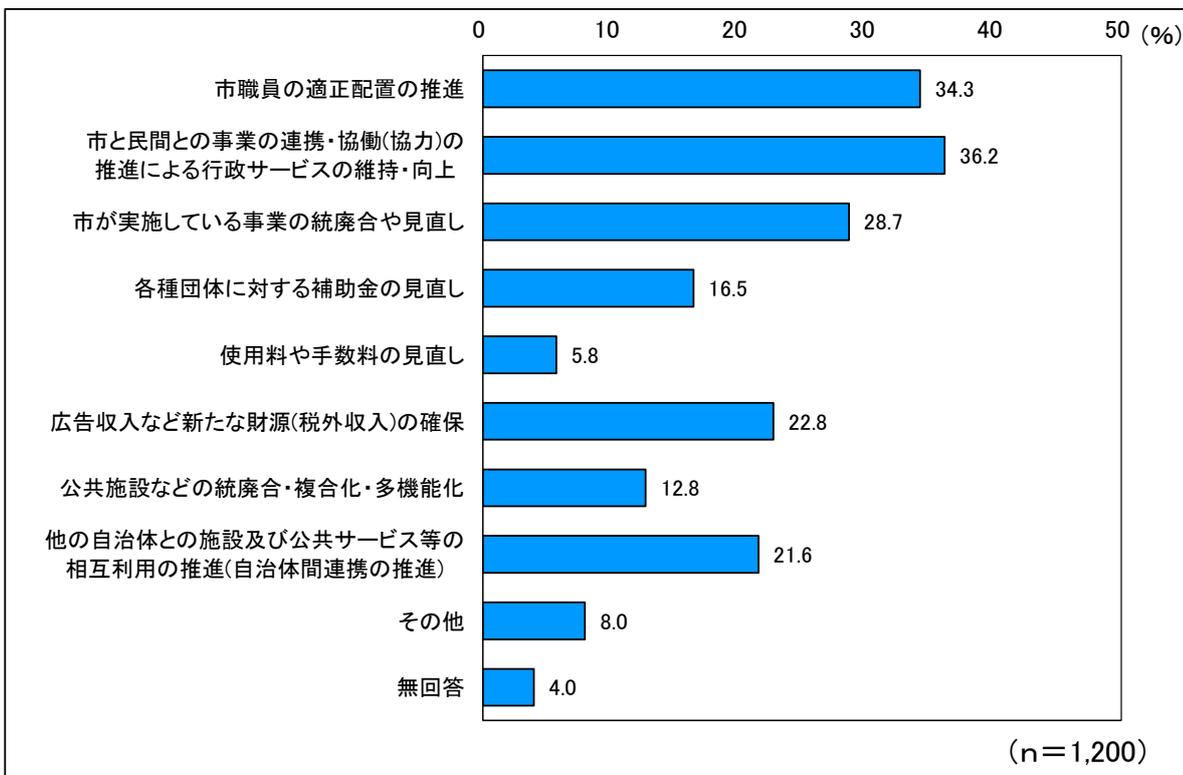
【ポイント】 最も力を入れるべき分野は

「市と民間との連携・協働（協力）の推進による行政サービスの維持・向上」 36.2%

【全体的な回答の傾向】

市が特に取組むべき行政改革の分野について意見を聞いた。最も多かったのは「市と民間との事業の連携・協働（協力）の推進による行政サービスの維持・向上」の36.2%であり、次いで「市職員の適正配置の推進」34.3%、「市が実施している事業の統廃合や見直し」28.7%であった。

前回調査と比較すると、2位の「市職員の適正配置の推進」の順位は同じであったが、1位の「市と民間との事業の連携・協働（協力）の推進による行政サービスの維持・向上」、3位の「市が実施している事業の統廃合や見直し」は、前回の順位と今回の順位で、1位と3位が逆転していた（なお選択肢の「市職員の適正配置の推進」は、前回の選択肢「市職員数の削減」と同じ選択肢とみて比較した）。



複数回答のため回答割合合計は100%を上回る

【年代別にみた「注力すべき行政改革分野」】

10～20 歳代では「使用料や手数料見直し」の割合が高く、40 歳代以上では「各種団体に対する補助金見直し」「他の自治体との施設及び公共サービス等の相互利用の推進（自治体間連携の推進）」の割合が高い。

	回答者数	合計	1. 市職員の 適正配置 の推進	2. 市と民間 との事業 の連携・ 協働(協 力)の推 進による 行政サー ビスの維 持・向上	3. 市が実施 している 事業の統 廃合や見 直し	4. 各種団体 に対する 補助金の 見直し	5. 使用料や 手数料の 見直し	6. 広告収入 など新た な財源 (税外収 入)の確 保	7. 公共施設 などの統 廃合・複 合化・多 機能化	8. 他の自治 体との施 設及び公 共サービ ス等の相 互利用の 推進(自 治体間連 携の推 進)	9. その他	10. 無回答	
全 体	1,200 (100.0)	2,285 (190.4)	411 (34.3)	434 (36.2)	344 (28.7)	198 (16.5)	69 (5.8)	273 (22.8)	153 (12.8)	259 (21.6)	96 (8.0)	48 (4.0)	
F 2 年 代	1. 10・20歳代	102 (100.0)	193 (189.2)	30 (29.4)	36 (35.3)	32 (31.4)	13 (12.7)	12 (11.8)	27 (26.5)	18 (17.6)	13 (12.7)	6 (5.9)	6 (5.9)
	2. 30歳代	155 (100.0)	302 (194.8)	58 (37.4)	64 (41.3)	49 (31.6)	20 (12.9)	5 (3.2)	39 (25.2)	26 (16.8)	24 (15.5)	15 (9.7)	2 (1.3)
	3. 40歳代	198 (100.0)	385 (194.4)	65 (32.8)	69 (34.8)	64 (32.3)	39 (19.7)	7 (3.5)	49 (24.7)	22 (11.1)	47 (23.7)	19 (9.6)	4 (2.0)
	4. 50歳代	204 (100.0)	404 (198.0)	72 (35.3)	79 (38.7)	61 (29.9)	38 (18.6)	7 (3.4)	57 (27.9)	25 (12.3)	50 (24.5)	13 (6.4)	2 (1.0)
	5. 60歳代	229 (100.0)	436 (190.4)	80 (34.9)	84 (36.7)	60 (26.2)	37 (16.2)	16 (7.0)	43 (18.8)	28 (12.2)	55 (24.0)	27 (11.8)	6 (2.6)
	6. 70歳以上	301 (100.0)	545 (181.1)	103 (34.2)	98 (32.6)	76 (25.2)	49 (16.3)	21 (7.0)	57 (18.9)	33 (11.0)	67 (22.3)	15 (5.0)	26 (8.6)
	7. 無回答	11 (100.0)	20 (181.8)	3 (27.3)	4 (36.4)	2 (18.2)	2 (18.2)	1 (9.1)	1 (9.1)	1 (9.1)	3 (27.3)	1 (9.1)	2 (18.2)

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
 複数回答であるために合計は回答者数を上回る
 () 内は回答者数を100とした割合

【問2-1 「住み続けたい理由」別にみた「注力すべき行政改革分野」】

住み続けたい理由として多くの回答者が選択した理由のみに限ってみると、「市職員の適正配置の推進」の割合が、「自然環境がよい」や「交通の便がよい」をあげた回答者では低く、「長年住み慣れ、愛着がある」「住宅の都合」をあげた回答者では比較的割合が高かった。

	回答者数	合計	1. 市職員の適正配置の推進	2. 市と民間との事業の連携・協働(協力)の推進による行政サービスの維持・向上	3. 市が実施している事業の統廃合や見直し	4. 各種団体に対する補助金の見直し	5. 使用料や手数料の見直し	6. 広告収入など新たな財源(税外収入)の確保	7. 公共施設などの統廃合・複合化・多機能化	8. 他の自治体との施設及び公共サービス等の相互利用の推進(自治体間連携の推進)	9. その他	10. 無回答	
全体	1,200 (100.0)	2,285 (190.4)	411 (34.3)	434 (36.2)	344 (28.7)	198 (16.5)	69 (5.8)	273 (22.8)	153 (12.8)	259 (21.6)	96 (8.0)	48 (4.0)	
問2-1 住み続けたい理由	1. 自然環境がよい	375 (100.0)	718 (191.5)	110 (29.3)	154 (41.1)	108 (28.8)	54 (14.4)	19 (5.1)	90 (24.0)	51 (13.6)	97 (25.9)	26 (6.9)	9 (2.4)
	2. 公共施設などが整備されている	12 (100.0)	24 (200.0)	3 (25.0)	5 (41.7)	5 (41.7)	3 (25.0)	0 (-)	3 (25.0)	3 (25.0)	1 (8.3)	1 (8.3)	0 (-)
	3. 交通の便がよい	366 (100.0)	703 (192.1)	117 (32.0)	137 (37.4)	116 (31.7)	67 (18.3)	29 (7.9)	77 (21.0)	44 (12.0)	78 (21.3)	27 (7.4)	11 (3.0)
	4. 買い物の便がよい	146 (100.0)	280 (191.8)	41 (28.1)	69 (47.3)	43 (29.5)	27 (18.5)	8 (5.5)	23 (15.8)	23 (15.8)	32 (21.9)	8 (5.5)	6 (4.1)
	5. 子育てがしやすい(相談体制や保育園など)	11 (100.0)	22 (200.0)	4 (36.4)	5 (45.5)	4 (36.4)	2 (18.2)	1 (9.1)	3 (27.3)	1 (9.1)	1 (9.1)	1 (9.1)	0 (-)
	6. 子どもの教育環境がよい	46 (100.0)	92 (200.0)	12 (26.1)	24 (52.2)	11 (23.9)	4 (8.7)	0 (-)	17 (37.0)	7 (15.2)	12 (26.1)	5 (10.9)	0 (-)
	7. 人間関係がよい	65 (100.0)	122 (187.7)	21 (32.3)	25 (38.5)	18 (27.7)	8 (12.3)	2 (3.1)	15 (23.1)	5 (7.7)	19 (29.2)	5 (7.7)	4 (6.2)
	8. 老後が安心できる	6 (100.0)	11 (183.3)	1 (16.7)	4 (66.7)	0 (-)	1 (16.7)	0 (-)	2 (33.3)	1 (16.7)	2 (33.3)	0 (-)	0 (-)
	9. 医療や福祉が充実している	24 (100.0)	47 (195.8)	5 (20.8)	9 (37.5)	10 (41.7)	3 (12.5)	3 (12.5)	5 (20.8)	3 (12.5)	7 (29.2)	1 (4.2)	1 (4.2)
	10. 長年住み慣れ、愛着がある	321 (100.0)	616 (191.9)	121 (37.7)	123 (38.3)	88 (27.4)	50 (15.6)	24 (7.5)	68 (21.2)	43 (13.4)	68 (21.2)	18 (5.6)	13 (4.0)
	11. 歴史や文化に愛着がある	37 (100.0)	72 (194.6)	13 (35.1)	14 (37.8)	14 (37.8)	8 (21.6)	2 (5.4)	8 (21.6)	5 (13.5)	8 (21.6)	0 (-)	0 (-)
	12. 近くに農地がある	33 (100.0)	64 (193.9)	10 (30.3)	11 (33.3)	8 (24.2)	9 (27.3)	2 (6.1)	8 (24.2)	3 (9.1)	8 (24.2)	3 (9.1)	2 (6.1)
	13. 仕事の関係	90 (100.0)	175 (194.4)	33 (36.7)	37 (41.1)	36 (40.0)	13 (14.4)	3 (3.3)	19 (21.1)	11 (12.2)	15 (16.7)	7 (7.8)	1 (1.1)
	14. 学校の関係	30 (100.0)	60 (200.0)	13 (43.3)	9 (30.0)	12 (40.0)	4 (13.3)	0 (-)	6 (20.0)	7 (23.3)	7 (23.3)	2 (6.7)	0 (-)
	15. 住宅の都合	226 (100.0)	437 (193.4)	87 (38.5)	72 (31.9)	70 (31.0)	38 (16.8)	12 (5.3)	51 (22.6)	32 (14.2)	47 (20.8)	23 (10.2)	5 (2.2)
	16. 家族の都合	80 (100.0)	156 (195.0)	28 (35.0)	26 (32.5)	30 (37.5)	12 (15.0)	7 (8.8)	17 (21.3)	7 (8.8)	15 (18.8)	11 (13.8)	3 (3.8)
	17. その他	28 (100.0)	50 (178.6)	10 (35.7)	9 (32.1)	7 (25.0)	5 (17.9)	2 (7.1)	2 (7.1)	1 (3.6)	8 (28.6)	4 (14.3)	2 (7.1)
	18. 無回答	86 (100.0)	157 (182.6)	26 (30.2)	28 (32.6)	21 (24.4)	11 (12.8)	1 (1.2)	23 (26.7)	12 (14.0)	20 (23.3)	9 (10.5)	6 (7.0)

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
 複数回答であるために合計は回答者数を上回る
 () 内は回答者数を100とした割合

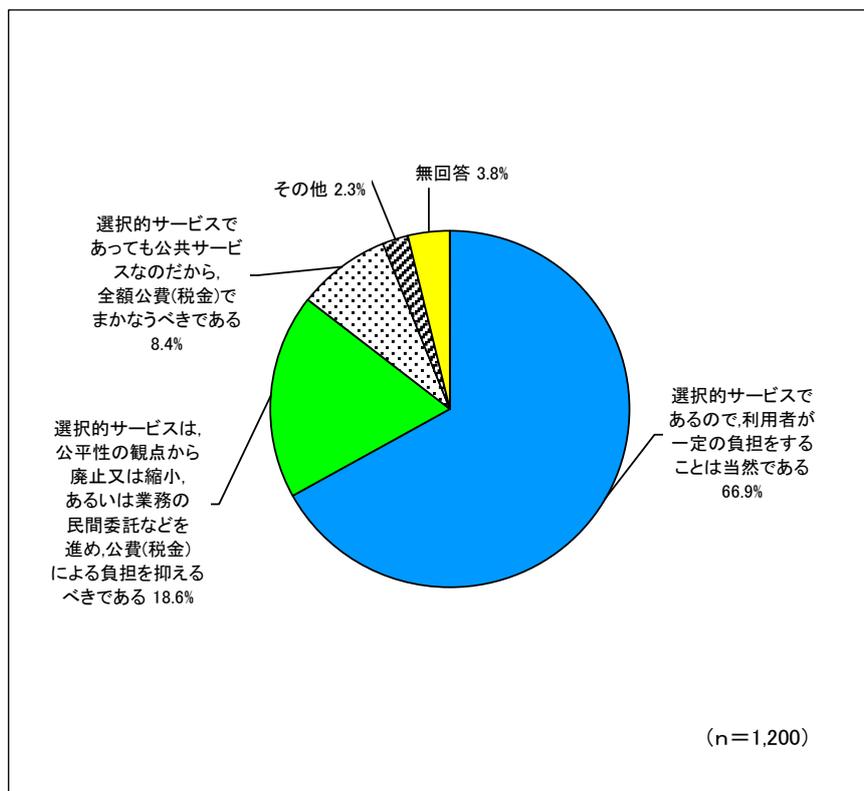
問8 市が行っている公共サービスのうち、選択的サービスについては、その利用者が一定の費用負担をするという考え方が原則となっています。あなたは、そのことについてどのようにお考えですか。

【ポイント】 「選択的サービスであるので、利用者が一定の負担をすることは当然である」66.9%

【全体的な回答の傾向】

市が行っている特定利用者への公共サービスの費用負担に対する意見を聞いた。最も多いのは「選択的サービスであるので、利用者が一定の負担をすることは当然である」の66.9%であり、2位の「選択的サービスは、公平性の観点から廃止又は縮小、あるいは業務の民間委託などを進め、公費(税金)による負担を抑えるべきである」の18.6%と差がみられた。「選択的サービスであっても公共サービスなのだから、全額公費(税金)でまかなうべきである」とする人は8.4%に留まった。

1位の「選択的サービスであるので、利用者が一定の負担をすることは当然である」とする意見は、前々回・前回調査でも最も多く、これを選んだ回答者の割合は調査実施ごとに増加してきている(なお選択肢中の文言「選択的サービス」は、前回調査では「特定の利用者に対してのサービス」との表現であるが、同じ選択肢とみて比較している)。



Ⅲ 市民生活・市民参加などについて(問9～16)

問9 あなたは、国分寺市報をどの程度お読みですか。また、国分寺市の公式ホームページと市公式フェイスブック等についてはどうですか。

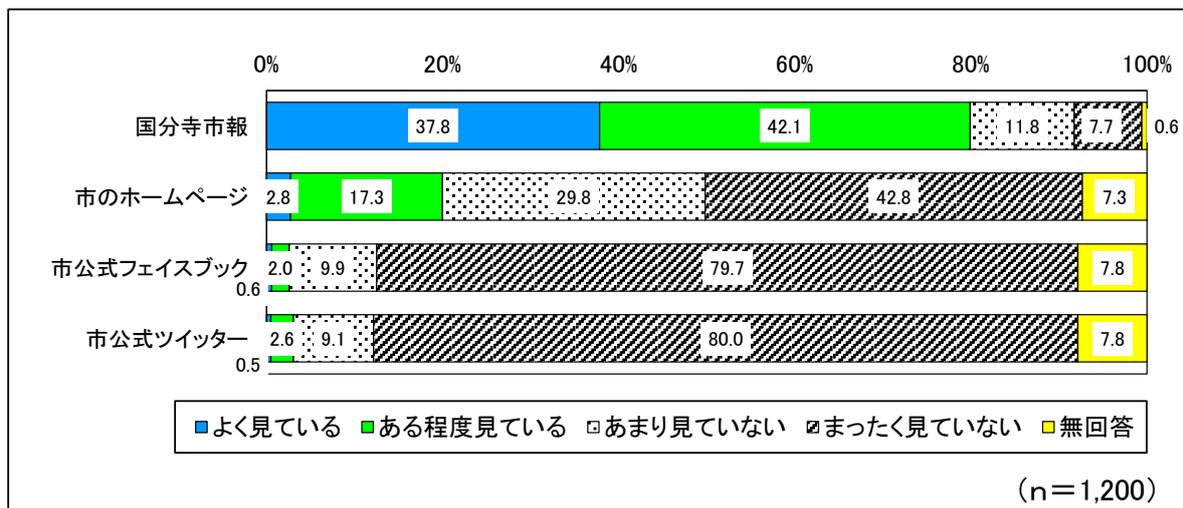
【ポイント】 「よく見ている」「ある程度見ている」合計は市報で79.9%、
ホームページで20.1%、フェイスブック2.6%、ツイッター3.1%

【全体的な回答の傾向】

市報やインターネット上の広報媒体の利用を尋ねたところ、市報を「よく見ている」「ある程度見ている」の割合の合計が79.9%となり、市報以外の媒体での「よく見ている」「ある程度見ている」の合計を大きく上回り、前回調査の78.5%からも1.4%増加した。一方、市報を「まったく見えない」とする人の割合の7.7%も、前回調査より1.7%増加した。

市のホームページを見ている人の割合は、「よく見ている」「ある程度見ている」の合計が20.1%で前回調査より1.3%増加しており、前々回から比較して増加が続いている。

フェイスブック、ツイッターについては今回初めて選択肢としたが、「よく見ている」「ある程度見ている」合計はそれぞれ2.6%、3.1%であり、逆に「あまり見えない」「まったく見えない」の合計はそれぞれ89.6%、89.1%であった。



【性別にみた「広報媒体の利用」】

広報媒体の利用を性別にみると、市報を「よく見ている」女性は男性を10.7%上回っている一方で、ホームページでは「まったく見ていない」女性が男性を10.0%上回っており、男性よりも女性において、広報媒体ごとの利用程度の差が大きいことがわかる。

1. 国分寺市報

		合計	1. よく見ている	2. ある程度 見ている	3. あまり見 ていない	4. まったく 見ていな い	5. 無回答	平均
全 体		1,200 (100.0)	454 (37.8)	505 (42.1)	142 (11.8)	92 (7.7)	7 (0.6)	0.9
F 1 性別	1. 男	483 (100.0)	152 (31.5)	215 (44.5)	67 (13.9)	48 (9.9)	1 (0.2)	0.7
	2. 女	703 (100.0)	297 (42.2)	282 (40.1)	75 (10.7)	44 (6.3)	5 (0.7)	1.0
	3. 無回答	14 (100.0)	5 (35.7)	8 (57.1)	0 (-)	0 (-)	1 (7.1)	1.4

2. 市のホームページ

		合計	1. よく見ている	2. ある程度 見ている	3. あまり見 ていない	4. まったく 見ていな い	5. 無回答	平均
全 体		1,200 (100.0)	33 (2.8)	207 (17.3)	358 (29.8)	514 (42.8)	88 (7.3)	-1.0
F 1 性別	1. 男	483 (100.0)	15 (3.1)	110 (22.8)	153 (31.7)	178 (36.9)	27 (5.6)	-0.8
	2. 女	703 (100.0)	17 (2.4)	96 (13.7)	204 (29.0)	330 (46.9)	56 (8.0)	-1.1
	3. 無回答	14 (100.0)	1 (7.1)	1 (7.1)	1 (7.1)	6 (42.9)	5 (35.7)	-1.1

注:()内はサンプル数を100とした割合

【年代別にみた「広報媒体の利用」】

市報はおおよそ年代が高いほどよく利用されている(ただし40歳代は30.3%と30歳代の32.9%を下回る)。ホームページについては30~50歳代の利用が高い。

1. 国分寺市報

		合 計	1. よく見て いる	2. ある程度 見ている	3. あまり見 ていない	4. まったく 見ていな い	5. 無回答	平 均
全 体		1,200 (100.0)	454 (37.8)	505 (42.1)	142 (11.8)	92 (7.7)	7 (0.6)	0.9
F2 年 代	1. 10・20歳代	102 (100.0)	13 (12.7)	29 (28.4)	24 (23.5)	35 (34.3)	1 (1.0)	-0.4
	2. 30歳代	155 (100.0)	51 (32.9)	58 (37.4)	21 (13.5)	25 (16.1)	0 (-)	0.6
	3. 40歳代	198 (100.0)	60 (30.3)	95 (48.0)	28 (14.1)	14 (7.1)	1 (0.5)	0.8
	4. 50歳代	204 (100.0)	66 (32.4)	92 (45.1)	33 (16.2)	13 (6.4)	0 (-)	0.8
	5. 60歳代	229 (100.0)	91 (39.7)	112 (48.9)	25 (10.9)	1 (0.4)	0 (-)	1.2
	6. 70歳以上	301 (100.0)	169 (56.1)	113 (37.5)	11 (3.7)	4 (1.3)	4 (1.3)	1.5
	7. 無回答	11 (100.0)	4 (36.4)	6 (54.5)	0 (-)	0 (-)	1 (9.1)	1.4

2. 市のホームページ

		合 計	1. よく見て いる	2. ある程度 見ている	3. あまり見 ていない	4. まったく 見ていな い	5. 無回答	平 均
全 体		1,200 (100.0)	33 (2.8)	207 (17.3)	358 (29.8)	514 (42.8)	88 (7.3)	-1.0
F2 年 代	1. 10・20歳代	102 (100.0)	1 (1.0)	9 (8.8)	31 (30.4)	58 (56.9)	3 (2.9)	-1.4
	2. 30歳代	155 (100.0)	7 (4.5)	36 (23.2)	58 (37.4)	53 (34.2)	1 (0.6)	-0.7
	3. 40歳代	198 (100.0)	3 (1.5)	45 (22.7)	68 (34.3)	79 (39.9)	3 (1.5)	-0.9
	4. 50歳代	204 (100.0)	4 (2.0)	44 (21.6)	84 (41.2)	71 (34.8)	1 (0.5)	-0.9
	5. 60歳代	229 (100.0)	6 (2.6)	27 (11.8)	65 (28.4)	120 (52.4)	11 (4.8)	-1.2
	6. 70歳以上	301 (100.0)	11 (3.7)	45 (15.0)	52 (17.3)	128 (42.5)	65 (21.6)	-1.0
	7. 無回答	11 (100.0)	1 (9.1)	1 (9.1)	0 (-)	5 (45.5)	4 (36.4)	-1.0

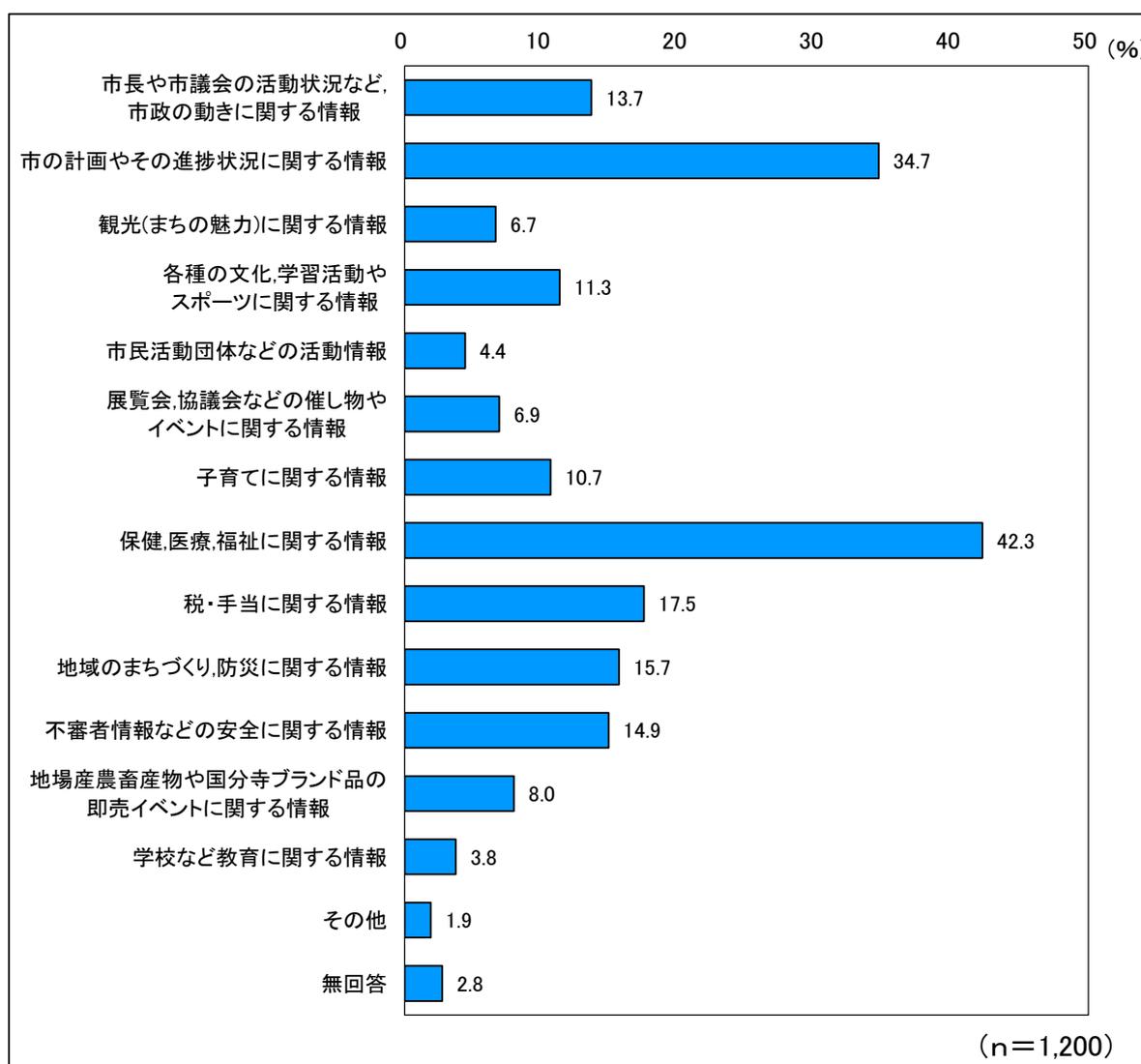
注:()内はサンプル数を100とした割合

問10 あなたは、市からどのような情報を多く欲しいと思いますか。次の中から2つ選んでください。(複数回答)

【ポイント】 「保健、医療、福祉に関する情報」が最多で42.3%

【全体的な回答の傾向】

市から多くほしい情報として最も割合が高かったのは「保健・医療・福祉に関する情報」42.3%で、「市の計画やその進捗状況に関する情報」34.7%が続いた。この1位・2位の順位は前回調査と同様であるが、それぞれを選択した人の割合は「保健・医療・福祉に関する情報」で8.3%、「市の計画やその進捗状況に関する情報」で12.3%、それぞれ減少がみられた。



複数回答のため回答割合合計は100%を上回る

【性別にみた「市から多くほしい情報」】

「市から多くほしい情報」を性別にみると、「市の計画やその進捗状況に関する情報」を選択した割合は、男性のほうが女性よりも16.8%高く、男女合計で1位の「保健・医療・福祉に関する情報」38.5%を上回って最多の44.3%だった。

	回答者数	合計	1. 市長や市議会の活動状況など、市政の動きに関する情報	2. 市の計画やその進捗状況に関する情報	3. 観光(まちの魅力)に関する情報	4. 各種の文化, 学習活動やスポーツに関する情報	5. 市民活動団体などの活動情報	6. 展覧会, 協議会などの催し物やイベントに関する情報	7. 子育てに関する情報
全体	1,200 (100.0)	2,341 (195.1)	164 (13.7)	416 (34.7)	80 (6.7)	136 (11.3)	53 (4.4)	83 (6.9)	128 (10.7)
性別	1. 男	483 (100.0)	80 (16.6)	214 (44.3)	31 (6.4)	59 (12.2)	19 (3.9)	33 (6.8)	39 (8.1)
	2. 女	703 (100.0)	81 (11.5)	193 (27.5)	48 (6.8)	76 (10.8)	33 (4.7)	49 (7.0)	89 (12.7)
	3. 無回答	14 (100.0)	26 (185.7)	3 (21.4)	9 (64.3)	1 (7.1)	1 (7.1)	1 (7.1)	0 (-)
	8. 保健, 医療, 福祉に関する情報	9. 税・手当に関する情報	10. 地域のまちづくり, 防災に関する情報	11. 不審者情報などの安全に関する情報	12. 地場産農畜産物や国分寺ブランド品の即売イベントに関する情報	13. 学校など教育に関する情報	14. その他	15. 無回答	
全体	507 (42.3)	210 (17.5)	188 (15.7)	179 (14.9)	96 (8.0)	45 (3.8)	23 (1.9)	33 (2.8)	
性別	1. 男	186 (38.5)	96 (19.9)	82 (17.0)	59 (12.2)	27 (5.6)	10 (2.1)	11 (2.3)	5 (1.0)
	2. 女	318 (45.2)	114 (16.2)	104 (14.8)	119 (16.9)	67 (9.5)	35 (5.0)	12 (1.7)	26 (3.7)
	3. 無回答	3 (21.4)	0 (-)	2 (14.3)	1 (7.1)	2 (14.3)	0 (-)	0 (-)	2 (14.3)

回答者数はこの設問に回答した人の人数, 合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
 複数回答であるために合計は回答者数を上回る
 () 内は回答者数を100とした割合

【年代別にみた「市から多くほしい情報」】

30歳代においては「子育てに関する情報」がほしいとする回答割合が高いが、一方でこの年代は「市の計画やその進捗状況に関する情報」の回答割合は低い傾向がみられた。20歳代でも30歳代ほどではないが「子育てに関する情報」にある程度の回答割合がみられた。「保健・医療・福祉に関する情報」は年代にほぼ比例して割合が高まる傾向がみられた（ただし30歳代の23.9%は10・20歳代の24.5%をわずかに下回った）。

		回答者数	合計	1. 市長や市議会の活動状況など、市政の動きに関する情報	2. 市の計画やその進捗状況に関する情報	3. 観光(まちの魅力)に関する情報	4. 各種の文化、学習活動やスポーツに関する情報	5. 市民活動団体などの活動情報	6. 展覧会、協議会などの催し物やイベントに関する情報	7. 子育てに関する情報	
全体		1,200 (100.0)	2,341 (195.1)	164 (13.7)	416 (34.7)	80 (6.7)	136 (11.3)	53 (4.4)	83 (6.9)	128 (10.7)	
F2 年代	1. 10・20歳代	102 (100.0)	201 (197.1)	13 (12.7)	30 (29.4)	14 (13.7)	13 (12.7)	4 (3.9)	14 (13.7)	22 (21.6)	
	2. 30歳代	155 (100.0)	303 (195.5)	9 (5.8)	35 (22.6)	11 (7.1)	10 (6.5)	3 (1.9)	9 (5.8)	71 (45.8)	
	3. 40歳代	198 (100.0)	387 (195.5)	21 (10.6)	60 (30.3)	11 (5.6)	22 (11.1)	7 (3.5)	12 (6.1)	21 (10.6)	
	4. 50歳代	204 (100.0)	402 (197.1)	26 (12.7)	84 (41.2)	13 (6.4)	28 (13.7)	7 (3.4)	11 (5.4)	5 (2.5)	
	5. 60歳代	229 (100.0)	447 (195.2)	35 (15.3)	93 (40.6)	11 (4.8)	38 (16.6)	11 (4.8)	18 (7.9)	4 (1.7)	
	6. 70歳以上	301 (100.0)	581 (193.0)	57 (18.9)	107 (35.5)	20 (6.6)	24 (8.0)	20 (6.6)	18 (6.0)	5 (1.7)	
	7. 無回答	11 (100.0)	20 (181.8)	3 (27.3)	7 (63.6)	0 (-)	1 (9.1)	1 (9.1)	1 (9.1)	0 (-)	
				8. 保健、医療、福祉に関する情報	9. 税・手当に関する情報	10. 地域のまちづくり、防災に関する情報	11. 不審者情報などの安全に関する情報	12. 地場産農畜産物や国分寺ブランド品の即売イベントに関する情報	13. 学校など教育に関する情報	14. その他	15. 無回答
全体		507 (42.3)	210 (17.5)	188 (15.7)	179 (14.9)	96 (8.0)	45 (3.8)	23 (1.9)	33 (2.8)		
F2 年代	1. 10・20歳代	25 (24.5)	24 (23.5)	18 (17.6)	11 (10.8)	8 (7.8)	3 (2.9)	1 (1.0)	1 (1.0)		
	2. 30歳代	37 (23.9)	37 (23.9)	18 (11.6)	21 (13.5)	18 (11.6)	15 (9.7)	6 (3.9)	3 (1.9)		
	3. 40歳代	72 (36.4)	48 (24.2)	33 (16.7)	38 (19.2)	14 (7.1)	17 (8.6)	7 (3.5)	4 (2.0)		
	4. 50歳代	94 (46.1)	37 (18.1)	41 (20.1)	34 (16.7)	14 (6.9)	5 (2.5)	1 (0.5)	2 (1.0)		
	5. 60歳代	112 (48.9)	32 (14.0)	34 (14.8)	26 (11.4)	21 (9.2)	3 (1.3)	2 (0.9)	7 (3.1)		
	6. 70歳以上	166 (55.1)	32 (10.6)	43 (14.3)	48 (15.9)	19 (6.3)	2 (0.7)	6 (2.0)	14 (4.7)		
	7. 無回答	1 (9.1)	0 (-)	1 (9.1)	1 (9.1)	2 (18.2)	0 (-)	0 (-)	2 (18.2)		

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
 複数回答であるために合計は回答者数を上回る
 () 内は回答者数を100とした割合

【持っている子どもの人数別にみた「市から多くほしい情報」】

子ども一人世帯において、「子育てに関する情報」を多くほしいとする回答の割合が特に多くみられた。

		回答者数	合 計	1. 市長や市議会の活動状況など、市政の動きに関する情報	2. 市の計画やその進捗状況に関する情報	3. 観光(まちの魅力)に関する情報	4. 各種の文化、学習活動やスポーツに関する情報	5. 市民活動団体などの活動情報	6. 展覧会、協議会などの催し物やイベントに関する情報	7. 子育てに関する情報
全 体		1,039 (100.0)	2,027 (195.1)	139 (13.4)	366 (35.2)	63 (6.1)	120 (11.5)	44 (4.2)	69 (6.6)	121 (11.6)
F 6 子 ど も の 人 数	1. 1人	267 (100.0)	522 (195.5)	29 (10.9)	94 (35.2)	10 (3.7)	30 (11.2)	10 (3.7)	16 (6.0)	60 (22.5)
	2. 2人	339 (100.0)	668 (197.1)	43 (12.7)	124 (36.6)	26 (7.7)	39 (11.5)	18 (5.3)	21 (6.2)	36 (10.6)
	3. 3人	102 (100.0)	197 (193.1)	14 (13.7)	27 (26.5)	5 (4.9)	19 (18.6)	3 (2.9)	6 (5.9)	7 (6.9)
	4. 4人以上	37 (100.0)	72 (194.6)	9 (24.3)	9 (24.3)	1 (2.7)	6 (16.2)	0 (-)	4 (10.8)	3 (8.1)
	5. 無回答	294 (100.0)	568 (193.2)	44 (15.0)	112 (38.1)	21 (7.1)	26 (8.8)	13 (4.4)	22 (7.5)	15 (5.1)
		8. 保健、医療、福祉に関する情報	9. 税・手当に関する情報	10. 地域のまちづくり、防災に関する情報	11. 不審者情報などの安全に関する情報	12. 地場産農畜産物や国分寺ブランド品の即売イベントに関する情報	13. 学校など教育に関する情報	14. その他	15. 無回答	
全 体		438 (42.2)	171 (16.5)	165 (15.9)	154 (14.8)	85 (8.2)	45 (4.3)	19 (1.8)	28 (2.7)	
F 6 子 ど も の 人 数	1. 1人	110 (41.2)	44 (16.5)	45 (16.9)	38 (14.2)	14 (5.2)	12 (4.5)	2 (0.7)	8 (3.0)	
	2. 2人	144 (42.5)	54 (15.9)	52 (15.3)	51 (15.0)	22 (6.5)	24 (7.1)	7 (2.1)	7 (2.1)	
	3. 3人	44 (43.1)	22 (21.6)	14 (13.7)	15 (14.7)	11 (10.8)	5 (4.9)	3 (2.9)	2 (2.0)	
	4. 4人以上	15 (40.5)	7 (18.9)	8 (21.6)	4 (10.8)	4 (10.8)	0 (-)	0 (-)	2 (5.4)	
	5. 無回答	125 (42.5)	44 (15.0)	46 (15.6)	46 (15.6)	34 (11.6)	4 (1.4)	7 (2.4)	9 (3.1)	

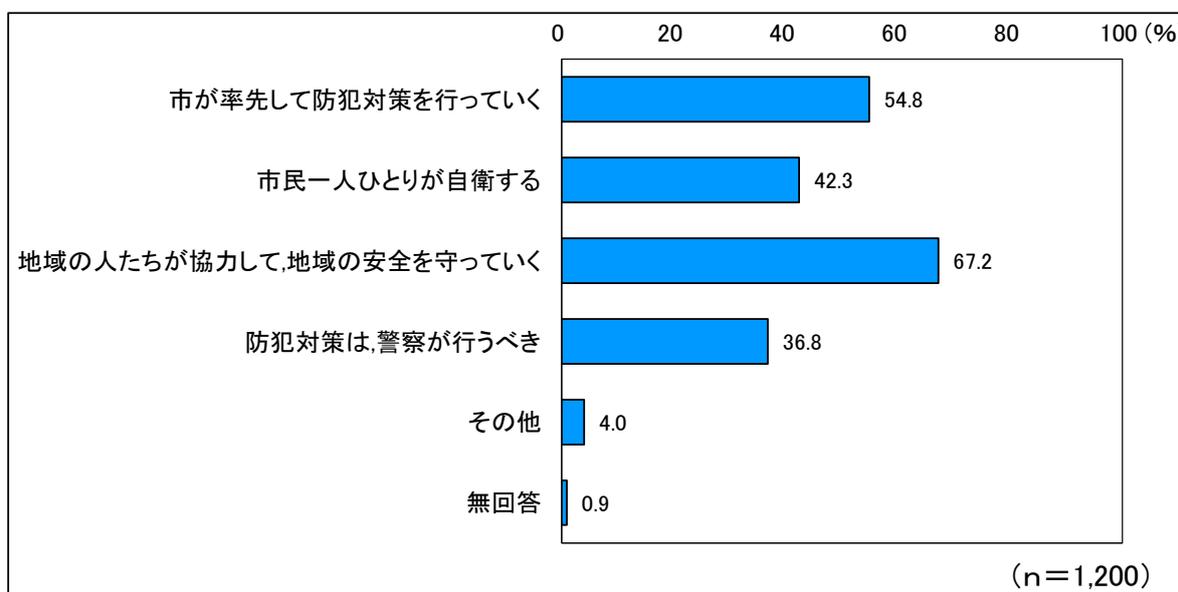
回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
 複数回答であるために合計は回答者数を上回る
 () 内は回答者数を100とした割合

問 11 犯罪への対策などの市民生活の安全についてお伺いします。次の中からあなたのお考えに近いものを全て選んでください。(複数回答)

【ポイント】 「地域の人たちが協力して、地域の安全を守っていく」が最も多く 67.2%

【全体的な回答の傾向】

市民生活における安全対策についての考えを質問したところ、最も多いのは「地域の人たちが協力して、地域の安全を守っていく」67.2%、次いで「市が率先して防犯対策を行っていく」54.8%であった。前回調査の回答方式は単数回答、今回調査では当てはまるものをすべて選ぶ複数回答だったため単純に比較することはできないが、回答割合が多い順の1位・2位は前回と今回で同じであった。



複数回答のため回答割合合計は100%を上回る

【年代別にみた「安全対策への考え」】

30 歳代と 70 歳以上で、「市が率先して防犯対策を行っていく」と「防犯対策は、警察が行うべき」がやや割合が多い傾向がみられた。ただしこの両年代では「市民一人ひとりが自衛する」も高かった。

60 歳代では「地域の人たちが協力して、地域の安全を守っていく」の回答割合が 73.8%と最も高く、かつどの年代よりも高い割合を占めた。

	回答者数	合 計	1. 市が率先 して防犯 対策を 行ってい く	2. 市民一人 ひとりが 自衛する	3. 地域の人 たちが協 力して、 地域の安 全を守っ ていく	4. 防犯対策 は、警察 が行うべ き	5. その他	6. 無回答	
全 体	1,200 (100.0)	2,472 (206.0)	658 (54.8)	508 (42.3)	806 (67.2)	441 (36.8)	48 (4.0)	11 (0.9)	
F 2 年 代	1. 10・20歳代	102 (100.0)	192 (188.2)	56 (54.9)	36 (35.3)	62 (60.8)	34 (33.3)	3 (2.9)	1 (1.0)
	2. 30歳代	155 (100.0)	328 (211.6)	93 (60.0)	67 (43.2)	96 (61.9)	64 (41.3)	7 (4.5)	1 (0.6)
	3. 40歳代	198 (100.0)	364 (183.8)	97 (49.0)	70 (35.4)	127 (64.1)	60 (30.3)	8 (4.0)	2 (1.0)
	4. 50歳代	204 (100.0)	404 (198.0)	105 (51.5)	76 (37.3)	139 (68.1)	74 (36.3)	10 (4.9)	0 (-)
	5. 60歳代	229 (100.0)	469 (204.8)	123 (53.7)	91 (39.7)	169 (73.8)	76 (33.2)	9 (3.9)	1 (0.4)
	6. 70歳以上	301 (100.0)	692 (229.9)	178 (59.1)	163 (54.2)	206 (68.4)	130 (43.2)	10 (3.3)	5 (1.7)
	7. 無回答	11 (100.0)	23 (209.1)	6 (54.5)	5 (45.5)	7 (63.6)	3 (27.3)	1 (9.1)	1 (9.1)

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
複数回答であるために合計は回答者数を上回る
() 内は回答者数を100とした割合

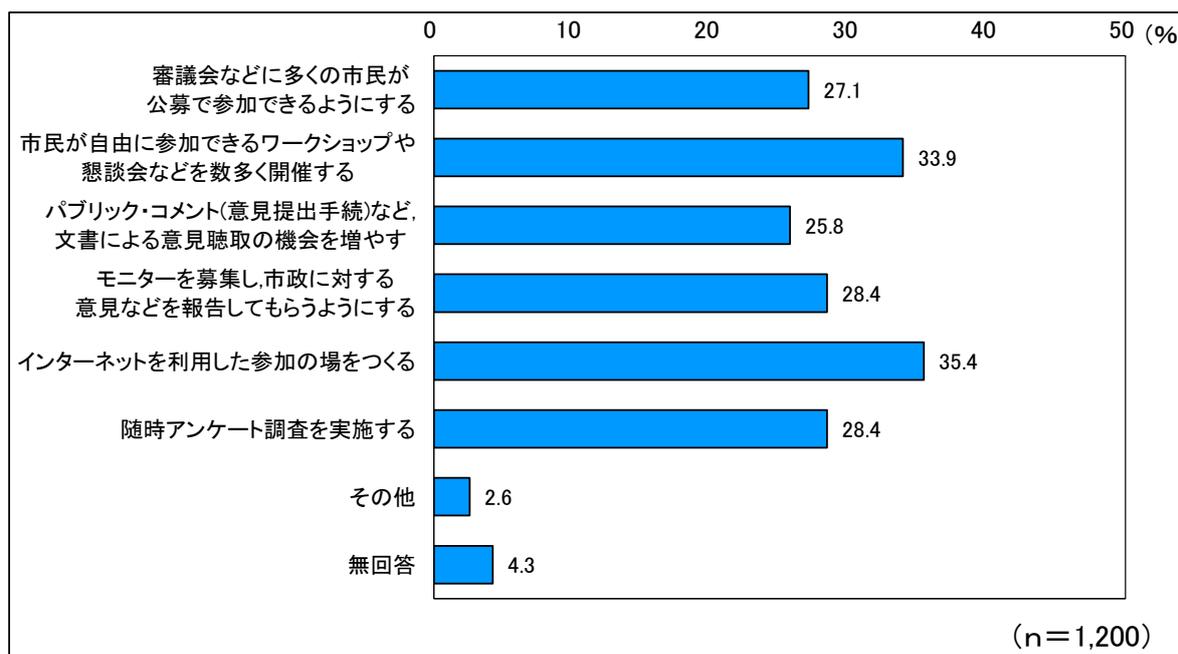
問 12 市民参加についてお伺いします。あなたは、市民の意見や要望などを市政に反映させるために、どのような方法を用いたらよいと思いますか。次の中から2つ選んでください。(複数回答)

【ポイント】 「インターネットを利用した参加の場をつくる」が最多で35.4%

【全体的な回答の傾向】

市民の意見や要望などを市政に反映させるための有効な方法を尋ねたところ、最も多かったのは「インターネットを利用した参加の場をつくる」35.4%、次いで「市民が自由に参加できるワークショップや懇談会などを数多く開催する」33.9%であった。さらに「モニターを募集し、市政に対する意見などを報告してもらうようにする」「随時アンケート調査を実施する」の2つが同率で28.4%、「審議会などに多くの市民が公募で参加できるようにする」27.1%と続いた。

前回調査と比較すると「インターネットを利用した参加の場をつくる」が1位なのは同様であったが、2位以下について、回答率の変化は少ないものの、その順位には変動がみられた。



複数回答のため回答割合合計は100%を上回る

【年代別にみた「市民参加の方法」】

10～50 歳代の幅広い年代で、「インターネットを利用した参加の場をつくる」の回答割合が高かった。60 歳代以降では「審議会などに多くの市民が公募で参加できるようにする」「市民が自由に参加できるワークショップや懇談会などを数多く開催する」への回答割合が高かった。

	回答者数	合 計	1. 審議会などに多くの市民が公募で参加できるようにする	2. 市民が自由に参加できるワークショップや懇談会などを数多く開催する	3. パブリック・コメント(意見提出手続)など、文書による意見聴取の機会を増やす	4. モニターを募集し、市政に対する意見などを報告してもらうようにする	5. インターネットを利用した参加の場をつくる	6. 随時アンケート調査を実施する	7. その他	8. 無回答	
全 体	1,200 (100.0)	2,230 (185.8)	325 (27.1)	407 (33.9)	309 (25.8)	341 (28.4)	425 (35.4)	341 (28.4)	31 (2.6)	51 (4.3)	
F 2 年 代	1. 10・20歳代	102 (100.0)	189 (185.3)	23 (22.5)	25 (24.5)	20 (19.6)	28 (27.5)	56 (54.9)	32 (31.4)	2 (2.0)	3 (2.9)
	2. 30歳代	155 (100.0)	299 (192.9)	26 (16.8)	43 (27.7)	51 (32.9)	47 (30.3)	66 (42.6)	59 (38.1)	5 (3.2)	2 (1.3)
	3. 40歳代	198 (100.0)	373 (188.4)	51 (25.8)	53 (26.8)	52 (26.3)	50 (25.3)	93 (47.0)	64 (32.3)	5 (2.5)	5 (2.5)
	4. 50歳代	204 (100.0)	390 (191.2)	52 (25.5)	66 (32.4)	49 (24.0)	66 (32.4)	101 (49.5)	52 (25.5)	2 (1.0)	2 (1.0)
	5. 60歳代	229 (100.0)	427 (186.5)	71 (31.0)	99 (43.2)	67 (29.3)	61 (26.6)	65 (28.4)	48 (21.0)	4 (1.7)	12 (5.2)
	6. 70歳以上	301 (100.0)	533 (177.1)	97 (32.2)	115 (38.2)	68 (22.6)	87 (28.9)	43 (14.3)	85 (28.2)	13 (4.3)	25 (8.3)
	7. 無回答	11 (100.0)	19 (172.7)	5 (45.5)	6 (54.5)	2 (18.2)	2 (18.2)	1 (9.1)	1 (9.1)	0 (-)	2 (18.2)

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
 複数回答であるために合計は回答者数を上回る
 () 内は回答者数を100とした割合

問 13 あなたは、買い物などの日常生活の行動を、どの程度市内で行っていますか。

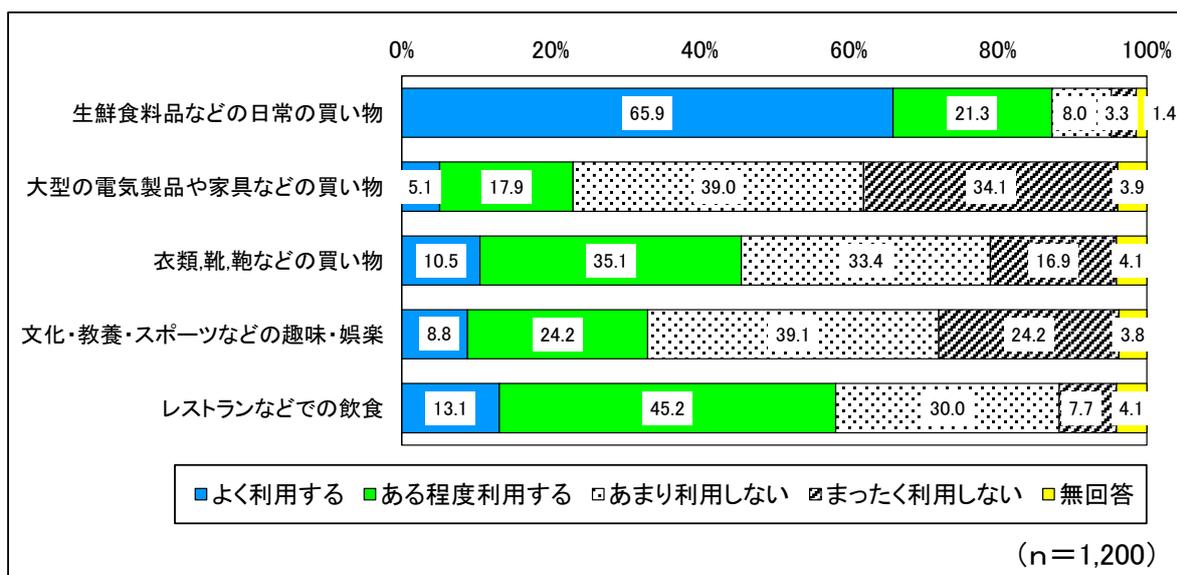
【ポイント】市内で利用するのは「生鮮食料品などの日常の買い物」が最も多く 87.2%

【全体的な回答の傾向】

日常生活の行動範囲について尋ねたところ、市内を「よく利用する」「ある程度利用する」の合計の割合が最も多かったのは「生鮮食料品などの日常の買い物」で 87.2%であった。次いで「よく利用する」「ある程度利用する」合計が多かったのは「レストランなどでの飲食」58.3%であった。

一方、市内では「あまり利用しない」「まったく利用しない」合計の割合が多かったのは「大型の電気製品や家具などの買い物」の 73.1%、次いで「文化・教養・スポーツなどの趣味・娯楽」63.3%、「衣類、靴、鞆などの買い物」50.3%であった。

市内利用の多い1, 2位, 市内利用の少ない1~3位は前々回・前回の調査と同じであり、市内を利用している分野と利用していない分野はそれぞれ固定化していると言える。

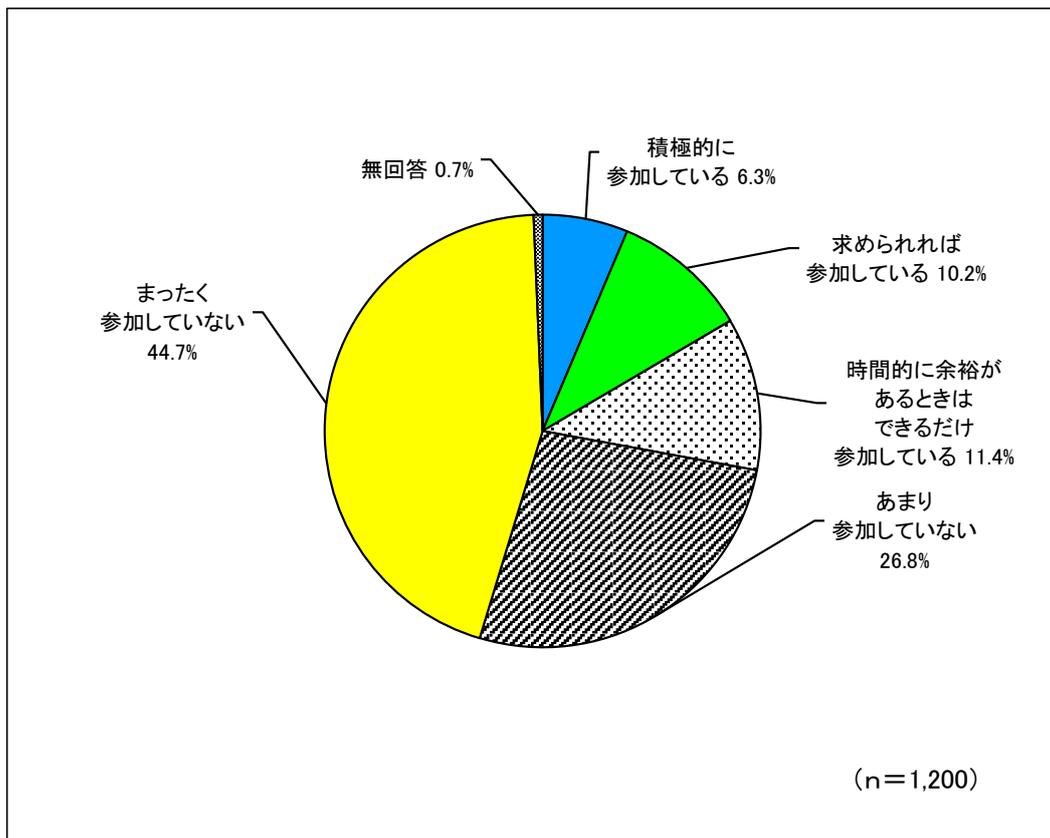


問 14 あなたは、社会貢献活動（地域活動やボランティア活動など）に参加していますか。

【ポイント】 社会貢献活動への参加の割合（「積極的に参加している」「求められれば参加している」「時間的に余裕があるときはできるだけ参加している」の合計）は27.9%で前回調査と同率

【全体的な回答の傾向】

社会貢献活動については、「まったく参加していない」割合が44.7%で最も多く、次いで「あまり参加していない」26.8%であり、これらの割合は前回調査とほとんど変化はなかった。参加の程度は「積極的に参加している」「求められれば参加している」など異なるものの何らかの形で社会貢献活動をしている人の合計は27.9%であり前回と同じ割合であった。

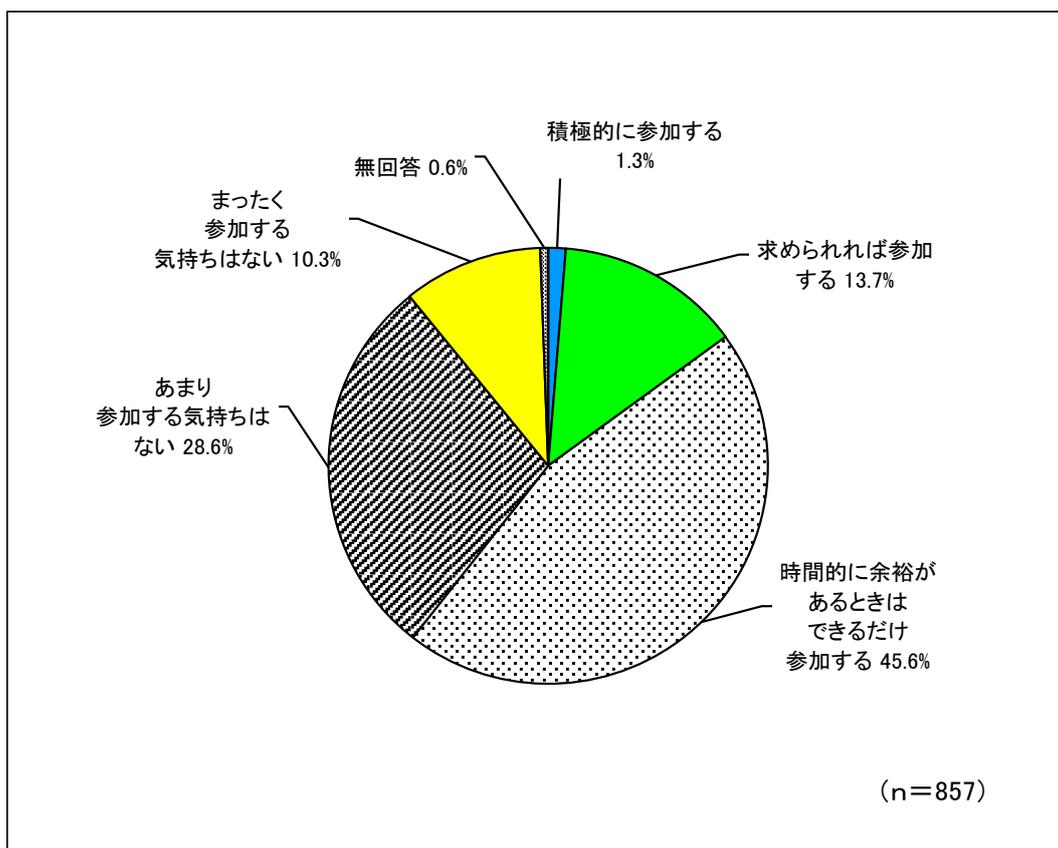


問 14-1 《問 14 で「4 あまり参加していない」または「5 まったく参加していない」とお答えの方にお伺いします。》あなたは、今後機会があれば社会貢献活動（地域活動やボランティア活動など）に参加しますか。

【ポイント】 機会があれば社会貢献活動に参加したい（「積極的に参加する」「求められれば参加する」「時間的に余裕があるときはできるだけ参加する」の合計）の割合は、現在参加していない人の 60.6%

【全体的な回答の傾向】

現在ほとんど社会貢献活動に参加していない人に限定して、今後参加する意向を尋ねたところ、参加の程度は「積極的に参加する」「求められれば参加する」など異なるものの、何らかの形で参加したい人の割合の合計は 60.6%にのぼった。



問 15 市民と市がお互いに協力しながら住みよいまちをつくっていくために、あなたは、どのような社会貢献活動（地域活動やボランティア活動など）に参加したいと思いますか。次の中から2つを選んでください。（複数回答）

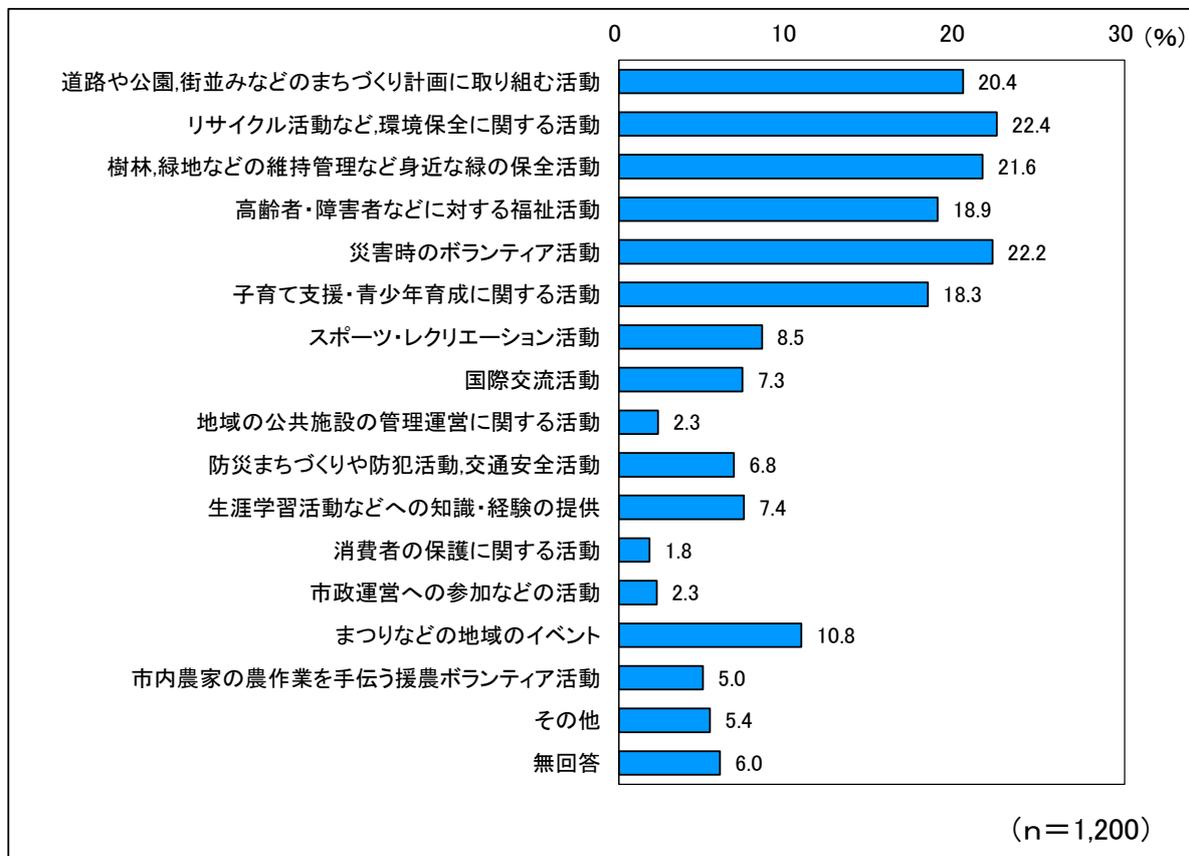
【ポイント】 参加したい社会貢献活動の分野としては

「リサイクル活動など、環境保全に関する活動」「災害時のボランティア活動」「樹林、緑地などの維持管理など身近な緑の保全活動」「道路や公園、街並みなどのまちづくり計画に取り組む活動」

【全体的な回答の傾向】

参加したい社会貢献活動の分野として多くあげられたものとその回答割合は、「リサイクル活動など、環境保全に関する活動」22.4%、「災害時のボランティア活動」22.2%、「樹林、緑地などの維持管理など身近な緑の保全活動」21.6%、「道路や公園、街並みなどのまちづくり計画に取り組む活動」20.4%などであり、これら上位にあげられた選択肢の回答割合には大きな差はなかった。

前回調査とはやや選択肢が異なるものの、前回調査でもっとも多かった「高齢者・障害者などに対する福祉活動」（21.2%）は、今回調査においては 18.9%で第5位とやや回答割合の低下がみられた。



複数回答のため回答割合合計は 100%を上回る

【性別にみた「参加したい社会貢献活動の分野」】

参加したい社会貢献活動分野をみたところ、性別に大きな差がみられたのは「道路や公園、街並みなどのまちづくり計画に取り組む活動」「樹林、緑地などの維持管理など身近な緑の保全活動」「高齢者・障害者などに対する福祉活動」「子育て支援・青少年育成に関する活動」であった。「道路や公園、街並みなどのまちづくり計画に取り組む活動」「樹林、緑地などの維持管理など身近な緑の保全活動」ではそれぞれ 10.8%、9.4%ずつ男性の回答割合が多く、「高齢者・障害者などに対する福祉活動」「子育て支援・青少年育成に関する活動」はそれぞれ 6.2%、10.6%ずつ、女性のほうが回答割合が高かった。

男性でもっとも回答割合の多い選択肢は「樹林、緑地などの維持管理など身近な緑の保全活動」27.3%で、男女合計及び女性で最多の「リサイクル活動など、環境保全に関する活動」を上回った。

		回答者数	合計	1. 道路や公園、街並みなどのまちづくり計画に取り組む活動	2. リサイクル活動など、環境保全に関する活動	3. 樹林、緑地などの維持管理など身近な緑の保全活動	4. 高齢者・障害者などに対する福祉活動	5. 災害時のボランティア活動	6. 子育て支援・青少年育成に関する活動	7. スポーツ・レクリエーション活動	8. 国際交流活動	
全体		1,200 (100.0)	2,251 (187.6)	245 (20.4)	269 (22.4)	259 (21.6)	227 (18.9)	266 (22.2)	220 (18.3)	102 (8.5)	88 (7.3)	
性別	1. 男	483 (100.0)	922 (190.9)	129 (26.7)	105 (21.7)	132 (27.3)	72 (14.9)	113 (23.4)	58 (12.0)	54 (11.2)	37 (7.7)	
	2. 女	703 (100.0)	1,304 (185.5)	112 (15.9)	162 (23.0)	126 (17.9)	148 (21.1)	153 (21.8)	159 (22.6)	47 (6.7)	49 (7.0)	
	3. 無回答	14 (100.0)	25 (178.6)	4 (28.6)	2 (14.3)	1 (7.1)	7 (50.0)	0 (-)	3 (21.4)	1 (7.1)	2 (14.3)	
				9. 地域の公共施設の管理運営に関する活動	10. 防災まちづくりや防犯活動、交通安全活動	11. 生涯学習活動などへの知識・経験の提供	12. 消費者の保護に関する活動	13. 市政運営への参加などの活動	14. まつりなどの地域のイベント	15. 市内農家の農作業を手伝う援農ボランティア活動	16. その他	17. 無回答
全体		28 (2.3)	82 (6.8)	89 (7.4)	22 (1.8)	27 (2.3)	130 (10.8)	60 (5.0)	65 (5.4)	72 (6.0)		
性別	1. 男	12 (2.5)	44 (9.1)	42 (8.7)	8 (1.7)	21 (4.3)	40 (8.3)	19 (3.9)	18 (3.7)	18 (3.7)		
	2. 女	16 (2.3)	38 (5.4)	47 (6.7)	14 (2.0)	6 (0.9)	88 (12.5)	41 (5.8)	47 (6.7)	51 (7.3)		
	3. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (14.3)	0 (-)	0 (-)	3 (21.4)		

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計複数回答であるために合計は回答者数を上回る

() 内は回答者数を100とした割合

【年代別にみた「参加したい社会貢献活動の分野」】

全年代合計でもっとも回答割合の高い「リサイクル活動など、環境保全に関する活動」と1位が一致する年代は60歳代のみであり、他の年代の1位はそれぞれ、10～20歳代「道路や公園、街並みなどのまちづくり計画に取り組む活動」、30歳代「子育て支援・青少年育成に関する活動」、40・50歳代「災害時のボランティア活動」、70歳以上で「高齢者・障害者などに対する福祉活動」などばらついてきた。30歳代では「まつりなどの地域イベント」「市内農家の農作業を手伝う援農ボランティア活動」についても、他の年代と比較すると相対的に回答割合が多かった。

		回答者数	合計	1. 道路や公園、街並みなどのまちづくり計画に取り組む活動	2. リサイクル活動など、環境保全に関する活動	3. 樹林、緑地などの維持管理など身近な緑の保全活動	4. 高齢者・障害者などに対する福祉活動	5. 災害時のボランティア活動	6. 子育て支援・青少年育成に関する活動	7. スポーツ・レクリエーション活動	8. 国際交流活動	
全体		1,200 (100.0)	2,251 (187.6)	245 (20.4)	269 (22.4)	259 (21.6)	227 (18.9)	266 (22.2)	220 (18.3)	102 (8.5)	88 (7.3)	
F2 年代	1. 10・20歳代	102 (100.0)	198 (194.1)	32 (31.4)	21 (20.6)	23 (22.5)	8 (7.8)	24 (23.5)	21 (20.6)	12 (11.8)	6 (5.9)	
	2. 30歳代	155 (100.0)	300 (193.5)	31 (20.0)	20 (12.9)	21 (13.5)	17 (11.0)	39 (25.2)	51 (32.9)	12 (7.7)	19 (12.3)	
	3. 40歳代	198 (100.0)	382 (192.9)	40 (20.2)	46 (23.2)	42 (21.2)	29 (14.6)	58 (29.3)	50 (25.3)	16 (8.1)	19 (9.6)	
	4. 50歳代	204 (100.0)	397 (194.6)	42 (20.6)	51 (25.0)	44 (21.6)	33 (16.2)	52 (25.5)	44 (21.6)	17 (8.3)	17 (8.3)	
	5. 60歳代	229 (100.0)	434 (189.5)	43 (18.8)	64 (27.9)	55 (24.0)	48 (21.0)	53 (23.1)	32 (14.0)	23 (10.0)	16 (7.0)	
	6. 70歳以上	301 (100.0)	521 (173.1)	55 (18.3)	66 (21.9)	73 (24.3)	87 (28.9)	40 (13.3)	19 (6.3)	21 (7.0)	9 (3.0)	
	7. 無回答	11 (100.0)	19 (172.7)	2 (18.2)	1 (9.1)	1 (9.1)	5 (45.5)	0 (-)	3 (27.3)	1 (9.1)	2 (18.2)	
				9. 地域の公共施設の管理運営に関する活動	10. 防災まちづくりや防犯活動、交通安全活動	11. 生涯学習活動などへの知識・経験の提供	12. 消費者の保護に関する活動	13. 市政運営への参加などの活動	14. まつりなどの地域のイベント	15. 市内農家の農作業を手伝う援農ボランティア活動	16. その他	17. 無回答
全体		28 (2.3)	82 (6.8)	89 (7.4)	22 (1.8)	27 (2.3)	130 (10.8)	60 (5.0)	65 (5.4)	72 (6.0)		
F2 年代	1. 10・20歳代	0 (-)	8 (7.8)	5 (4.9)	2 (2.0)	2 (2.0)	21 (20.6)	6 (5.9)	3 (2.9)	4 (3.9)		
	2. 30歳代	2 (1.3)	9 (5.8)	9 (5.8)	1 (0.6)	3 (1.9)	41 (26.5)	16 (10.3)	4 (2.6)	5 (3.2)		
	3. 40歳代	2 (1.0)	21 (10.6)	8 (4.0)	2 (1.0)	6 (3.0)	22 (11.1)	8 (4.0)	8 (4.0)	5 (2.5)		
	4. 50歳代	10 (4.9)	18 (8.8)	28 (13.7)	6 (2.9)	7 (3.4)	9 (4.4)	9 (4.9)	10 (2.5)	4 (2.0)		
	5. 60歳代	8 (3.5)	9 (3.9)	18 (7.9)	7 (3.1)	4 (1.7)	17 (7.4)	13 (5.7)	11 (4.8)	13 (5.7)		
	6. 70歳以上	6 (2.0)	17 (5.6)	21 (7.0)	4 (1.3)	5 (1.7)	19 (6.3)	7 (2.3)	34 (11.3)	38 (12.6)		
	7. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (9.1)	0 (-)	0 (-)	3 (27.3)		

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
複数回答であるために合計は回答者数を上回る
() 内は回答者数を100とした割合

問 16 地域住民がともに支え合う地域づくりをするために、特に必要だと思うものを次の①から③の項目それぞれについて1つずつ選んでください。

【ポイント】

市民が取り組むべきものは「日頃からご近所（向こう三軒両隣）との交流を深める」

市が取り組むべきものは「福祉活動団体や市民活動団体と連携し福祉サービスの充実に努める」

「情報公開と情報提供に努める」

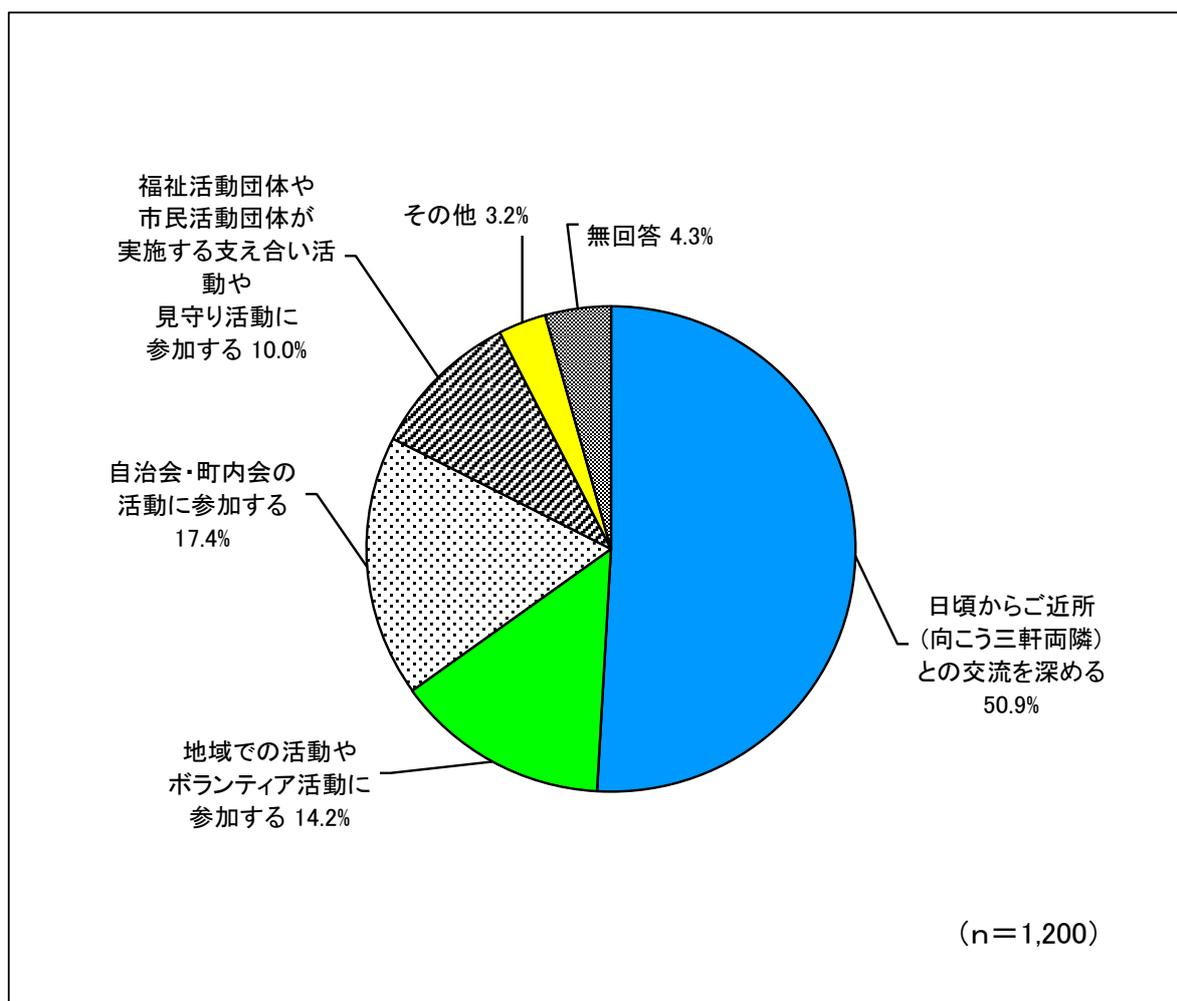
連携して取り組むべきものは

「災害時の防災対策などについての自治体・町内会や防災推進組織と連携する」

【全体的な回答の傾向】

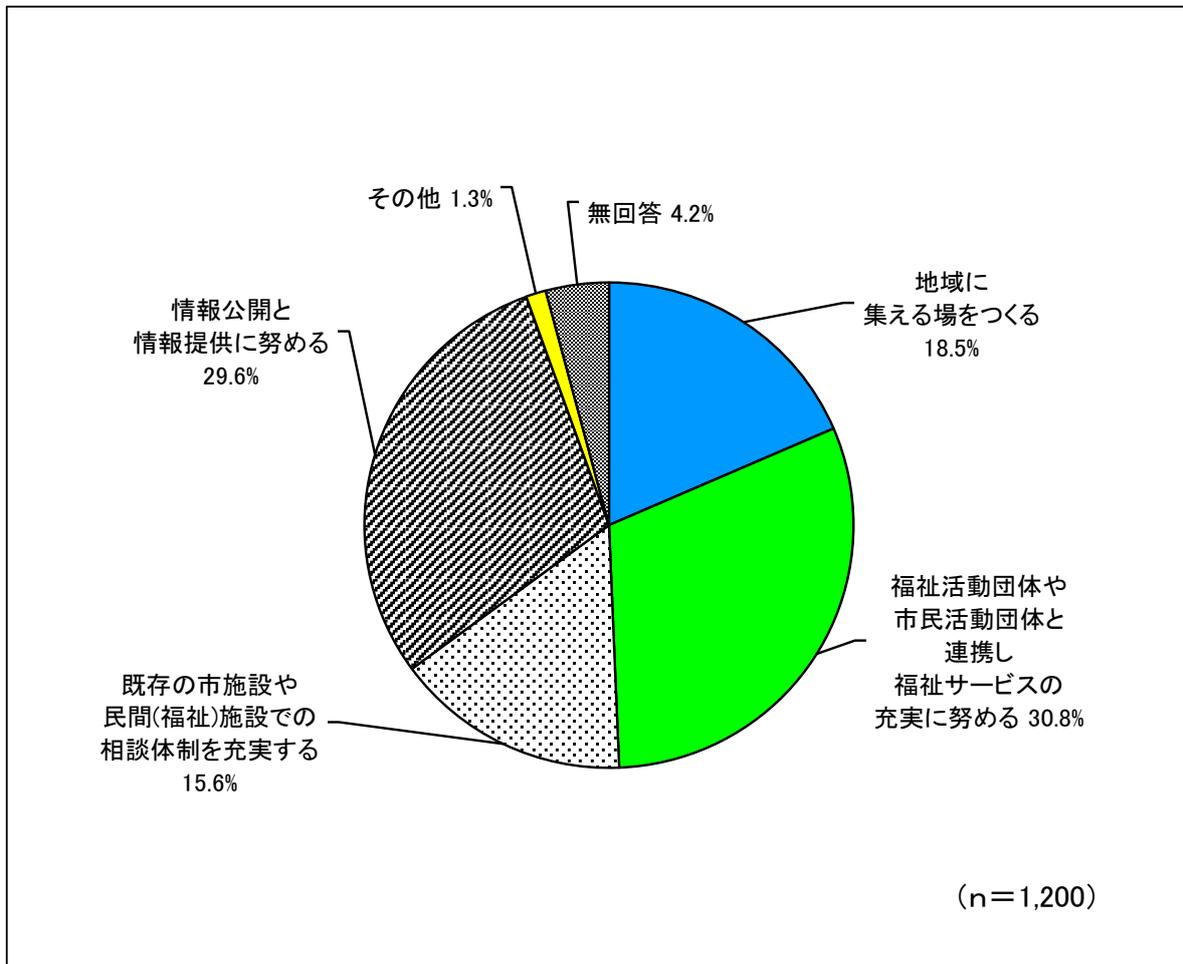
①市民が取り組むべきもの

ともに支え合う地域づくりをするために必要なものを尋ねたところ、市民が取り組むべきものとして最も割合が高かったのは「日頃からご近所（向こう三軒両隣）との交流を深める」の50.9%であり、これは前回と同様であった。



②行政が取り組むべきもの

行政が取り組むべきものとして最も多い割合だったのは「福祉活動団体や市民活動団体と連携し福祉サービスの充実に努める」30.8%、僅差でこれに次いだのが「情報公開と情報提供に努める」29.6%であった。この順位は前回と同様だが、「情報公開と情報提供に努める」の回答割合は、前回調査から5.1ポイント増加した。



【性別にみた「行政が取り組むべきもの」】

行政が取り組むべきものとして、「福祉活動団体や市民活動団体と連携し福祉サービスの充実に努める」の回答割合は女性が男性よりも7.6%、「情報公開と情報提供に努める」では男性が女性よりも7.7%ずつ、それぞれ多かった。

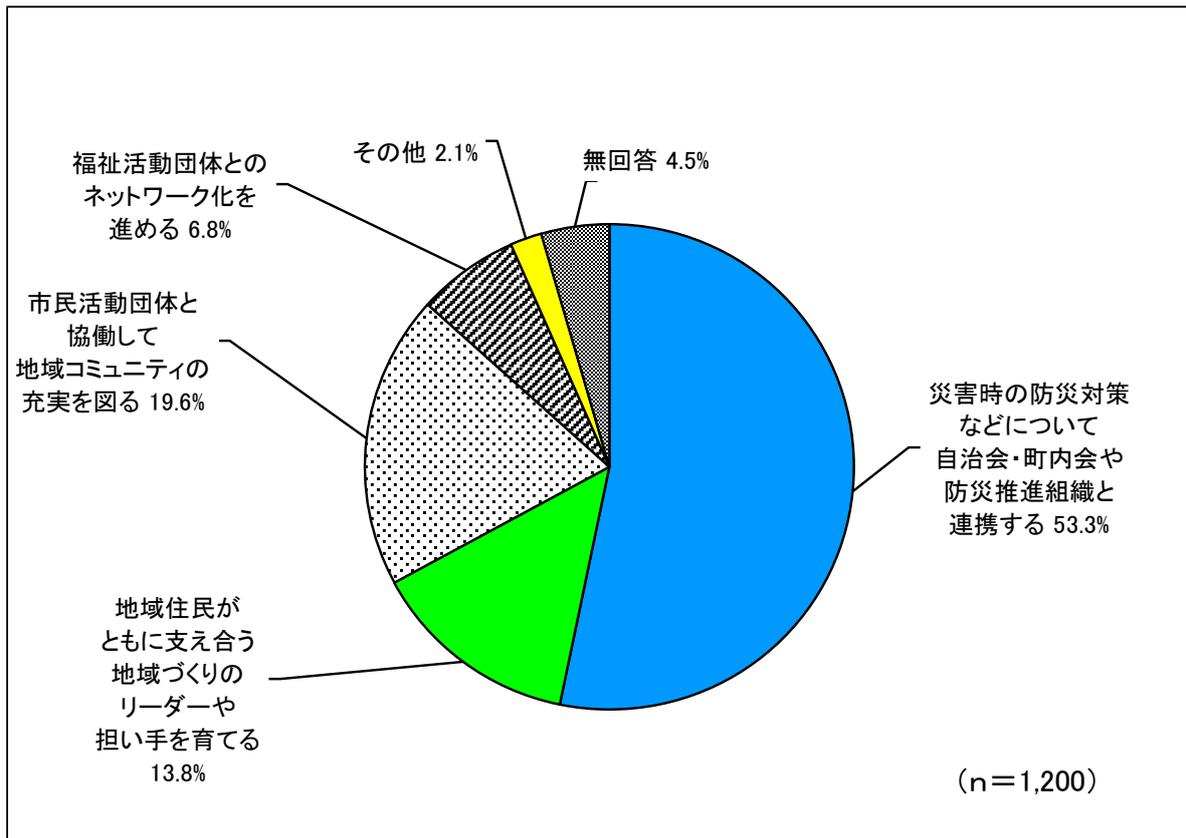
男性では、男女合計と女性で1位の「福祉活動団体や市民活動団体と連携し福祉サービスの充実に努める」を上回って、「情報公開・提供に努める」の割合が最多だった。

		合 計	1. 地域に集 える場を つくる	2. 福祉活動 団体や市 民活動団 体と連携 し福祉 サービスの 充実に 努める	3. 既存の市 施設や民 間(福祉) 施設での 相談体制 を充実す る	4. 情報公開 と情報提 供に努め る	5. その他	6. 無回答
全 体		1,200 (100.0)	222 (18.5)	370 (30.8)	187 (15.6)	355 (29.6)	16 (1.3)	50 (4.2)
F 1 性 別	1. 男	483 (100.0)	83 (17.2)	127 (26.3)	87 (18.0)	166 (34.4)	8 (1.7)	12 (2.5)
	2. 女	703 (100.0)	137 (19.5)	238 (33.9)	98 (13.9)	188 (26.7)	7 (1.0)	35 (5.0)
	3. 無回答	14 (100.0)	2 (14.3)	5 (35.7)	2 (14.3)	1 (7.1)	1 (7.1)	3 (21.4)

注:()内はサンプル数を100とした割合

③市民と行政が連携して取り組むべきもの

市民と行政が連携して取り組むべきものとして、最も多い割合だったのは「災害時の防災対策などについて自治会・町内会や防災推進組織と連携する」53.3%で、その他の選択肢を大きく引き離していた。この傾向は前回調査も同様であり、これを選択した人の割合は前回調査よりさらに7.0%増加した。



【性別にみた「市民と行政が連携して取り組むべきもの」】

市民と行政が連携して取り組むべきものとして、「災害時の防災対策などについて自治会・町内会や防災推進組織と連携する」の割合は女性が男性よりも8.5%、「地域住民がともに支え合う地域づくりのリーダーや担い手を育てる」の割合では男性が女性よりも5.1%、それぞれ多かった。

		合 計	1. 災害時の 防災対策 などにつ いて自治 会・町内 会や防災 推進組織 と連携す る	2. 地域住民 がともに 支え合う 地域づく りのリー ダーや担 い手を育 てる	3. 市民活動 団体と協 働して地 域コミュ ニティの 充実を図 る	4. 福祉活動 団体との ネット ワーク化 を進める	5. その他	6. 無回答
全 体		1,200 (100.0)	639 (53.3)	166 (13.8)	235 (19.6)	81 (6.8)	25 (2.1)	54 (4.5)
F 1 性 別	1. 男	483 (100.0)	234 (48.4)	80 (16.6)	104 (21.5)	36 (7.5)	11 (2.3)	18 (3.7)
	2. 女	703 (100.0)	400 (56.9)	81 (11.5)	131 (18.6)	44 (6.3)	14 (2.0)	33 (4.7)
	3. 無回答	14 (100.0)	5 (35.7)	5 (35.7)	0 (-)	1 (7.1)	0 (-)	3 (21.4)

注:()内はサンプル数を100とした割合

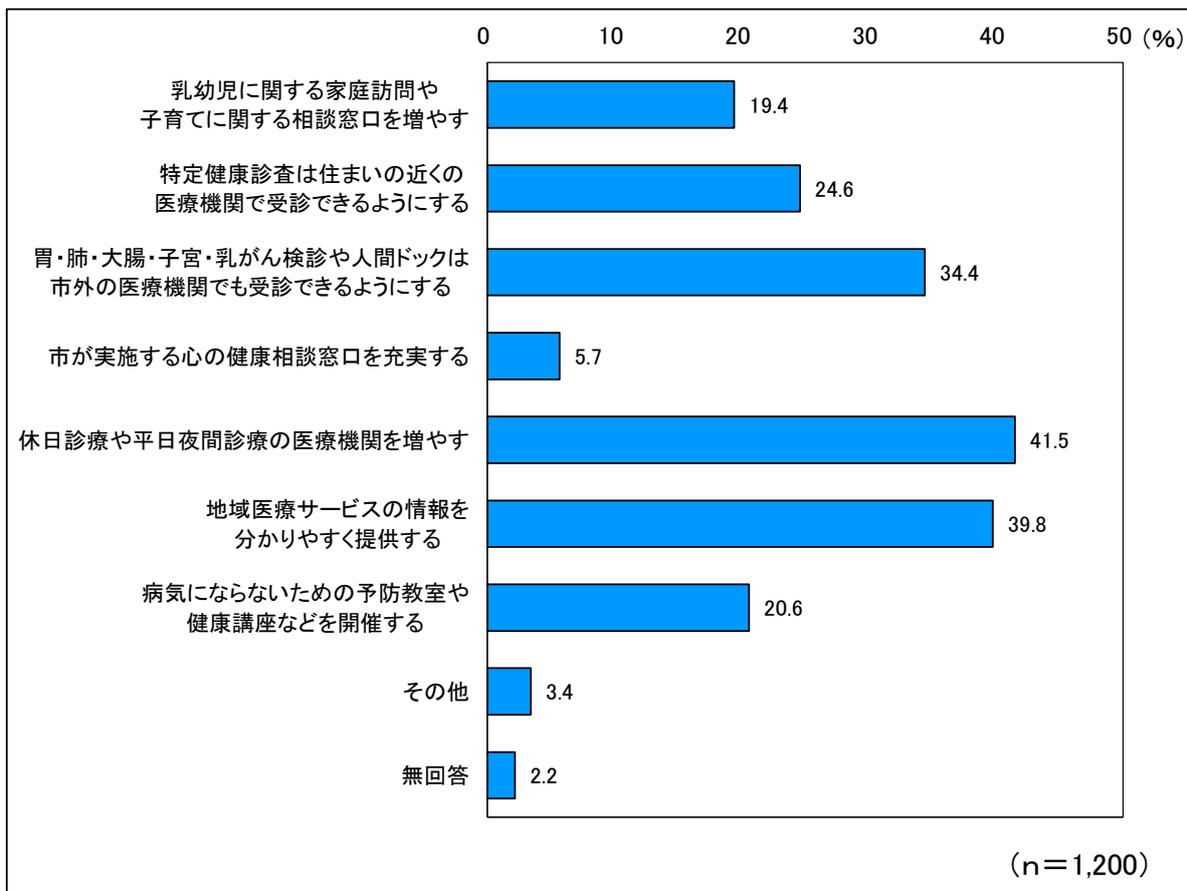
IV 福祉保健について(問 17~18-②)

問 17 保健・医療サービスの充実のために特に必要だと思うものを次の中から2つ選んでください。
(複数回答)

【ポイント】 「休日診療や平日夜間診療の医療機関を増やす」が最多で41.5%、
次いで「地域医療サービスの情報を分かりやすく提供する」39.8%

【全体的な回答の傾向】

保健・医療サービスについて国分寺市が特に取り組んでいく必要があるものについて聞いたところ、「休日診療や平日夜間診療の医療機関を増やす」の割合が最も多く41.5%となった。次いで「地域医療サービスの情報を分かりやすく提供する」39.8%、「胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診や人間ドックは市外の医療機関でも受診できるようにする」34.4%の順であった。



複数回答のため回答割合合計は100%を上回る

【性別にみた「保健・医療サービス充実に必要だと思うもの」】

保健・医療サービス充実に必要だと思うものを性別にみると、男女合計で割合が最も多い「休日診療や平日夜間診療の医療機関を増やす」においては特に男性の回答割合が高く、女性を7.9%上回った。

一方女性ではこれよりも「地域医療サービスの情報を分かりやすく提供する」の割合が最多だった。

	回答者数	合計	1. 乳幼児に関する家庭訪問や子育てに関する相談窓口を増やす	2. 特定健康診査は住まいの近くの医療機関で受診できるようにする	3. 胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診や人間ドックは市外の医療機関でも受診できるようにする	4. 市が実施する心の健康相談窓口を充実する	5. 休日診療や平日夜間診療の医療機関を増やす	6. 地域医療サービスの情報を分かりやすく提供する	7. 病気にならないための予防教室や健康講座などを開催する	8. その他	9. 無回答
全体	1,200 (100.0)	2,298 (191.5)	233 (19.4)	295 (24.6)	413 (34.4)	68 (5.7)	498 (41.5)	477 (39.8)	247 (20.6)	41 (3.4)	26 (2.2)
性別	1. 男	483 (100.0)	92 (19.0)	112 (23.2)	153 (31.7)	30 (6.2)	224 (46.4)	190 (39.3)	99 (20.5)	18 (3.7)	7 (1.4)
	2. 女	703 (100.0)	139 (19.8)	181 (25.7)	256 (36.4)	38 (5.4)	271 (38.5)	282 (40.1)	146 (20.8)	22 (3.1)	15 (2.1)
	3. 無回答	14 (100.0)	23 (164.3)	2 (14.3)	2 (14.3)	4 (28.6)	0 (-)	3 (21.4)	5 (35.7)	2 (14.3)	1 (7.1)

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
 複数回答であるために合計は回答者数を上回る
 () 内は回答者数を100とした割合

【年代別にみた「保健・医療サービス充実に必要だと思うもの」】

全年代合計で1位の「休日診療や平日夜間診療の医療機関を増やす」の割合が特に多いのは30歳代であった。60歳以上に限れば「地域医療サービスの情報を分かりやすく提供する」が第1位であった。10～30歳代では「乳幼児に関する家庭訪問や子育てに関する相談窓口を増やす」も高い回答割合であった。

	回答者数	合計	1. 乳幼児に関する家庭訪問や子育てに関する相談窓口を増やす	2. 特定健康診査は住まいの近くの医療機関で受診できるようにする	3. 胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診や人間ドックは市外の医療機関でも受診できるようにする	4. 市が実施する心の健康相談窓口を充実させる	5. 休日診療や平日夜間診療の医療機関を増やす	6. 地域医療サービスの情報を分かりやすく提供する	7. 病気にならないための予防教室や健康講座などを開催する	8. その他	9. 無回答	
全体	1,200 (100.0)	2,298 (191.5)	233 (19.4)	295 (24.6)	413 (34.4)	68 (5.7)	498 (41.5)	477 (39.8)	247 (20.6)	41 (3.4)	26 (2.2)	
F 2 年 代	1. 10・20歳代	102 (100.0)	201 (197.1)	31 (30.4)	28 (27.5)	32 (31.4)	6 (5.9)	52 (51.0)	34 (33.3)	13 (12.7)	4 (3.9)	1 (1.0)
	2. 30歳代	155 (100.0)	299 (192.9)	51 (32.9)	26 (16.8)	48 (31.0)	6 (3.9)	87 (56.1)	58 (37.4)	15 (9.7)	7 (4.5)	1 (0.6)
	3. 40歳代	198 (100.0)	380 (191.9)	33 (16.7)	49 (24.7)	75 (37.9)	10 (5.1)	96 (48.5)	75 (37.9)	31 (15.7)	9 (4.5)	2 (1.0)
	4. 50歳代	204 (100.0)	392 (192.2)	44 (21.6)	42 (20.6)	64 (31.4)	13 (6.4)	95 (46.6)	86 (42.2)	35 (17.2)	9 (4.4)	4 (2.0)
	5. 60歳代	229 (100.0)	442 (193.0)	45 (19.7)	63 (27.5)	77 (33.6)	10 (4.4)	77 (33.6)	100 (43.7)	63 (27.5)	3 (1.3)	4 (1.7)
	6. 70歳以上	301 (100.0)	566 (188.0)	28 (9.3)	85 (28.2)	113 (37.5)	23 (7.6)	88 (29.2)	121 (40.2)	89 (29.6)	8 (2.7)	11 (3.7)
	7. 無回答	11 (100.0)	18 (163.6)	1 (9.1)	2 (18.2)	4 (36.4)	0 (-)	3 (27.3)	3 (27.3)	1 (9.1)	1 (9.1)	3 (27.3)

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
 複数回答であるために合計は回答者数を上回る
 () 内は回答者数を100とした割合

【持っている子どもの人数別にみた「保健・医療サービス充実に必要だと思うもの」】

子どもが一人の回答者においては、「休日診療や平日夜間診療の医療機関を増やす」「地域医療サービスの情報を分かりやすく提供する」の回答割合が高かった。特に「地域医療サービスの情報を分かりやすく提供する」においては、サンプルの少ない子ども4人以上の回答者を除くと、子どもが少ない回答者ほど回答割合が高くなる傾向がみられた。

	回答者数	合計	1. 乳幼児に関する家庭訪問や子育てに関する相談窓口を増やす	2. 特定健康診査は住まいの近くの医療機関で受診できるようにする	3. 胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診や人間ドックは市外の医療機関でも受診できるようにする	4. 市が実施する心の健康相談窓口を充実する	5. 休日診療や平日夜間診療の医療機関を増やす	6. 地域医療サービスの情報を分かりやすく提供する	7. 病気にならないための予防教室や健康講座などを開催する	8. その他	9. 無回答	
全体	1,039 (100.0)	1,998 (192.3)	202 (19.4)	256 (24.6)	365 (35.1)	59 (5.7)	423 (40.7)	431 (41.5)	209 (20.1)	33 (3.2)	20 (1.9)	
F6 子どもの人数	1. 1人	267 (100.0)	518 (194.0)	63 (23.6)	62 (23.2)	87 (32.6)	11 (4.1)	119 (44.6)	111 (41.6)	53 (19.9)	10 (3.7)	2 (0.7)
	2. 2人	339 (100.0)	651 (192.0)	59 (17.4)	86 (25.4)	124 (36.6)	22 (6.5)	132 (38.9)	133 (39.2)	73 (21.5)	14 (4.1)	8 (2.4)
	3. 3人	102 (100.0)	195 (191.2)	26 (25.5)	28 (27.5)	37 (36.3)	5 (4.9)	40 (39.2)	37 (36.3)	18 (17.6)	3 (2.9)	1 (1.0)
	4. 4人以上	37 (100.0)	72 (194.6)	7 (18.9)	7 (18.9)	13 (35.1)	3 (8.1)	16 (43.2)	16 (43.2)	9 (24.3)	1 (2.7)	0 (-)
	5. 無回答	294 (100.0)	562 (191.2)	47 (16.0)	73 (24.8)	104 (35.4)	18 (6.1)	116 (39.5)	134 (45.6)	56 (19.0)	5 (1.7)	9 (3.1)

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
 複数回答であるために合計は回答者数を上回る
 () 内は回答者数を100とした割合

問 18—① 《現在、小学生までのお子様（小学生を含む）を育てていらっしゃる方にお伺いします。》
市ではさまざまな子育て支援事業を実施していますが、あなたは市の子育て支援事業についてどの
ように感じていますか。

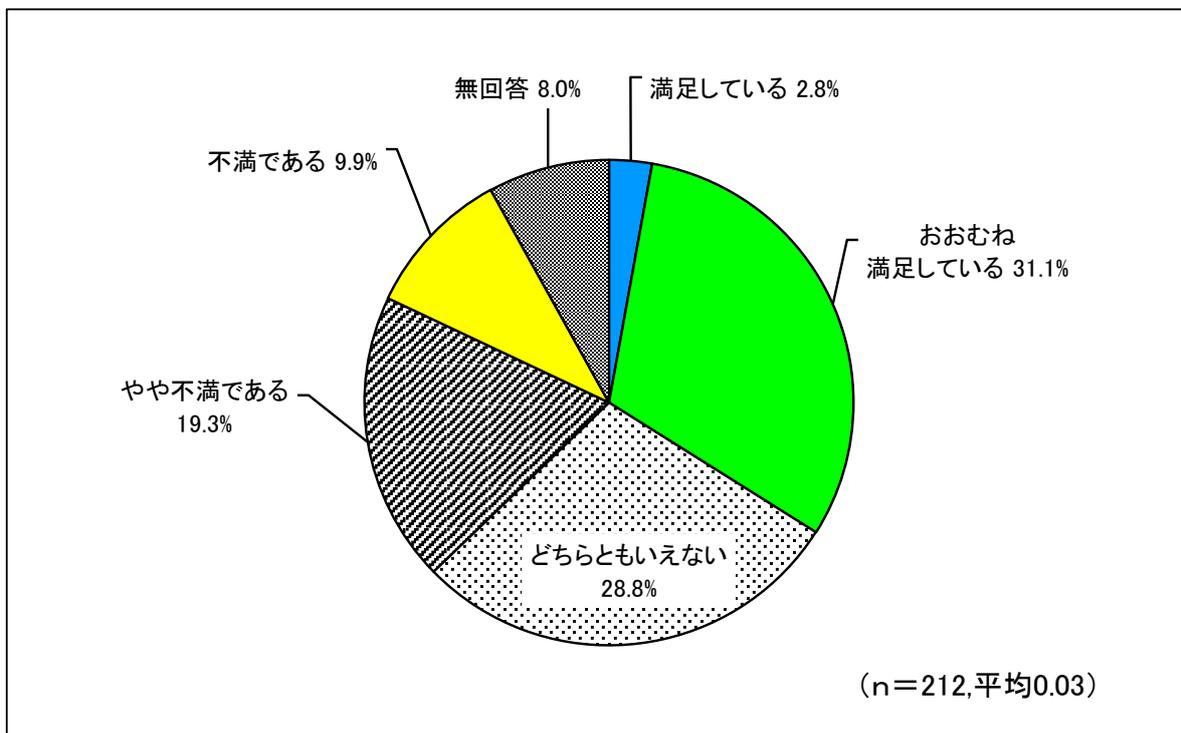
【ポイント】 市の子育て支援事業に「不満である」「やや不満である」合計が29.2%で
前回マイナス14.6%、
「満足している」「おおむね満足している」合計33.9%も前回マイナス3.8%、
「どちらともいえない」が10.4%増

【全体的な回答の傾向】

小学生までの子育てをしている回答者212人に国分寺市の子育て支援事業の満足度について尋ね、
たところ、最も回答割合が多いのは「おおむね満足している」31.1%、次いで「どちらともいえない」
28.8%であった。「満足している」2.8%と「おおむね満足している」31.1%を合計すると33.9%
であり、「不満である」9.9%と「やや不満である」19.3%を合計した29.2%を上回った。

前回調査と比較すると、「不満である」+「やや不満である」合計が14.6%減少しているが、「満
足している」+「おおむね満足している」合計も3.8%減少しており、この結果、前回調査とは逆転
して「不満」+「やや不満」が、「満足」+「おおむね満足」を上回った。ただし「どちらともいえ
ない」の大幅な増加（10.4%）もみられた。

「満足している」2点、「おおむね満足している」1点、「やや不満である」-1点、「不満である」
-2点と配点した平均は0.03点であった。

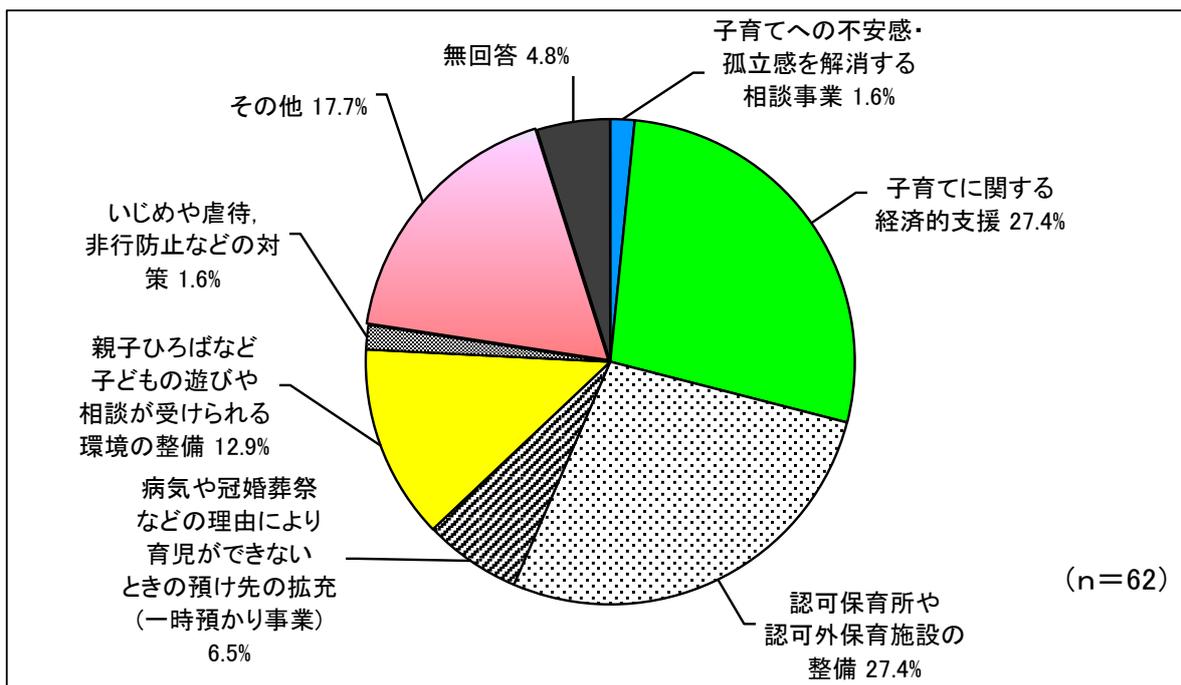


問 18-② 《問 18-①で「4 やや不満である」, 「5 不満である」とお答えの方にお伺いします。》
 市の子育て支援事業の中であなたが特に取り組んでいく必要があると思うものを次の中から1つ選んでください。

【ポイント】 「不満である」「やや不満である」の人のうち「認可保育所や認可外保育施設の整備」を望む人は27.4%で前回より9.0%減

【全体的な回答の傾向】

市の子育て支援事業に「不満である」「やや不満である」と回答した62人の回答者に対して、子育て支援事業で特に取り組むべきものについて聞いた。最も割合が高かったのは「子育てに関する経済的支援」と「認可保育所や認可外保育施設の整備」との同率27.4%で、次いで「親子ひろばなど子どもの遊びや相談が受けられる環境の整備」12.9%であった。前回調査と比較すると、「認可保育所や認可外保育施設の整備」は9.0%減少し、「親子ひろばなど子どもの遊びや相談が受けられる環境の整備」は4.5%増加した。



【性別にみた「特に取り組むべき子育て支援」】

特に取り組むべき子育て支援事業を性別にみると、いずれもサンプル数は少ないものの、男性で最も割合が高いのは「子育てに関する経済的支援」であり、女性で最も割合が高いのは「認可保育所や認可外保育施設の整備」と、差異がみられた。

		合 計	1. 子育てへの不安感・孤立感を解消する相談事業	2. 子育てに関する経済的支援	3. 認可保育所や認可外保育施設の整備	4. 病気や冠婚葬祭などの理由により育児ができないときの預け先の拡充（一時預かり事業）	5. 親子ひろばなど子どもの遊びや相談が受けられる環境の整備	6. いじめや虐待、非行防止などの対策	7. その他	8. 無回答
全 体		62 (100.0)	1 (1.6)	17 (27.4)	17 (27.4)	4 (6.5)	8 (12.9)	1 (1.6)	11 (17.7)	3 (4.8)
F 1 性別	1. 男	13 (100.0)	1 (7.7)	6 (46.2)	2 (15.4)	1 (7.7)	0 (-)	0 (-)	3 (23.1)	0 (-)
	2. 女	49 (100.0)	0 (-)	11 (22.4)	15 (30.6)	3 (6.1)	8 (16.3)	1 (2.0)	8 (16.3)	3 (6.1)
	3. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合

【持っている子どもの人数にみた「特に取り組むべき子育て支援」】

子どもが1人の回答者においては「親子ひろばなど子どもの遊びや相談が受けられる環境の整備」の割合が高く、子どもが複数いる回答者においては、子どもが一人の回答者よりも「子育てに関する経済的支援」の割合が高い傾向がみられた。

		合 計	1. 子育てへの不安感・孤立感を解消する相談事業	2. 子育てに関する経済的支援	3. 認可保育所や認可外保育施設の整備	4. 病気や冠婚葬祭などの理由により育児ができないときの預け先の拡充（一時預かり事業）	5. 親子ひろばなど子どもの遊びや相談が受けられる環境の整備	6. いじめや虐待、非行防止などの対策	7. その他	8. 無回答
全 体		62 (100.0)	1 (1.6)	17 (27.4)	17 (27.4)	4 (6.5)	8 (12.9)	1 (1.6)	11 (17.7)	3 (4.8)
F 6 子 ど も の 人 数	1. 1人	22 (100.0)	0 (-)	4 (18.2)	8 (36.4)	1 (4.5)	7 (31.8)	0 (-)	2 (9.1)	0 (-)
	2. 2人	24 (100.0)	0 (-)	8 (33.3)	5 (20.8)	2 (8.3)	1 (4.2)	0 (-)	5 (20.8)	3 (12.5)
	3. 3人	11 (100.0)	0 (-)	3 (27.3)	3 (27.3)	1 (9.1)	0 (-)	1 (9.1)	3 (27.3)	0 (-)
	4. 4人以上	5 (100.0)	1 (20.0)	2 (40.0)	1 (20.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (20.0)	0 (-)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合

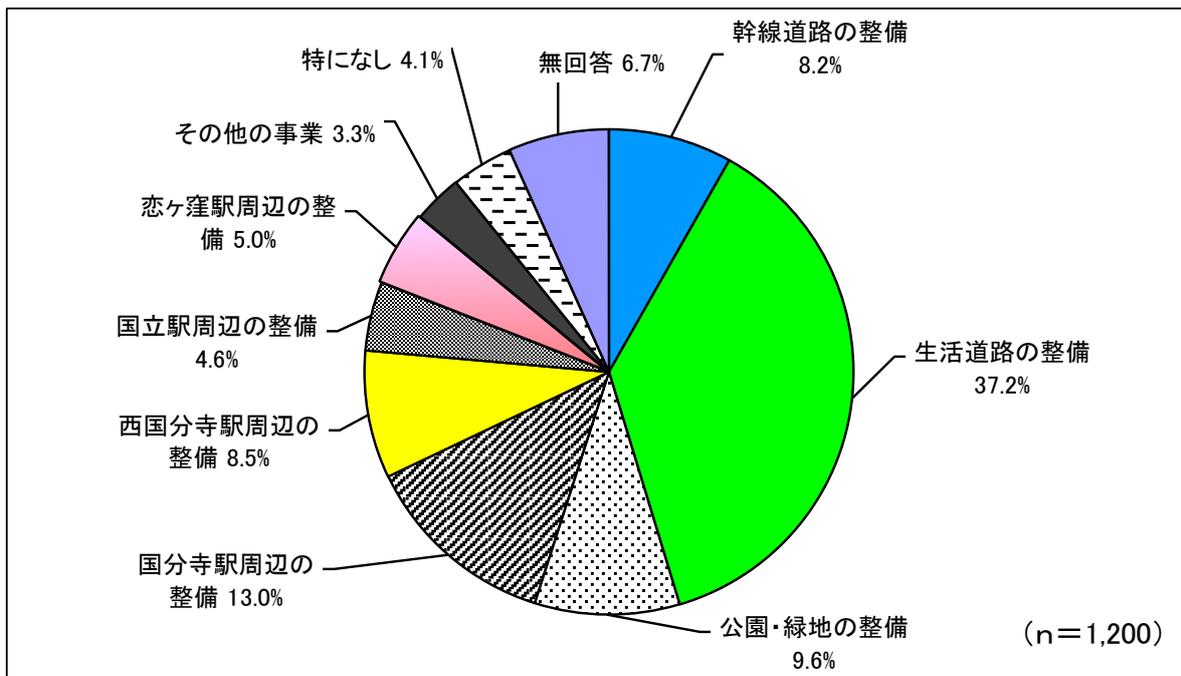
V 都市整備・開発について(問 19~21)

問 19 都市の基盤となる道路などの整備事業のうち、市は、特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

【ポイント】 「生活道路の整備」が最も多く 37.2%

【全体的な回答の傾向】

特に力を入れてほしい都市整備基盤事業について聞いたところ、最も割合が高いのは「生活道路の整備」37.2%であった。これは前回調査でも1位であり、この割合は前回よりもさらに7.0%増加した。一方、前回調査で2位であった「国分寺駅周辺の整備」は前回が27.9%であったのに対して今回13.0%であり、14.9%の大幅な減少となった。



【性別にみた「力を入れるべき都市基盤整備事業】

力を入れるべき都市基盤整備事業を性別にみると、「幹線道路の整備」の割合では男性が7.8%、「生活道路の整備」では女性が5.1%、それぞれ上回っており男女差がみられた。

		合計	1. 幹線道路の整備	2. 生活道路の整備	3. 公園・緑地の整備	4. 国分寺駅周辺の整備	5. 西国分寺駅周辺の整備	6. 国立駅周辺の整備	7. 恋ヶ窪駅周辺の整備	8. その他の事業	9. 特になし	10. 無回答
全体		1,200 (100.0)	98 (8.2)	446 (37.2)	115 (9.6)	156 (13.0)	102 (8.5)	55 (4.6)	60 (5.0)	39 (3.3)	49 (4.1)	80 (6.7)
性別	1. 男	483 (100.0)	62 (12.8)	165 (34.2)	44 (9.1)	62 (12.8)	45 (9.3)	19 (3.9)	23 (4.8)	20 (4.1)	17 (3.5)	26 (5.4)
	2. 女	703 (100.0)	35 (5.0)	276 (39.3)	70 (10.0)	92 (13.1)	56 (8.0)	36 (5.1)	37 (5.3)	18 (2.6)	31 (4.4)	52 (7.4)
	3. 無回答	14 (100.0)	1 (7.1)	5 (35.7)	1 (7.1)	2 (14.3)	1 (7.1)	0 (-)	0 (-)	1 (7.1)	1 (7.1)	2 (14.3)

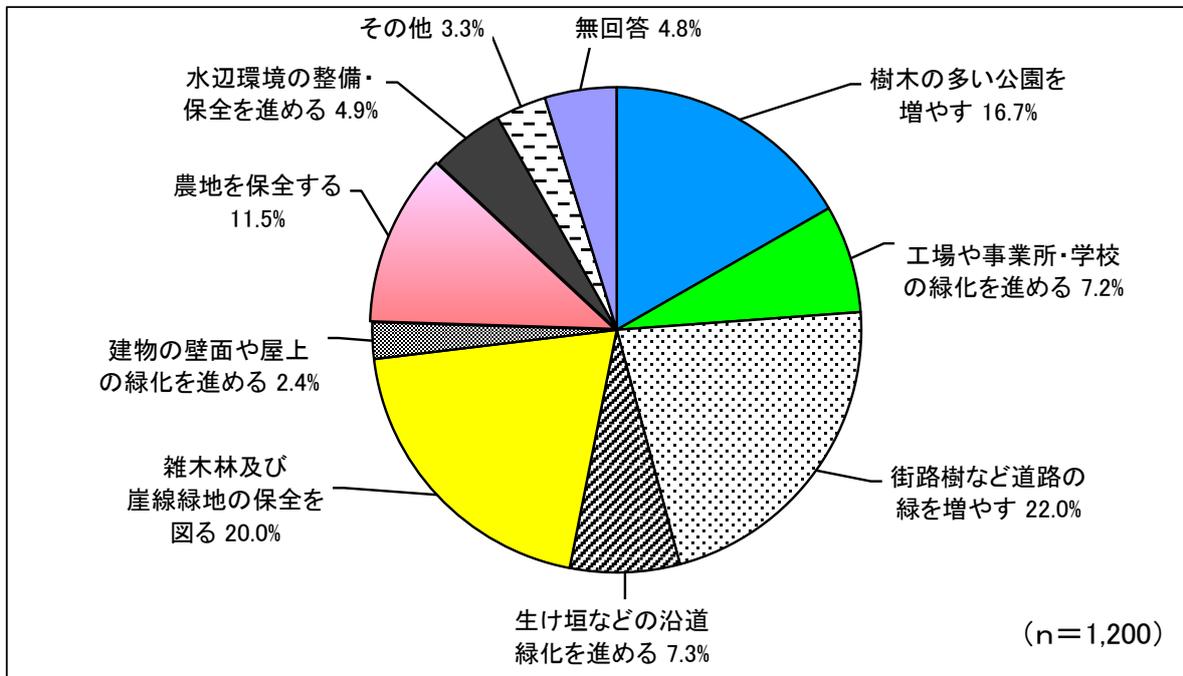
注：()内はサンプル数を100とした割合

問20 緑豊かなまちにしていくため、市として特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

【ポイント】 「街路樹など道路の緑を増やす」22.0%、「雑木林及び崖線緑地の保全を図る」20.0%

【全体的な回答の傾向】

緑豊かなまちにしていくために力を入れるべきことについて聞いたところ、最も割合が高かったのは「街路樹など道路の緑を増やす」22.0%、次いで「雑木林及び崖線緑地の保全を図る」20.0%であった。前回調査と比較すると1位と2位の逆転はあるものの、その差は僅差でありほぼ同じ傾向がみられた。

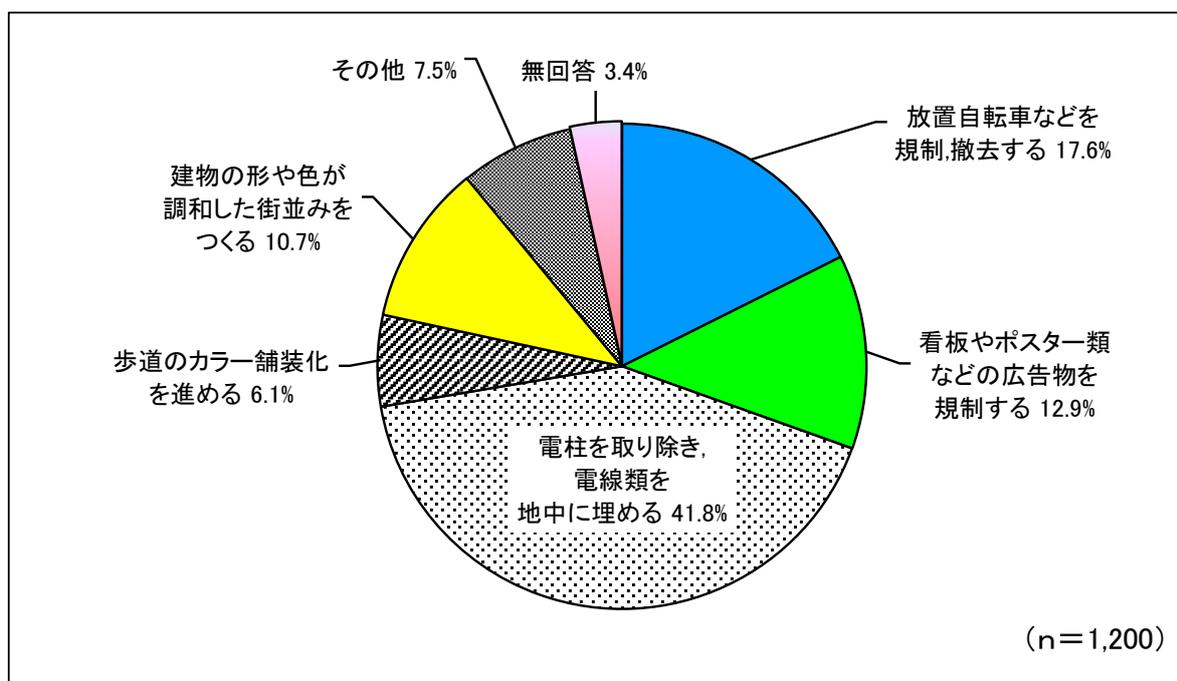


問21 美しく機能的なまちにしていくため、市として特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

【ポイント】 最も多かったのは「電柱を取り除き、電線類を地中に埋める」41.8%

【全体的な回答の傾向】

美しく機能的なまちにしていくため力を入れるべきことについて尋ねたところ、最も割合が高かったのは「電柱を取り除き、電線類を地中に埋める」41.8%で他の選択肢を大きく上回っており、この点は前回調査と同様であった。



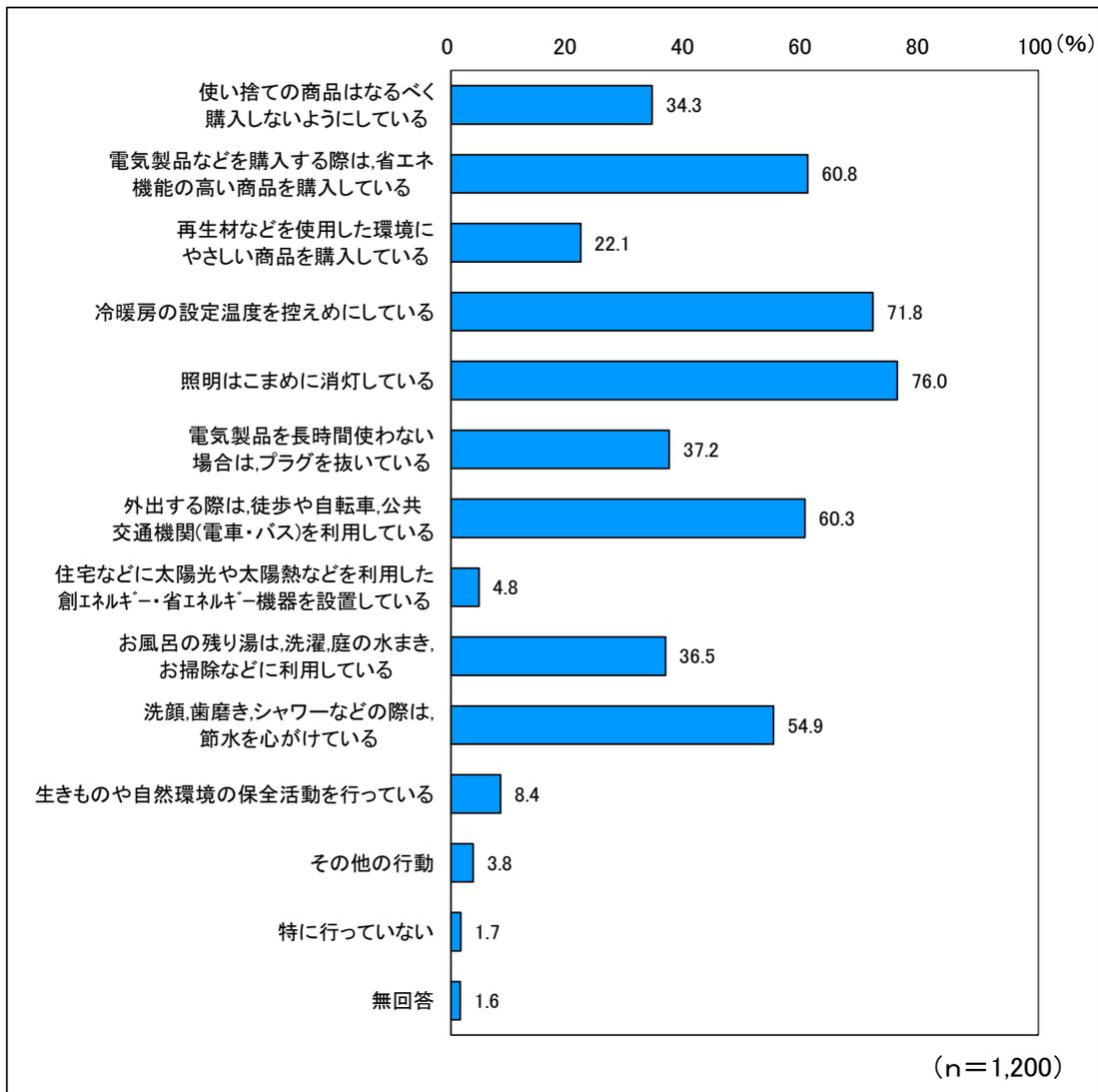
VI 環境について(問 22~23)

問 22 あなたは環境に配慮する行動を行っていますか。次の中から行っているものを全て選んでください。(複数回答)

【ポイント】 「照明はこまめに消灯している」が最多で76.3%

【全体的な回答の傾向】

環境に配慮する行動として最も多く行われているのは「照明はこまめに消灯している」76.0%、次いで「冷暖房の設定温度を控えめにしている」71.8%であった。前回調査と比較すると、割合の高い1位・2位は同じであったが、回答割合は前回調査から「照明はこまめに消灯している」で5.4%、「冷暖房の設定温度を控えめにしている」で3.6%、それぞれ減少がみられた。



複数回答のため回答割合合計は100%を上回る

【性別にみた「環境に配慮して行っている行動」】

「環境に配慮して行っている行動」を性別にみると、ほとんどの項目の割合で女性が男性を上回った。男女間で特に差が大きかったのは「外出する際は、徒歩や自転車、公共交通機関(電車・バス)を利用している」で14.5%、次いで「洗顔、歯磨き、シャワーなどの際は、節水を心がけている」11.8%、「冷暖房の設定温度を控えめにしている」9.6%、「電気製品を長時間使わない場合は、プラグを抜いている」9.5%「電気製品などを購入する際は、省エネ機能の高い商品を購入している」8.5%の順であった。

		回答者数	合 計	1. 使い捨ての商品はなるべく購入しないようにしている	2. 電気製品などを購入する際は、省エネ機能の高い商品を購入している	3. 再生材などを使用した環境にやさしい商品を購入している	4. 冷暖房の設定温度を控えめにしている	5. 照明はこまめに消灯している	6. 電気製品を長時間使わない場合は、プラグを抜いている
全 体		1,200 (100.0)	5,687 (473.9)	411 (34.3)	729 (60.8)	265 (22.1)	862 (71.8)	912 (76.0)	446 (37.2)
F 1 性 別	1. 男	483 (100.0)	2,070 (428.6)	145 (30.0)	271 (56.1)	90 (18.6)	321 (66.5)	350 (72.5)	154 (31.9)
	2. 女	703 (100.0)	3,569 (507.7)	262 (37.3)	454 (64.6)	172 (24.5)	535 (76.1)	556 (79.1)	291 (41.4)
	3. 無回答	14 (100.0)	48 (342.9)	4 (28.6)	4 (28.6)	3 (21.4)	6 (42.9)	6 (42.9)	1 (7.1)
		7. 外出する際は、徒歩や自転車、公共交通機関(電車・バス)を利用している	8. 住宅などに太陽光や太陽熱などを利用した創エネルギー・省エネルギー機器を設置している	9. お風呂の残り湯は、洗濯、庭の水まき、お掃除などに利用している	10. 洗顔、歯磨き、シャワーなどの際は、節水を心がけている	11. 生きものや自然環境の保全活動を行っている	12. その他の行動	13. 特に行っていない	14. 無回答
全 体		723 (60.3)	57 (4.8)	438 (36.5)	659 (54.9)	101 (8.4)	45 (3.8)	20 (1.7)	19 (1.6)
F 1 性 別	1. 男	249 (51.6)	24 (5.0)	158 (32.7)	233 (48.2)	43 (8.9)	20 (4.1)	9 (1.9)	3 (0.6)
	2. 女	465 (66.1)	33 (4.7)	276 (39.3)	422 (60.0)	56 (8.0)	25 (3.6)	10 (1.4)	12 (1.7)
	3. 無回答	9 (64.3)	0 (-)	4 (28.6)	4 (28.6)	2 (14.3)	0 (-)	1 (7.1)	4 (28.6)

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
 複数回答であるために合計は回答者数を上回る
 () 内は回答者数を100とした割合

【年代別にみた「環境に配慮して行っている行動」】

10・20 歳代ではいずれの選択も少なく、いずれも年代が上がると回答割合が増える傾向がみられた。

		回答者数	合 計	1. 使い捨て の商品は なるべく 購入しな いように している	2. 電気製品 などを購 入する際 は、省エ ネ機能の 高い商品 を購入し ている	3. 再生材な どを使用 した環境 にやさし い商品 を購入し ている	4. 冷暖房の 設定温度 を控えめ る	5. 照明はこ まめに消 灯してい る	6. 電気製品 を長時間 使わない 場合は、 プラグを 抜いてい る
全 体		1,200 (100.0)	5,687 (473.9)	411 (34.3)	729 (60.8)	265 (22.1)	862 (71.8)	912 (76.0)	446 (37.2)
F 2 年 代	1. 10・20歳代	102 (100.0)	380 (372.5)	24 (23.5)	36 (35.3)	18 (17.6)	61 (59.8)	64 (62.7)	32 (31.4)
	2. 30歳代	155 (100.0)	678 (437.4)	39 (25.2)	89 (57.4)	24 (15.5)	116 (74.8)	123 (79.4)	62 (40.0)
	3. 40歳代	198 (100.0)	915 (462.1)	53 (26.8)	119 (60.1)	42 (21.2)	135 (68.2)	146 (73.7)	79 (39.9)
	4. 50歳代	204 (100.0)	977 (478.9)	81 (39.7)	126 (61.8)	51 (25.0)	147 (72.1)	163 (79.9)	66 (32.4)
	5. 60歳代	229 (100.0)	1,115 (486.9)	86 (37.6)	158 (69.0)	50 (21.8)	172 (75.1)	172 (75.1)	81 (35.4)
	6. 70歳以上	301 (100.0)	1,582 (525.6)	125 (41.5)	197 (65.4)	77 (25.6)	226 (75.1)	239 (79.4)	126 (41.9)
	7. 無回答	11 (100.0)	40 (363.6)	3 (27.3)	4 (36.4)	3 (27.3)	5 (45.5)	5 (45.5)	0 (-)
		7. 外出する 際は、徒 歩や自転 車、公共 交通機関 (電車・ バス)を 利用して いる	8. 住宅など に太陽光 や太陽熱 などを利用した創 エネルギー・省 エネルギー機器 を設置し ている	9. お風呂の 残り湯 は、洗濯 、庭の水ま き、お掃 除などに 利用して いる	10. 洗顔、歯 磨き、 シャワー などの際 は、節水 を心がけ ている	11. 生きもの や自然環 境の保全 活動を行 っている	12. その他の 行動	13. 特に行っ ていない	14. 無回答
全 体		723 (60.3)	57 (4.8)	438 (36.5)	659 (54.9)	101 (8.4)	45 (3.8)	20 (1.7)	19 (1.6)
F 2 年 代	1. 10・20歳代	59 (57.8)	2 (2.0)	32 (31.4)	37 (36.3)	5 (4.9)	3 (2.9)	5 (4.9)	2 (2.0)
	2. 30歳代	82 (52.9)	7 (4.5)	46 (29.7)	78 (50.3)	4 (2.6)	3 (1.9)	4 (2.6)	1 (0.6)
	3. 40歳代	104 (52.5)	13 (6.6)	78 (39.4)	115 (58.1)	19 (9.6)	8 (4.0)	3 (1.5)	1 (0.5)
	4. 50歳代	115 (56.4)	17 (8.3)	67 (32.8)	109 (53.4)	19 (9.3)	12 (5.9)	3 (1.5)	1 (0.5)
	5. 60歳代	143 (62.4)	7 (3.1)	86 (37.6)	124 (54.1)	23 (10.0)	9 (3.9)	1 (0.4)	3 (1.3)
	6. 70歳以上	212 (70.4)	11 (3.7)	125 (41.5)	193 (64.1)	29 (9.6)	10 (3.3)	3 (1.0)	9 (3.0)
	7. 無回答	8 (72.7)	0 (-)	4 (36.4)	3 (27.3)	2 (18.2)	0 (-)	1 (9.1)	2 (18.2)

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
複数回答であるために合計は回答者数を上回る
()内は回答者数を100とした割合

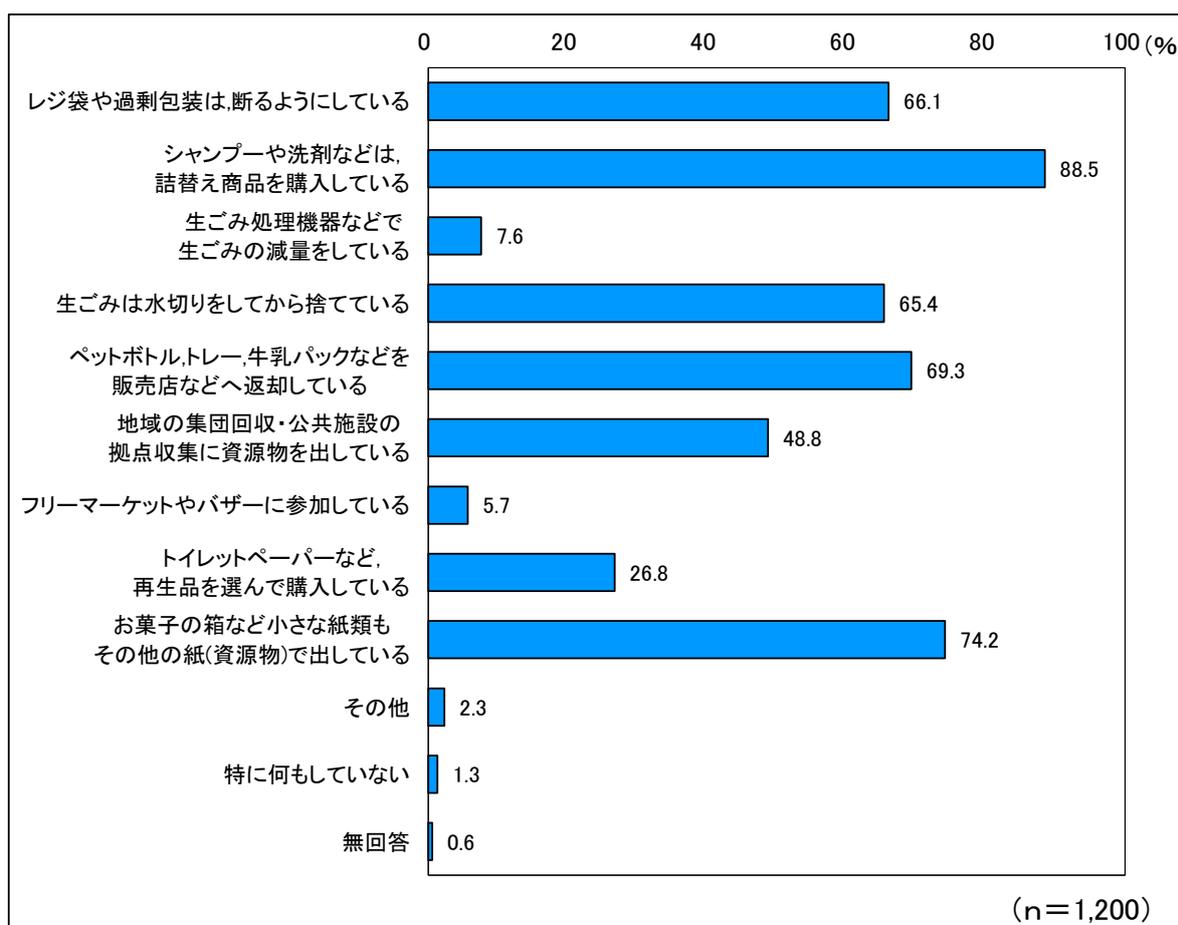
問23 ごみの減量のために、あなたが日ごろ特に心がけて行っていることを、次の中から全て選んでください。(複数選択)

【ポイント】 「シャンプーや洗剤などは、詰替え商品を購入している」が最多で88.5%

【全体的な回答の傾向】

ごみ減量のために心がけていることを聞いたところ、最も多かったのは「シャンプーや洗剤などは、詰替え商品を購入している」88.5%、次いで「お菓子の箱など小さな紙類もその他の紙(資源物)で出している」74.2%であった。

前回調査でもっとも多かったのは「買い物袋を持参、レジ袋は断る」64.7%であり、他の選択肢と大きく差があったが、今回はこの回答割合は第4位であることから、前回調査結果からの変化がみられた(なお、今回調査では文言を「レジ袋や過剰包装は、断るようになっている」に変更したものの、同趣旨の選択肢として比較している)。



複数回答のため回答割合合計は100%を上回る

【性別にみた「ごみ減量のために心がけていること」】

「ごみ減量のために心がけていること」を性別にみると、ほとんどの項目で女性が男性を上回った。特に回答割合に差が大きいのは「生ごみは水切りをしてから捨てている」22.7%、次いで「お菓子の箱など小さな紙類もその他の紙(資源物)で出している」22.5%、「レジ袋や過剰包装は、断るようになっている」17.2%「ペットボトル、トレー、牛乳パックなどを販売店などへ返却している」13.7%の順であった。

	回答者数	合計	1. レジ袋や過剰包装は、断るようになっている	2. シャンプーや洗剤などは、詰替え商品を購入している	3. 生ごみ処理機器などで生ごみの減量をしている	4. 生ごみは水切りをしてから捨てている	5. ペットボトル、トレー、牛乳パックなどを販売店などへ返却している	6. 地域の集約回収・公共施設の拠点収集に資源物を出している	7. フリーマーケットやバザーに参加している	8. トイレットペーパーなど、再生品を選んでいる	9. お菓子の箱など小さな紙類もその他の紙(資源物)で出している	10. その他	11. 特に何もしていない	12. 無回答
全体	1,200 (100.0)	5,478 (456.5)	793 (66.1)	1,062 (88.5)	91 (7.6)	785 (65.4)	832 (69.3)	585 (48.8)	68 (5.7)	321 (26.8)	890 (74.2)	28 (2.3)	16 (1.3)	7 (0.6)
性別	1. 男	483 (100.0)	1,930 (399.6)	270 (55.9)	405 (83.9)	43 (8.9)	251 (52.0)	295 (61.1)	12 (2.5)	127 (26.3)	294 (60.9)	9 (1.9)	11 (2.3)	2 (0.4)
	2. 女	703 (100.0)	3,479 (494.9)	514 (73.1)	647 (92.0)	46 (6.5)	525 (74.7)	526 (74.8)	56 (8.0)	188 (26.7)	586 (83.4)	17 (2.4)	4 (0.6)	3 (0.4)
	3. 無回答	14 (100.0)	69 (492.9)	9 (64.3)	10 (71.4)	2 (14.3)	9 (64.3)	11 (78.6)	7 (50.0)	0 (-)	6 (42.9)	10 (71.4)	2 (14.3)	1 (7.1)

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
 複数回答であるために合計は回答者数を上回る
 () 内は回答者数を100とした割合

VIII 教育・文化について(問 24~26)

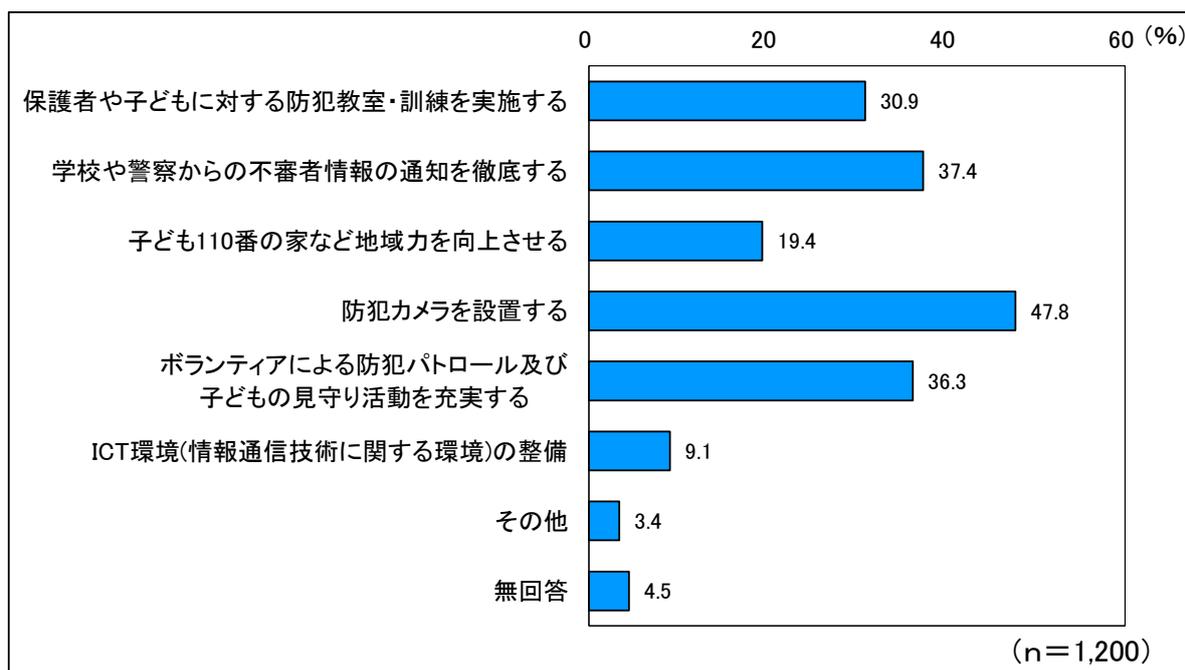
問 24 あなたは、子どもの教育環境の整備を図るために、市として特にどのようなことに力を入れたいと思いますか。次の中から2つ選んでください。(複数回答)

【ポイント】 「防犯カメラを設置する」が47.8%で最多、前回より30.8%と大幅増

【全体的な回答の傾向】

子どもの安全のために、国分寺市が特に力を入れてほしいことについて聞いた結果、最も割合が高かったのは「防犯カメラを設置する」47.8%であり、次いで「学校や警察からの不審者情報の通知を徹底する」37.4%、「ボランティアによる防犯パトロール及び子どもの見守り活動を充実する」36.3%、「保護者や子どもに対する防犯教室・訓練を実施する」30.9%の順であった。

「防犯カメラを設置する」は前回調査では17.0%が、30.8%と大幅に増加している(前回選択肢は「校門や校舎の入口に防犯カメラを設置」であったが同趣旨の選択肢とした)。



複数回答のため回答割合合計は100%を上回る

【性別にみた「教育環境整備のために力を入れるべきこと」】

「教育環境整備のために力を入れるべきこと」を性別にみると、「学校や警察からの不審者情報の通知を徹底する」「ボランティアによる防犯パトロール及び子どもの見守り活動を充実する」の割合はそれぞれ、7.4%、7.6%ずつ女性が男性より多かった。逆に「防犯カメラを設置する」の割合は男性が女性よりも8.5%多かった。

	回答者数	合計	1. 保護者や子どもに対する防犯教室・訓練を実施する	2. 学校や警察からの不審者情報の通知を徹底する	3. 子ども110番の家など地域力を向上させる	4. 防犯カメラを設置する	5. ボランティアによる防犯パトロール及び子どもの見守り活動を充実する	6. ICT環境(情報通信技術に関する環境)の整備	7. その他	8. 無回答
全体	1,200 (100.0)	2,265 (188.8)	371 (30.9)	449 (37.4)	233 (19.4)	573 (47.8)	435 (36.3)	109 (9.1)	41 (3.4)	54 (4.5)
F1 性別	1. 男	483 (100.0)	159 (32.9)	160 (33.1)	98 (20.3)	256 (53.0)	152 (31.5)	57 (11.8)	19 (3.9)	13 (2.7)
	2. 女	703 (100.0)	210 (29.9)	285 (40.5)	135 (19.2)	313 (44.5)	275 (39.1)	52 (7.4)	22 (3.1)	37 (5.3)
	3. 無回答	14 (100.0)	22 (157.1)	2 (14.3)	4 (28.6)	0 (-)	4 (28.6)	8 (57.1)	0 (-)	0 (-)

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
複数回答であるために合計は回答者数を上回る
()内は回答者数を100とした割合

【年代別にみた「教育環境整備のために力を入れるべきこと」】

10・20歳代では全年代合計で1位の「防犯カメラを設置する」よりも「学校や警察からの不審者情報の通知を徹底する」のほうがわずかながら高い割合であった。30歳代でも「防犯カメラを設置する」よりも「ボランティアによる防犯パトロール及び子どもの見守り活動を充実する」の割合が高かった。

	回答者数	合計	1. 保護者や子どもに対する防犯教室・訓練を実施する	2. 学校や警察からの不審者情報の通知を徹底する	3. 子ども110番の家など地域力を向上させる	4. 防犯カメラを設置する	5. ボランティアによる防犯パトロール及び子どもの見守り活動を充実する	6. ICT環境(情報通信技術に関する環境)の整備	7. その他	8. 無回答	
全体	1,200 (100.0)	2,265 (188.8)	371 (30.9)	449 (37.4)	233 (19.4)	573 (47.8)	435 (36.3)	109 (9.1)	41 (3.4)	54 (4.5)	
F2 年代	1. 10・20歳代	102 (100.0)	195 (191.2)	34 (33.3)	39 (38.2)	30 (29.4)	35 (34.3)	41 (40.2)	12 (11.8)	3 (2.9)	1 (1.0)
	2. 30歳代	155 (100.0)	304 (196.1)	49 (31.6)	47 (30.3)	32 (20.6)	71 (45.8)	74 (47.7)	22 (14.2)	7 (4.5)	2 (1.3)
	3. 40歳代	198 (100.0)	380 (191.9)	49 (24.7)	81 (40.9)	52 (26.3)	95 (48.0)	75 (37.9)	16 (8.1)	8 (4.0)	4 (2.0)
	4. 50歳代	204 (100.0)	391 (191.7)	62 (30.4)	79 (38.7)	33 (16.2)	101 (49.5)	71 (34.8)	32 (15.7)	9 (4.4)	4 (2.0)
	5. 60歳代	229 (100.0)	436 (190.4)	86 (37.6)	86 (37.6)	43 (18.8)	108 (47.2)	88 (38.4)	14 (6.1)	3 (1.3)	8 (3.5)
	6. 70歳以上	301 (100.0)	541 (179.7)	90 (29.9)	113 (37.5)	43 (14.3)	159 (52.8)	79 (26.2)	13 (4.3)	11 (3.7)	33 (11.0)
	7. 無回答	11 (100.0)	18 (163.6)	1 (9.1)	4 (36.4)	0 (-)	4 (36.4)	7 (63.6)	0 (-)	0 (-)	2 (18.2)

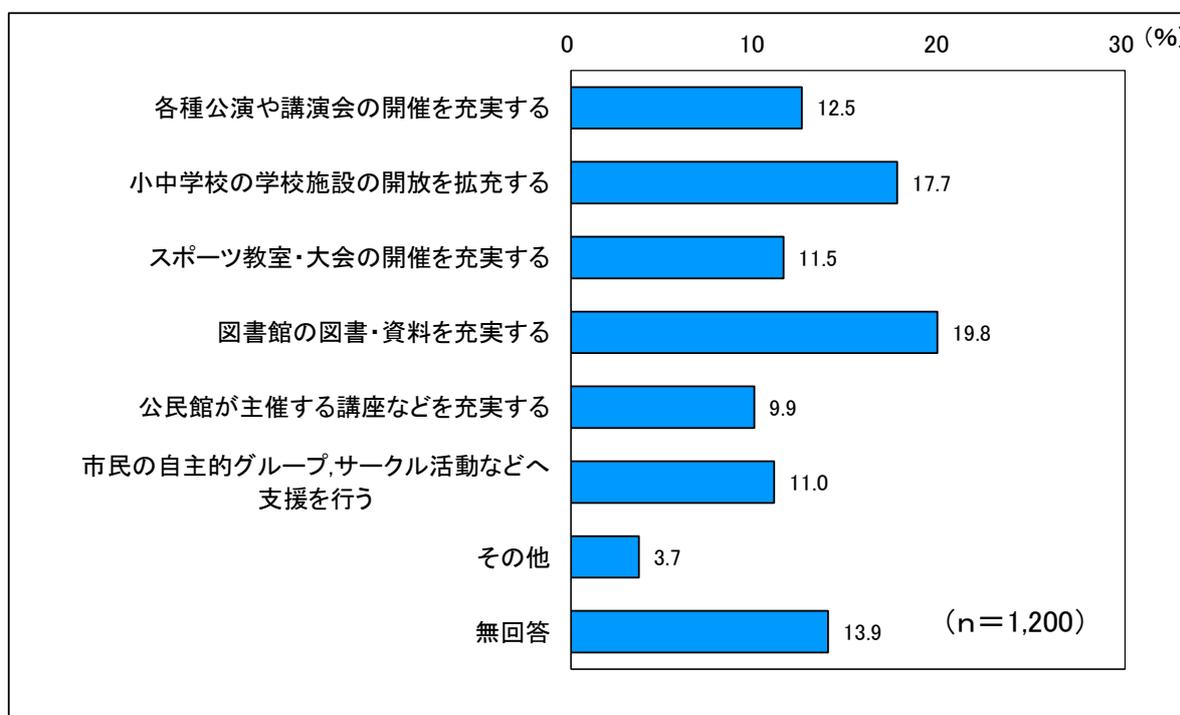
回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
複数回答であるために合計は回答者数を上回る
()内は回答者数を100とした割合

問 25 文化活動やスポーツ活動を発展・促進させるために、市として特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。

【ポイント】 「図書館の図書・資料を充実する」が最多で 19.8%、
次いで「小中学校の学校施設の開放を拡充する」17.7%

【全体的な回答の傾向】

文化活動やスポーツ活動の発展・促進のために、国分寺市が特に力を入れてほしいことについて聞いたところ、「図書館の図書・資料を充実する」の割合が 19.8%と最も高く、次いで「小中学校の学校施設の開放を拡充する」17.7%となっており、1位・2位の順位は前回調査と同様であった。



【年代別にみた「文化・スポーツ発展のためにすべきこと」】

10・20歳代では全年代合計で1位の「図書館の図書・資料を充実する」よりも「小中学校の学校施設の開放を拡充する」の割合のほうが高かった。年代が高くなるほど「各種公演や講演会の開催を充実する」の割合が高くなる傾向がみられた。

	合 計	1. 各種公演 や講演会 の開催を 充実する	2. 小中学校 の学校施 設の開放 を拡充す る	3. スポーツ 教室・大 会の開催 を充実す る	4. 図書館の 図書・資 料を充実 する	5. 公民館が 主催する 講座など を充実す る	6. 市民の自 主的グル ープ、サ ークル活 動などへ 支援を行 う	7. その他	8. 無回答	
全 体	1,200 (100.0)	150 (12.5)	212 (17.7)	138 (11.5)	238 (19.8)	119 (9.9)	132 (11.0)	44 (3.7)	167 (13.9)	
F 2 年 代	1. 10・20歳代	102 (100.0)	5 (4.9)	30 (29.4)	19 (18.6)	25 (24.5)	6 (5.9)	6 (5.9)	2 (2.0)	9 (8.8)
	2. 30歳代	155 (100.0)	16 (10.3)	33 (21.3)	30 (19.4)	34 (21.9)	14 (9.0)	10 (6.5)	5 (3.2)	13 (8.4)
	3. 40歳代	198 (100.0)	21 (10.6)	37 (18.7)	27 (13.6)	51 (25.8)	11 (5.6)	16 (8.1)	10 (5.1)	25 (12.6)
	4. 50歳代	204 (100.0)	22 (10.8)	36 (17.6)	19 (9.3)	46 (22.5)	24 (11.8)	20 (9.8)	11 (5.4)	26 (12.7)
	5. 60歳代	229 (100.0)	31 (13.5)	35 (15.3)	16 (7.0)	41 (17.9)	32 (14.0)	29 (12.7)	5 (2.2)	40 (17.5)
	6. 70歳以上	301 (100.0)	55 (18.3)	39 (13.0)	25 (8.3)	40 (13.3)	30 (10.0)	51 (16.9)	11 (3.7)	50 (16.6)
	7. 無回答	11 (100.0)	0 (-)	2 (18.2)	2 (18.2)	1 (9.1)	2 (18.2)	0 (-)	0 (-)	4 (36.4)

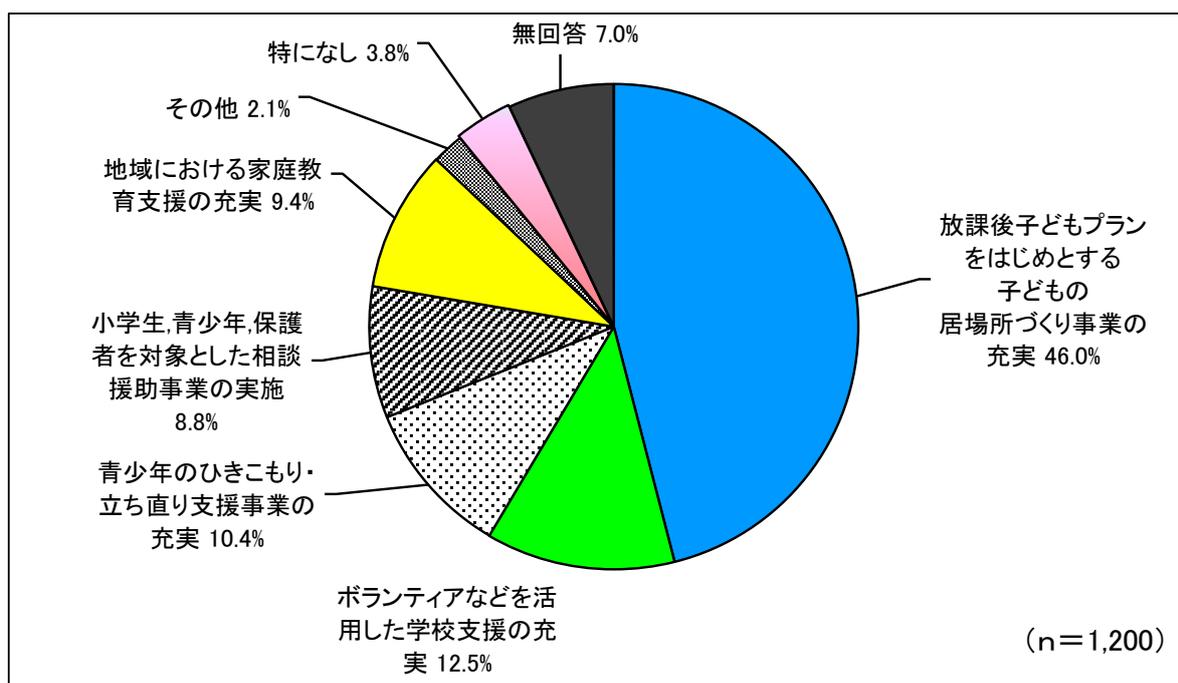
注：()内はサンプル数を100とした割合

問 26 子どもたちを育むにあたっては、学校だけでなく地域全体で子どもを育てる環境づくりが不可欠ですが、そのためにどのようなことが必要だと考えますか。次の中からあなたのお考えに近いものを1つ選んでください。

【ポイント】 「放課後子どもプランをはじめとする子どもの居場所づくり事業の充実」が最も多く 46.0%

【全体的な回答の傾向】

地域全体で子育てが行える環境づくりを進めるために必要なことについて聞いたところ、最も多いのは「放課後子どもプランをはじめとする子どもの居場所づくり事業の充実」46.0%であった。次いで「ボランティアなどを活用した学校支援の充実」(12.5%)、「青少年のひきこもり・立ち直り支援事業の充実」(10.4%)、「小学生、青少年、保護者を対象とした相談援助事業の実施」(8.8%)の順となり、この順位は前回調査と同じであった。



VIII 少子化対策について(問 27-①~27-②)

問 27-① 以下の施策は、少子化対策として効果があると思いますか。

- 【ポイント】 かなり・少しは「効果がある」の割合が高いのは
「保育所待機児童の解消」「産休・育休後すぐに保育所に入所できる予約制度」
「子どもが病気のときの看護休暇」
あまり・まったく「効果がない」の割合が高いのは
「男女の出会いの場づくりの支援」「高校・大学受験のための学習塾の月謝等の教育費の軽減」
「男性の育児・家事への参加の啓発」

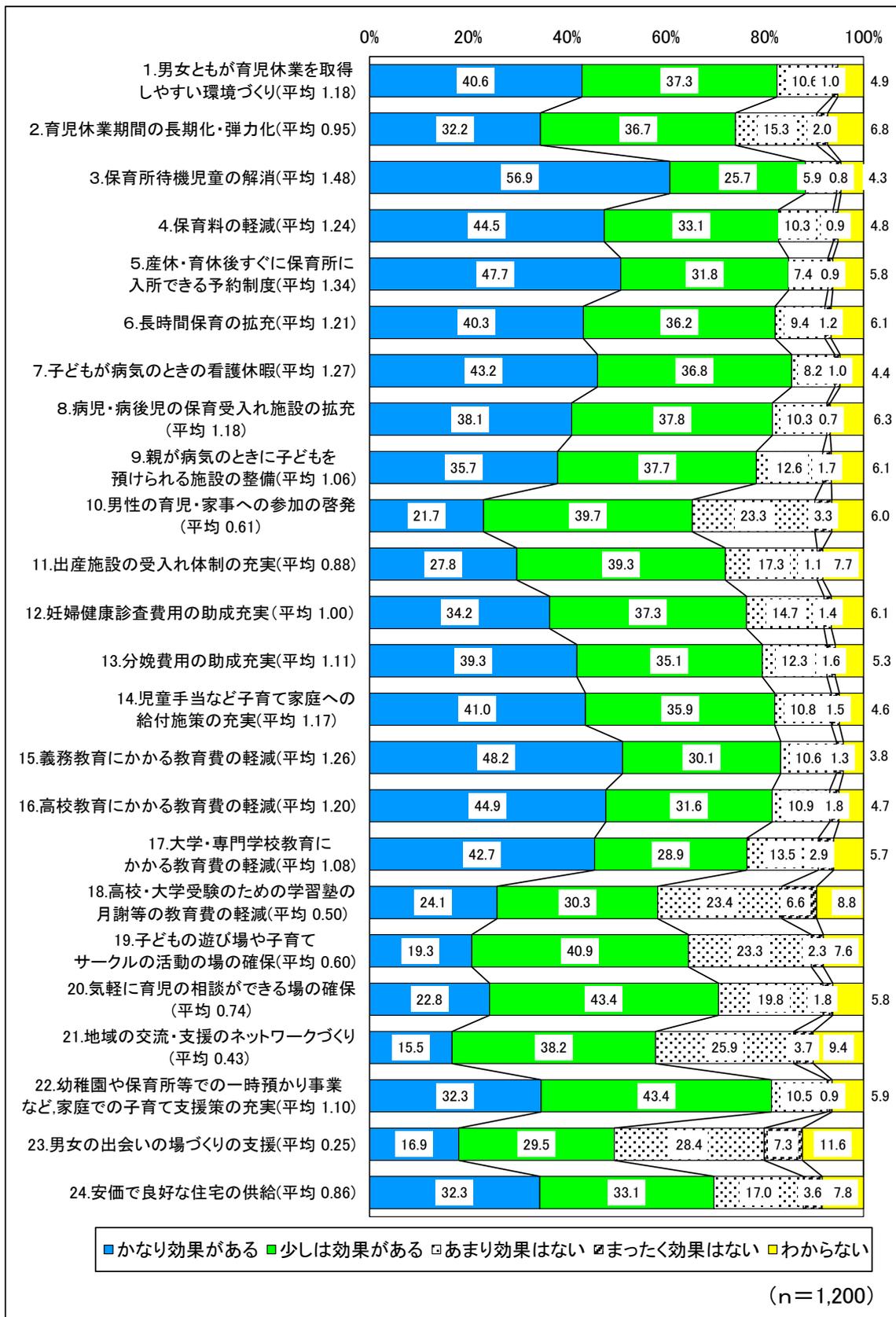
【全体的な回答の傾向】

少子化対策として効果があると思うかどうかを、24 項目の施策について聞いた。

「かなり効果がある」「少しは効果がある」の割合の合計が多いのは、「保育所待機児童の解消」82.6%、「産休・育休後すぐに保育所に入所できる予約制度」79.9%、「子どもが病気のときの看護休暇」80.0%の順であった。

「まったく効果がない」「あまり効果がない」の合計が多いのは、「男女の出会いの場づくりの支援」35.7%、「高校・大学受験のための学習塾の月謝等の教育費の軽減」30.0%、「男性の育児・家事への参加の啓発」26.6%の順であった。

また、「かなり効果がある」2点、「少しは効果がある」1点、「あまり効果はない」-1点、「まったく効果はない」-2点で配点した加重平均では、最も平均点が高かったのは「保育所待機児童の解消」1.48、「産休・育休後すぐに保育所に入所できる予約制度」1.34、「子どもが病気のときの看護休暇」1.27 の順であった。



【年代別にみた「少子化対策の効果」】

年代別に、各少子化対策の選択肢における「かなり効果がある」と「少しは効果がある」の合計の割合をみた。

年代が低いほど割合が高かったのは「妊婦健康診査費用の助成充実」「男女の出会いの場づくりの支援」であった。

30歳代で特に割合が高かったのは「保育所待機児童の解消」「保育料の軽減」「産休・育休後すぐに保育所に入所できる予約制度」「長時間保育の拡充」「子どもが病気のと時の看護休暇」「病児・病後児の保育受入れ施設の拡充」「親が病気のと時に子どもを預けられる施設の整備」「分娩費用の助成充実」「児童手当など子育て家庭への給付施策の充実」「高校教育にかかる教育費（国公立・私立を問わず、入学金・その他負担金も含む）の軽減」「大学・専門学校教育にかかる教育費（国公立・私立を問わず、入学金・その他負担金も含む）の軽減」「子どもの遊び場や子育てサークルの活動の場の確保」であった。

40歳代で特に割合が高かったのは「高校・大学受験のための学習塾の月謝等の教育費の軽減」であり、60歳代では「気軽に育児の相談ができる場の確保」、10・20歳代では「男女ともが育児休業を取得しやすい環境づくり」が、それぞれ他の年代での割合より相対的に高かった。

	1. 男女とも が育児休 業を取得 しやすい 環境づく り	2. 育児休業 期間の長 期化・弾 力化	3. 保育所待 機児童の 解消	4. 保育料の 軽減	5. 産休・育 休後すぐ に保育所 に入所で きる予約 制度	6. 長時間保 育の拡充	7. 子どもが 病気のと 時の看護 休暇	8. 病児・病 後児の保 育受入れ 施設の拡 充	9. 親が病気 のと時に 子どもを 預けられ る施設の 整備	10. 男性の育 児・家事 への参加 の啓発	11. 出産施設 の受入れ 体制の充 実	12. 妊婦健康 診査費用 の助成充 実
全年代合計	77.8	68.8	82.6	77.6	79.5	76.5	79.9	75.9	73.3	61.3	67.2	71.5
10・20歳代	87.3	78.4	84.3	81.4	81.4	80.4	82.4	78.4	72.5	60.8	76.5	80.4
30歳代	81.3	76.1	91.6	87.7	88.4	85.8	91.6	83.9	76.8	58.1	75.5	80.0
40歳代	80.3	67.7	86.9	84.3	82.8	77.3	77.8	76.8	74.2	61.6	62.1	73.2
50歳代	79.9	73.5	89.2	77.9	85.3	82.8	84.3	83.3	72.1	61.3	70.1	72.1
60歳代	80.8	71.2	86.0	81.2	80.8	76.9	83.0	79.9	79.0	62.0	63.8	68.6
70歳以上	67.8	58.5	69.1	64.5	68.1	66.1	69.8	63.5	68.4	63.5	63.8	65.4
	13. 分娩費用 の助成充 実	14. 児童手当 など子育 て家庭へ の給付施 策の充実	15. 義務教育 にかかる 教育費 (国公立・私立 を問わず、入学 金・その他負担 金も含む) の軽減	16. 高校教育 にかかる 教育費 (国公立・私立 を問わず、入学 金・その他負担 金も含む) の軽減	17. 大学・専 門学校教 育にかかる 教育費 (国公立・私立 を問わず、入学 金・その他負担 金も含む) の軽減	18. 高校・大 学受験の ための学 習塾の月 謝等の教 育費の軽 減	19. 子ども の遊び場 や子育て サークル の活動の 場の確保	20. 気軽に育 児の相談 ができる 場の確保	21. 地域の交 流・支援 のネット ワークづ くり	22. 幼稚園や 保育所等 での一時 預かり事 業など、 家庭での 子育て支 援策の充 実	23. 男女の出 会いの場 づくりの 支援	24. 安価で良 好な住宅 の供給
全年代合計	74.3	76.9	78.3	76.5	71.6	54.4	60.3	66.2	53.7	75.8	46.4	65.4
10・20歳代	79.4	80.4	86.3	83.3	84.3	56.9	67.6	69.6	58.8	83.3	56.9	72.5
30歳代	85.8	84.5	86.5	87.1	85.2	64.5	69.0	67.1	51.0	81.9	52.3	65.8
40歳代	75.3	83.8	82.8	81.3	80.8	68.2	55.1	60.6	49.5	74.2	43.9	66.7
50歳代	72.5	77.0	80.4	79.4	70.1	54.4	56.4	65.2	55.4	82.4	44.1	64.2
60歳代	72.5	75.5	75.1	72.9	64.6	45.4	62.4	72.5	59.4	76.9	41.5	67.2
70歳以上	69.4	68.8	70.4	67.1	61.5	47.2	58.5	64.5	51.2	66.1	46.8	61.8

【持っている子どもの人数別にみた「少子化対策の効果」】

持っている子どもの人数別に、各少子化対策の選択肢における「かなり効果がある」と「少しは効果がある」の合計の割合をみた。

子どもが少ないほど回答割合が高かったのは、「育児休業期間の長期化・弾力化」「保育料の軽減」「児童手当など子育て家庭への給付施策の充実」であった。

逆に、子どもの人数が多いほど回答割合が高かったのは「高校・大学受験のための学習塾の月謝等の教育費の軽減」「安価で良好な住宅の供給」であった（ただし、サンプル数の少ない子どもの人数4人以上の回答者除く）。

	1. 男女ともが育児休業を取得しやすい環境づくり	2. 育児休業期間の長期化・弾力化	3. 保育所待機児童の解消	4. 保育料の軽減	5. 産休・育休後すぐに保育所に入所できる予約制度	6. 長時間保育の拡充	7. 子どもが病気のときの看護休暇	8. 病児・病後児の保育受入れ施設の拡充	9. 親が病気のときに子どもを預けられる施設の整備	10. 男性の育児・家事への参加の啓発	11. 出産施設の入管理体制の充実	12. 妊婦健康診査費用の助成充実
全子どもの人数合計	79.0	70.2	83.9	78.3	80.4	77.6	81.1	76.6	73.4	62.3	67.0	71.9
1人	82.0	74.9	88.0	82.0	84.6	81.3	86.5	83.1	77.5	63.7	71.2	76.0
2人	81.7	73.5	86.7	80.2	81.7	81.1	82.9	76.4	73.5	62.5	62.5	70.5
3人	80.4	66.7	86.3	78.4	85.3	76.5	86.3	78.4	73.5	66.7	74.5	77.5
4人以上	73.0	64.9	83.8	83.8	78.4	75.7	70.3	70.3	73.0	45.9	62.2	70.3
	13. 分娩費用の助成充実	14. 児童手当など子育て家庭への給付施策の充実	15. 義務教育にかかる教育費(国公立・私立を問わず、入学金・その他負担金も含む)の軽減	16. 高校教育にかかる教育費(国公立・私立を問わず、入学金・その他負担金も含む)の軽減	17. 大学・専門学校教育にかかる教育費(国公立・私立を問わず、入学金・その他負担金も含む)の軽減	18. 高校・大学受験のための学習塾の月謝等の教育費の軽減	19. 子ども遊び場や子育てサークルの活動の場の確保	20. 気軽に育児の相談ができる場の確保	21. 地域の交流・支援のネットワークづくり	22. 幼稚園や保育所等での一時預かり事業など、家庭での子育て支援策の充実	23. 男女の出会場の支援	24. 安価で良好な住宅の供給
全子どもの人数合計	74.7	77.8	79.0	77.1	72.1	55.1	61.4	66.3	54.1	76.8	46.2	65.8
1人	79.0	81.6	82.8	80.9	75.7	56.2	64.8	70.4	59.2	80.1	47.2	65.5
2人	74.3	80.5	80.5	77.9	72.9	58.4	60.8	62.8	51.6	75.5	44.2	67.3
3人	76.5	80.4	84.3	82.4	78.4	66.7	65.7	68.6	62.7	77.5	50.0	72.5
4人以上	78.4	78.4	83.8	89.2	73.0	51.4	54.1	62.2	51.4	86.5	35.1	64.9

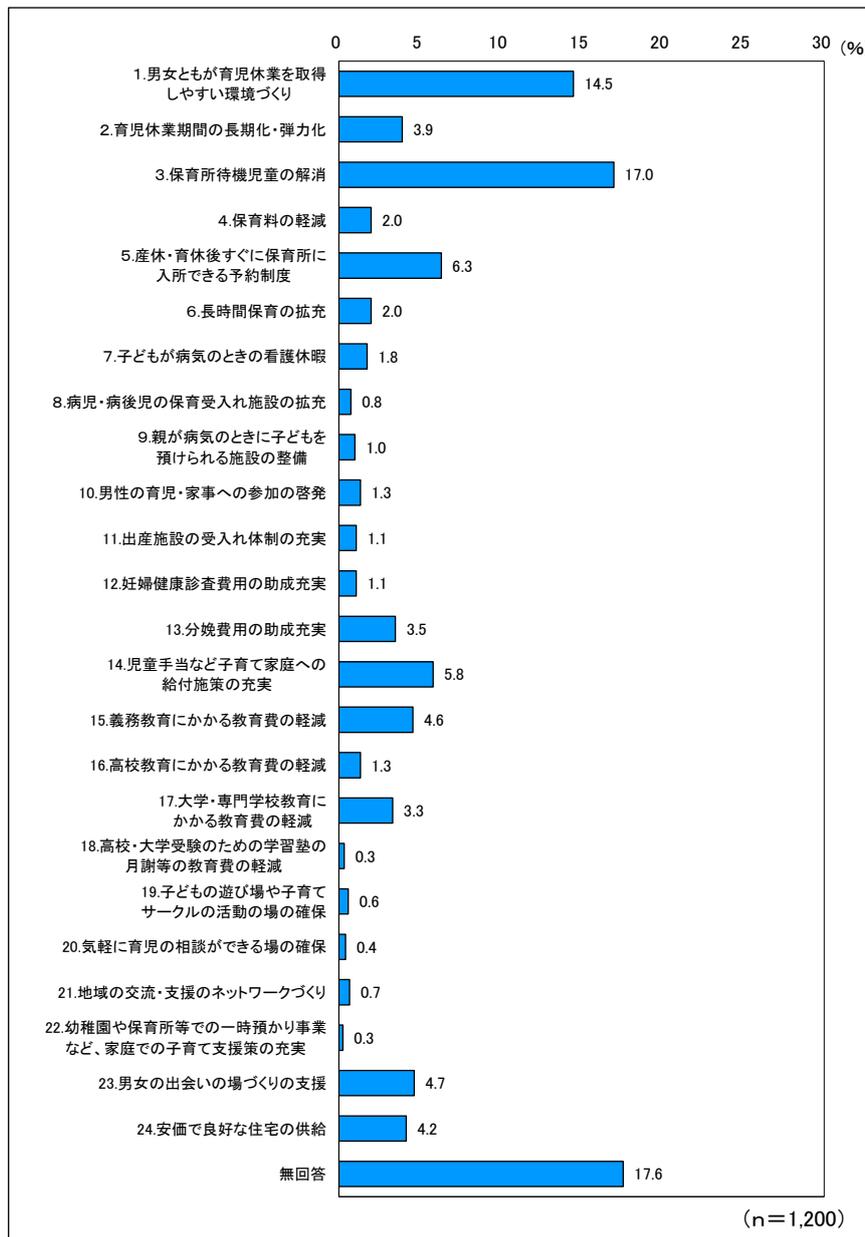
問 27-② 問 27-①の「1～24」の施策のうち、効果が大きいと思うものの番号を、第5位まで順にあげて下さい。

【ポイント】 効果が大きい施策として第1位にあげられたのは「保育所待機児童の解消」17.0%、次いで「男女ともが育児休業を取得しやすい環境づくり」14.5%

【全体的な回答の傾向】

問 27-①の 24 の施策について、効果が大きいと思うものを順番に第5位まであげてもらったところ、第1位にあげられたのは「保育所待機児童の解消」17.0%であり、次いで「男女ともが育児休業を取得しやすい環境づくり」14.5%であった。

● 第1位としてあげられた「効果のある少子化対策」

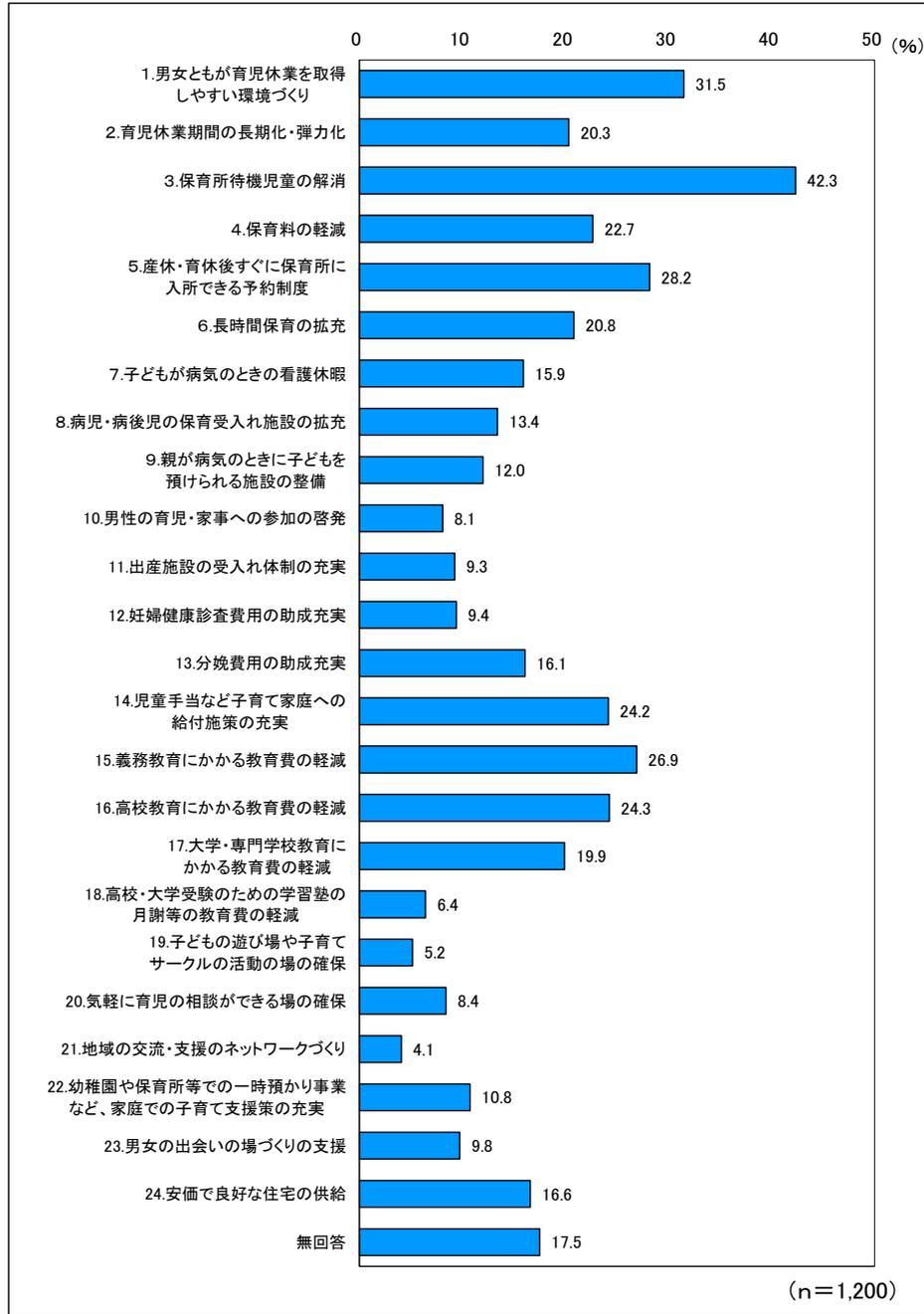


複数回答のため
回答割合合計は
100%を上回る

問27-②で、何位にあげられたかを除き、どの程度の割合の人によって選択されたかのみを集計(複数回答集計)したところ、最も多いのは「保育所待機児童の解消」の42.3%であり、次いで「男女ともが育児休業を取得しやすい環境づくり」31.5%、「産休・育休後すぐに保育所に入所できる予約制度」28.2%であり、この順位は第1位としてあげられた項目の順位と一致していた。

一方、「義務教育にかかる教育費(国公立・私立を問わず、入学金・その他負担金も含む)の軽減」「高校教育にかかる教育費(国公立・私立を問わず、入学金・その他負担金も含む)の軽減」「児童手当など子育て家庭への給付施策の充実」「大学・専門学校教育にかかる教育費(国公立・私立を問わず、入学金・その他負担金も含む)の軽減」「分娩費用の助成充実」などの経済的支援策は、第1位としてあげられた項目としては割合が低かったものの、複数回答集計では割合が高く、多くの人によって効果の高い項目として支持されていた。

● 順位を問わず第1位～第5位までにあげられた「効果のある少子化対策」



複数回答のため
回答割合合計は
100%を上回る

【年代別にみた「効果のある少子化対策」】

70歳以上でのみ、「男女ともが育児休業を取得しやすい環境づくり」の割合が最も高く、これ以外のすべての年代で「保育所待機児童の解消」の割合が最も高かった。

30歳代では「保育料の軽減」「児童手当など子育て家庭への給付施策の充実」「分娩費用の女性充実」が、40歳代では「高校教育にかかる教育費（国公立・私立を問わず、入学金・その他負担金も含む）の軽減」「義務教育にかかる教育費（国公立・私立を問わず、入学金・その他負担金も含む）の軽減」「大学・専門学校教育にかかる教育費（国公立・私立を問わず、入学金・その他負担金も含む）の軽減」が、他の年代よりも相対的に多くあげられた。10・20歳代では「男女ともが育児休業を取得しやすい環境づくり」「男女の出会いの場づくりの支援」が、他の年代よりも多くあげられた。

	回答者数	合計	1. 男女とも が育児休 業を取得 しやすい 環境づく り	2. 育児休業 期間の長 期化・弾 力化	3. 保育所待 機児童の 解消	4. 保育料の 軽減	5. 産休・育 休後すぐ に保育所 に入る可 る予約 制度	6. 長時間保 育の拡充	7. 子どもが 病気のと きの看護 休暇	8. 病児・病 後児の保 育受入れ 施設の拡 充	9. 親が病気 のときに 子どもを 預けられ る施設の 整備	10. 男性の育 児・家事 への参加 の啓発	11. 出産施設 の受入れ 体制の充 実	12. 妊婦健康 診査費用 の助成充 実	
全 体	1,200 (100.0)	5,087 (423.9)	378 (31.5)	244 (20.3)	508 (42.3)	272 (22.7)	338 (28.2)	250 (20.8)	191 (15.9)	161 (13.4)	144 (12.0)	97 (8.1)	111 (9.3)	113 (9.4)	
F 2 年 代	1. 10・20歳代	102 (100.0)	490 (480.4)	48 (47.1)	35 (34.3)	49 (48.0)	31 (30.4)	26 (25.5)	19 (18.6)	11 (10.8)	7 (6.9)	7 (6.9)	12 (11.8)	15 (14.7)	
	2. 30歳代	155 (100.0)	751 (484.5)	56 (36.1)	33 (21.3)	92 (59.4)	57 (36.8)	28 (18.1)	25 (16.1)	21 (13.5)	17 (11.0)	16 (10.3)	15 (9.7)	27 (17.4)	
	3. 40歳代	198 (100.0)	921 (465.2)	52 (26.3)	30 (15.2)	79 (39.9)	40 (20.2)	57 (28.8)	34 (17.2)	26 (13.1)	34 (14.1)	26 (12.6)	16 (8.1)	22 (11.1)	17 (8.6)
	4. 50歳代	204 (100.0)	917 (449.5)	58 (28.4)	40 (19.6)	104 (51.0)	52 (25.5)	71 (34.8)	56 (27.5)	41 (20.1)	39 (19.1)	17 (8.3)	11 (5.4)	17 (8.3)	16 (7.8)
	5. 60歳代	229 (100.0)	964 (421.0)	70 (30.6)	46 (20.1)	102 (44.5)	52 (22.7)	68 (29.7)	54 (23.6)	43 (18.8)	35 (15.3)	40 (17.5)	23 (10.0)	17 (7.4)	18 (7.9)
	6. 70歳以上	301 (100.0)	1,033 (343.2)	94 (31.2)	60 (19.9)	82 (27.2)	40 (13.3)	59 (19.6)	52 (17.3)	37 (12.3)	27 (9.0)	38 (12.6)	24 (8.0)	28 (9.3)	20 (6.6)
	7. 無回答	11 (100.0)	11 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
F 2 年 代	13. 分娩費用 の助成充 実	193 (16.1)	290 (24.2)	323 (26.9)	291 (24.3)	239 (19.9)	77 (6.4)	62 (5.2)	101 (8.4)	49 (4.1)	129 (10.8)	117 (9.8)	199 (16.6)	210 (17.5)	
	14. 児童手当 など子育 て家庭へ の給付施 策の充実	15 (14.7)	30 (29.4)	35 (34.3)	24 (23.5)	28 (27.5)	5 (4.9)	6 (5.9)	6 (5.9)	5 (4.9)	9 (8.8)	18 (17.6)	18 (17.6)	5 (4.9)	
	15. 義務教育 にかかる 教育費 (国公立・私立 を問わず、入 学金・その他 負担金も含む) の軽減	37 (23.9)	51 (32.9)	43 (27.7)	38 (24.5)	39 (25.2)	12 (7.7)	10 (6.5)	6 (3.9)	5 (3.2)	17 (11.0)	16 (10.3)	28 (18.1)	5 (3.2)	
	16. 高校教育 にかかる 教育費 (国公立・私立 を問わず、入 学金・その他 負担金も含む) の軽減	28 (14.1)	57 (28.8)	78 (39.4)	88 (44.4)	79 (39.9)	30 (15.2)	11 (5.6)	19 (9.6)	10 (5.1)	15 (7.6)	26 (13.1)	40 (20.2)	14 (7.1)	
	17. 大学・専 門学校教 育にかかる 教育費 (国公立・私立 を問わず、入 学金・その他 負担金も含む) の軽減	29 (14.2)	42 (20.6)	58 (28.4)	60 (29.4)	55 (27.0)	17 (8.3)	8 (3.9)	13 (6.4)	6 (2.9)	31 (15.2)	19 (9.3)	34 (16.7)	23 (11.3)	
	18. 高校・大 学受験の ための学 習塾の月 謝等の教 育費の軽 減	39 (17.0)	59 (25.8)	48 (21.0)	43 (18.8)	19 (8.3)	6 (2.6)	13 (5.7)	34 (14.8)	10 (4.4)	31 (13.5)	15 (6.6)	37 (16.2)	42 (18.3)	
	19. 子ども の遊び場 や子育て サークル の活動の 場の確保	45 (15.0)	51 (16.9)	61 (20.3)	38 (12.6)	19 (6.3)	7 (2.3)	14 (4.7)	23 (7.6)	13 (4.3)	26 (8.6)	23 (7.6)	42 (14.0)	110 (36.5)	
20. 気軽に育 児の相談 ができる 場の確保	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	11 (100.0)	
21. 地域の交 流・支援 のネット ワークづ くり															
22. 幼稚園や 保育所等 での一時 預かり事 業など、 家庭で の子育て 支援策の 充実															
23. 男女の出 会いの場 づくりの 支援															
24. 安価で良 質な住宅 の供給															
25. 無回答															

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
複数回答であるために合計は回答者数を上回る
()内は回答者数を100とした割合

● 年代別「効果のある少子化対策」の上位5項目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
10・20 歳代	保育所待機児童の解消	男女ともが育児休業を取得しやすい環境づくり	義務教育にかかる教育費(国公立・私立を問わず, 入学金・その他負担金も含む)の軽減	育児休業期間の長期化・弾力化	保育料の軽減
30 歳代	保育所待機児童の解消	保育料の軽減	産休・育休後すぐに保育所に入所できる予約制度	男女ともが育児休業を取得しやすい環境づくり	児童手当など子育て家庭への給付施策の充実
40 歳代	高校教育にかかる教育費(国公立・私立を問わず, 入学金・その他負担金も含む)の軽減	大学・専門学校教育にかかる教育費(国公立・私立を問わず, 入学金・その他負担金も含む)の軽減	保育所待機児童の解消	義務教育にかかる教育費(国公立・私立を問わず, 入学金・その他負担金も含む)の軽減	産休・育休後すぐに保育所に入所できる予約制度 児童手当など子育て家庭への給付施策の充実
50 歳代	保育所待機児童の解消	産休・育休後すぐに保育所に入所できる予約制度	高校教育にかかる教育費(国公立・私立を問わず, 入学金・その他負担金も含む)の軽減	男女ともが育児休業を取得しやすい環境づくり	義務教育にかかる教育費(国公立・私立を問わず, 入学金・その他負担金も含む)の軽減
60 歳代	保育所待機児童の解消	男女ともが育児休業を取得しやすい環境づくり	産休・育休後すぐに保育所に入所できる予約制度	児童手当など子育て家庭への給付施策の充実	長時間保育の拡充
70 歳以上	男女ともが育児休業を取得しやすい環境づくり	保育所待機児童の解消	義務教育にかかる教育費(国公立・私立を問わず, 入学金・その他負担金も含む)の軽減	育児休業期間の長期化・弾力化	産休・育休後すぐに保育所に入所できる予約制度

● 年代別「効果のある少子化対策」の下位5項目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
10・20 歳代	高校・大学受験のための学習塾の月謝等の教育費の軽減	地域の交流・支援のネットワークづくり	子どもの遊び場や子育てサークルの活動の場の確保	気軽に育児の相談ができる場の確保	親が病気のときに子どもを預けられる施設の整備	男性の育児・家事への参加の啓発
	同率		同率		同率	
30 歳代	地域の交流・支援のネットワークづくり	気軽に育児の相談ができる場の確保	子どもの遊び場や子育てサークルの活動の場の確保	高校・大学受験のための学習塾の月謝等の教育費の軽減	出産施設の受入れ体制の充実	
40 歳代	地域の交流・支援のネットワークづくり	子どもの遊び場や子育てサークルの活動の場の確保	幼稚園や保育所等での一時預かり事業など、家庭での子育て支援策の充実	男性の育児・家事への参加の啓発	妊婦健康診査費用の助成充実	
50 歳代	地域の交流・支援のネットワークづくり	子どもの遊び場や子育てサークルの活動の場の確保	男性の育児・家事への参加の啓発	気軽に育児の相談ができる場の確保	妊婦健康診査費用の助成充実	
60 歳代	高校・大学受験のための学習塾の月謝等の教育費の軽減	地域の交流・支援のネットワークづくり	子どもの遊び場や子育てサークルの活動の場の確保	男女の出会いの場づくりの支援	出産施設の受入れ体制の充実	
70 歳以上	高校・大学受験のための学習塾の月謝等の教育費の軽減	地域の交流・支援のネットワークづくり	子どもの遊び場や子育てサークルの活動の場の確保	大学・専門学校教育にかかる教育費(国公立・私立を問わず、入学金・その他負担金も含む)の軽減	妊婦健康診査費用の助成充実	

【性別にみた「効果のある少子化対策」】

女性においては男性よりも「産休・育休後すぐに保育所に入所できる予約制度」「子どもが病気のときの看護休暇」「病児・病後児の保育受入れ施設の拡充」等において、回答の割合が高かった。

逆に男性のほうが女性よりも割合が高かったのは「児童手当など子育て家庭への給付施策の充実」「義務教育にかかる教育費(国公立・私立を問わず,入学金・その他負担金も含む)の軽減」「高校教育にかかる教育費(国公立・私立を問わず,入学金・その他負担金も含む)の軽減」等であった。

	回答者数	合計	1. 男女とも が育児休業 を取得しやす い環境づく り	2. 育児休業 期間の長期 化・弾力化	3. 保育所待 機児童の解 消	4. 保育料の 軽減	5. 産休・育 休後すぐ に保育所 に入所で きる予約 制度	6. 長時間保 育の拡充	7. 子どもが 病気のとき の看護休 暇	8. 病児・病 後児の保 育受入れ 施設の拡 充	9. 親が病気 のときに 子どもを 預けられ る施設の 整備	10. 男性の育 児・家事 への参加 の啓発	11. 出産施設 の受入れ 体制の充 実	12. 妊婦健康 診査費用 の助成充 実	
全体	1,200 (100.0)	5,087 (423.9)	378 (31.5)	244 (20.3)	508 (42.3)	272 (22.7)	338 (28.2)	250 (20.8)	191 (15.9)	161 (13.4)	144 (12.0)	97 (8.1)	111 (9.3)	113 (9.4)	
F1 性別	1. 男	483 (100.0)	2,068 (428.2)	141 (29.2)	99 (20.5)	196 (40.6)	115 (23.8)	119 (24.6)	106 (21.9)	61 (12.6)	45 (9.3)	27 (5.6)	45 (9.3)	38 (7.9)	
	2. 女	703 (100.0)	3,001 (426.9)	237 (33.7)	145 (20.6)	311 (44.2)	157 (22.3)	218 (31.0)	144 (20.5)	130 (18.5)	116 (16.5)	93 (13.2)	70 (10.0)	66 (9.4)	75 (10.7)
	3. 無回答	14 (100.0)	18 (128.6)	0 (-)	0 (-)	1 (7.1)	0 (-)	1 (7.1)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	
	13. 分娩費用 の助成充 実	14. 児童手当 など子育 て家庭へ の給付施 策の充実	15. 義務教育 にかかる 教育費(国 公立・私 立を問わ ず,入学 金・その 他負担金 も含む)の 軽減	16. 高校教育 にかかる 教育費(国 公立・私 立を問わ ず,入学 金・その 他負担金 も含む)の 軽減	17. 大学・専 門学校教 育にかか る教育費 (国公立 ・私立を 問わず,入 学金・そ の他負担 金も含む) の軽減	18. 高校・大 学受験の ための学 習塾の月 謝等の教 育費の軽 減	19. 子どもの 遊び場や 子育て サークル の活動の 場の確保	20. 気軽に育 児の相談 ができる 場の確保	21. 地域の交 流・支援 のネット ワークづ くり	22. 幼稚園や 保育所等 での一時 預かり事 業など,家 庭での子 育て支援 策の充実	23. 男女の出 会いの場 づくりの 支援	24. 安価で良 好な住宅 の供給	25. 無回答		
全体	193 (16.1)	290 (24.2)	323 (26.9)	291 (24.3)	239 (19.9)	77 (6.4)	62 (5.2)	101 (8.4)	49 (4.1)	129 (10.8)	117 (9.8)	199 (16.6)	210 (17.5)		
F1 性別	1. 男	81 (16.8)	145 (30.0)	168 (34.8)	134 (27.7)	97 (20.1)	32 (6.6)	20 (4.1)	37 (7.7)	18 (3.7)	58 (12.0)	60 (12.4)	94 (19.5)	81 (16.8)	
	2. 女	111 (15.8)	145 (20.6)	154 (21.9)	157 (22.3)	142 (20.2)	45 (6.4)	41 (5.8)	64 (9.1)	31 (4.4)	71 (10.1)	57 (8.1)	105 (14.9)	116 (16.5)	
	3. 無回答	1 (7.1)	0 (-)	1 (7.1)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (7.1)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	13 (92.9)	

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
複数回答であるために合計は回答者数を上回る
()内は回答者数を100とした割合

● 性別「効果のある少子化対策」の上位5項目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	保育所待機児童の 解消	義務教育にかかる 教育費(国公立・私 立を問わず,入学 金・その他負担金 も含む)の軽減	児童手当など子育 て家庭への給付施 策の充実	男女ともが育児休 業を取得しやすい 環境づくり	高校教育にかかる 教育費(国公立・私 立を問わず,入学 金・その他負担金 も含む)の軽減
女性	保育所待機児童の 解消	男女ともが育児休 業を取得しやすい 環境づくり	産休・育休後すぐ に保育所に入所 できる予約制度	保育料の軽減	高校教育にかかる 教育費(国公立・私 立を問わず,入学 金・その他負担金 も含む)の軽減

● 性別「効果のある少子化対策」の下位5項目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	地域の交流・支援のネットワークづくり	子どもの遊び場や子育てサークルの活動の場の確保	男性の育児・家事への参加の啓発	高校・大学受験のための学習塾の月謝等の教育費の軽減	気軽に育児の相談ができる場の確保
女性	地域の交流・支援のネットワークづくり	子どもの遊び場や子育てサークルの活動の場の確保	高校・大学受験のための学習塾の月謝等の教育費の軽減	男女の出会いの場づくりの支援	気軽に育児の相談ができる場の確保

【持っている子どもの人数別にみた「効果のある少子化対策」】

子ども一人の回答者では「男女ともが育児休業を取得しやすい環境づくり」「産休・育休後すぐに保育所に入所できる予約制度」の割合が、相対的に高かった。

	回答者数	合計	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.	12.	
			男女とも が育児休業 を取得し やすい環 境づく り	育児休業 期間の長 期化・弾 力化	保育所待 機児童の 解消	保育料の 軽減	産休・育 休後すぐ に保育所 に入所可 る予約制 度	長時間保 育の拡充	子どもが 病気のと きの看護 休暇	病児・病 後児の保 育受入れ 施設の拡 充	親が病気 のときに 子どもを 預けられ る施設の 整備	男性の育 児・家事 への参加 の啓発	出産施設 の受入れ 体制の充 実	妊婦健康 診査費用 の助成充 実	
全 体	1,039 (100.0)	4,464 (429.6)	331 (31.9)	217 (20.9)	449 (43.2)	239 (23.0)	305 (29.4)	220 (21.2)	168 (16.2)	147 (14.1)	127 (12.2)	86 (8.3)	95 (9.1)	94 (9.0)	
F6 子 ど も の 人 数	1. 1人	267 (100.0)	1,202 (450.2)	88 (33.0)	67 (25.1)	125 (46.8)	65 (24.3)	90 (33.7)	63 (23.6)	46 (17.2)	45 (16.9)	36 (13.5)	23 (8.6)	30 (11.2)	28 (10.5)
	2. 2人	339 (100.0)	1,504 (443.7)	111 (32.7)	63 (18.6)	159 (46.9)	76 (22.4)	96 (28.3)	69 (20.4)	61 (18.0)	41 (12.1)	47 (13.9)	29 (8.6)	28 (8.3)	23 (6.8)
	3. 3人	102 (100.0)	453 (444.1)	33 (32.4)	22 (21.6)	39 (38.2)	19 (18.6)	25 (24.5)	14 (13.7)	19 (18.6)	15 (14.7)	15 (14.7)	11 (10.8)	7 (6.9)	9 (8.8)
	4. 4人以上	37 (100.0)	146 (394.6)	10 (27.0)	11 (29.7)	15 (40.5)	4 (10.8)	10 (27.0)	5 (13.5)	5 (13.5)	4 (10.8)	3 (8.1)	1 (2.7)	1 (2.7)	2 (5.4)
	5. 無回答	294 (100.0)	1,159 (394.2)	89 (30.3)	54 (18.4)	111 (37.8)	75 (25.5)	84 (28.6)	69 (23.5)	37 (12.6)	42 (14.3)	26 (8.8)	22 (7.5)	29 (9.9)	32 (10.9)
	13. 分娩費用の助成充実	14. 児童手当など子育て家庭への給付施策の充実	15. 義務教育にかかる教育費(国公立・私立を問わず、入学金・その他負担金も含む)の軽減	16. 高校教育にかかる教育費(国公立・私立を問わず、入学金・その他負担金も含む)の軽減	17. 大学・専門学校教育にかかる教育費(国公立・私立を問わず、入学金・その他負担金も含む)の軽減	18. 高校・大学受験のための学習塾の月謝等の教育費の軽減	19. 子どもの遊び場や子育てサークルの活動の場の確保	20. 気軽に育児の相談ができる場の確保	21. 地域の交流・支援のネットワークづくり	22. 幼稚園や保育所等での一時預かり事業など、家庭での子育て支援策の充実	23. 男女の出会いの場づくりの支援	24. 安価で良質な住宅の供給	25. 無回答		
全 体	171 (16.5)	260 (25.0)	278 (26.8)	261 (25.1)	214 (20.6)	74 (7.1)	55 (5.3)	86 (8.3)	38 (3.7)	113 (10.9)	95 (9.1)	174 (16.7)	167 (16.1)		
F6 子 ど も の 人 数	1. 1人	48 (18.0)	74 (27.7)	77 (28.8)	65 (24.3)	54 (20.2)	17 (6.4)	15 (5.6)	18 (6.7)	9 (3.4)	27 (10.1)	27 (10.1)	36 (13.5)	29 (10.9)	
	2. 2人	53 (15.6)	95 (28.0)	94 (27.7)	100 (29.5)	81 (23.9)	29 (8.6)	20 (5.9)	25 (7.4)	16 (4.7)	43 (12.7)	36 (10.6)	67 (19.8)	42 (12.4)	
	3. 3人	22 (21.6)	24 (23.5)	28 (27.5)	37 (36.3)	31 (30.4)	15 (14.7)	4 (3.9)	11 (10.8)	3 (2.9)	10 (9.8)	7 (6.9)	19 (18.6)	14 (13.7)	
	4. 4人以上	4 (10.8)	10 (27.0)	10 (27.0)	10 (27.0)	8 (21.6)	3 (8.1)	2 (5.4)	4 (10.8)	3 (8.1)	3 (8.1)	4 (10.8)	5 (13.5)	9 (24.3)	
	5. 無回答	44 (15.0)	57 (19.4)	69 (23.5)	49 (16.7)	40 (13.6)	10 (3.4)	14 (4.8)	28 (9.5)	7 (2.4)	30 (10.2)	21 (7.1)	47 (16.0)	73 (24.8)	

回答者数はこの設問に回答した人の人数、合計は回答者が選択したすべての選択肢の数の合計
 複数回答であるために合計は回答者数を上回る
 () 内は回答者数を100とした割合

IX 自由記入による回答

(注)原文のまま掲載しているが、特定の個人名が含まれているものや誹謗中傷に属するもの等は掲載していない。

1. 問1「あなたは、国分寺市を住み良いと感じていますか」その他自由回答

- ・ 緑も多くて、畑も多く、街も程々の大きさで好きです。
- ・ 比較の対象がないので分からない。
- ・ 住んでいないので良くわからない。大好き。
- ・ 良い面と住みにくい面がある。
- ・ 今のところ治安は悪くないが、住み良さは良くないと思う。不便。
- ・ 過去形で住み良かった。
- ・ 交通の便も良く、商業施設も多い。木々や鳥も多い。
- ・ アパートの管理が悪い。町内会費も払う力もない。
- ・ 歩道が狭い地域がある。
- ・ 坂があるので不便。
- ・ 道路整備が悪い。
- ・ 道路・街路樹の手入れが悪い。道が狭い。
- ・ 町にいる人は良いが、市の対応等は最低。
- ・ 公営住宅のため障がいあっても草むしり等の作業苦難。
- ・ マイカーがないので、今後の高齢化を考えると駅に遠いので、土・休日のバスの終バスを遅くまで動かしてほしい。交通手段の限界を常に不安を持って考えている。それが叶わない現状はとても住みにくい。

2. 問2「あなたは、これからも国分寺市に住み続けたいと思いますか」その他自由回答

- ・ 都心に勤務しているので、通勤時間を短縮するため都心への移転も考えるが、子どもの治療、療育を考えると、移転しないほうが良いとも、色々と模索中。
- ・ 何百年も続いているので、越すわけにはいかない。
- ・ わからない。
- ・ プライベートな問ですので、控えさせていただきます。
- ・ 移転は面倒だから。
- ・ 大学卒業・就職で移転します。
- ・ 住み続けるより方法がない(金銭的にも)。
- ・ 施設入所者。
- ・ 子供の事を第一考えると、学校の事があるので、なかなか移転はできない。
- ・ 転出予定あり(H27.7に)。
- ・ 考えた事がないので、答えようがない。
- ・ 市の対応を無視すれば住める。
- ・ 市長が率先して、真の文化都市へと舵取りをするならば(警察都市化を目指していますか)。

3. 問2-1「問2-1.《問2で1~2とお答えの方》あなたが住み続けたいと思うおもな理由は何ですか」その他自由回答

- ・ 公民館・図書館が便利。
- ・ 全てがそこそこ良い
- ・ 国立に近く、学生・生徒が多く、活気がある場所だから。
- ・ 安全。
- ・ 今から移る金がない。
- ・ 義父母と同居しているから仕方ない。
- ・ 町がのんびりした感じ(田舎すぎず都会すぎずちょうど良い)。
- ・ 自宅だから。
- ・ 国立駅国立の街が近いから。
- ・ 治安が良い。

- 引っ越す理由がない。
- 家があるから。
- 実家がある。
- 郵便局・市役所が近くにあり、年老いてからも良いと思ったが、何か市役所が移動するとか、読めなかった。
- もう引越は嫌。
- 国立駅に近い。西町なので。
- 今の体調では動く事ができない。
- 36年飽きない。
- 高齢だから、引越はしたくない。体力的に。

4. 問3-2「国分寺市に転入してきた理由は何ですか」その他自由回答

- 実家に近い。
- 娘が仕事をしながら出産、手助けの為。
- 両親との同居の為。
- 夫のDV。
- 親が住宅購入。
- 猫が飼えるアパートがあった為。
- 親が住宅購入のため。
- 施設が空いていた為。
- 小学生だった子の喘息の転地療養。
- 1人暮らしになってので、子供の近くに家を購入。
- 一人娘と同居のため。
- 6歳で終戦。国分寺の伯母の家に預けられた。
- 空襲の為。
- 住宅が狭いので、少し広い所に移転しました。
- 妹の近くにきた。
- 母を引き取るため大きな家が良かった。
- 3.11による原発事故。
- 娘と同居。
- 主人死亡の時、二男と同居（自分の趣味の続行の為）。
- 空襲により家屋焼失のため。
- 父が亡くなり、母が1人暮らし。主人が同居にOKで。

5. 問4-1「転出するとしたらどのような理由によりますか」その他自由回答

- 通学。
- 介護状態になり、施設入所など必要になったとき。
- 実家に戻る。
- 移住。
- 連れ合いに先立たれ、1人になりましたので。子供もいません。高齢の為生まれ故郷に帰る事になると思います。兄弟や親類の近くに住みたいと思っています。
- 年金生活のため。
- 老齢のため施設を探す。
- 高齢の為、故郷に帰りたい。
- 家が古くなり、建て替えが必要な時。
- 1人暮らしで介護が必要な場合は動かなければならないと思います。
- 国立にいた子どもが都内に移転、老後一人が不安、近くに越したい。
- 長年住んでいる住宅が5階建ての4階に住み、上り下りができなくなりそうです。
- 都心に住む長男夫婦と同居の為。
- 家族と同居予定。
- 国分寺市が嫌だから。

6. 問6「市民が市に対して提供を希望するサービスが多様化する中で、行政の運営、サービスの提供の仕方について次のような考え方があります。次の中からあなたのお考えに近いものを選んでください」その他自由回答

- どこがやっても良いので、継続可能な財政の中で最良のサービスを行う。
- 漠然としすぎて、よく分からない。
- よく分かりません。
- 考えは特にない。
- サービスの内容による。
- 全部（1（行政が提供するサービスを見直し、民間で行えるものは民間に任せる）・2（公共のサービスは、行政が市民活動団体などと協働（協力）し、提供をしていく）・3（公共のサービスは、行政がいつもの行政改革を進めながら、自ら責任を持って行う）について）。
- ツタヤ図書館等、他市で効果を上げている施策で、積極的に取り入れていく（行政+民間+ボランティア+非営利活動等）。
- 行政の運営、サービスの提供を十分に把握しきれていないので4（その他）としました。
- 行政が責任をもって行う（指定管理者に依存しない）。
- 行政サービスが多様化するなら、一様に行政が責任を負うのは不可能。サービス内容により1（行政が提供するサービスを見直し、民間で行えるものは民間に任せる）～3（公共のサービスは、行政がいつもの行政改革を進めながら、自ら責任を持って行う）となる。又サービスの無秩序な拡大も問題。
- 2（公共のサービスは、行政が市民活動団体などと協働（協力）し、提供をしていく）に不賛成。偏りがちになるのでは。近くに住む市民に家庭の事情が知られるのが嫌な人もいるのでは。秘密保持の意識が必要。
- 市の財政に即した行政を行いながら改善を求む。
- サービス提供は民間でも良いが、行政が責任を持つべきものは責任を持って行うべきである（委託で行うにしても）。こういう設問自体不十分である。行政責任の範囲を明示すべきだ。
- 各部署の連携で無駄の排除で部署の集約。
- よく分からない。
- 民間とは営利団体なので、行政のみで頑張ってもらいたい。
- よく分からない。
- 行政が提供するサービスを見直し、行政の管理監督の下、民間で行えるものは民間に任せる。
- 分からない。考えた事がない。
- 行政が各課で提供するサービスを見直し、横つながりを確認し、市民に伝える（周知）工夫を考える。
- 2（公共のサービスは、行政が市民活動団体などと協働（協力）し、提供をしていく）～3（公共のサービスは、行政がいつもの行政改革を進めながら、自ら責任を持って行う）どちらかを選べなかった。
- 分からない。
- まだ考えがありません。
- 公共のサービスは行政が責任を持つ（行政改革が必要とはいわない）。
- 分からない。
- 1（行政が提供するサービスを見直し、民間で行えるものは民間に任せる）・3（公共のサービスは、行政がいつもの行政改革を進めながら、自ら責任を持って行う）全部で行政改革しながら、民間で行えるサービスはそちらへ。市民団体と協力できるサービスを提供するという事を考える事もありではないでしょうか。
- 最近の傾向として、民間に任せる状態が増していく中、どの方法が良いか迷っている状況です。
- アパート等に入っている人は民生員とか関係ないし、行政は税金を払ってくれば良いみたいですね。
- ボランティアの活用。
- 燃やせるゴミ用と同じような黄色の袋を使っているお店もあります。その袋を使って小枝等を入れて出しておきますと、收拾して下さいません。中のゴミが全部見えるのです。私はおかつての生ゴミは狭い庭ですが、全部庭に埋めます。燃やせるゴミは黄色袋でなくて良いと思います。
- 市職員の給料が高いので、ぬるま湯に浸かっていて、積極性がない。
- 特に市役所の業務は平日のみの場合が多く、利用するのが不便だ。
- 無駄な仕事をしない。職員の削減。サービス内容の公平性等を精査し、官民連携体制を願う。
- 行政の動きが見えない。駅前開発にしても、「力」ある者との癒着を以前から感じ、行政を信頼できない。
- 公共のサービスは行政が責任を持って行う。安易な民間委託は行わない。
- 市民に対するサービスを行政（市の職員）へ期待できない。それだけの能力がない。民間に任せればそれだけ経費がかかると思う。
- 全く期待はしていないが、本当に必要なときに市民の頼りになってほしい。
- 不満が多かったり、民間のノウハウが生きるものは任せる。

- サービスを受けているとあまり感じていない。

7. 問7「国分寺市の財政は厳しい状況にあり、収入を増やすための努力や、経費削減のため業務の見直しを進めています。あなたは、こうした行政改革の取組の中で、特にどのような分野に力を入れるべきとお考えですか」その他自由回答

- 名所PR。他所からの消費収入、観光収入。
- 企業誘致による税收増加。
- 市議会議員の給料削減。
- 税收に依存するのだから、市税収入を増やす事と、都・国税からの配分を増やす事を考えるべき。無駄を省く工夫は当然だが、収入あつての話し。
- 何が問題なのか分析して、1つ1つ取り組むしかない。既得数にとらわれず、できれば解決する。
- ICTの積極的導入。
- 国分寺と似たような市を全国から探し、モデルケースを徹底的に調査し、マネするしかない。“にしこくん”もがんばれ。公認にして（してる）。かせいでもらう。
- 企業誘致、大型商店の誘致、パチンコ店不要。
- 分からない。
- このような難しい質問は世間知らずの私には理解不能です。抽出する人間を間違えましたね。
- 立川市との合併。
- 観光収入確保に向けた新たな取り組み。
- 外から眺めているくらいの私の知識では、軽々に答えは出ない。市の土地をニーズのある物件等にし、リース料を徴収。
- 最も税金を納めている住民への還元（サービス）もあれば地域貢献もしたいと思う。
- 支出の内訳が不明なので分からない。支出の多いところから見直す。
- 分からない。
- 選択肢がほとんどネガティブなものになっております。財政から考えると、そのような風潮はいたしかたないかもしれませんが、国分寺市には国分寺があるので、観光都市を目指したらいかがでしょうか。外国人が多く日本に訪れております。オリンピック、高尾山もあります。
- 国分寺にはアニメ制作スタジオが多く、その事をアピールして、将来的に見直してみる。
- 人口増、企業数増による税收増加。
- できる限り民間に委託する。
- 具体的施策が分からないと、答えられない。
- 可能であれば市の合併。
- 大企業を増やす。
- 分からない。
- 放置された畑・土地の税政。
- カラオケとかゲートボール等、いつでもできるような施設がほしい。
- 追記：1（市職員の適正配置の推進）～4（各種団体に対する補助金の見直し）・7（公共施設などの統廃合・複合化・多機能化）・8（他の自治体との施設及び公共サービス等の相互利用の推進（自治体間連携の推進））はできるならば、最初からやっているのでは。聞かれる意味が分かりません。
- 特定健康診査の配布と返信用の費用（切手代）がかかるので、具合の悪い方は医療機関又は地域の民生委員の訪問等で。
- 企業誘致・農産品や食料品工場企業の誘致。
- 国分寺駅北口再開発を止めたらどうか。
- 市職員の大幅な削減。
- 市民の認知されていないキャラクター等のグッズを作成するなら、作らないでほしい。貴重な財源でしょう。
- 人員規模を縮小して下さい。見ててあんな人いらない。
- 職員のサラリーカット。
- 市職員、給与額の適正化。
- 市職員の給与削減と人員削減。
- パチンコ屋と裁判で、無駄金を使っている場合じゃない。
- 市職員や市議会議員の削減。
- 市職員・議員の給与見直し。人数削減。
- 市議会議員削減。

- 駅再開発の見直し（当初予定より大幅支出増）。議員削減、市職員給与の適正化（他市より高い）。
- 市職員・議員の定数と報酬の減額。
- 議員を減らすか賞与の返上。
- 人口減少化に対する対策。
- 予算主義をやめる。家計と同じように考える。
- 市会議員の質の向上を願うが難しいのでしょうか。
- 民間企業の誘致。工場の誘致。駅前再開発ビルへの多数店舗の誘致を断行し、駅前ビルに市が入るなど、税収増加を伴わぬ政策をすべきでは無い。
- 市の職員を最小限に減らすべき。道路、公園、公共施設への過剰な出費。
- 職員の人数が多い。民間ならおそらく約半数で効率的に運営しないと倒産する。原価意識が乏しい。
- 職員給料と議員歳費の削減。
- 議員・職員の給料の引き下げ。
- 市会議員の削減。
- 大型公共事業（例）国分寺駅北口などもう不要。
- 全体的に店が少ない。小さい子どもを遊ばせる場所がない。もっと住む人口を増やすことをしてほしい。
- 国立市（隣接する市）と統合。市議会議員の見直し。
- 市長・市職員の給料カット。
- 税収を増やす事を考える。
- 市職員の給与・待遇の見直し。
- 市職員、議員の減給。
- 市職員の意識改革、モチベーションアップ／民間企業マーケ経験者の採用。
- 市職員と市議の削減。
- 市議会議員定数の削減。市職員の給与見直し。
- 市職員・議員報酬の削減。国分寺駅北口開発の膨張する費用の削減。
- 無駄な施設の建て直しをしない。
- 役人の給与。
- 市職員の個々のマインドの切り替えと、業務処理の増加（対応している中で、業務をどんどんこなすようなスピード感がない）。
- ゆるキャラ等、無駄使いを削る。
- 市職員の給与見直し。
- 市議会議員を減らす。
- 市職員の数、給与の見直し。
- 実感がなく、まだ考えがありません。
- 市議員の給与を減らすこと。
- 企業や学校を誘致して所得税を増やす。税金にばかり頼らないで、税外収入を増やす。
- 市職員の給与。
- 市職員の人件費を見直す。
- 住民の福祉を最優先し、いらぬ支出を削る。
- 市役所に行っても、職員の働く姿があまり見られない。働く姿が見えて、人員カットをしても良いのではと思いません。
- 市議の人数の見直し。
- 市長・職員等の給料の見直し（全国でもトップレベル。それだけの仕事をしていない）。
- 市職員の人員を減らす。
- 市会議員の人数を減らし（10人ぐらい）にして市の財政にあてる。
- 議員人数の削減。職員の教育。
- 市議会議員の削減。
- 市職員の給料の見直し。
- 市職員のレベルを上げる（能力向上）。
- 市職員の給与体系の見直し。
- 市議会議員の人数「-5」減。
- 生活保護費を不正に貰っている人が多い。
- 徹底して無駄を省く。
- 職員の数を減らすべき。
- 市費の使い方を考え直してほしい、駅前大型開発より貧しくてもほどほどに福祉・教育充実させて市民のための財政を。

- ・ 駅前開発等。
- ・ 市職員の給料の見直し。
- ・ 市議員が多い。
- ・ 市職員の給料を下げる。
- ・ 給料の高いところは削減。
- ・ 市立保育園の民間への移動はやめてほしい。
- ・ 市職員の給料・退職金の引き下げ（他の自治体より高い）。
- ・ 国分寺駅北口再開発などの大型開発予算を減らす。
- ・ 図書館・公民館にいる方は皆市職員ですか。パートにすれば。

8. 問8「市が行っている公共サービスのうち、選択的サービスについては、その利用者が一定の費用負担をするという考え方が原則となっています。あなたは、そのことについてどのようにお考えですか」その他自由回答

- ・ 選択的サービスの中でも、公共性が高いものは負担を少なくし、他のものについては利用者が一定の負担をするべき。
- ・ 漠然としすぎて、よく分からない。
- ・ 低コストでの提供・運営モデルを広く意見収集し、利用料の極小を目指すべき。
- ・ きめ細かい仕分けによって、市民の公的活動への意欲を支援してほしい。
- ・ 選択的サービスであるため、利用者が一定負担はありと思うが、全ての施設でそうすべきではない（図書館や子どもが勉強する場など）。
- ・ 一括で判断する事はできない。
- ・ ものによる。例えば高齢者の介護予防につながる自立活動なら補助を全て出しても取り組みを促すべき。
- ・ 一定の負担は良いが利用までのサイクルが悪く、財源として期待できない。改善すべし。
- ・ 選択的サービスの中でも公民館については公費で賄う事が必要である。スポーツセンター等は区別すべきである。
- ・ ものによる。会議室などはタダでよい。
- ・ 考えた事がないし、自分には関係がないので、答えられない。
- ・ 市民としては「3（選択的サービスであっても公共サービスなのだから、全額公費（税金）でまかなうべきである）」であってほしいが、財政が厳しいのであれば「1（選択的サービスであるので、利用者が一定の負担をすることは当然である）」でも仕方ないのかと思う。
- ・ 選択的サービスの存在を知らない。知って当然という考えなら改めるべき。
- ・ シルバー層は負担を抑えるべきだと思うが、全市民が公平に施設利用できるようにすべき→現在は分からないが、3年前位にシルバーを優先するよう言われた。
- ・ 利用頻度を考慮し、市民が多用するものに公費を多めに負担する。
- ・ 利用者が一定の負担をする事は当然とは思わないが、してほしい。
- ・ 実感がなく、まだ考えがありません。
- ・ わからない。
- ・ この市はとても活発に楽しんでいる人が多いと思います。それは自由に呼応民間を使える事と思います。でも少しくらいならお金を払ってもと思います。
- ・ 費用負担をなくしてほしい。
- ・ 会議室等は良いですが、負担能力により、受けられないようなサービスは皆が受けられるよう配慮すべき。
- ・ 現在、公民館使用にあたり、1回につき500円くらいの経費を支払いたいと考えています。
- ・ 内容によってはっきり分けるべきだと思います。
- ・ 借家の人は関係ない。
- ・ 負担金少なく、公費補助を多くして利用者増やす。
- ・ よく分かりません。
- ・ 利用の中身によって、公費負担、利用者負担を決めるべきである。
- ・ 今まで無料で利用してきたので残念であるけど。
- ・ 管理委託するには市も市民も利用料を納める。目的に応じて減額。
- ・ 税金は必要などろに使ってほしい。必要でないものに使っている場合がある。
- ・ 個人の理由ですが、スポーツセンター・プール・いずみホール・本多の武道館 etc も特定人ばかり。遠い、その他で全然利用できず、不公平さを感じる。何十年も税のみ納めている。

9. 問 10「あなたは、市からどのような情報を多く欲しいと思いますか」その他自由回答

- ・ 詳細な収支報告。若者がどのくらい市政に関心があるか。
- ・ 金に関する全て。特に個人に直結するもの。
- ・ 特になし。
- ・ 市の財政状況。
- ・ 収支、税の使い方。
- ・ 市が提供するサービスとは。
- ・ 無料サークル活動。
- ・ 6（展覧会、協議会などの催し物やイベントに関する情報）の内容に音楽会の文言はないのはなぜか。市として意識がないからか。従ってホールもろくなものがない（いずみホール、貧困）。
- ・ よく分からない。全て必要では。
- ・ 就職支援。
- ・ 市の問題点と改善状況を具体的に開示。
- ・ 考えた事がないので分からない。
- ・ 教育、不審者情報など安全に関することと防災、税手当や保健医・福。
- ・ 高齢者活動、特にボランティア活動に関する情報。
- ・ 老人が多くなっている。そういう事に対しての情報等。
- ・ 特になし。
- ・ 交番の早期設置希望。
- ・ 生活している年代により、要求も多くなると思うが、新しい市長さんは誰。顔が見えない。名前くらいは知っているが。
- ・ 市職員の無人件費の詳細内訳や全ての出費の完全ガラス張り化。
- ・ 市議会議員が普段何をして、それに見合った収入になっているのか。
- ・ 市財政厳しさ折、国分寺駅前開発に伴うパチンコ店問題で、多額の損害発生したその原因と責任説明がない。
- ・ 車椅子でも行ける所を知らせてほしい。

10. 問 11「犯罪への対策などの市民生活の安全についてお伺いします。次の中からあなたのお考えに近いものを全て選んでください」その他自由回答

- ・ 通学路の前に住んでいる人や商店街等、決めた時間だけ立ち番。
- ・ 防犯カメラ設置の助成。
- ・ 犯罪が起きやすい場所等を統計的に見つけ出し、重点的に対策する。
- ・ 市・市民・警察が連携して行える対策、システム作り。国立駅北口周辺は、国立市も含まれている為、立川警察署と小金井警察署の情報共有が必要。
- ・ 警察の持つ地域の犯罪情報を市が開示していく。
- ・ 基本は警察ですが、3（地域の人たちが協力して、地域の安全を守っていく）は不可欠。
- ・ 犯罪対策は個々に行うべきだが、市が強力にサポート（対策ではない）するべきである。
- ・ 市を介した地域と警察の連携。
- ・ 役割を決めず、周囲の人・防犯カメラ・サイレン等の対策案を重ねた防犯システムを構築する。
- ・ 地域の安全について話す場を設けるべき。
- ・ 街灯などの充実。
- ・ 警察・市民・市が協力して行う。
- ・ 訪問販売の禁止法制化。
- ・ 警察署を設置してもらいたい。
- ・ 街灯をもう少し付けてほしい場所があった。
- ・ 市民1人1人が自衛する事は限界があるので、警察も行って、市民又は警察のどちらかが一方の責任にしないように努めるべきだと思う。
- ・ 市と警察が連携を取って行っていく。
- ・ 警察、市、地域、市民、それぞれの領分を確認し合い、各々行うべき。
- ・ 全てやっていた方が良い。
- ・ 事件が起きた際の情報の共有を徹底してほしい。
- ・ 市、全体がひとつのコミュニティなので①警察、②市、③地域の順に対策情報を共有する。
- ・ 公園の樹木が大きくなり、うっそうとした状態で防犯上問題となるところであっても、予算がないからというのみで、何の対策も取らない市職員の意識改革をし、必要な防犯対策を講じる提案ができる市の体制をつくる。

- 市・警察・市民が連携して行うべき。
- 市が率先するが地域警察とも協力しながら自衛じゃないですか。
- モラルの向上指導。
- 今までに考えられなかった凶悪・巧妙化困難で難しい。自分を含めて意識が低い。
- 市と警察は連携すべき。
- ブロークンウィンドウ理論に基づく（NY州で成果抜群）対策を取るべき。
- 近くであった犯罪の情報を知りたい。
- もっと身近に動いてほしい。
- 市、警察、地域コミュニティの連携。
- 市民1人1人、市や地域、警察、一丸となってやらないと。
- そのために市や警察が積極的に情報を提供する。
- 地域からの情報を元に、市がそれに対して防犯の為の対策を伝える。
- 1、2、3、4の連携。
- 3（地域の人たちが協力して、地域の安全を守っていく）が理想だが、警察にも頑張ってもらいたい。
- 警備には限度がなく、社会風潮を明るくする努力が官民共必要（検討等）。
- 2（市民一人ひとりが自衛する）・3（地域の人たちが協力して、地域の安全を守っていく）・4（防犯対策は、警察が行うべき）は当然の事で、その上で1（市が率先して防犯対策を行っていく）が重要と思う。
- 市や警察からの情報を市民に伝えてほしい。
- 街路灯・防犯カメラ等の設置は市で。
- 外国人の在住をやめるべき。特にアジア国、韓国人。
- 町を歩いていても「おまわりさん」が居ない。もっと増やすべき。
- 警察署がないのに、4（防犯対策は、警察が行うべき）の回答はどうか。小金井市まで行くのも不便。対応が遅い。
- 西町交番の移転は人通りの多い所から移すべきではなかった。
- 自転車の安全対策をもっと厳しくしてほしい。警察官が取締に甘い。自動車ばかり厳しくしないで、自転車をもっと厳しくしろ。
- 詐欺まがいの電話が多く、全て留守電にて対応。
- 窓口相談でも、電話相談でも、上司に伺って等々、たらい回しが多い。

11. 問 12「市民参加についてお伺いします。あなたは、市民の意見や要望などを市政に反映させるために、どのような方法を用いたらよいと思いますか」その他自由回答

- 直接民主制の導入。
- 参加したいが、時間的余裕がない為、その分野の専門家に任せるしかない。
- トップの人間が最終的な舵取りをするので、外野がギャーギャー言っても無意味。意味のない事を聞かないで下さい。
- インターネットを活用し、スピーディーに高い頻度でアンケート等を実施する。
- 1（審議会などに多くの市民が公募で参加できるようにする）・2（市民が自由に参加できるワークショップや懇談会などを数多く開催する）・3（パブリック・コメント（意見提出手続）など、文書による意見聴取の機会を増やす）・4（モニターを募集し、市政に対する意見などを報告してもらうようにする）はコストがかかからない限り全部やってみる。
- 視点が異なるかもしれないが、専門家のアドバイスをもらう。
- 高齢の為、意見・要望についても参加できなくなった。
- 1（審議会などに多くの市民が公募で参加できるようにする）～6（随時アンケート調査を実施する）全てOK。
- 他の市と比較した情報がないと判断できない。
- 職員は多くの場所で人材の発掘をすべき。常に心がけるべき。
- わかりません。
- 市民の横車をなくす為、市議会を重視する。
- 交流会等をしたらどうでしょう。
- 行政が市民の意見から何かをしてくれると考えていないので、わからない。
- 例えば子育てであれば、保育園や児童館等で調査・意見募集をする。
- 意見や要望があれば書いて直接市役所に届くはがきを施設や駅、スーパー、コンビニなどに設置する。最近、ユニクロで買い物をする、そのようなはがきを渡されます。「サービス向上のためにお願いします」と。
- 市議の方に直接要望。
- わかりません。
- 回答不能。

- 片寄りのない意見要望を得るためにはアンケートが必要だが、世代毎の要望の聞き取りをする。
- 議員が地域にどンドン出て、市民の意見を聞き、より良い国分寺をつくるよう行動してほしい。
- 今までどおりで良い。
- 意外に皆、無気力であるので、難しい問題ですね。
- 病気をいくつも持っているため、体の調子が日によって違うのでとても参加出来ないため。
- 窓口が私と人間の意見を集約しろ。
- 今は動けないので、答えは出ません。
- まず、上位下位でない姿勢を市政の全面で見せるべき。
- 議員の活動。これが入っていないのはなぜ。議員が前提でしょ。1（審議会などに多くの市民が公募で参加できるようにする）～6（随時アンケート調査を実施する）も意見はあるが、恣意的意見に流れる危険もある。
- 形骸化するのが分かっているので、とにかく民間委託。
- こんなアンケート等、必要ないと思う。

12. 問 15 「市民と市がお互いに協力しながら住みよいまちをつくっていくために、あなたは、どのような社会貢献活動（地域活動やボランティア活動など）に参加したいと思いますか」その他自由回答

- ゴミ対策。
- 自治会活動への協力。
- 生活が苦しく、仕事で多忙であり、参加できない。
- 特にないですが、まずは身近な自分の住んでいるマンションの清掃やゴミの仕分け。やれる事をやる。
- どれにも参加したくない。
- 参加しない。
- 参加しないかも。
- 特になし。
- 健康づくり。
- 今は時間がない。
- 何かしなければと思うが、それが私にとって何かまだわからない。
- どの活動に貢献するにも、年齢を取りすぎた。
- 高齢になったので参加は考えていない。
- 大正 13 年生まれ（91 歳）ですので、参加できません。残念です。
- 体がもたないので参加できない。
- 高齢・障害者の為、活動できない。
- 高齢の為、参加できない。
- 80 歳を過ぎると自分のことでいっぱい。
- あまり参加したくない。
- どれも参加する時間と余裕がない。
- 国分寺市に住んで間もない為、参加する気持ちはありません。
- 地域猫との共生。
- 動物保護のボランティア。
- ペアレントハウス。EX:ドナルドマクドナルドハウス。
- 関心なし。
- 全て参加可能ですので選べません。
- 家のことをきちんとしていること。
- 参加したいとは思っていません。
- 自分の生活でいっぱいで時間がありません。
- 寄付や募金。
- 参加する意思はない。
- 体調があまり良くないので参加出来ません。
- 元気な体であれば、いろいろな活動に関わっていく気持ちはあるが。
- 簡単なパソコンを使う仕事。
- 小・中の学習支援（塾等に行けない子供の学習）。
- 健康で身体が動く時は出来る事はしたいです。
- 全て健康な人を対象ですが、健康上したくてもできない。

- 自宅で農業を毎日です。
- 高齢者と話し合う活動。
- 年齢的に無理。
- 人様に世話を掛けないよう、自分の事をするのが精一杯。
- 問 14（あなたは、社会貢献活動（地域活動やボランティア活動など）に参加していますか）の 3（時間的に余裕があるときはできるだけ参加している）については特定の場に限って。高齢者の為、お役に立てない。
- 特技がないので、自分を出せない為。
- 年齢あり。いろいろ活動は無理。
- 若い時はいのちの電話・学童保育も参加していたが、7年に渡る夫の老々介護で精一杯。人生観が変わってしまった。
- 自宅の緑化に努め、街並みの美観に協力。
- 自分は高齢で老人会に参加しております。
- 老人の為。80歳に近い為。
- 年齢的に無理。以前はやりました。
- 自分が高齢なので、自信がない。
- 老人会役員での活動の中で、弱者に優しい対応等。
- 高齢者の為、ボランティア活動は無理なのであしからず。
- 自分が高齢者であるから。
- 腰と膝が悪いので、あまり外へ出られない。
- 高齢の為、活動が困難になってきている。
- 体力的に参加できない。
- 本当はしたいと思っておりますが、自由な体でないので動けません。
- 特に該当するものなし。
- 高齢の為。
- 体調に自信がない。
- 75歳、足が不自由のためなにも出来ません。

13. 問 16 「地域住民がともに支え合う地域づくりをするために、特に必要だと思うものを選んでください」その他自由回答

①市民が取り組むべきもの

- 安全運転。
- 特になし。
- 若者が離れない街づくり。
- 市長・市議の活動を見る。
- 特になし。
- 特にない。
- 市民事業者との協働。
- 基本は 1（日頃からご近所（向こう三軒両隣）との交流を深める）ですが、現代社会では 2（地域での活動やボランティア活動に参加する）が不可欠。
- 各自生活・くらしを大切・ていねいに。
- 1（日頃からご近所（向こう三軒両隣）との交流を深める）・ 3（自治会・町内会の活動に参加する）両方。
- 分からない。
- ゴミ捨てルール。
- ない。
- 分からない。
- 住民が参加しやすい組織をつくる。
- 求めに応じて、各人のできる範囲で参加する。
- 1（日頃からご近所（向こう三軒両隣）との交流を深める）～ 4（福祉活動団体や市民活動団体が実施する支え合い活動や見守り活動に参加する）項、皆必要では。
- 納税・費用負担。
- 分からない。
- 情報を得る事。
- 仕事を持っている働きざかりは難しい。

- 学校を中心としての活動。PTA 本部役員は地域の方でも可とか。
- 上記1～4を常にまんべんなく取り組む。
- 各自取り組む事ができるものに取り組めば良い。
- 市内の公民館や催事に出向き、市内の活動をまず知る。
- 回答不能。
- ?
- 実感なく、よくわかりません。取り組むものが見えてきていません。
- できれば1（日頃からご近所（向こう三軒両隣）との交流を深める）だが、交流を拒否する人も増加中。
- 上記選択肢に参加できる社会環境にない。
- 寺や神社が中心となって祭り・イベント・教育。
- ご近所との人間関係を良好にする。
- 出かけるのが苦痛。
- 分からない。
- マンションだと、それは無理だと思います。
- リタイアした盲導犬の余生（葬式まで）をみる。

②行政が取り組むべきもの

- 訪問看護師の充実体制。
- 2（福祉活動団体や市民活動団体と連携し福祉サービスの充実に努める）も当然必要です。
- 国分寺市民が誇れる具体的な活動を。
- 2（福祉活動団体や市民活動団体と連携し福祉サービスの充実に努める）について4（情報公開と情報提供に努める）。
- 分からない。
- 急に聞かれても分からない。すみません。
- 周辺の市との共同行政。
- よく分からない。
- 分からない。
- わからない。
- 回答不能。
- 実感なく、よくわかりません。取り組むものが見えてきていません。
- 戸建の住宅地に住むと、近所との連携が持てる。
- スカウト活動等への支援と、青少年活動の充実。
- 地域と関わらず生活をしたいという住宅街が多いので、そこを支え合うのは大変難しいと思う。
- 知らん。

③市民と行政が連携して取り組むべきもの

- 若者が離れない街づくり。
- 市の未来を考える場を持つ。
- 分からない。
- 市民事業者との協働。
- 2（地域住民がともに支え合う地域づくりのリーダーや担い手を育てる）も当然必要です。
- 市民や団体と行政が近寄ること。
- 分からない。
- 地域価値を高める。
- 住環境の整備。
- よく分からない。
- 分からない。
- 学校や公共の場を通し求めなくとも、情報が市民の耳に万人に入るようにする。
- わからない。
- 防災について。
- 回答不能。
- 実感なく、よくわかりません。取り組むものが見えてきていません。
- わからない。

- ・ 財源確保に向けた具体的取り組み。
- ・ 職員を日頃から、地域担当者を配置して、市民から行政が身近に感じる工夫、見える工夫。
- ・ 分からない。
- ・ 地域づくりのリーダーは人格が良く、信頼できる人。
- ・ 自治会活動員に市として手当を増やして下さい。
- ・ 知らん。

14. 問 17「保健・医療サービスの充実のために特に必要だと思うものを次の中から2つ選んでください」その他自由回答

- ・ サービスを提供してくれる看護師、保健師の人員を確保すべき。
- ・ 不必要なサービスをやめる。
- ・ 食品の安全検査。
- ・ 医療費補助の充実。
- ・ 老人向け相談窓口を増やす。
- ・ 癌検診の徹底。
- ・ どれを選んでも医師が大変になる回答ばかりです。そこはどう解決するのですか。
- ・ 高齢者向けの往診。
- ・ 市の単位でやる事だとは思わない。
- ・ 高度な医療を行う機関の充実。
- ・ 7に近いが、病気を未然に防ぐ対策に力を入れる。
- ・ 市内に核となる先進病院を誘致する事が先決である。
- ・ 1人住まい高齢者の見守り・訪問。
- ・ かかりつけ医はあっても、訪問医の情報がない。
- ・ 病人へ保健で出費をカバーしているのだから、健康を維持している人へも給付があつて良いと思います。
- ・ 高齢者の健康相談。
- ・ 老人ホームの充実。
- ・ 耳鼻科が少ないので、増やしてほしい。
- ・ 耳鼻科が少ない。
- ・ 子宮癌検診等は自動的に対象者にクーポン等を送付すべき。
- ・ 歩いて行ける範囲に小児科があり、予防接種も近くでできる事。
- ・ 健診はどうしても平日に都合が悪い人のみ申請があれば、民間で受ける事や土日対応を可能にする。受診できる項目を増やす。
- ・ 休日診療の拠点病院を検討してほしい。
- ・ 乳幼児医療証を中学までにしてほしい。
- ・ 予防接種の公費助成。
- ・ 医師が開業しやすい環境を作る。
- ・ 医療証を正しく利用してほしい。症状がないのに利用する事がないように指導してほしい。医療証がある為に、本来病院に行く必要のない人が医療機関を利用しているケースが多いと思う。
- ・ 特定健康診断の対象年齢前の成人の健康診断の機会。
- ・ 救急医療の絶対的受け入れ数の少なさと、研修医等の対応で不安。
- ・ メンタルヘルス相談窓口開設 or 周知。
- ・ 仕事をしていても、検診が受けやすいよう、検診日決定の連絡をもっと早くする。1か月前には連絡がほしい。
- ・ 今までも行っていると思いますが、更に効果的にするにはどうしたら良いのか。
- ・ 委員の日・木曜休日を集中しないで、分散する。
- ・ 今までいききセンターで受診していたが(60歳まで)、充実していて良かった。いろいろ揃っていて。老いても使用したい。
- ・ 障害者のグループホームを造る。
- ・ 子育てママにヘルプ。いきなりだとケゲンな顔をされるので、バッチ等を携帯し、蒸し風呂スタイル。ベビーカー等のママに助言をしたい。ママチャリのベビーがかわいそうなシーン多々あり。
- ・ 予防接種の料金は各病院で料金を統一してほしい。
- ・ 葉書を出さなくても胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診や人間ドックの検診ができるとう良いが。
- ・ 運動施設の充実。高齢者に対する運動教室や中高年に対するインストラクター指導等。食事の改善方法の講習会等を行えば、医療費の削減になる。長野県を見習え。
- ・ 予防教室、市から委託されてるスポーツセンターですが、メタボの人達に連絡してます。いつ来ますか。ひどい話

- し。笑いながらひどい話。もう市は信用しない。
- もっと自由に病院を選べるようにしてほしい（昔のように）。

15. 問 18-②「市の子育て支援事業の中であなたが特に取り組んでいく必要があると思うものを次の中から選んでください」その他自由回答

- 小学校に入ってから、親が仕事から帰宅するまでの時間の子供の安全が不安なので、その事に対する対策。
- 近くに安心して遊ばせる公園が無い。
- 学童保育を6年生まで受け入れる。
- 障がいを持つ家庭への包括的なサービスが全くない。
- 市の保育園を民営化しようとしていること。
- 学童保育の充実。
- 野球やサッカー等、球技のできる公園が少ないので、増やしてほしい。市外の学校に通う子供が地元の小学校の課外活動についての情報をあまり得られない事。
- 子供の医療費の補助（マル乳を中学生まで対象にしてほしい）。
- グレーゾーンと一般に言われる子供の行き場がない。相談先もなければ、学校での対応も先生に任せる事が多く、専門性がある方が指導するケースがほとんどない。人数は増加しているのか、対応が追い付いていない。
- 医療費助成等の範囲が、他の区・市と比べて悪すぎる。
- 先天性の病気を持った子に対する受け入れが少なすぎる。知識が浅い（障害児）。
- 医療費の助成を乳幼児だけでなく、中学生までにすべき。他の市よりも遅れている。

16. 問 19「都市の基盤となる道路などの整備事業のうち、市は、特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか」その他自由回答

- 歩道の整備。
- 自転車の駅に近い駐輪場の整備（西国のような）。
- 野球のグラウンド。
- 国分寺駅前の治安改善及びパチンコ屋の排除。
- 法改正後、危なくて自転車に乗れない。
- 都市開発の必要性がまだ分からない為、回答なしでお願いします。
- 該当項目なし。
- 歩道の拡張／分離。
- 国分寺街道の整備。狭すぎ。危険。
- 1（幹線道路の整備）の財負担はもう時代遅れです。
- 歩道、電柱。特に自転車と歩行者目線で。
- 歩道・自転車道の整備。
- 国分寺街道（東八～国分寺駅）の整備。
- 歩道が狭すぎる（国立駅へ行く坂）。
- 電線の地中化。
- 歩道（自転車専用の道の整備）。市道だけではなく、都へも働きかける。
- 弱者の為のバリアフリー化。
- 歩道の整備、車椅子の利用はなしに近い。
- 熊の神社全面開通。
- 346号線の工事。
- 新所沢街道は必要なし。
- 歩道を整備して下さい。
- 都市計画の実行。
- 農地や樹木の保存を。
- 国分寺の南北道路の拡充。
- バスが少なすぎる。特に戸倉行。
- 緑地の整備はしない。
- 高木町の商店の活性化。
- 財政が厳しいのなら、選択肢全て無駄。
- 子供が自由にのびのび活動する場。

- 歩道の整備。
- 安全に自転車が走れる道路。
- 人口のわりに道幅が狭い。防災の観点からも道幅の拡大をしてほしい。
- 防災カメラの設置。
- 開発。
- 電線を地下へ。
- 歩道の整備。
- 救急車両が入れない細い道を広くする。
- 子供や車椅子、高齢者にとって歩きやすい道路。街路樹や草花の植栽が豊かな散歩に心地良い道の整備。
- 歩道と自転車専用道路の整備。
- 歩道と自転車道との区分、整備。
- 道路のバリアフリー化。
- 歩道の整備（歩きやすく）。
- 駐輪場を増やす。
- 熊野神社周辺の道路の整備。
- 道路に歩道が少なすぎる。
- 市役所建設。総合庁舎。
- 特に生活道路が悪い富士本地区。暗い。
- 横道に入ると道が狭すぎて、車だと大変な所多し。

17. 問 20「緑豊かなまちにしていくため、市として特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか」その他自由回答

- 管理された樹木にして欲しい。道路標識、歩道、ミラーの邪魔。
- 害虫駆除など、緑化した後のサービスがわかるとよいと思う。
- 駅前に緑地公園を造り、ベンチを置く等をして憩いの場を都市部に造る。
- これ以上必要ない。
- あんまり無駄な事にきれいすぎる事をして、お金をかけすぎない。
- 樹齢の長い大樹を守る（特にケヤキ）。
- 農家の偏重優遇を改める。
- 開発に制限をかける市条例の制定。
- 市民農園を増やす。
- アパート規制。外見・管理等々、街の品位低下。
- 全て必要では。優劣をつける知識が不足している。
- 生垣の補助は作る時だけでなく「剪定」も何とかして下さい。「剪定」で生垣をやめる時がくるかもしれません。
- 市街化農地の減らし、緑の多い住宅地とする。
- 道路の整備と共に。
- 歩道を増やし、街路樹を植える。
- 東京駅八重洲口が新しくきれいになった。見本にして下さい。
- 幹線道路整備で、多くの農地・緑地・風景が失われています。
- 1（樹木の多い公園を増やす）、3（街路樹など道路の緑を増やす）、7（農地を保全する）共に必要。
- これ以上余計な建物をつくらない。
- 芝生がある公園施設を増やしてほしい。
- 公園の周辺の清掃を強化する。葉で水が溜まる。
- 自然は自然のまま残す。
- 管理できる程度の緑化で良い。歩道にはみでているのは危ない。
- 充分。
- 住んでいる所は十分緑を感じている。
- 子供が遊べる滑り台等が全くない。
- つくるのではなく、あるものをきれいに保つ事が大切かと（自然等）。
- 畑等をつぶして、住宅を建てない。畑の持ち主の方が続けていけるよう手伝う。
- 畑をなくしての住宅建設が多すぎます。もっと保護して下さい。
- 学校校庭の芝生化。住居の砂ぼこりがひどい為。
- 現在ある公園の整備（緑豊かになっても、予算がないとの理由で、近隣に枝が伸びたり、落葉が飛んだり、伸び放題の整備されていない状態では意味がない）。

- 回答不能。
- 行き届いた手入れ。
- 現状維持。
- 緑豊かさはとても大切だが、視界がさえぎられすぎは、防犯に反する。
- 増やす、進めるではなく、維持管理に努める。
- 特になし。
- 公園内の整備を定期的に行い、球切れなどないようにする。
- 歩道の充実。車社会の中、歩く人の道が後回しになっている。
- 分からない。
- 沿道に花等植えたら美しいと思います。今は大変きれいになっていますけど。
- もう十分緑化されているので、今のままで良い。
- 通行しにくい。樹木等の道路にはみ出している。
- 緑より先にやるものがあるでしょ。
- 各家庭に植木（ゴーヤ等）を配る。

18. 問 21 「美しく機能的なまちにしていきたいため、市として特にどのようなことに力を入れたいと思いますか」その他自由回答

- 歩道を広く。
- 歩き煙草の注意を強化してほしい。
- 狭い生活道路の整備に力を入れるべき。
- 歩道を下さい。
- 1～5のどれも当てはまらないので。
- 区画整理。
- 美しいというのはそこまで重要でしょうか。今のままで十分な存在感があると思うのですが。
- 商店街の活性化がそれにつながる。
- 国分寺駅前にパチンコ店はすごくもったいない。
- 客引きを止めてもらいたい。
- 該当項目なし。
- 美しい街という考えに縛られて、無駄なお金を使っている。特に国分寺駅の周辺の開発は無駄。
- 確実に止められる駐車場・駐輪場の確保。
- 自転車通行帯などの整備。
- 歩道のバリアフリー化。
- 市内事業者との協働。
- 特になし。
- 歩道の幅や傾斜対策、自転車道の整備。
- 市民の美化意識を高める。路上禁煙、ポイ捨て。
- パチンコ店をなくす。
- 歩行者用、車両用に道路を分ける、農地、住宅地に分ける、といったつぎはぎにならない街並みを作るようにする。
- 駐輪場・自転車用道路の整備。
- 幹線道路の整備後の大型店舗、インフラ設備の更新。
- 何をもっと美しく機能的とするのかの明示。
- 歩道や道幅を広く。又府中街道、五日市街道に通じる道の建設。
- 住宅地域の生活道路をもっと整備・清掃を実施し、美しい街にして下さい。
- 上記のような限定的な質問に問題あり。
- 建築基準法を守ったまちづくり。
- 歩道の確保。例えば連雀通りの歩道が不完全の町である。
- 上の1（放置自転車などを規制、撤去する）～3（電柱を取り除き、電線類を地中に埋める）が必要。
- 費用のかからない事から急行する。例えば2（看板やポスター類などの広告物を規制する）等から。
- 自転車と車の事故をまず減らすべき。
- 3（電柱を取り除き、電線類を地中に埋める）は費用の面で大変だと思いますが、1（放置自転車などを規制、撤去する）も必要。
- 分からない。
- 道路や歩道の清掃。
- バスが少なく、待っている人・降りる人が上手く回っていない。時間も乱れる事が多く、機能的でない。とても

働きづらい。子供の保育園の送迎を、バスを乗り継いでしているが、雨の日は子供が濡れて風邪を引いてしまう等、不都合。

- 歩道を広く整備する。
- 緑がある事は良い事だけど、見通しが悪くて、事故になってしまっただけではいけないので、暗かったり、見通しが悪く、危険な所を対策する。
- ペットボトルの回収をする。放置が多くなってきている。
- 市役所の立て直し。新しく、きれいにしてほしい。
- 空家対策。
- 歩道を広くする。
- 国分寺北口の風紀が乱れている所をどうにかしてほしい。
- 歩き煙草・吸殻のポイ捨て、決められた場所で煙草を吸う等、本当に止めてほしい。厳しく規制するべきだと思う。
- 分煙徹底。歩き煙草禁止。
- ゴミ箱を設置。
- 国立・北口の通りを美しく機能的な町に。
- バリアフリーの推進。
- パチンコ等、風紀を乱すお店や建物の規制。
- 国分寺市は道路が細く、ごちゃごちゃして車としても、人としても危険だと感じる。美しくないし、機能的でない。
- 街灯の整備・充実。
- 校庭の芝生化。
- 駅周辺の風俗店、飲食店の規制。
- 放置自転車等をなくす為に、駐輪場を増やす。
- 回答不能。
- 歩道を十分に整備すると同時に、緑化する。
- 自転車専用道路を造る。
- 北口周辺の道路（商店街）が狭くて歩きにくいので、もっと広くしてほしい。緑のある歩きやすい歩道にしてほしい。
- 歩道を広くする。
- 例えばクリーン運動の日を増やして、地域の同士で自分達の地域環境を見直し、地域美化を意識する機会を増やすような事はどうか。
- 歩行者・自転車・車の安全性を考えた道路の整備。
- 引越してきて日が浅いので、市内をよく見ておらず、分からない。
- 道路の幅が狭く、住宅が密集している。美しいまちづくりになるよう、住宅の新規建築だけでなく、再建築についても、市として街並みを意識した指導をすべきである。
- 立川や小金井・小平など近くの町にくらべると道、特に歩道がせまい、どうにかならないものか。
- 歩道、自転車道の整備。
- 1（放置自転車などを規制、撤去する）・2（看板やポスター類などの広告物を規制する）は最近はないのでしょうか。事例が古いように思います。
- 自転車・原付バイク等の駐輪場の不足。
- ゴミのポイ捨て、犬の糞等、住民のモラル向上を図る。
- バリアフリー化を進める。
- 自転車道をつくる。北欧デンマークのように。
- 歩道・自転車道の整備。
- 道路の整備。もっと広くする。
- 人がすれ違う事のできる歩道幅の確保。
- 道路を安全に。
- 歩道の整備。
- まず、でこぼこに傷んだ生活道路をきれいにする。
- 清掃。
- 車や自転車、人の流れがスムーズに又はバランス良く集まり、流れるように、道路や店舗を整備し、日々の生活が暮らしやすい町にする。
- 生活道路を整備した上で4（歩道のカラー舗装を進める）を。
- 国分寺駅南口丸井横の歩道の中を拡げ、自転車を禁止する。
- 文教都市を目指し、パチンコ店等をなくす。
- 歩く人を中心にしたまちづくりヘシフトする。
- 車椅子でもスムーズに走れる舗装をしてほしい。国分寺は畑道が多く、道路の端が手を抜いてある。

- 国分寺駅北口再開発で見られた、真っ先にパチンコ屋を建設するような事はしない。
- より魅力的なお店を増やして頂きたい。
- 狭く、危険な道路を拡幅して、安全性を高める。
- 道路が狭い。それが全てに関するのでは。自転車のマナーの悪さ。歩いている人もマナーが悪い。自動車の人は大変と思う。
- シンボルとなるような国分寺駅前（北口）の整備を早急に進める。
- 子供が安心して歩ける歩道が少なすぎる。
- 国分寺街道の道の狭さ、自転車は危なくて通れません。
- 4（歩道のカラー舗装化を進める）、直ぐに進める事ができる為。
- こんなアンケートを取る前に、職員が街を調査し、安全でないか等、真剣に取り組めば分かるのでは。住民の目線で。
- 自転車道の確保・整備。
- 私有地のジャングル化を防止する。蚊の大量発生防止。
- ゴミのポイ捨てをしないように注意の看板をつける。

19. 問 22 「あなたは環境に配慮する行動を行っていますか」 その他自由回答

- ポイ捨てをしない。物を長く大事に使う。
- 一般的に高価だが、長持ちするものを買って、長く使う（衣料品もの）。
- ハイブリットカーに乗っている。
- ゴミの仕分けは徹底しています。
- ペットボトルの再利用。
- エコバックの活用。
- ゴミの分別を徹底している。
- 電気は長時間使用をひかえる（エアコン、ヒーター）。
- 省ゴミ。
- ゴミの分別。
- 犬を散歩する時、ペットボトルに水を入れて、犬のおしっこをその水で流しています。
- 庭の樹木の剪定に心がけ、生け垣の整備に力を入れている。
- 雑誌等、再生紙として出している。
- 雨水の利用。
- LED 電気に変えて、省エネ化している。
- ハイブリット車に乗っている。
- 釘、ピン（女性の髪留め）、缶など、拾ってゴミ入れに捨てる。
- 水代・電気代金が高いので、最大注意。
- マイカーを持たない。ゴルフをしない。
- ゴミの分別。
- 生ゴミをセンターへ持って行き、肥料にしてもらっています。
- プラ容器をプラゴミに出すために大量の洗剤や水で容器をピカピカに洗うほうがおかしいと思うので、油まみれの容器は可燃ゴミにしている。
- 道路や公園に落ちているゴミ拾い。地球にやさしい洗剤をなるべく使う。
- 車を持たない。
- ゴミの分類を徹底している。
- マイバック・ゴミの分別・リサイクル活動・無駄な買い物をしない。
- ゴミの分別。
- 食器洗剤は使わない。
- 生ゴミの堆肥化。
- レジ袋や包装紙は断る。
- 流行を追わず、大切に物を使う。
- 袋を持参して、お店の袋は使わない。
- 使用した油を直接流しに捨てないで、牛乳パックの中に新聞紙を入れて固めて捨てる。
- ゴミ分別をかなり丁寧に行っています。
- 夏は冷房なし、冬はこたつのみ。
- 余計な買い物をしないよう、心がけている。
- 近所の用事は歩いていく。

- 分別ゴミを積極的にしている。
- 地産地消。
- 風呂は12年間、家に入っていない（くも膜下出血倒れてから）。風呂屋に行っている。福祉に相談に行くが、家に風呂があるとでのケースバイケースであり（1人暮らし）、考えてほしい。
- 庭にヤモリ・トカゲ・カエル。近所にウグイス・オナガ声を大切にしている。
- 資源を大切にし、ゴミはなるべく少なくする。
- 自宅より見える所は全部見て近所に変化はないが、窓からも寝る前に見る。
- 入替ができる石鹸・シャampooを使用する。

20. 問 23 「ごみの減量のために、あなたが日ごろ特に心がけて行っていることを、次の中から選んでください」その他自由回答

- エコバック・ディスプレイの活用。
- 庭木の葉や枝は堆肥にし利用、町内の廃品回収、資源ゴミとして保管し町内の2ヶ月に一度の回収日に出している。
- 野菜の皮をむかない。残飯を出さない。
- 生ゴミは全て自家で処理。
- 生ゴミの処理が大切だと思う。市として有効な案を考えてほしい。
- 紙は再利用をできるだけ行っている。
- バックなど出したいが焼却場まで持参出来ない。
- 生ゴミは年中庭に埋めている。
- 生ゴミは庭に埋めるようにしている。
- 無駄な物を買わない。
- 洋服のリサイクル。
- 少しズレますが、ベルマークを集めて、市の消耗品を購入しては。ベルマーク、集める団体ないですよね、国分寺市は。ペットボトルのキャップより、まとも（いいもの）だと思います。
- ペットボトルは何度も使う。その他使える物は何度も使う。一度では捨てない。
- レジ袋は、何度か使い回す。ゴミの分別をなるべく行う。
- ゴミをあまり出さないように心がける。
- ガレージセールを行う。市のリサイクルに申し込む。
- ビンや卵パックのリユース。
- 封筒など名前や住所を書いている用紙はシュレッダーにかけて資源物として出しているのでもゴミを少しでも減らしている。
- 生ゴミはコンポストか庭に埋めて、生ゴミは回収に出さない。
- 生ゴミは処理場に出しに行っている。
- 余分に物を購入しない。
- 生ゴミは家庭菜園に埋めています。
- 生ゴミは庭木の肥料にしている。
- 集合住宅に住んでいます。若い人は何もかも一緒に出す。本当に苦労しています。注意する事の難しさ、これをもっと皆で話し合い、ゴミを減らす事に努めたいです。
- ゴミの出ないような食料品を買う努力をする。
- 犬の散歩等の時、ゴミを拾って歩いている。
- 生ゴミは家で土（庭）にしているのでも（何年も）、ゴミとしては出してない。

21. 問 24 「あなたは、子どもの教育環境の整備を図るために、市として特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか」その他自由回答

- 周辺の他市の共同行政。
- 子供達の心の問題にもっと関心を持って欲しい。
- 学力向上のためのメニューをあつくる。
- 分からない。
- 子供・親が安心して外で遊べる環境。
- 近所の交流と5（ボランティアによる防犯パトロール及び子どもの見守り活動を充実する）も必要。
- 街の美化と樹木などの保護による自然への優しさ。
- 学校施設の拡充。

- 学習支援 NPO と学校の連携。
- 整備を行った場合、必ず効果の評価をする事。
- 子どもが勉強する場所の整備を行って欲しい。勉強する場所がなかったり、環境がよくない。
- 学校で年少時より道路の右側通行を徹底させる。
- 6 (ICT 環境 (情報通信技術に関する環境) の整備) はよく分からない。1 (保護者や子どもに対する防犯教室・訓練を実施する) ~ 5 (ボランティアによる防犯パトロール及び子どもの見守り活動を充実する) は全て力を入れたら良いと思います。
- 関係なし。子供は成人したので。
- 子どもと地域の接点を増やす工夫を。
- 教員のレベルアップ。英語教育の充実。
- 4 (防犯カメラを設置する) も費用ですが、費用が大。
- プールなどスポーツ施設の老朽化対策。
- 校門に警備員さんを配置 (自由に人が出入りできないように)。
- 近隣の住民に「子どもはうるさい」と認知させる。
- 小学生の放課後、安全に過ごせる学童の時間延長 (19:00 位まで)。
- 安全な通学路を整備する。
- 夢物語が多い気がします。
- 道路は禁煙にする。
- 考えた事がないので分からない。
- 安全な遊び場を増やしてほしい。
- 子どもが安心して集まれる場所の提供、整備。
- 教育予算を拡大。学校施設の環境を整備。
- 自転車の安全講習をする。
- CAP (防犯というより自分自身を大切にすることが重要) を全校児童に受けてほしい。
- どれも重要だと思いますが、何が最も効果的なのかは分からない。
- 教育委員会があるのですから、今子供達に何が重要かよく勉強し、考えてほしい。学校と共に。
- お母さん達からの情報を多くの親に子に伝える。
- 安全な通学路の整備。
- 分からない。
- 住民による声かけ。我子同様、国の宝。関心を持ちたい。
- バカ親の教育。
- 街灯を増やせ。ご近所でパーティー行。知っている人間と知らない人間が分かる。
- 分からない。
- 住人と子供達が知り合える機会を持つ。

22. 問 25 「文化活動やスポーツ活動を発展・促進させるために、市として特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか」その他自由回答

- 施設 (グラウンド・体育館等) の充実。
- グラウンドを造る。
- スポーツ傷外に対するバックアップを充実する。
- スポーツ施設の拡充。
- コンテスト、フェスティバルの実施・表彰。
- 障害者スポーツへの助成。
- スポーツ施設の充実。
- 特になし。
- 活動を行った場合、必ず効果の評価をする事。
- 野球場の整備。
- 文化施設やスポーツ施設の充実 (国分寺市は作る施設が中途半端なものが多い、使いづらい)。
- 音楽ホール (1000 名程度収容) の建設。美術サロンの併設。
- 幅広い広報への協力。
- 周辺の都市との共同活動。
- 上の 1 (各種公演や講演会の開催を充実する) と 2 (小中学校の学校施設の開放を拡充する) 項を願う。
- 関係なし。
- 選択的サービスなどといって市民から使用料をとらないこと。

- 国分寺市内に多機能体育館を。
- スポーツ施設の建設（他市と比較し、極端に少ない）。
- 市民の使える施設を増やす事に努力する。
- 3（スポーツ教室・大会の開催を充実する）、5（公民館が主催する講座などを充実する）も必要と思いますが。
- プール等、スポーツ施設の老朽化対策。
- スポーツ選手が来てのスポーツ教室を開催する。
- 3（スポーツ教室・大会の開催を充実する）+6（民の自主的グループ、サークル活動などへ支援を行う）+スポーツ施設（テニスコートやフットサル・サッカーフィールド等）を積極的に増やしてほしい。
- 皆が参加しやすいイベントを開催（市民祭りのような感じ）。
- 市内にある、教室、スクール、チームなどの情報を市民に提供する。
- 文京区・中野区等、図書館の開館時間が長くて、思いっきり勉強できるので羨ましいです。
- 多目的グラウンドの設置を望みます。
- 考えた事がないので分からない。
- 発展・促進させる必要なし。
- 学校行事に市の施設が整備不足なので、他市で借用している状況を改善すべき。
- 既存設備の有効活用とそれに関する広報。
- 国分寺市ならではの文化・伝統を核とした活動に特に力を入れればどうでしょう。意図はわかりますが、限られた市の財政で、効果をあげるためには漠然と文化・スポーツと言われてもピンとこない。
- テニスコート増設。
- プールが1つしかないのもっと増やしてほしい。
- 参加型の講演・シンポジウム・ワークショップの開催。
- 人が集まる市にしたい。昨年、たまたまいずみホールをウォーキングで知ったコンサートがありました。全く知らずにいました。いずみホールでの公演、講演など国分寺の駅コンコースに大きく貼り出す壁を作るべきです。市報などに小さく書いていても見のがします。西武線や武蔵野線にも目立つ場所。小金井駅ではお祭りやたきぎ能など駅で知って出かけてます。小金井のホールによく行きます。充実している。
- シニア世代向けスポーツセンターの充実を希望します。
- 大昔は存在したが、現在のバーチャルテンプル名、国分寺市とはおこがましい。市政コスト削減に励め。
- 図書館は府中まで行っている。
- 10代の子供達は少し年の離れた年長者のする事を見て育つ事が多々あります。青年リーダーの育成が重要。
- 自主的グループと小中学生との交流の場がない。
- どれを見ても、難しい問題である。参加する人少ない。校庭等を開放すれば、それを守る人が必要。
- ない。
- 文化活動やスポーツ活動をしっかり行える場を整える。
- 図書館が新聞目的の老人ばかりで、とても利用できる状態ではないので、コーナーを分けてほしい。もしくは新聞を減らしてほしい。
- 3（スポーツ教室・大会の開催を充実する）を年代別に行う事。

23. 問 26 「子どもたちを育むにあたっては、学校だけでなく地域全体で子どもを育てる環境づくりが不可欠ですが、そのためにどのようなことが必要だと考えますか」その他自由回答

- 球技の自由にできる公園を増やす。
- 地域人材の活用（現職の教員や元教員などが協力できる体制）。
- 若者のふれあいの場。
- 子供を育てている女の親子さんの支援を。
- 義務教育無料化→子育てしたいと思える→高い税金をはらっても住みたい街。
- 高齢者との交流、60～70歳の元プロフェッショナルとの交流。
- 3（青少年のひきこもり・立ち直り支援事業の充実）・4（小学生、青少年、保護者を対象とした相談援助事業の実施）・5（地域における家庭教育支援の充実）全て。
- 「地域全体で子どもを育てる」という考えには納得できるが、サポートする人がいないことが課題では。
- 昔のように空地を子供の遊び場として提供する仕組みをつくり、ボール遊びや缶蹴り、その他に子供が外で遊べるようにする。
- 子育ては基本的に親が責任を持つてする事が原則。
- 母親の共働きを減らし、子供達に注力させる。

- 周辺の他市との共同した取り組み。
- 上の1（放課後子どもプランをはじめとする子どもの居場所づくり事業の充実）～5（地域における家庭教育支援の充実）全て必要で、1つに絞る程の理解力なし。
- 共稼ぎ家庭へ支援。
- 老人2人住まいの為、分からない。
- 歌を歌う。一緒に遊ぶ。その機会をつくる。
- のびのび遊べる広い公園を増やす。小さい公園ばかりで、不審者等の心配がある。
- 分からない。
- 子供達が安心して遊べる場所の提供。
- 地域で子どもを育てるという考えが根付くと良い。
- 元気なシニア世代を活用する。
- 現場で子供を見守る人（例えば放課後子供プラン立会いのお父さん・お母さん等）の教育的指導。何の目的もなく、ただいだけで遊ばせるだけでは事業とは名ばかり。立合う人のお小遣い稼ぎのようになっていた。
- 貧困児童への支援の充実。
- 他人の子どもでも悪い事したらしかる事。

24. F7「あなたがお住まいの住宅の種類は何ですか」その他自由回答

- 寮
- 寮
- 親の家。
- 親の家。
- 寺
- 家族持家
- 親の家。
- 親の持家
- 家族の持家
- 実家。
- 施設
- 4階建ての3階までを貸し、4階に住宅（相続で次男名義）。
- 持ち家、アパートをかしている。

25. 市政に対するご意見・ご要望

- **避難場所の明確化等、防災情報について一層の開示と充実をお願いしたいです。この調査を記入する機会は、市民生活について考えるきっかけを与えてくれました。国分寺市報に目を通すきっかけにもなりました。**
- **丁寧な対応にありがたく感じています。これからも市民サイドのサービスに努めてください。**
- 財政的問題もあるかもしれないが、市庁舎を何個かに分けず一つの建物に統一してほしい。統括しないと災害が起きた時、対処しきれないと思う。
- 役所に行っても、若手が少ないように思える。今後、中堅として働いてもらうにも、今から若手を雇って育ててはどうか。
- この調査に関する結果の発表はいつ、どのようにして発表されるのでしょうか。
- **娯楽施設が少なく市外に遊びに行くしかないの、ゲームセンターなどを増やしてほしい。**
- 南口をもっと開発してほしい。北口も娯楽施設を充実させてほしい。
再開発も計画通りに進んでいないのに、情報が開示されていないのには不信感を覚える。一等地にパチンコ店があるのは市としてどうかと思う。
西武線の始発・終点であったり、中央特快が止まる駅にしては施設の充実度は最も低いと思う。近辺に東京競馬場があるのだから場外馬券場をつくったり、他方でラウンドワンのような若年層が遊びに行ける施設であったりをつくって、早実や東経大があるのをもっと活かしてほしい。
- 駅前工事で一番最初に建った物がパチンコといのが残念でした。ツメが甘く。工事前からあらゆる失敗があった。では次はどうするのか失敗したら成功するまで取り組むのが重要。期待しています。
- そして市の施設の改善が望まれます。スポーツセンター等の応募は往復ハガキ、又は窓口対応というのは市民ながらあきれております。インターネットで登録する仕組みを作れば良いでしょう。どれだけ古い世界にいますか。周りをよく見て下さい。財源が無いなら得る努力が重要です。誠意を示せば、サイト作成に手を貸す市民ボランティアも出てくることでしょう。

- ①ゴミの分別ルールが若干分りにくい。特に賃貸も多い集合住宅では管理組合の苦勞が多いのではと思う。せめてペットボトルは通常の収集場所での回収に戻してほしい。
- ②住民税の毎年の値上がり激しく、苦しい。我々世代は昇給してもその分税金が増えるような印象でやる気が出ない。子供がほしくても経済的な余裕が無く、諦めるしかない。
- 市内の催し物、イベント等が高齢者や子育て世帯を主な対象としているように見えます。参加率等を考えれば当然のことかもしれませんが、外から転入してきた若者にとって、国分寺市に関わる機会がほぼないと思います。市政や市民との接点がほしいという訳ではありませんが、市の課題について具体的な論点の設定があれば、私見を申し上げる事は出来ます。
- **少子化対策は子供を育てるための充実した何かを作る必要がある。**
- このような改善もなく、ただ漫然と古い仕組み、取り組みをしているだけならば、なぜ市税を納めなければならないのか、使途不明金を渡しているようでストレスしかありません。
- 改善したのは何か、どのような人のために取り組んで税金を利用しているのか詳細も全て明示して頂きたい。
- このページも余白が多い、意見の行を増やしても良いでしょう。このような無駄が市の不満の一つです。市民が何を求めているのか、本当にこの16Pで理解できるのか、本当に参考にしてしているのか、疑念を抱いています。
- この場にストレスを感じている部分を書いたので少しでも良いので改善して下さい。血税ですよ。
- JRには国分寺の駅を良くするよう要望してほしい。中央線の複々線化。交通のマナーの教育。狭い歩道に自転車通行は危険。歩道を広く。狭い車道を速度オーバーの車・オートバイが多すぎる。狭い道が抜道化していて、朝・夕のダンプカー・バスの通り道になっている。幹線・支線と体系が整っていないですね。
- 西国分寺駅周辺、特に新しくできたタクシー乗り場等、土地の活用の仕方に不満を抱いております。
- 私はまだ若く、市長が行う重責は知らない事が多いです。
しかし、私や友人は、この市の対応に不満があるのです。変えて欲しい。変えられる力を持つ一人の市長に変えて欲しいのです。
大人の世界で簡単にいかないこともあるかもしれませんが、市長が本気で変えるべく行動を起こし、市民の後押しが必要ならば市長のために人を集めます。
今、私は市長及び市職員の方々と大きな壁を感じており、何をしているのか知らず、不信、不満があります、市長という人間の本当を知り、応援したい気持ちもあります。
市長、変えて下さい。
国分寺は好きな町です。
今回を機により市の市からの声を聞きます。
だからこそ、「国分寺市」が好きと言えるよう、示して下さい。
期待しております。国分寺 一住人
いつか「一市民」と語れることを望んで。
- ①市内の歩道を禁煙にしてほしい。特に多摩湖線沿いの道路はひどく、子供の脇で歩きタバコをしている人が多く、何度も危ない目にあった。前の人の煙を駅まで吸わされるので、健康にも悪い。
- ②日立中央研究所周辺にバスを通してほしい。
- ③本多保育園付近で刃物を持った人がニュースで報道されたが、肝心の市のツイッターやメールでは数日後のアナウンスだった。これでは意味がないのでは？今日のアンケートでも答えたが、その点がとても引っかかる。
- ④北口の駐輪場がいつも埋まっている。
- ⑤連雀通りなど、1人分もない幅の歩道をどうにかしてほしい。
- 少子化対策には街コン（出会い）や各種養育手当の大幅な拡充が効果的だと思います。
- 紙ベースを廃止して下さい（市報・アンケート等）。全てWeb化した場合とのコストの差を公開して下さい。吉祥寺・立川との差を考えると、どこが悪いのか見えてくるような気がします。駅は大きいのもったいない街ですね。駅前でも何でも揃ったら良いのに。
- 西国分寺駅前のパチンコ店は駅前の環境上なくした方が良いと思います。そして駅の東口を開設すべきです。西口から東側への路地が狭く、大変危険です。早期の改善をお願い致します。
- この先、後期高齢化の時代はもうすぐだと思えます。目先の政策も大切ですが、長い目で効果のある事に取り組んでいく方が、良いまちづくりなのではないでしょうか？子供もお年寄りも住みやすい安心な市でありたいと思えます
- ①国分寺市の新聞をもっとコンパクト、内容もシンプルにしてほしい。紙の無駄であるし、税金の無駄遣いである。ポスティングする人件費も削り、コンビニ、スーパーにすべき。
- ②市役所は日曜も開けてほしい。平日、土曜は休みでもいいが、役所に行くのに休みを取らなければならない、大変不便です。それが夜間21時くらいまで開けてください。
- 国分寺駅周辺の自転車置き場の場所が悪い。駅まで遠回り。
- 自分が住んでいる国分寺市について、見つめ直すきっかけになりました。現在、教員として渋谷区の公立小学校に努めています。子供の多い国分寺なので、自分の力を活かせればとも思います。宜しくお願いします。住民税は少

- し高いような気がします。
- 市職員が多すぎる。仕事を過度に細分化している現状を課内等で水平分担化していけば、大幅な削減は容易に感じる。
- 保育園の充実をお願いしたい。
- HP（ホームページ）をもっと分かりやすく。頑張ってください。
- お疲れ様です。これからも駅前開発頑張ってください。楽しみにしています（必要性がわからないとは書きましたが、着手されている以上こう思っています）。あと、無駄な争いを避けて財源を大切にしてください。
- 歩行者用と自転車用、区別ができるよう道路の整備をしてもらいたい、危険を感じるため。夜道、街灯が少なく危ない。
- 子供（1～6歳くらいの子）が室内で遊べるアスレチック等がほしいです。
- おかげで住み良い街だと思います。しかし地域の団結は弱い印象で、これは点在する商店街の活性化によって、トップダウン的に改善できると考えます。商店街を1つの大きな単位として、周辺地域を取りまとめる仕組みの構築に市政が中心となって、専門家と共に注力すれば、その運営次第では生活環境に関わる諸事の向上・新事業の導入等につながり、市政にとっても長い目で大きなプラスとなるはずです。
- 西国分寺駅北口のフェンスで囲われているところは誰が管理しているのか？駅前開発（タクシー乗り物などの更なる整備）の妨げ!!
- 最近、市内の森（農地等）が減り、マンション、戸建てなどがどんどん増えている気がして残念。何よりも緑の多さが国分寺の良いところだと思うので、何としても守ってほしい。
- 保育所を増やしてほしい。
- 外部流入による税収アップ。そのためにも国分寺に訪れ、お金を使ってもらえるような施策、支援が必要では？国分寺市のグロースハックを提示して実施してほしい。
- 図書館をよく利用しますが、府中市等と比べると（たまに行く）やや劣る印象です（民間会社と運営している為か（?））。図書館等の充実は学生・社会人にとっても貴重だと思われます。ふるさと納税・ロケットに10万も図書館に寄った時に展示を見させていただいて決めたものです。
- 公共施設があまりに貧弱である。環境は悪くないだけに残念。
- ぶんバスの逆回りの追加及び、最終を21:00にさせていただく事を希望します。
- 周辺自治体と比較して実感が無い。住民税が高いにもかかわらず、税が活かされている実感が無い。公共施設の積極的な活用、斡旋など自治体としての直接収入などを考えて行かないと、納税なのか借財返済なのか分からなくなる。魅力のある市でいてほしい。
- ①バス通りが狭く、自転車や歩行者の通行に危険を感じますね！
- ②国分寺市に転居してからはゴミが有料となり、まめに分別する生活となり、エコ活動に参加している気分です。
- ③国分寺駅の工事が大規模に行われていますが、完成が待ち遠しいです。
- ④国分寺…緑がたくさんあって素敵です。I Love ぶんじ。
- 近所のゴミ集積場にいつまでも同じゴミが置いてある。ルールを守らずに捨てる人が一番悪いのだが、何ヶ月もほったらかしにしている行政にも疑問を感じる。以前に住んでいた多摩市と比べて、国分寺は品がなさすぎです。
- どうも大変参考になりました。大変ありがとうございました。
- 23区内の市政に比べて、国分寺市の市政への態度等、ものすごく先進国。市政とはいえないくらい。時代遅れであるという事をよく聞きます。その事をふまえて、もっと心のある市政を。先進国並みの市政をお願いします。
- 最近、緑地が切り崩され、宅地に変わっていく土地が増えていっています。自然豊かな国分寺がだんだんと他市の住宅街と変わらなくなってきており、少し寂しい気がします。もう少し緑地・樹木の保全に力を注いでいただきたいです。又歩道の狭い地区が多いので、自転車が通行しやすい道路の整備を希望します。
- ①ゴミ収集日カレンダーの充実（具体的な品目の項目を増やす、他の地域はもっと充実している）。
- ②ペットボトルの収集がないのが意味が分からない。
- ③遊具のある公園を増やしてほしい。
- ④スポーツ施設が乏しい（グラウンド、プール、器具等）。
- ⑤歩道が少なく危ない場所が多い。
- ⑥狭い道に車がいっぱい入ってくるので規則を増やす。
- ①府中街道の歩道を歩行者が安全に通行できるよう、早急に改善してほしい（自転車の危険な運転が多すぎる）。
- ②西国分寺駅周辺の道路が歩きづらい。
- ③泉町交差点の横断方法（歩道橋は高齢者にはキツイ）。
- 西国分寺駅東口を早く設置して頂きたいです。よろしくお願い致します。
- 近隣の市に負けない市をつくって下さい。
- 西国分寺駅東口開発（パチンコ屋の撤去など、道路拡張）。
- 教育予算の拡大。
- 西国分寺駅に東口改札を造って下さい（府中街道の東側に）。

- 大企業が少ない国分寺市。中小企業または個人事業主との協働、国分寺市ブランドの拡充。市政が率先または主導した国分寺ブランドの拡大。日本一の商品の発掘。
- 市政、訪問して頂く市職員との個々の会話。
- 硬球での試合が出来るグラウンドをぜひとも検討願いたい。
- 自然を増やし、文化的なまちづくりをして下さい（駅周辺の風紀の改善、騒音対策等）。
- 市役所を早く建設して下さい。
- 住みやすいまち国分寺！吉祥寺ではありません。国分寺です。
- 多少の人口減少は問題ではありません。不要な道路や宅地を整理し、農地や緑地を増やせば環境は向上。又公園としての緑地ではなく、本来の雑木林であれば税金は不要。逆に国分寺駅周辺は第3次産業を徹底強化し、税収向上。西武多摩湖線をライトレール化し、ぶんバスとリンク。富山市顔向けのコンパクトシティとして、市民の足を充実できれば、魅力溢れる国分寺として期待できます。
- 大家族で子育てをすると有利になる税制が必要である。核家族化は市としても排コストになる（福祉・保育）。
- ①議会の効率的なスピードある運営を期待。議員が多すぎるのでは。
- ②道路の早期完成。五小や能野神社横の土地が長く放置。都道となるのなら、住民の安全と利便性向上の為に交渉いただきたい。
- 図書館のHP がリニューアルにより、以前より使いにくくなった。
- 市議員（一人一人）の活動の様子をホームページ、市報等で明記してほしい。
- 障害者が住み良い町にするべく全力を傾けてほしい。
- ゴミ処理場はどうなったのですか？
- ①歩き煙草禁止の条例。
- ②ダンボール収集を毎週にしてほしい。
- アンケートの結果の公表。又は公表の仕方、又は公表しない等の事をこの調査用紙に記してほしい。
- 12万人の人口に24人も市議会議員が必要か少しギモン。
- 財源（税収入）を確保するために税金滞納者（学校の給食費含）へ法的措置など厳しく対応し、滞納金を減らし、税収入を増やし、市民の不公平感解消につなげる。
- 市議会議員数の削減と政務調査費の開示を希望します。
- 素性のわからない市民グループ、ボランティア団体との関係を断ち、健全な市民の声をきちんと聞くようにしてほしい。いわゆる「プロ市民」がこの北区には多いようです。
- 国分寺市の財政は厳しいと記載があるが、他の市より市民税が安いわけではない。
- 今回、市運営のビジョンを策定するにあたっては文章より絵・写真を多用し、夢・希望を感じられるものに仕上げる事を期待します。駅周辺を充実させる時に、思い切った投資をしてよいと思う（但し、明らかに無駄な事はNG）。
- 高齢者福祉等の選挙で票になる政策よりも、真に必要な子育て支援や少子化対策に財源を回してほしい。それなりに収入があっても、子供を4人大学に入れて、育て上げるのは厳しい。独身者や夫婦のみ世帯にもっと負担を課すべき。不公平だとつくづく思う。残す必要のない人が、たくさん財産を持って余している。
- 努力する姿勢が他の自治体と比べ感じられません。アンケートではなく「やる気」を市民に見せていただきたい。
- 自動車を恐れずに歩ける道路整備と、暗さを恐れずに歩ける街灯整備に取り組んで頂きたく、お願い致します。
- 行政が何か仕事をしたら、必ず効果を評価せよ。「実施したよ、よかったねー。」で終わってはいけない。
- それを怠ってきたからここまで日本がダメになったのである。もうムダな税金を使う余裕がなくなってしまったのは、今までのムダがあったから。まず反省して下さい。
- 市職員の縦割りでの仕事の仕方にあきれ。道路整備担当部署が特にひどい。
- ①アンケート受領後、提出期限までの日数が短い。②アンケート結果は回答者に適切に報告すべき。③アンケート結果がどのように市政に反映されたか説明責任がある。
- 「北口再開発」の失敗は許されない。近隣の市の駅前開発に負けるな。「ゴミ処理場」は日野市ではなく、国分寺市内に建設を。「観光課（？）」お薦めの道や公園、他道路は犬の糞で汚い。
- 災害発生時の活動拠点として、市役所庁舎はこの市において必要不可欠。災害の真の恐ろしさを知らない市議たちの言う事などに従う必要はない。早期に災害に強い市庁舎の建設を切望している。
- あいさつ通りの道幅が狭すぎるため、危険で不自由を感じています。自動車同士がすれ違う事が出来ない道が多すぎです。市政による改善を要望いたします（旧戸倉郵便局のあいさつ通りです）。
- 市役所へたまに行くと明らかに忙しい職員と何もしていない（PC を見ているだけ）の職員がいる。仕事をしていない職員は即退職させるべきである（税金の無駄遣い！）。
- 日中在宅する者がいる家庭は、近所、地域の交流や活動への参加がしやすいのは当然である。不在の家庭が「絆」からもれ、災害時等、取り残される事のないように考えて頂きたい。市民団体やボランティアの方々に「積極的な参加をしない者が悪い」との発想がないよう願いたい。善意が偏りなく活かされるよう、市職員の方々に勉強して頂き、専門家であって頂きたい。
- 市議会議員を若者にしていただき、市民の意見をストレートに議会に提案し、決議し、具現化していただきたい。

- ①商店に活力を取り戻す活動を市も市民も行っていない。国分寺駅前商店街に自転車で気軽に買い物ができる環境をつくるべきだ。
- ②市内に高等先進機能を持つ総合病院がないのはとても不安である。早急に大学病院を含め、誘致の検討を行ってください。
- ③外国人が住める質の高い文化を醸成して、質の高い街並みをつくり外国人を誘致すべきだ。街並みがあまりにも汚い。整備されていない。
- こういう意向調査をされるのはいいのですが、この後のフィードバック、どう活かされどう変わったかの情報を正しく速やかに伝えてもらいたい。
- 西国分寺駅前のフェンスで囲われた土地は、ずっとあのままですか。フェンスが邪魔です。
- 文化都市として緑豊かなまちづくりを目指してほしい。
- 駅前開発について。計画性のない開発はやめろ、他市のまねをすることはしないと思う。身の丈にあった開発を。金が無いのだから見栄を張ることはないと思う。駅前マンションだらけになるだけだ。
- 設問の背景、対象となるものをもう少し詳しく述べてもらおうと答えやすい。
サービスという言葉に対して、市担当者の考えるところと、私たちが思い浮かべるところとのギャップを残して答えを選ぶのは怖い気がしました。
- ①市政の現在の問題点は何か、公報に提示してほしい。
②議会の透明性が必要。議会は提示内容の具体的説明、資料は決定する前に問題点に分かるように、市民の参加しやすい議会運営に努めて頂きたい。
集計結果はどのような場に発表されるのか知りたい。
- 街並みの整備が他の市より極めて遅れています。今まで何十年も何をやってきたのですか。
道路の整備と電線の地中化(面的)をどんどん進めてください。
- 意識レベルの高い市民が多く住んでいる街と思いますが、国分寺駅周辺や道路整備は中央線沿い線で1・2位を争うくらい遅れて、貧困な市だと思います。芸術面(特に音楽ホールがない等)の施設はみんななしに等しく、行政や議員諸氏の芸術への理解・育成の意図や方針は最低レベル(周辺の市、例えば府中市・小平市等に比較し)。国政とは違う市民レベルの意識で。
- 地域住民と協力する市政をお願いします。
- 以前、市とパチンコ店が出店に係争して市が敗訴し、補償金を払う事態になったと理解していますが、その後どうなったのでしょうか。確か何億円だったと記憶していますが。経緯等を詳しく市報で市民へ告知すべきと考える。
- 市長の考え方や顔をもっと分かるように。
- 生活保護のあり方を根本的に見直し、現物支給等に変え、優遇的なあり方を変えてほしい。
- ①企業をもっと国分寺市に来てもらわないと、人口も税収も増えない。
- ②駅前再開発ビルに市の行政が入ると聞く。ネットを使って行政サービスは土日でも時間制限を設けても、少人数で実施可能である。市が入るのではなく、サービス・飲食・娯楽産業の有名店テナント入居数を拡大すべき事が、市民のサービスとなる。
- 特に財政基盤のない苦しい財政の中、職員は親切でレベルも高く、本当に良くやっている。この空気と伝統を大事にして頑張してほしい。
- ①なぜ国分寺、国立は警視庁、警察署を設置しないのか(最近、犯罪、事件が急増している)?
- ②日曜休日当番医の担当が適当すぎる。市内東西南北に必ず1ヶ所設置するか、24時間対応のERの設置(現在は府中市の都立総合医療センターを利用)。
- 調査を活かしてください。
- 住居の側の駐車場(立川市)の騒がしい事等もあり、そのような防御策を考えてほしいと痛切に思っております。
重い心臓病を患っている者としての意見でございます(高木町3丁目)。
- 年金が減らされ、都内一番高い介護保険料とダブルパンチです。できる事なら他市に移住したいところです。現役時代は安くない納税を続けてきたのに、安心して年を重ねられないのは悲劇です。納税する者は身の細る思いです。
市ももっとスリム化し、汗を流して下さい。
- 市政に対する意見、提案
 1. 生活道路が狭くて曲がりくねっている。危険極まりない。
 2. テニスコート、プール等スポーツ施設が極めて少なく貧弱。
 3. スーパーやコンビニ等も駅周辺にはあるが、住宅街にはほとんどない。
 4. 交番も少ないし防犯巡回もほとんどない。
 5. 「痴漢に注意」の看板だけはやたら多く恥ずかしい限りである。
 6. 湧水や緑が多く、救いはそれだけです。
 20年前に府中市から移転しましたが、府中市は道路も広く歩道も整備され、テニスコートやプール等も多く、国分寺市とは雲泥の差である。購入した一戸建てがたまたま国分寺市東元町であったので国分寺市に転入しましたが、こんなにヒドイ市とは思ってもみませんでした。

ただ一つの良い点は、すぐ裏に湧水があり、史跡や公園等の緑が多いところです。

一戸建てのため今さら引越すのもむずかしく、上記1～5に対して、少しでも改良していただきたく思います。

- 国立や小金井市との合併を考えてほしい。
府中市政と比べてあまりに見劣りがする。市役所も汚く、金がなすすぎる。
- 調査ご苦労様です。日頃考えていなくて、市の仕組みもよく理解できていなくて、回答が適切かどうか少し心配です。今後共、市政をよろしく願います。
P/S、財政が大変ならボランティアで参加しますので呼びかけてください。
- 都内では自然環境に恵まれた住み良い市である。その良さを活かした、品格のある市で羨ましがられるような街にしてほしい。その為には市民のレベルアップも必要であり、ボランティアも含め、元気な年寄りが活躍できるシルバーデモクラシー等を推進してほしい。財政 etc はできるだけ民営移管、近隣の市との連携を強化。
- 内藤にも小さいぶんバスを通して下さい。
- 固定資産税を安くしてほしい。
- 市民全体参加型の活動がない。少子高齢化社会の中、今こそ対策として必要と考える。地方都市には毎年市挙げての祭りや運動会等があり、地域交流、町内連帯を育んでいる。福祉、環境、教育、文化、住み良さにつながるのでは？
- 世界のさまざまな情報が直ぐに見れる現在、世界中の事に頭がいて、市政に対する思いはあまり関心がないので、分かりやすく・シンプル・スマート・オシャレ・ユーモアを含むような、市政のたよりだと少しは人の思いを引き寄せるのかも。もっと国分寺の良さをアピール。
- 道路工事等、かなり無駄な工事が多い（いつも期末に同じ所を行っている。工事後、一向に良くなっていない）。
- ①公民館が主催する講座に参加したいが、ほとんど平日のため土日にも開催してもらいたい。
- ②リタイアした男性が地域の活動に参加したいのだが、きっかけがない。
- ③最近、市役所に行く機会があったが、居眠りをしている中年男性職員がいるのには驚いた!!上司は注意しないのか？
- 以前よりかなり対応がよくなっていると思いますが、職員配置は民間会社をもっと見習ってほしいと思います。
- 全体としてはよく頑張っているが、道路が狭く、特に小平とつながっている道路は貧困さを感じる。
- ①国分寺駅北口再開発事業の早期促進方策の検討。
- ②コンパクトな市庁舎の建設。
- ③西武国分寺線立体化計画の見直し（東京都と協議して、多摩湖線平面交差と同様に国分寺線平面交差へ計画を変更する）。
- 市政に無関心の様で申し訳ない。
- 職員数が多い…経費削減。民間企業と比較してみよ。
- 職責に対する教育…窓口で1人で解決出来ず、誰かと相談して効率が悪い。
- 市報、もっと市民への情報提供を徹底すべき。〇〇コミットメントとか、特定団体の表彰とか、同じような市の小紙が多すぎる。公民館、福祉等…5紙あるが市報にまとめられる。経費削減。
- 明るい住みやすい国分寺にしてほしい。
- 犬のフンの始末、マナーの悪さ、市報などをお願いします。
- 歩行者の安全を呼び掛けてください。自転車、国分寺高校、一橋大学の学生のマナーの悪さ、いつ倒されるか毎日不安で、警察の前を通ってもおまわりさんも無視。注意がなぜ怖いのか？
- 公務員（権力の行使者であるとともに市民サービス提供者）の憲法遵守義務について常に意識を高められるよう全職員に徹底させてほしい。市長へのお願い。
中央政府の方針に従うだけでは日本は危なくなると思う。国分寺市創立当時を思い起こしてほしい。
- 市民は健全な市政に支えられる。健全な市政は健全な財政に依る。周辺市町とのダイナミックな連携は必要。市政は結果に対する責任も自覚すべし。
- ①生活習慣の見直し。病気にならない環境づくりの支援・推進をする。
- ②緑化運動。無農薬・有機野菜づくり。
- 市議会議員の削減、議員が多すぎる。少ないと機能が失われる事はない。少人数だと少人数でやれば良い。市民各自が自覚し、自分の事を目いっぱいやれ。必要外の事を市がやりすぎている。
- 駅前広場の充実。商店の数を増やす。就職を安定させる（卒業生が安心できる職業）。
- 退職後の生活の安定性（年金の割合を一定させる）。
- 本件のように市民の意見聴取は大切だと思いますので、今後も行ってください。
- ゴミ収集車の1台（？）が「左へ曲がります。ご注意下さい」と鳴らしながら走行・作業している。右折せず直進しており、不自然・違和感・うるさい。隣市小金井の収集車が朝っぱらから「夕焼け小焼け」の曲を流して走行・作業しているのと同様。不自然・不愉快なので止めさせるように。無神経にも程がある。
- 市会議員など1/3にするように。議員の給料はなしにする。
- 空き家対策について。
最近法制化されたと同っていますが、国分寺市の空き家対策が具体的に不明です。隣地にはみ出す樹木、歩道を埋

める木々の枝（子供達は歩道を通れず車道を歩く）、持ち主とみられる方は2～3回/週、来ているようですが、つかまらず連絡先も分かりません。早急なる対応策を市報等でお知らせください。

- 国分寺に住んで40年余りとなります。土地を求め自宅を建て、敷地も90坪とかなり広いもので、家族は少ないが住み心地は良い。市政も立派で歴代市長のリーダーシップもよく感謝しています。立派な伝統の歴史がある国分寺市の発展、成長を期待します。
- 市庁舎の建設は現在地にこだわらず検討を希望。
- 2013年1月の雪の降る日、認知症の妻が防寒着なしで徘徊しまして、帰宅時に帽子、マフラー、手袋と、どこのどなた様か分かりませんが防寒してくださって、国分寺市の市民は本当に温かい人がいらっしやる、感謝に堪えない。市民の誇りと思っています。良い機会ですので、場違いですが公表させていただきました。国分寺にはこうした立派な方がいらっしやる事を公表される事を希望します。
- ①IX-F2に見られるように、70歳以上は十把一絡げ。これに象徴されるように高齢者への視点が相対的に欠けている。孫が25歳以上の私には、F6は当惑以外の何物でもない。
- ②ICTの活用が不十分。本アンケートも工夫次第でWEBで可能⇔紙の節約。
- ③回答数を1つ、2つなどと固定するのは、恣意性が感じられる。設問が適切ではない。
- ゴミ回収。毎朝きちんと回収して下さい、感謝しています。土日はお休みなので「良かった」と思っています。
- 突然このようなアンケートを求められても、市政に関する情報がない為、責任ある回答ができません。近隣市と比較した情報がほしいです。闇雲に市民の要望等を聞いても、あまり参考にならないと思います。現状の問題点を洗い出し、その上で意見を聞いてほしいと思います。
- 財源の少ない市。時代の流れの中、バブルのつけを全部受けて大変ですが、議員さんも少なくしてほしい。市の職員さんも少なくしてほしい。
- ①金食いの虫の国分寺駅北口開発を大幅に抑制する事。
- ②市民参加は市政が市民の意向に耳を傾ける姿勢が本当にあるかどうかで左右される。
- ③公共施設の使用料の免除規定を守る事。
- VIIIの24項目目は現在の状況の判断があったら良いと思うものか迷っています。約40年国分寺市に住んでいますが、このような調査は良いと思います。
- 全体的に設問が難しく、回答に困難を感じました。
- ボランティアとして活動したいが、どのような募集があるのか不明。
- 問7への提案。目標を立てて国分寺の寺社を再建（七重の塔も含め）し、全国からの観光客を集め、収入増を図る、「夢」の実現をいつの日にか。
- 詐欺と侵入盗のワースト1をどうにかしなければならぬ。早急にあらゆる手を打つべきである。
- 防災・防犯に対する取り組みの強化と、災害発生時における避難訓練への啓蒙を深めてほしいと思います。
- ①雨のあと、市議全員で市内の道路状況を調査することを提案します。
- ②西国分寺駅の東出入口を早急に実現する事。
- ③泉町交差点の陸橋は取り壊し、信号により歩行者が安全に渡れるように改善してほしい。
- ④市のいわゆる道路の総延長はどのくらい？そのうち歩道設置の%は？
国分寺市は歩道が極めて少なく、安心して歩けない。
- ⑤「問い合わせ」が多すぎる（調査に伴う）。総花的になっている。
- 本調査の結果が少しでも多く、今後の市政運営に反映され、より一層住みやすく誇れる国分寺になる事を心から期待致しております。頑張ってください。
- ①都市計画は防災重点だけではなく、②市の発展と人口増加を考えてもらいたい。③例としては、高円寺、阿佐ヶ谷南側の商業地の繁栄を見本にして下さい。
- お伺いします。固定資産税の内、家屋の評価が年数が経ち古くなっているにも関わらず、低くならず税が高いのですが、ご検討願います。
- 市の職員の方々の丁寧な対応に感謝します。特に我々のような年寄りには嬉しく思います。今後とも宜しく願います。
- ①人口が増える町にして下さい。ゴーストタウン化しつつある。
- ②大企業を誘致して活力ある町にして下さい。→市の姿勢が見えない。日立中研もなくなりつつあるし。
- 過去10年に市が行った事業について、本アンケートでは是非を問う項目がないのは残念。
- ①市民エゴのゴリ押しを入りこませないで欲しい。
- ②市民の利用できる設備を充実する。利用者負担はしょうがない。
- ③男女の健全な交際の形を確立し、少子化を防ぐ。
- ④見合い結婚への偏見を、若者から除去する努力を！
- 突然の回答で多少の正確性が欠けたかもしれない。総合結果の報告はして下さい。
- 宣伝を多く。
- 昭和44年に開園し、地元民が汗を流して育ててきた新町3丁目の「ひばり児童遊園」を何としても残して下さい。

- 所有地（60 坪）に対する固定資産税が高いと思う。
市内の農家の広大な屋敷（多少植木類が植えてある）に対して適切に課税しているとは思えない。宅地として確実に課税すべきと思います。
- 市政運営のために皆様の努力が見受けられます。市内、施設入所者の家族の回答です。
- 国立駅北口が国分寺市に隣接しているので、市民の日常生活は国立市と関連が大きい。国立市と事業等の連携を行い、将来は合併できるよう進めていただきたい。
- 市内の道路は道幅が狭く、十分な歩道の幅がありません。それにもかかわらず、歩行者が歩道からはみ出して歩いたり大変危険です。自転車、自動車のみならず歩行者にも通行のルールを守って頂きたいです。この件に関して市から何らかの対策を講じて頂ければ幸いです。また、本意向調査は内部資料とするだけでなく、インターネット等を通じて広く市民に報告されるべきだと思います。以上
- 国分寺駅北口のドンキホーテの通りの商店は、朝のゴミ出しや看板がだらしなくて、治安も悪くなりそうな雰囲気です。「不要なので欲しい人は持って行って下さい」と、要らない椅子や家電製品を道に放り出しているのが目につきます。道路に関する規則がもっと厳しくなってほしい。
- ゴミ袋の値段が高すぎる。
- 道路の歩道が狭く、通学時間の時に小学生の子達が車道に飛び出る事が多く、自転車を運転しているとヒヤリとする事がありました。小学校の先生が立っていますが、目が行き届いていなく、危ない時を目にした事があります。歩行者・自転車・車が安全な道路を造っていただきたいです。
- 歩き煙草が非常に目立ちます。時間帯問わず、早朝から深夜まで誰かしら見かけます。小さい子が近くを通っていても、歩き煙草をしている人がいます。時には子連れの人も。年々増加している気がします。少しでも歩き煙草を減らす事はできないのでしょうか。
- 現在、国分寺市内の小児科クリニックで働いています。医療証のある子供は無料もしくは 200 円で医療を受けられています。少子化対策、子供のいる家庭にとってはとても良い制度かと思えます。ただ無料で受診できる事から、ちょっとした症状（鼻水だけ等）でも何度も受診する方も見られ、税金の無駄使いのように感じる部分もあります。年末の調整の為や無駄な工事・医療費等、税金の使い方に見直しをしていただくと助かります。
- 国分寺駅前の再開発に過剰な税金投入は止めて下さい。市民にとってのメリットが見えません。
- 普段、家に居ないのでご近所の方との接点が全く作れない。休日を利用して、何か関わられるイベントを増やして欲しい。
- 母子家庭でも子供を育て上げられるよう、古い固定観念を変えてください。
- 街のデザインをおしゃれにしてほしいです。また、その街の特徴を表すものを目立たせてほしいです。例：高円寺→古着、中野→サブカルチャー、秋葉原→アニメ・機器・メイド、神保町→古本。
- 気軽に利用できる運動施設がもっとほしいです。
- 保育所待機児童の解消を強く希望します。
- 市役所を国分寺駅に設置してほしいです（恋ヶ窪駅はアクセスしにくいです）。
- ペットボトルも回収してほしい。
- ①歩道が狭い、夜道が暗い場所が多い等は日常的に不便を感じます。防犯・防災・子供の安全等、幅広い課題に関わる事なので、なんとか改善していただきたいです。
- ②各種選挙の際、期日前投票のように、当日も近くで投票できたら良いのと思う事が多々ありました。
- 市による運営でないものも含みますが、暮らす中で日頃気になっている点を挙げます。
①駅に向かう際、いつも利用している国分寺街道の歩道が狭すぎます。傘をさす人、二人で歩いている人は特に危ないです。歩道を拓けてください。
②国分寺駅南口、一里塚バス停すぐの不動橋に、ポスターや今の季節は鯉のぼり等があるのですが、非常に景観を損ねており、見る度、通る度に残念な気持ちになります。何も無駄なものがない数年前の状態に戻ってほしいと切に願っています。
③国分寺駅中央線ホーム、新しく階段を上下併設のエスカレーターにした所が、人の流れがスムーズでなく、全ての乗客が改札階へたどり着く前に次の電車が到着する事も多々あり、とても危険だと感じる事が度々あります。元の方が良かったです。
- ④国分寺をウォーキングで回っている団体が、広がってゆっくり歩いているために進行を妨げられることがよくあります。国分寺の良さを知ってもらうために、来てくれる人々の存在は歓迎ですが、もっと寄って歩いてほしいです。
- ⑤市のキャラクターであるホッチはかわいくて大好きです。これからもPR等での活躍楽しみにしています。応援しています！
- 調査票の回答は苦ではないが、記入して投函する点が少々面倒に感じます。今後可能であれば、インターネットでの回答も選択できると良いと思います（回答時間の短縮にもつながる）。
- ①歩道が狭く、歩行者と自転車がすれ違う事もままならず危険。
- ②街灯が少ない為、夜間暗く、不用心。

- ③選挙の投票所が駅から遠い為、不便。
- ぶんじほたるホッチがとてもかわいいと思うので、もっと前に出してもいいのではないかと思います。グッズをうまく作れば収入になるのではないかと思います。
- 学校を優先的に建て替え、耐震化して、市役所は最後の方にまわしたのは、市民の事を優先して考えてもらっていると感じられて、住んでいてよかったと思いました。
- ①ペットボトルの回収をお願いしたい。他の自治体は取り組んでいる。スーパーまで持って行くのが大変なのと、溢れ返っている。
- ②市民農園の区画・道具・水道の拡充。
- ③予算のプール化。予算を使い切る為にどうでも良い事にお金をかけている。あった時にフレキシブルに使えるよう（こうすれば税金の無駄にならない気がします。各事業課ごとに）。
- ④ペットや子供の声などの騒音に対するの迅速な対応。
- ⑤ぶんバス、土日祝の午前や夕方は増便。
- ⑥職員は少ない人員で仕事をやるのは大変だと思います。なので定数を守るのではなく、必要に応じて増減できるようになれば良いと思います。
- ⑦転入時にもらえた国分寺の事がたくさん説明がある冊子、非常に便利です。助かります。
- 市報はいつも楽しく見させてもらっています。イベントの情報等、分かりやすく好きですが、詳細を知りたくてHPを見てもリンク先やどこを見ればいいのか分かりづらいつ感じています。市報でも十分わかるのでいいですが、もう少しHPを充実させてほしいと感じています。結構好きな街だと感じています、頑張ってください。
- ペットボトルの回収はどうにかならぬのだろうか。家にペットボトルがたまって憂うつです。他は今のところ満足です。子供は1歳ですが保育園にも入れたし、サービスも手厚く助かっています。
- 国分寺で刻む LIFE STORY
- 市役所に送る書類（子供手当などの）は切手を貼らずに出せるようにしてほしい。ゴミも有料、市民税も高い。良いイメージがあまりない。緑が多く、住み続けたいけれど生活するのにお金がかかりすぎて、人には勧められません。我慢できる町にしてほしい。
- 保育園、新園を毎年つくり、子育てを支えて頂けており感謝しています。日曜に預け先（平日休みのため）が今後出来るとありがたいです。保育園の質を上げてください。先生の不足を感じています。
- 恋ヶ窪にパチンコ屋はいかがなものかと。もっと買い物ができる場所を増やしてください。
- 小学校も東戸倉は遠すぎます。道も狭く、児童が心配。
- 子供が安心して遊べる環境づくりをもっと頑張ってください。
- 放課後子どもプランを充実させてほしい。府中市のようにNPO等を活用し、毎日通えるようにしてもらいたい。
- 自然を残すのは大変な事ですが、整備のいきすぎた自然や公園はもはや人工物です。国立や立川は昔から国分寺より早く道路が整備されていて、見た目は住みやすそうですが、私は国分寺の人の手があまり加えられていない山や林がある事がすごく好きでした。周りの市に流されず、国分寺の地形や国分寺を大切にしたい、他の市には出来ないまちづくりをしてほしいです。人工的な公園は国分寺には似合いません。
- ①親子広場をもう少しきれいにしてほしいです。
- ②幼稚園を増設し、預かり保育を充実してほしい。
- ③恋ヶ窪駅付近にももう少し活気あるお店をつくってほしい。
- ④府中街道のレストランの見直し、自転車がゆくり走れる歩道を設置してほしい。
- 市のサービスをもっと充実させてほしい。もしくは税金を安くしてほしい。周りの市に比べても見劣りしている。環境が悪くないだけに残念。
- 小さな子供が遊べる公園が近所にありません。あっても遊具が少なかったり…公園へ行くのも自転車や小平市の方まで行っています。ぜひ北口駅近くに公園をつくって下さい。あと、幼稚園も国分寺幼稚園が無くなってから近くにありません。だからと言って保育園に入れるわけでもなく。本町、本多付近に幼稚園をお願いします。
- 仕事の帰宅時間が遅いため（23:30~24:00）、街灯の少なさをすごく感じます。防犯上よろしくないと思います。それと、この時間の町内パトロールを強化してもらえると安心して歩けます。現に怖い思いをしたことがあるので。
- 恋ヶ窪駅周辺や、各シャッター通り（国分寺街道など）の再生、起死回生策を！住み続けたい、国分寺へ引っ越したいと若い世代、特に子育て世代にも魅力のある町へと発展させてください。未来が楽しみな国分寺を期待しています!!
- 共働き家庭の小学生が、親が帰宅するまで安全に過ごせる場所の確保をお願いします（19:00 ぐらいまで確実に）。
- 税金収入が大切なのは理解しているが負担が大き。仕事をしている年代は賃金が上がらず税は増えるため、余裕のない生活になっている。地域交流、少子化等にまで力が回らない。自分達が支払っている税金の流れをもっと明確にしてほしい。インターネットをもっと活用して、市政の事を広めてほしい。
- ペットボトルの回収を再開してほしい。回収場所も限られていて、捨てに行くのが大変!!

- 近所の自販機のゴミ箱があふれていて業者も大変だし、逆に汚れていくような気がします。
- 中学校の制服を新しくしてほしい。何十年も変わってなく、今時ありえません。特に2中のはハコヒダのスカートが良くないです。
- 私の家は農地があるのですが、扇風機やトースター・コタツ等を捨てられて困ります。タクシー等が休憩で止まっていると煙草の吸殻をポイ捨てして困っています。見た目がきたなくて嫌です。
- ペットボトルの個別回収を行ってほしい。
- 国分寺駅周辺の治安を改善していただけるとより住みやすくなると思います。カラス・ゴミ・飲食店のキャッチ等、通勤に使う道で多く見かけますので。
- 今後の活躍に期待しています。市民の為により良い環境づくりをお願いします。
- 図書館の返却ポストを南口の交番辺りに設置してほしい。空缶・空き瓶の回収日を増やしてほしい。道路が狭く、自転車の通行が危険。
- アンケートですが、めくって回答しなければならない箇所がいくつかあったので、少しやりづらかったです。住みやすい国分寺市でこれからもあり続けて下さい。
- ゴミ回収について。不燃ゴミ、紙ゴミ、缶などの回収が少なくゴミがたまって困る。
- 病院について。良い病院が少ないので混む。
- 7年前から住んでいるが、生活していてゴミの件など不便になる一方で、良くなったと感じることはまだ一つもない。市のお金のなさしか感じられない。
- ペットボトル回収してください!!
- 図書館の本を増やして充実させてほしいです。図書館に座って本を閲覧するスペースや勉強をするような場所が少ないので、子供達より年配の男性が多く利用しているような感じです。本が増え、ネットも出来る環境があり、学習できるスペース、休憩して皆で雑談できる場所（自販機でお菓子やパン、コーヒーが買える）が出来れば、子供達が図書館を多く利用し、勉強もはかどり教養も増すと思います。
- 道路の安全性（歩道が狭く、子供が歩くのに危ない）と広い公園の設置をお願いしたい。
- 八小前の道路、スクールゾーンになっており、7:30~8:30は車は通らないようになっているが、それ以外は車がかなり通り、しかもスピードを落とさずに来ているので、いつか小学生たちが事故に遭うのではないかとヒヤヒヤしています。車を運転する人に対して、もう少し注意喚起してほしいです。
- 歩道や自転車道の整備をしてほしい。細い道が多く、危険。
- 国分寺の公園などで開催されるイベントが人気です。今後もこのようなイベントを増やしてほしい。
- 学童保育所の見直しをし、教育的プログラムの導入を希望します。
- それにより国分寺市内の子供達の基礎学力の向上、学が姿勢、考える力が育まれていくと思います。他市との差別化も図れ、小学校からの定住化（家を買う）のために、国分寺市の人口流入が増えると思います。また、子供の非行防止にも効果があると思います。
- 国分寺は自然が多く、四季を感じられ、子育てにはとても良い環境だと思う。一方で日々欠かせない食材、日用品の買い物はスーパーが少なく、商店街がないので非常に不便である。また、コンビニもある場所、ない場所に偏りがあり、駅までの道中20分間歩く間に一軒もない道もある。また、大通り（国分寺街道、府中街道等）の歩道が狭く、起伏もあり安全性に欠ける。
- 武蔵国分寺公園はきれいな公園だが、子供が遊ぶ遊具がほしいと色々なお母さんからの声を多く聞きます。小さな子の自転車も禁止になり、のびのび遊べる公園が無い。子供ががっかりしています。環境がいくら良くても使えなければ意味がないと感じ、引っ越しを考え中です。
- 西国分寺駅の東口をつくってほしい。多摩図書館や特別支援学校、マンションなど利用人口が増える見込みがある上、整備されているにもかかわらず、一向に計画が進まないのには立ちを覚える。
- ぶんバスの国分寺駅～西国分寺駅ルートをつくってほしい。無駄な路線が多すぎると感じる。
- 項目が多くあったので大変でしたが、このように市政に意見を反映させる事の出来る機会が頂けてありがたかったです。ただ、数多くの懸念事項がある中で、一つや二つしか選択できない問いかけが多かったので、複数ある問題の中から最も求められている事を絞り、力やお金を注がなければならないのだなあ、難しさを感じました。より住みやすい街になる事を願っています。
- 市議会議員について、定数削減、給与の見直しを断行すれば財政がよくなると思います。議会にかけるとなると自らの首を絞めると言う事で難しいのかもしれませんが、住民による選挙などで判断する等、断行するための方法については知恵を絞って頂きたい。諸外国や削減に成功している他自治体の研究をして、是非実現して頂きたいです。
- 財政が厳しいのならばムダ使いをやめ、市民の生活が充実するよう、もっと考えて頂きたいです。
- 保育所も必要ですが、学童保育所も増やして頂きたいです。現状は定員の2倍以上の子供たちが入っており、子供のストレスもかなり負担だと思います。小学校で下校時に預かる制度等を作るなど、考えてください。保育所は増えてきましたが学童は増えていません！保育園児はまず学童に入るので、保育園のみ増えても意味がありません！
- ①問題解決能力のある職員の開発。②言われた問題だけでなく、市職員自らの問題提起とそれに取り組む体制の強化。③市職員全員、1人（少なくとも）ボランティア参加制度の立ち上げ・実施による職員の仕事への取り組み方

の改善と市民への啓蒙（財政権、高齢化の今、市民の助け合い（ボランティア）なくして、地域が豊かになるのは困難でしょう）。④本調査問7のその他に書きましたが、①市職員・議員報酬削減・②国分寺駅北口開発の膨張する費用の削減は財政見直しを問うならば、真っ先に取り上げて、しかるべき重大な項目でしょう。きちんと明文化し、選択肢として挙げるべきです。

- 市役所庁舎というのは市のイメージや信頼感等にとっても強く影響すると思います。こちらへ引越してきた際、手続きで市役所を訪れた時に驚きと共に国分寺に住む事に不安を覚えました。財源等の問題がোধありでしょうが、立派な庁舎を建てる事も大切なのではないのでしょうか。
- ゴミの分別をすればするほどお金がかかるという事を環境専門家のお話で聞いたので、国分寺は分別が多すぎるので見直してほしい。
- 北町は交通、買い物など全てが不便です（学校含む）。これから新設するのは難しいと思いますので、今あるもので少しでも利用できるものが増えると良いと思っています。そのために市内だけではなく、他市との協力が必要だと思います。市の中心だけではなく、その他の地域にも目を向けてください。
- 医療費控除の所得制限をなくしてほしい。また、対象年齢も小学校卒業までなど、都内の基準に合わせるべきであると思います。子供は皆同じようにしてほしい。
- 市の財源を増やす為、女性も仕事を続けられるよう、保育園の充実を（待機児童になると復帰しにくいので）。学童や放課後見守りも充実させてほしい。できれば中学校も給食にしてほしい。仕事を持つ者には負担になるので。環境には不満がないです。緑豊かな、生活しやすい環境で気に入っています。農家さんの頑張りで、近所で新鮮で美味しい野菜が買えて嬉しい。
- 国分寺市は都心へのアクセスが良く、緑が豊かで文化（歴史）も感じられる魅力ある町だと思います。
- 国分寺駅前の道路や店舗（道にはみ出している看板）の整備を行い、人や車を動きやすくすることで、より快適で過ごしやすくなると思います。図書館やスポーツ施設等がもっと便利な場所にあると活用しやすいです。また、子育て家庭への支援（助成、施設、情報）の充実を希望致します。
- ①ゴミの分別がとても面倒です。汚れのついたプラゴミを洗って、乾かして、捨てるのがとても面倒です。
- ②駅の近くに大きな図書館があると嬉しいです。国分寺市民がより文化的に豊かな生活ができると思います。
- 学校や保育所を経験しないとわからない事もあり、「放課後子どもプラン」など今年から制度が変わり、小学生がいる人だけでなく広く地域の方も、もう少し参加しやすく分かりやすい広報等の欄があると意識も高まり、色々な方がお手伝いしやすいのではないかと思います。
- 中世、関東の中心地だった国分寺市、好きです。税金の額など市政もとても良心的にやって下さっているのを感じます。縁あって国分寺市に住めてうれしいです。良い町であるよう、市民も市政も頑張りましょう。
- 自転車に乗っている人のマナーが悪く乱暴なのに驚きます。
- 都外より引っ越した際、子供の保育園の相談に行ったが（仕事をしたいため）、申し込みには毎月締め切りがあり、日にちによっては保育園の空きがあっても2ヶ月待ちになると言われた。入園するためには仕事が決まらないと入れない、でも仕事が決まっても2ヶ月待ちでは仕事をする事ができませんでした。担当の方にはその間幼稚園に入れれば？と言われたのですが、無責任すぎませんか？結局仕事は出来ず、幼稚園に入りましたが、幼稚園にはどれだけ入園料が掛かるかご存知ですか？2ヶ月だけ幼稚園に入り、その後保育園なんて無理です。そんなお金があったら仕事しようとは思いません。仕事先も2ヶ月も待ってはくれないし…。もう少し柔軟な保育園の入園をお願いします。
- 動物愛護に力を入れていただきたいです。去勢・避妊費用の助成等を動物病院（国分寺市は多いですね）と連携する等、地域の猫活動を盛んにしてほしいです。
- 小学校の隣に住んでいる為、砂ぼこりがひどいです。校庭（三小）の芝生化を願っています。
- ①転勤族でしたので、いろいろな所に住んだが、国分寺はとても良い町です。なので市民が穏やかです。なので全てが穏やかです（良い意味でも逆の意味でも）。駅前の開発、オリンピックに思いっきり乗っかって進化してほしい。
- ②いろんなお店・施設に行ってみて、勢いがあり、いつも混雑しているのはOKストアくらい。③「撮り鉄」さんを意外に多く見かける。これを「売り」にしてみるとか。にしこくんも一緒に（広告・撮り場確保）。④「肉フェス」とかを国分寺公園でやる。⑤テニス人気、ラーメン（行列している店もある）を宣伝する。
- 数年前に一戸建てを購入しました。家は建ぺい率40%で、他の家は同じ坪数の家で50%でした。周りに新しくできる家々も50%でのようで、なぜそのような差ができるのか。少しでも広い家を持ちたいと思っている人には不満です。他の市等は条件に関係なく、一定のところが多いと聞きました。国分寺市に購入してしまって後悔しています。
- 駐輪場がいつも満車で大変困ります。出勤時に駐輪出来ないことで遅刻しそうになったり。放置自転車が原因であると思います。駐輪場を増やして頂きたいです。
- とにかく税金が高すぎる。なのに行政サービスはイマイチ。国分寺駅北口にサービスセンター（？）があるが内容が不十分。先日、何十年かぶりに市役所へ伺ったが、職員の人数の多さに驚いた。半分ほどに減らして頂けると税金がもっと安くできるのでは？と感じました。民間はもっと厳しい環境で働いています。ぬるくてうらやましいです。
- 子育て支援のために手当を与えても子供は増えない（子ども手当）。育てやすい環境づくりが大切。また子育て、高齢者支援のみならず、非正規労働者のための支援拡充が大切。→子育て支援にもつながるはず。

- 各事業について、税だけの考えではなく、理解してもらっての出資金を募ってなど、してはいけないのか。細かい事も大切だけれど、市としての大きな目標がわかりやすいと良いかと思えます。
- 市が取り組もうとしている前向きな点は評価できるが、職員が本当に同じ気持ちでいるのかは疑問に思う事が多い。特に、公園の植木の剪定について度々電話で話す事があるが、その対応と今回のアンケートの内容には温度差がある。
- 税金が増えるような企業の誘致などを行ってほしい。そうすれば23区のような、医療費15歳まで無料のような助成を行えるのではないかと。
- 国分寺駅前付近の交通が大変危険です。歩行者、自転車は道路の真ん中を歩いているような状態です。駅前の開発ですべて解消されるのか心配です（本町2丁目交差点から、本多2丁目バス停近辺のバス通り）。
- 国分寺にも多くの外国人が住むようになり、数多く見かけます。同じに不満を感じている住民も多い事を市も理解し対応して下さい。
- 国分寺は緑が多く、住みやすい街だと思います。この豊かな自然を守り、活かして「都内で一番緑の多い街」「小鳥と共に暮らす街」を目指して頑張ってください。
- 高齢出産のせいもあり、幼児の育児と親（近県、独居）の介護が重なっています。このような家庭状況でも、フルタイムで仕事が続けられるような女性支援事業があると大変助かります。
- 西町1丁目は国分寺市の外れなので、目が行き届いてもらえてないように感じます。歩道が少なく、子どもが遊べる場所がない（国立の公園を利用）。西町緑道は国立、立川、国分寺市民と誰が通っているのかわからないので、防犯や利用している方のマナーを改善する方法を検討してほしいです（朝から大声で話しながら散歩、水道でうがいや身体をきれいに拭いたり、水をペットボトルに汲んで持って行く、猫に餌を置いていくなど）。
- 光町（国立駅北口側）在住ですが、近くに生鮮食料品が購入出来るお店が少なく不便です。駅からの帰宅途中に光商店街があるので、そこをもっと活性化してほしい。又は、大型スーパーができるとうれしいです。結局、現在は国立市（駅前）のスーパーや、小金井市などの大型スーパーに行っています。
- 市民ですが他市寄りのため、市のサービスや市施設を利用することがほとんどないのですが、このアンケートを機にホームページを閲覧する時間を増やすなど、行政の事業への関心を持ちたいと思いました。
- いい機会を頂きありがとうございました。
- 数年前に子供が参加したサッカーの市内大会の閉会式の時、当時の市長がサッカーコートをつくれます。と言っていたが、何の動きもなく残念です。国分寺には優秀な選手が沢山いますが、育てる環境が全く整っていない。その後、他市のクラブチームに入ったが、国分寺はサッカーに対してどこか閉鎖的と言われ、全くその通りだと思った。小学校のチームに入る子も減り、他市のクラブチームに行く子も増えている。本当に残念でならない。
- 数年前、午後6時頃、空き巣に入られました。何も取られていなかったのですが、その後犯人が捕まったのか、地域、警察ではどんな対策をしたのか全く分かりません。何か起こる前にアクションをお願いしたいです。
- なぜ財源が厳しいのか、しっかり情報開示してほしい。
- 賃貸に住む単身者が、地域に溶け込むのは容易ではないです。土日に参加できる講習会やサークル等があればと思います。
- 野焼きの煙対策。公園のペットの糞・おしっこ対策。大きな政策も良いけれど、毎日の小さな暮らしも守ってほしい。
- 市議及び職員と共に財政構造や将来的な具体性を持った財政計画をよく学んで、20年後・30年後を見据えた少子高齢化に合った市政運営を考えてほしい。「日本創成会議」の報告を見ると、国分寺市は良い方向にないようですし、現状既にさまざまな問題を抱えている事も併せると未来は暗い。市議の活動も見えづらい。
- 図書の充実。
- 常に将来を見据えて、いろいろ改革してほしい。できれば日本の中で先鋭的な自治体として時代をリードしてほしい。国分寺市は都会と田舎の間でありながら、あまり保守的にならず、新しい市政を行ってほしいです。
- 小学校のイベントに親が出たりする機会が多すぎて、共働き世帯にはつらい。地域のシルバー世代が力を貸してくれたり等、親の負担が減れば子育てと仕事の両立がしやすいと感じる。
- ぶんバスのルートをもっと増やしてほしい（お年寄り世代・子育て世代の事を考えて）。
- 国分寺市は財政が厳しいとよく聞きますが、税金を有効に使っているのか。本当に必要な事に使っているのかを見直してほしい。夫の転勤で、今まで何ヶ所かの他県に住んだが、国分寺が一番子育て世帯には何もしてくれないと思います。ワースト1です。
- 既存の施設が活用しきれいでないのでこの点を改善し、新たな施設をつくることなく市民生活の改善を図ってほしい。施設が中途半端なので利用しにくい。利用者の立場で運営してほしい。お金をかける所とそうでない所のメリハリが必要である。美しいまちづくりには長期にわたる都市計画が必要である。
- 住みやすい環境を目指して!!
- 新町の雑木林の一部を伐採して建てたビニールハウスによって迷惑している。物の置き方が汚い（物が裏に隠してあるだけ）。雨が降るとビニールハウスに当たる雨音で、家の中にも話し声やテレビの音も聞こえない。ここま

での迷惑、被害を考えた上であれが最善の方法だったのかと腹立たしい。取り壊してほしい。

- 北町に住んでいます。引っ越してきた時より住宅も多くなりました。北町公園ルートの立川バスの増便を希望します。
- 子供が多い世帯にはもう少し教育費が軽減するような政策を考えてほしいです。手厚い助成がないので、少子化は加速すると思います。せっかく子供をたくさん産んでも、その事を後悔するくらいにお金がかかります。多子に対しての市政の配慮はないように思います。
- 市外の友人から道が狭くて、訪問しづらいと言われます。
- 各団体への予算の見直し。又何もしないで給与をもらっている役職の排除。市の職員は私達の税金で生活している事を忘れないでほしい。
- アンケートが長い。もう少し簡素にできれば、回数を増やして、3ページ以内に。書く気がなくなります。
- 電柱がなくなるだけで、ずいぶん安全な街になると思います。緑が多くて過ごしやすいです。
- 社会全体の高齢化に伴い、古い住宅の空き家化が、国分寺でも発生する事が想像されます。現在、農地の宅地化が進んでいますが、既にある宅地を活用し、農地を保全するような政策を望みます。
- 国分寺市に引越して1年未満ですので、国分寺市の事がよく分かりません。これをきっかけに追跡したいと思います。
- 27は分かりませんので、途中から無回答(わからない)にしました。お役に立てずすみません。
- 計画直路の事業決定等、何十年も昔に決まった計画の実行について、もっとフレキシブルに見直し、対応する事で、予算の配分をより現実的なところへ振り分けて下さい。
- 自転車道に人が花見などでゴザをひいたり、横断歩道でも自転車通路ラインが引かれているのにマラソンの人や学生等が関係なく通っているのはなぜ？小学生の子供達も知らないのか、親が教えていないのでは？逆に危なく、自転車に乗れません。
- 小さい子供からお年寄りまでが利用できる施設の充実(グラウンド、公園、体育館、フリースペースなど)を検討して頂きたいです。
- 国分寺市の現状を踏まえ、国分寺市独自の設問設定がされていないと感じる。
- 規則、規則と、ほんのちょっとした所の融通性がない。燃えないゴミの日に割れもののコップを書いて並べて出したら、燃えないゴミの袋に入れなかっただけなのに違反シールを貼り、残されたり…。ちょっとした勘違いなのに。
- 道路に面しているのだから、たばこの投げ捨て、ゴミを敷地内に捨てられたりします。近所の犬の鳴き声もうるさくて困っています。注意しても改善されず、ノイローゼになりそうです。
- 選挙について。
投票所の指定がありますが、バーコードで読ませているので、国分寺市内ならどこでも投票できるようにしてほしい。自宅のすぐ近くに投票所があるのに、わざわざ遠くに行かなくてはなりません。また、駅などに投票所を設ければ投票率も上がるのではないのでしょうか？
- ①坂が多いので、災害時の耐震がとても心配です。経済的に余裕があれば転居したいです(西恋地区なので)。
- ②保育園(公立)のレベルは他市に比べてどうなのでしょう。20年前の頃は他市よりかなりレベルが低い印象でした(給食内容も含め)。
- 東恋ヶ窪はバスが通っていないととても不便です！街灯が少なく、夜暗い場所が多くて怖い。防犯パトロールもしてほしい。
- 国分寺はペットのドッグランがないので、ドッグランがあれば利用したい。
- ①リサイクルに関連した行政の取り組みの縮小化はしないでほしい。
- ②近隣のHPより、かなり劣る部分があり、国分寺市のHPを見る必要性を感じなくなった経験がある。三鷹市等を見習って、頑張してほしい。
- 学区の見直しをしてほしい。又は自由に選べるように。簡単に大型マンションを造らないで。小中学校ごとの人数に差がありすぎる。少人数のクラスをつくってほしい。1クラス20人までの。
- 市政が一方的にサービスを提供する時世ではなくなりつつあります。市は市民が自ら動けるような仕組みづくり、市民への啓蒙にも力を入れる必要があると思います。市には現在どんな問題があるのかを具体的に知りたい。問題点を産学、市民で共有し事が解決へつなぐと思いますので、宜しくお願いします。
- 音楽活動していますが、せっかく市内にある泉ホール(大ホールではなく)を使ってみたいのですが、やはり料金がなくて。例えば1か月前を過ぎて空いていたら、安い料金で使えとか、何か工夫してもらったら嬉しいです。入場料を取らないコンサートは安いのかも。
- 国分寺駅再開発の途中経過、進捗状況についての報告がほしい。
- 市役所の建て替え計画はどうなっているのか知りたい。
- 市の職員がもう少し積極的に仕事に取り組む気持ちになってほしい。生き生き仕事をしてほしいと思います。
- 国立のような歩行者や自転車が通行しやすい道幅の広い歩道をつくって下さい!!ぜひ新しいまちづくりに反映をお願いします。

- 市の相続相談や弁護士相談の日数が増えてほしい。日帰り人間ドッグを受診できる病院を増やしてほしい。健康診断は指定病院で自分の都合が良い日に受診できないので、申し込みをやめている（他市は指定病院で受診できてうらやましく思う）。
- 財源を確保して、住みたくなるような魅力があり、国分寺の特色を幅広い年代にアピール出来るまちづくりを願います。
- ①小学校の給料を玄米にしてほしい。玄米は蒔けば芽が出る生きた食物です。キレイな安定した子供が育ちます。
- ②総合体育館を造ってほしい。老若男女の夢や希望が広がります。
- ③自転車の街にしてほしい。元気に長生きできて、環境にもやさしいです。ダイナミックな市政運営を期待致しません。
- 北口開発→一番先にできた建物がパチンコ屋というのはいかがなものかと、がっかりしました。
- ①国分寺街道を早く整備してほしい。
- ②国分寺駅北口工事を早くしてほしい。
- 調査票の内容について、子育ては答える事ができません。区のF6に子供なしの欄がない理由はなぜでしょうか。夫婦イコール子供がいるのに、少々疑問を感じました。
- ①3～5年以内に福祉が充実している県や市に引越しを考えている。
- ②自転車について。スピードを出して危険な運転をしている人が結構多いので、歩行者専用・自転車専用の道路を造ってほしい。
- アンケートの結果が知りたいです。
- プラスチックゴミ（リサイクル可能ゴミ、無料）の収集日をあと1日増やしてください（現在1回/週）。
- もう、今は成人しましたが、立川市から移って来た時、子供は中学生で、給食が牛乳のみと聞いて驚いた。私は中野区で育ったが、S47年の時点でしっかりと給食だった。国分寺は遅れすぎ。
- 大切な時間を使って、アンケートに答えたのだから、有意義に利用してくれることを望みます。でも、ハッキリ言って、無作為に選ばれたとは言え、回答させられることについては不満です。500円の図書カードくらいつけてもいいのでは。
- 選挙の投票率を上げてほしい。せめて70%くらいまでに（本当は90%くらいがいいが）。
- 市の臨職を経験しましたが、真面目に働かない正規の職員が目にあまりました（もちろん真面目な方の方が多いと思いますが）。よほどの事がない限り雇用もされず、そのまま退職金まで支払われるのであれば、その改革をしない限り、他に節約をしても納得できません。職員の評価（この人は真面目に働かない）等、他の職員間でも把握していればの適切な対応をお願いしたいです。
- 税金を上げるため、ある程度企業誘致を進めることも考えてはどうでしょうか？土地代や土地賃貸料が高いという話も聞きます。もっと外に開かれた、営業しやすい状況をつくる努力も必要だと思います。静かな環境も大切ですが、古い体質がそれを阻んでいる気がします。変化する事を恐れず、市民生活が便利になるのであれば企業の受け入れを積極的にしてほしいです。
- 市民が集まる場所や福祉の現場などに出向いて意見を聴いてほしい。市民の方が出向く、またはお願ひしてきてもらうといった関わりに留まっていると感じる。積極的にアウトリーチしていく姿勢を期待します。
- 他市との境に住んでいる事により、住環境は隣市を含めると生活がしやすいが、国分寺市として考えると、国分寺市をイメージできる物事がなく、特色に欠けていると思う。文化的な催しも、参加料が必要であったり、講座そのものも市が開催している物が少ない。材料費の補助金を増やし、もっと参加しやすくしてほしい。
- 市は建築基準を定めているが、建売業者や個人での建築でも家を敷地いっぱい建てて守られていた一軒家が、2軒3軒に建て替えられる。40%・80%の地区を引き上げ、50%・80%にして基準を守る形で建てられるようにし、緑の多い安全な街にしてほしい。厳しい基準では違法建築を増長し、返って狭い防火性のない街になっている。引き上げる事により、建築基準を守るよう、建築中でも管理して、建築業者の場あたりのな建築を止めるようにしてほしい。実際建売業者によって、新たに建てられる家は建築基準が守られていない。
- 図書館の開館時間を延長してほしい。せめてPM6:00か7:00。
- 仕事を持つ両親のいる小学生、中学生の放課後の居場所も考えないと。学童以降を心配する話を良く聞きます。
- 国分寺市職員の給与体系は高いと聞いていますが、もし本当ならボーナスなど減額するべきではないでしょうか（努力、実行してほしい）。
- 知人に嘱託職員がいるが、正規職員と同じ仕事を任せておきながら、待遇面等にはあまりにも差がありすぎると聞く。きちんと区別してほしい。職員の実態をきちんと知るべきだと思います。
- 西国分寺・国分寺駅周辺だけでなく、恋ヶ窪駅の周りも整備して、生活に直接役立つ施設等を増やしてほしいと思います。ぶんバスルートも増やしてほしいです。独立した図書館があったら嬉しいです。お願いします。
- 公共施設は維持管理のかからない設計の単純なデザインや丈夫な材質、手入れのいらぬ物等を選び、将来に良質な財産となるようなものを心がけていただくと、子供達も安心して住み続けたいと思うので、宜しくお願いします。
- アンケートでいわゆる民意とやらを図ろうとしても無理なのは、関心のない事についてはかなり適当に丸をつける

- るしかないのです。又、余計な費用がかかっているのではないですか。
- 街灯が少なすぎると思います。特にコープ国分寺店前の道路（ステーキレストラン「ケン」の交差点）から西国分寺方面へ向かう部分の街灯が少なく、夜に自転車で通ると真っ暗です。危なくて自転車を安全に走行できないくらいです。至急街灯を増やしてほしいです。区画整理も併せて行ってほしいです。行き止まりが多すぎます。
- 国分寺に生まれた戦後のベビーブーム世代です。本村（昔の名）、今は東元町で生まれ、庭先に生ゴミの穴を親が掘って処理していました。今は全てを市に持って行ってもらい、ゴミ焼却場です。都会化して密集してくればゴミ問題の課題は続きます。昔ながらのご近所の助け合いも減り、それを市が埋めて行くとなると…大変ですね。人間同志があたたかい心で人と接する心を育てたいですね。
- 市政についてではないのですが、散歩をするとずいぶん空き家が目立ち、車庫の屋根が壊れたままだったり草木がボウボウだったり、危険な場所があります。また、カーブミラーなどが木でミラーが見えづらかったり…。ミラーについては市の方に連絡しましたが、その後も何も変わらず変化がありませんでした。
- 住み良いまちにするには迅速に対応して下さると良いですね。
- ぶんバスは少しまとめて欲しい。循環があっても良いのでは（国分寺と西国分寺、西国分寺と国立）。
- S42年から居住。ずいぶんと住みやすく明るいまちになりましたが、名古屋市内から来たためにヨソモノ呼ばわりされてきました。明るく豊かなまちづくりはお互いに思いやりが必要ですね。
- 同じ道路を何回も掘り直して工事をしています。総合的な工事計画をしてほしいと思います。
- グループホームとくら、木曜と日曜（デイの休日）に教室を開いている。これを要支援1、2の人に利用してもらような、地域の人が運営する形に出来ないかとか、介護保険サポーターが生活支援している活動など、もっと市役所が積極的に関わって、介護保険では使えないサービスを地域の人々と作っていく姿勢が足りないと思う。
- 国分寺は緑が多く、とても住みやすいのですが、道路が狭く、車、自転車、歩行者、いずれも安全に通行できる道路が少なく毎日困っています。早急に自転車道の整備等、安心して歩ける道路にしてほしいと痛切に感じています。
- 市役所から多摩総合医療病院までぶんバスのルートをできればつくってほしいと思います。
- 国分寺市の財政は厳しいのではなく、使い方を間違えています。国分寺駅北口再開発に463億円もの税金がかかります。その一方で公民館事業が半分に減らされたり、高齢者の入浴事業が廃止されました。とんでもない事です。都道3・2・8号線の事業が進められています。市民にとって騒音・振動・大気汚染等、市民にとって百害あって一利なしです。国分寺市の市民置き去りにして、積極的に進める姿勢に市民として大変残念です。
- 駅前のパチンコ店がすでに建って営業しているのが納得いかない。
- ①今後元気な高齢者が増えて行きます。私を含めたこれらの世代を十二分に活用していくことが肝要かと思しますので宜しく願います。
- ②統計（集計）発表がいつになるのか、報告予定日時が書かれていません。市報で公表する事と思いますが、日時の予定等知らせてくれておいた方が望ましいと思います。
- これから数年後、国分寺市でも高齢者がどんどん増えてくると思います。この調査の中で介護、介護施設、医療等にあまり触れられていないことに残念に思います。現実問題、多くの人が直面して行く事です、もっと大いに取り組んで欲しいと思います。
- 道路の整備を充実してほしい。防犯につながると思います。
- 今回の調査で市に対して考える事ができて良かったと思います。これからますます住みやすい町にしてほしいと思います。
- ぶんバスの終バスの時間をもっと遅くまで伸ばしてほしい。終バスが8時まででしかないのでは会社帰りには間に合わない。いつもタクシーを使っているが、とても不便です。10時頃まで延長してほしいです。
- 自転車についての規則の広報の充実と駐輪場の増加。
- 歩道での自転車との折り合いが大変怖い状態です。自転車はエコカーで大変良いのですが、マナーや自転車専用の道が一日も早く出来る事を希望しています。
- 新規又改善等、何をしても会議ばかりに時間をかけていると思われれます。議会・市役所行政の迅速な決定と実行が必要です。
- ぶんバスの乗り降りが高いので、ステップをもう一段付けてほしいです。
- 高齢者にやさしい市政を。待たない、入居金がなく、誰でも入れる老人ホームを。
- 国分寺駅北口の事業がやっと動き出し、完成が待たれるが、市内の道路整備等が進まず、市内危険な所が多く、又美的にも変わらず、美しいとは言えない。事業が迅速に進んでいるように見えない。美しく・安全で利便性のある国分寺となる事を期待します。
- 市庁舎の建て替えをしてほしい。
- 仕事柄、都内をあちこち回りましたが、国分寺市は市民に対して開かれている感じを受けます。審議員を公募していたり。市民課の窓口では呼び出し番号を大きな紙に書いて示したりと、声だけでなく細やかな配慮を感じます。窓口の方もとても親切に対応して下さい、感謝しています。
- 急速に変化する時代を迎えて「少子高齢化」に市として何が出来るか、知を結集せずに対応する余裕はありません。既得権、慣例をはじめ、ことごとく無駄をなくしつつ、スリムであっても時代のニーズと危機感を持って市政を進

めて頂きたいと切に思っています。

- 少子化も問題ではあるが、老人福祉について、老老介護など色々考える点があると思う。
- 他市に比べ、歩道がない、狭いと感じています。
- 働きながら安心して子育てができるよう、保育園の充実をお願いしたいです。あとは高齢の方々の意欲を活かせる場が増すと良いのではないかと思います。歴史ある緑豊かな国分寺の市政に、一層の取り組みをお願い致します。
- 泉町の人口が増えて行く中、公民館施設があれば良いのと思っています。
- 西国分寺の周辺に大規模なマンションが建ったせいでしょうか、マインの北側の駐輪場は朝から自転車があふれていて困るので、西国分寺駅の周辺に有料でもいいので駐輪場が出来れば、通勤、通学の人達も助かると思います。
- 国分寺は歴史がある、自然の良さが残された良い場所だと思います。人間、樹、鳥など生き物皆が気持ちよく調和して暮らせる地であってほしいと願っています。
- 毎朝、丸井の搬入口に通じる道路が搬入車両で占有され、反対車線を通らざるを得ません。こんな危険な状況が通常化している事に行政として指導をお願いしたい。
- 「無理が通れば道理が引っ込む」のように、自分本位の強い意見に振り回されることなく、公平な立場で市民が住みやすいまちづくりをお願い致します。
- 経済的に余裕がなくても、また体力が衰えても（できる自助努力はするつもりですが）、安心してこの町で最後まで暮らしたい。
- 国分寺市に限らないけれど、新しい時代に。今までのような議員の数は多すぎる（無駄）。住民の声や地域のニーズは情報機器の活用で、より効率的で公平に集約できる。これからはそれをしっかり政策化できる質の高い議員が半数いれば十分であろう。その分を解析・事業化できる専門性のある職員の採用や充実にあてる等の改革を。どうせできないでしょうね。発想の転換は。
- 市は何かと言えば、予算がないとおっしゃいます。議員定数とか給与（職員も含めて）等の削減をまず進めて、多度でも上位にあるという人件費の削減に努めてほしい。
- 予算が厳しいので難しいと思いますが、市役所の建物や駅周辺の整備を計画的に進めてほしいと思います。又これからの高齢化を見込んで、サークル等の活動場所を積極的につくってもらいたいと思います。
- 美しい自然と文化を大切にしまちづくりをお願いしたいです。図書館等の図書の実装もお願いしたいです。近く完成する都立図書館の近隣地域への開放もとても期待しています。尚西国分寺駅から障害者センターへ行くガード下は狭く、急な勾配が利用者に危険とされます。
- ①市役所公舎を早く現地に新築してほしいです。
- ②ぶんバスの停留所「市役所前」で待機時間を長く取りすぎだと思います！
- 出来るだけ迷惑をかけずに生活をしています。役所も無駄を省いて新しい発想を持って、計画を立てて対処下さい。
- ぶんバスについて。市内を分割して走っているのだから使えない。周遊するようにしてほしい!!
- 駅周辺整備、もう必要ないです。国分寺駅も返って不便になった所があります。それより歩道の整備をして下さい。車道が狭いので、自転車で走るのは大変不安です。自転車も走れるくらいに広げて下さい。市役所新築も必要ないです。他に金をかけるべき所はたくさんあります。
- 若い方がだいぶ選挙で当選しましたが、若い力で市政を考えてください。
- 立派にやっています、何もありません。
- 国分寺市には碑が建つてるところが沢山あると思います。何故にどんな碑が建っているのか市報に載せてほしいです。また、碑を見ても全く読めない字が多いので楷書で説明文をお願いしたいです。
- とにかくにも今、学校（幼、保）から帰ったり、土日の子供の遊び場がないために、〇〇の家で迷惑かけないのはゲーム…となってしまう。外では道路上で遊んでいます。それぞれの車庫の車に大人（保護者）も傷つけないようにピリピリして…。遊具はいらないので、是非是非、子供の遊び場がどうなっているか調査して頂き、建物外で元気に遊ぶ子育てを考えてほしいです。実態を把握して下さい。
- 市役所移転の声。
私は年をとってからは市役所、郵便局が近い所と思い、大学を卒業してから37年間働き、家を買入、自分自身の人生設計がちがってしまった。市役所のみすぼらしさ、これも考えてほしい。職員これだけの人数が必要かとも考えます。
あと、市役所移転の声。
前、市長が移転の方に土地があり、その利点をも考えてやるんだという声もあります。福祉に関しても、風呂の件（70歳になったら利用させてもらおうとしていたら、工事をして2,000万円かけて閉じる。これも税金の無駄。私は12年前の病気より、ずっと風呂へ通っているが、この件も市に相談したら、ことわられた。これを上手に利用している人もいる。
元の市役所後の埋め立ても疑問（いろいろの物がうまっている。次の人は大変である。
市で働いている人（職員）で、夜10時すぎまで残っているのはいろいろ疑問あり。時間内で働く事の・・・。
いろいろ書きましたが、もっと平等のやり方は。
- ①道路の幅が狭いといつも思います。

- ②職員の対応は良い方だと思います。老人には特によくお願いします。
- 樹木の伐採、安易に許さないでほしい。緑が凄く少なくなった（20年前より）。高層ビルは必要としない。他の都市と同じようにする必要はないと思う。
- 問 27-①（以下の施策は、少子化対策として効果があると思いますか。「1～24」の施策それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んでください）について。
全部の母親が何か仕事に就かなくてはならないような気持ちになりましたが、母の元でしっかり人間を育てていく事は立派な仕事と思います。保育所が充実したら、一切問題は出なくなるとは思いません。保育所は子供を預ける所ではありません。人間を育てる所です。保育所を利用しないで、自分の手で子育てをする方に報償金でも差し上げるようになさったら、母親になる方の気持ちが違ってくると思います。多くの女性が仕事をしていないと、世の中から遅れを取ったと思ったり、自分がつまらない人間だと思ったりして、何か仕事をと焦る気持ちで、仕事仕事と思っているところが多くあるように思います。どうぞ、豊かな人間を育てて下さい。
- ①熊野神社通りの西武国分寺線の踏切は今のまま幅を拡げ、工事を増やさないでほしい。
- ②市内最後まで残ってしまった陸の孤島から脱却し、ぶんバスを早く走らせてほしい。
- ③日立中研の中にできるマンション群から、日照りを守ってほしい。
- ④医療費が1割と3割ではあまりに差がひどい。手を重ねるといろいろと具合の悪い事が起きてくる。1割の人は10年も整形に通っていられるのに対して、3割の人はその3倍の医療費がかかり、よっぽどでないとかかれない。
- 年齢を問わず情報を収集できる手段がいい。年寄りにはネットの見方もわからない。
- 市内にも何年も放置されている空き家があります。庭一面に雑草が生い茂って蚊も多く発生し、近隣は大変迷惑をしております。家主と連絡も取れない場合、どういう手続きをすればよいか市報で教えてください。早急な対応をお願いします。
- 交番を早く完成して下さい。骨組みだけでは見た目もおかしくはないですか。パチンコ店が目立ちすぎ。
- 道路が狭く歩道がないため、車がすれすれに通っていて危なくて困っております。それに車の往来が激しくスピードを出す車も多く、何とか良い方法はないのでしょうか（例えば一方通行にするとか？これは無理な話ですよ！）。
- ひとり親（男女）世帯の子育ての大変さを理解してほしい。
- 発達障害、身体障害などの子育ての支援を頼みたい。
- 早朝に出て、遅い帰宅の共働きの我が子を見ている、あれでよく子供（2人）達が親子共々頑張っているな～と離れたところからしか見つめるしかない。まして、70代老々介護も昔のようにお内様を頼れない（私は40代で10年も介護した）。施設にも世話になっているが、支える人間（現在は私）も並々ならぬ努力をしている。日の当たらない人々が増える一方、少子化高齢化難しい問題。どうぞ、一人でも多くの市民に愛の手をさしのべて下さい。
このアンケートも時間的に余裕のない人の提出は困難でしょう。お役所の悪口になりますが、公民館も駅前の市役所ものんきそう。昼食時は、一斉に洗面所で歯磨き、ゆっくりトイレ・・・etc。挙げたらきりがありません。お役の方々は、恵まれておられるな～と常に思いますよ。そんな表ばかりではなく、ポリシーを持って人の為に明治人のような気迫で頑張っておられる職員さんにはごめんなさい。
市長さん、実態をごぞんじですか。今回の市議選も意義が分からなくなり、初めて棄権しました。
- 私は85歳を過ぎた老人で、だんだんと外へ行くことが面倒になってきてまして、いつも何かあっても後手後手に回り、終わってから知るような事が多いです。もう少し早く色々な情報に気がつくようにしてほしいです。それから最近色々な事に横文字が多く入るようになり、分かりにくくなりました。放送でも何でももっと日本語を使って説明して頂きたいと思います。
だんだんと世の中複雑になり、犯罪が多くなり、住みにくい世の中に変わりつつあるような気がします。安心して暮らせる世の中になるよう願っています。子や孫のためにも。
- 緑の多い、個性のある、優しい気持ちが持てる、そんなまちづくりを期待しています。
- 北口の開発の将来図について。ホームページを見ても、駅内の図面（小さすぎる）を見てもわかりづらい。同様の事を言っている人も多い。もっと時間による経過を分かりやすく市民に示してほしい。北口に大きな将来図を作るべきである（今からでも）。
- 国分寺市は道路幅が狭い上に歩道がない。あっても幅が狭く、色々な面で危ないことが多い。国分寺街道は名前が国分寺と付いている街道です、ぜひ新しい道路ではなく既存の道路に歩道を付け、名前に恥じない道路に全力を注いでほしいです。
緑多い国分寺の街が、マンション建設のために惜しげもなく切られ、困った事だと思います。
- 北口バス通りが危険。自動車が止まっていると尚更。工事は計画されていると思うが、少しでも早い工事終了を期待してます。
- 民生委員というのは存在しているのでしょうか。お世話になるつもりはありませんが、地域の委員の存在すら分かりません。
- 創生総合戦略は内容がつまびらかではありませんが、賛同します。今、国も地方創生等いってみれば、日本全土の活性化を進めています。要は市民にニーズを的確にとらえ、最大公約数をどこに求め、ベクトルの向きをどこに向

け、そして税金を効率点を求めて、有効に使う事ではないでしょうか。自助・公助ともいわれますが、私は阿ねを排し、自助が第一義的市長の責任と思います。どうぞ良い市政を。

- 市の施設で後期高齢者向けていこいの場を3カ所くらい造り、入場する人達から1日の中の6時間～8時間位、風呂や談話をしたりして過ごせる場所があると、もっとお年寄りが元気になって、楽しく過ごせると思います。お金は個人で1人1000円位（1時間200円位）で、陽気な時間があれば、その場に行ってお話をしようとバスにでも乗って、集まりを楽しみに頑張り、励みになるかと思う。
- 6月5日の朝刊に高齢者の地方移住を日本創成会議が提言したとありました。縁もゆかりもない地方に介護、医療が充実しているから高齢者を行かせるという考えには反対です。長年住み慣れ、愛着がある国分寺市にずっと住み続けられる政策を希望しております。
- 何をするにしても市民に知ってもらう事が大切だと思います。市報についてですが、シニア世代も増え、もう少し見やすく字も大きめにしてほしいです。立川市の市報も見ますが、立川の方が分かりやすく見やすいです。情報量よりも、どうしても知らせたい事を分かりやすく書いてほしいです。
- 生活道路の路面が非常に悪い!!防犯灯の増設、人口に対して議員数が多すぎる。
- 女性に働かせる方向（社会進出を推進）をした上に、少子化を解消するのは矛盾。それならお金より、働く女性のため子供を公共で育てる覚悟が必要だと思います。
- 医療費を少なくするなら予防医療が必要。水泳教室などの運動教室の充実、メタボ予防用の食事制限レシピの教室の充実が中高年の男性に必要では。認知症予防は糖尿病予防らしいので教室の充実を。
- ①このような市民の声を大切に聞き、市政を進めて頂きたい。
- ②道路の拡充（自転車、歩行者）の計画を進めてほしい。
- 一時代前とは異なり、夫だけの収入で家計を維持することの難しさ、また高学歴化から女性の社会進出が増えたことなど、保育所が必要とされるのは理解しつつも、一方で近隣にある保育所に向かう親子連れ、お散歩に出かける保育所スタッフと幼児たちの光景を見るにつけ、感じるがあります。一歳になってまもないような幼児が、真夏の炎天下を泣きながら歩く姿、立ち止まってもなかなか抱いてもらえない（抱いてほしい子供は何人もいますので）、また寒風にさらされ鼻水を垂らしながら泣く幼児、あっちでもこっちでも鼻水を垂らしているの、なかなか拭いてもらえない、一人が泣き出すと手押し車から一人を下して泣いた子に乗せる、見ていて胸が痛みます。親御さんがこういう光景を見たら、どう思うのでしょうか。乳幼児を預かる保育園の役割は重いものであるのに、保育士不足、低レベルな保育士教育、低賃金、はたまた賃金格差の拡大等、国家レベルで考えなければならない問題が山積しているにも拘らず、保育園の増設ばかりが先行している現状に、危機感を持っている国民は少なからずいるのではないのでしょうか。泣くことでしか気持を表現できない子供が声をあげることではできません。幼少時における喜怒哀楽の感情を慈しみながら受け止める保育環境の充実が望まれます。早期の集団生活が、一部で言われているような独立心自立心を生みだすとは到底思えません。
- 近年、小学校では発達障害児が増加しつつあるとか、それが保育園問題と関わりがあるかどうか、何十年か経って、やはりと言うことにならねばよいかと杞憂するものです。
- また、上記にも多少関連することですが、30年程前に市役所主催（どこかと共催だったかもしれませんが）による上野千鶴子さんの講演会が開催されました。場所は、ひかりプラザ1階・体育室でした。
- その中で上野さんが今日の社会現象をみごとに言いあてていたのです。今後は、貧富の差が広がり、格差社会となり、一家の主人の収入だけでは家計を賄える家庭はごく少数派となり、専業主婦は少数派となり、妻も外に働きに出ることになる、と。当時はまだ周囲には多くの専業主婦がおり半信半疑でしたが、現実はその通りになっています。
- 何年前か前に、その上野さんの講演会がまたあると聞き楽しみにしていたところ、フェミニズムに偏った方であり、市民の中から反対の声があるので中止する、という一方的な理由で講演会が中止になったことを憶えていらっしゃるでしょうか。
- その後も機会があって上野さんの連続講座を聴講しましたが、改めて立派な社会学者であることを再認識する講義でした。フェミニズムと何か、家族とは何か、傾聴に値する講義でした。社会学者の将来を見通す見識を聴講する機会を失ってしまったことは、とても残念なことでした。
- また、数年前に光公民館主催の詩人の長田弘さんの講演会がありました。長田さんは先月逝去されましたが、すばらしい詩人です。どういう伝手で来てくださったのか分かりませんが、光公民館の担当者の見識の高さに敬意を表する一方で、もう少し聴衆がいたらよかったのに、とか、もう少し前もっての準備をしてからお迎えすればよかったのに、という思いが残っています。
- いろいろな方の貴重な意見を拝聴する機会をもっともっと増やしていただけないでしょうか。それを聞いて取捨選択するのは市民です。目を開かせられるような出会いの場を提供していただくことを切望します。
- 老人に関わるお仕事をしていらっしゃる方のお手当はそんなにたくさんいただいているの（？）と思われるようなお給料にして、皆が資格を取ってでも就きたい仕事にしてほしい。重労働のわりにお給料が安すぎると思います。その為には税金等をあげても良いと思います。

- 公共施設及び、排水設備の充実をお願いしたい。
- 45年住んでいますが、進歩しました。
- 国への提案ですが、介護休暇と同様に、出産後退院した母親と孫の世話をする1か月位、おばあちゃんの育児休暇があったら、育児ノイローゼの減少等に効力あるのではと思います。共働きのじじ・ばばも心配せず、産んでもらえると思います。
- 高齢化の時代になってきたため、道路を歩きやすくする必要を感じる。生活道路は私道といえども舗装をするべきだ（特に雨の時等、穴だらけで歩けない）。
- いきなり調査票が送付され、戸惑いました。範囲が多すぎ、高齢でもあるせいかなかなか考えがまとまらず、ご迷惑をかける事が多いのではと思う。これを機に変わってくるのでしょうか。初めての事と思いますが市民の声を聞いて下さることは前向きなのかと考えます。お疲れ様!
- アンケート作成、集配後、どのくらい真剣に内容を検討するのですか、アンケートはしましたという実績のみの形式で満足して、それが活かされなければこれだけの手間をかけた意味はないと思う。内容が活かされてこそと思います。
- ①6月5日に受け取り、6月12日までに投函下さい、は短期間すぎる。人は皆、種々の生活をしているのですから最低20日くらいの余裕を!
- ②設問2-1になぜ「親族、兄弟が国分寺市内に居て心強い（助けられる）から」がないのか?政策部で十分に検討されたのか理解できません。国分寺市に住み続ける、ある意味一番評価され続けている事ではありませんか?
- 皆様いつもご苦勞様です。国分寺市は苦しいと言っていますけれど、私達がいつも考えている事は、他県又は都区内の市役所・区役所は大変立派です。今の国分寺市役所は外部から見ても少し恥ずかしく思います。一番大事なところだと思えます。いつ行ってもまごついております。できれば一番先に市役所を造って下さい。
- 質問が多すぎて、疲れました。
- 「いずみホール」程度のもではなく、座席数は多くなくても良いので、もう少し著名な音楽家を呼べる音響効果が良い、きれいな「コンサートホール」がほしい。今は都心のホールへ行っていますが、年齢を重ねると出かけられなくなりそうなので（勝手なお願いですが）。
- 市道の整備。自転車を通る時、危ない。東京都は道路が非常に悪い（水溜り）。地方はとても良い。
- 私は遺族年金で病院もちゅうちょしながら通っています。一方、近隣には生活保護受給者の方が2・3人いらっしゃる中、おしゃれに元気そうにカラオケ等に通う人がここ何年間も歯科まで訪問受診を受け、他人まで薦められるようで、皆が医療費に苦しんでいる時に許せない気持ちです。このアンケート調査では部署管轄も違うと思いますが、受給者の医療内容等を調べれば判明すると思います。是非ご一考願ひあげます。ほとんどの方は真面目な受給者と思えます。何年来近所で、噂をしながら今日に至っております。宜しく願ひ致します。
- 最近の市報がとても読みやすく、分かりやすくなり、利用させてもらってます。
- 一戸建てが多く、バスの回数が少なく、車をやめた老人には不便さを感じます。年金生活者にも安心して入れる老人ホームがほしい。出来るのが有料ホームばかりで、心配になります。
- ①空き家が気になります。
- ②国立駅を利用しておりますが、駅北口側は国分寺市ではないためか、南口と比較して不公平さを感じます。何か南口同様の活発な便利な駅前を活用を願っております。駅前のバス停にも屋根がほしいし、ベンチもほしいです。終バスも遅くまでお願いします。市民の小さな願を叶えてこそ長く住み続けたい街になっていくと思います。
- こんなアンケートは必要ないのでは。印刷、通信費など無駄遣い。市で通信はこれだけではない。
- ボケ防止など（自分で買い物に行けますか?銀行に行けますか…）、そんな事はおかしいと思ったら病院から連絡が行くようにしたら…。
- 北町4丁目在住です。国立駅へのバスの便が頂けました。近々ぶんバスが走るそうですが、北町は国分寺市政の恩恵に程遠い思いを致してきました。ぶんバスに乗って市役所に行ってみたいです。
- 市の外れに住んでいるので、忘れられた存在のように感じます。商店が少なく、日常の買い物に不便。バスも今時1時間に1~2本、本当に田舎です。年をとってますます不便さを感じています。少しでも住み良い街になるように望んでいます。
- 北町の住人はバス、乗り物の交通が不便です（特にシニアの老人には自転車利用ができなくなると）。国立行きのバスはせめて15分間隔にしてほしいです。ぶんバスの利用も不便です。
- 交通安全についての願ひです。
 - ①自転車規制が厳しくなった事をニュースで知りましたが、具体的に乗り方の詳しい・分かりやすいパンフレット等を各家庭に届くようお願いします。
 - ②道路上に「自転車マーク」がありますが、薄くなって見えません。せめて「マーク」がある所を塗り直して下さい。
- 国分寺市ではあるが、国立市・立川市に近い為、防犯についてはあまり力を入れてもらえていない感がある。小金井警察に願ひしているのだが、もう少し目配りをしてほしい。
- 私は日頃、国分寺市内と都外にマイカーで仕事をしていますが、道路（車道）に歩道がほとんどなく、又自転車利

用者のマナーの悪さ。自転車専用路がない為に事故がないのが不思議なくらいです。道は狭く逆走ありで。1日も早く整備を考えていただきたい。

- 右の薬指にあてられ、思うように動きません。
- 今回のアンケート回答について。年齢的に難しいところがあります。高齢ですと、協力できない事も多いです。年齢別に使い分けていないと、学校関係のアンケートには協力できず、申し訳ございませんでした。
- 国分寺病院周辺にぶんバスの運行をぜひ行ってほしい。マンションも多数出来、入院患者の家族も高齢化で面会が困難です。西国～国分寺駅までの運行をぜひともお願いします。
- 他の地域がなく、国分寺だけですよという魅力的なものをいくつかつくって、国分寺を誇れる町にしたい。国分寺の人は国立に住んでいますという人が結構いるが、逆に国立の人が私は国分寺の側に住んでいますと言えるようにしたい。他にないようなきれいなまちづくりをして下さい。
ちょっと一言。国分寺の人3000人という事ですが、私、ずいぶん前に同じようなアンケートに答えた事があります。またという基準で選んだのかしらと、ちょっとだけ疑問を持ちました。
- 市役所はプレハブでいくのですか。国分寺にお金がないのですか。仕事をしていない老人、元気な60歳・70歳に働いてもらって、お金を稼ぎたいものです。市役所を立派にしたいです。何なら、皆集めて建てたりして。
- 1年中昼夜問わず、地面から伝わる音（地面からの振音）に悩まされています。何とかしてほしい。家中逃げるところがありません。

<資料編>

単純集計結果	資－1
過去5回との調査比較	資－21
調査票	資－51